令和7年2月10日発行（毎月1回10日発行）1月9日発売　第48巻第2号　昭和53年12月21日第3種郵便物認可

アニメージュ Animage

2
2025 FEB.

作画／遠藤 香

応募者全員サービス
「魔法使いの約束」アクリルスタンド



Special Pin-up
3年Z組銀八先生
BanG Dream! Ave Mujica
花は咲く、修羅の如く
美男高校地球防衛部
ETERNAL LOVE!
ライチ☆光クラブ2025
あけましてベスト100

2025年は ヘビー級 パンチ！
FARMAGIA
メダリスト
もめんたりー・リリィ
沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる

SAKAMOTO DAYS
全修。
想星のアクエリオン Myth of Emotions
アラフォー男の異世界通販
戦隊レッド 異世界で冒険者になる
青の祓魔師 終夜篇
ハニーレモンソーダ
薬屋のひとりごと
わんだふるぷりきゅあ！
魔法つかいプリキュア!!～MIRAI DAYS～

ダンダダン
チ。 ―地球の運動について―
夏目友人帳 漆
メカウデ

モエチャッカファイア
弌誠×necchi

とじ込み付録
リバーシブルフォトカード
モエチャッカファイア×ゼンレスゾーンゼロ

CINEMA Special
ベルサイユのばら
忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師
メイクアガール
ロード・オブ・ザ・リング／ローハンの戦い
ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-
プロジェクトセカイ 壊れたセカイと歌えないミク

『マクロス7』放送30周年！
FIRE BOMBER

千銃士:Rhodoknight
爆上戦隊ブンブンジャー
仮面ライダーガヴ

LDH新連載開始！
第1回 世界×中島颯太

付録
B2両面ポスター
ベルサイユのばら
魔法使いの約束

巻頭特集
3年Z組
銀八先生
ティザーPV徹底解説
3年Z組ファッションチェック

Animage アニメージュ

電子書籍版

はじめにご確認ください

- ●紙の雑誌とはコンテンツが一部異なります。
- ●プレゼントや懸賞など紙の雑誌を購入いただかないと
  ご利用になれないコンテンツが含まれている場合があります。
- ●付録が含まれない場合があります。
- ●一部ページのサイズが紙の雑誌と異なる場合があります。

以上をご理解いただき、お楽しみください。

株式会社徳間書店
アニメージュ編集部

アニメージュ
Animage




3年Z組銀八先生
©空知英秋・大崎知仁／集英社・「3年Z組銀八先生」製作委員会
Illustrated by Kaori Endo
Finished by Erika Hotsumi
Painted check by Yoko Suzuki
Special effect by Akiko Yamakawa




演劇
『ライチ☆光クラブ』
2025
© 古屋兎丸／ライチ☆光クラブ プロジェクト 2025


花は咲く、修羅の如く
© 武田綾乃・むっしゅ／集英社・すもも が丘高校放送部
Illustrated by Yuichi Hinada（AtoriE）
Painted by Tomoe Oku
Finished by Mei Yoshizaki（Graphinica）






BanG Dream! Ave Mujica
©BanG Dream! Project
Illustrated by MUGENUP


美男高校
地球防衛部
ETERNAL LOVE!
© 馬谷くらり／黒玉湯振興会
Illustrated by Wakana Imura
Supervised by Tomoko Miyakawa
Color coordinated by Kaori Nakahira
Painted by Takayuki Yokose & Yuka Aoki
Special effect by Naoyuki Fukuta



2025年新春特別企画

あなたが選ぶ今月のベスト10キャラスペシャル

おめでとうBEST100

新春お楽しみ企画「ベスト100」。常連さんから新顔さんまでみんなの推しがそろい踏み！　毎月の「キャラクターベスト10」は2票制になってます。今年も推しキャラへの投票をぜひお待ちしてます！


34位 夏油 傑 24票
呪術廻戦 渋谷事変


35位 田沼 要 19票
夏目友人帳


25位 鈴風つむぎ 29票
ひみつのアイプリ


20位 星川みつき 35票
ひみつのアイプリ


12位 五条 悟 45票
呪術廻戦 渋谷事変


6位 江戸川コナン 74票
名探偵コナン


1位 キュアニャミー（猫屋敷ユキ） 134票
わんだふるぷりきゅあ！


36位 マルシル 17票
ダンジョン飯


25位 夏目貴志 29票
夏目友人帳


21位 早乙女乱馬（らんま） 34票
らんま 1/2


14位 イサミ・アオ 43票
勇気爆発バーンブレイバーン


7位 キュアフレンディ（犬飼いろは） 59票
わんだふるぷりきゅあ！


2位 キュアワンダフル（犬飼こむぎ） 109票
わんだふるぷりきゅあ！


37位 MEMちょ 16票
【推しの子】


29位 アクア 28票
【推しの子】


22位 水木 32票
鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎


15位 鹿野千夏 41票
アオのハコ


8位 モモ（綾瀬 桃） 58票
ダンダダン


3位 ニャンコ先生・斑 99票
夏目友人帳


38位 鴨乃橋ロン 15票
鴨乃橋ロンの禁断推理


29位 黒川あかね 28票
【推しの子】


23位 鹿乃子のこ 31票
しかのこのこのここしたんたん


16位 鬼太郎の父 40票
鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎


9位 ルイス・スミス 56票
勇気爆発バーンブレイバーン


38位 冨岡義勇 15票
鬼滅の刃


31位 キン肉マン 27票
キン肉マン 完璧超人始祖編


24位 兎山 悟 30票
わんだふるぷりきゅあ！


16位 灰原 哀 40票
名探偵コナン


10位 ターボババア 52票
ダンダダン


4位 キュアリリアン（猫屋敷まゆ） 89票
わんだふるぷりきゅあ！


38位 兎山大福 15票
わんだふるぷりきゅあ！


32位 ルビー 26票
【推しの子】


25位 猪股大喜 29票
アオのハコ


18位 孫悟空 39票
ドラゴンボール DAIMA


11位 アーニャ・フォージャー 51票
SPY × FAMILY


38位 服部平次 15票
名探偵コナン


33位 青空ひまり 25票
ひみつのアイプリ

25位 坂田銀時 29票
銀魂


19位 北条時行 38票
逃げ上手の若君


12位 有馬かな 45票
【推しの子】


5位 オカルン（高倉 健） 82票
ダンダダン

順位	キャラクター	票数	作品
79位	爆豪勝己	4票	僕のヒーローアカデミア
79位	アイ	4票	【推しの子】
64位	ヨル・フォージャー	6票	SPY × FAMILY
64位	キャプテンピカチュウ	6票	ポケットモンスター
53位	ぷにる	8票	ぷにるはかわいいスライム
48位	馬車芽めめ	10票	しかのこのこのここしたんたん
38位	猫猫		薬屋のひとりごと
79位	緋村剣心	4票	るろうに剣心 ─明治剣客浪漫譚─
79位	潔 世一	4票	ブルーロック
73位	伊地知虹夏	5票	ぼっち・ざ・ろっく!
64位	キラ・ヤマト	6票	機動戦士ガンダムSEED FREEDOM
53位	ベル・クラネル	8票	ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか
48位	マキマ	10票	チェンソーマン
38位	ラクス・クラ		機動戦士ガンダムSEED FREE
79位	フェルン	4票	葬送のフリーレン
79位	糸師 凛	4票	ブルーロック
73位	神宮寺琉実	5票	恋は双子で割り切れない
64位	千切豹馬	6票	ブルーロック
53位	ロイド・フォージャー	8票	SPY × FAMILY
52位	虎視虎子	9票	しかのこのこのここしたんたん
44位	我妻善逸		鬼滅の刃
79位	フリーレン	4票	葬送のフリーレン
79位	鬼太郎	4票	鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎
73位	猫山田根子	5票	しかのこのこのここしたんたん
64位	文蔵	6票	ラーメン赤猫
53位	ロロノア・ゾロ	8票	ONE PIECE
53位	薬売り	8票	劇場版モノノ怪
45位	トニートニ チョッパー		ONE PIECE
79位	真実夜チィ	4票	ひみつのアイプリ
79位	釘崎野薔薇	4票	呪術廻戦 渋谷事変
73位	ホークス	5票	僕のヒーローアカデミア
64位	ホロ	6票	狼と香辛料 MERCHANT MEETS THE WISE WOLF
62位	亜也子	7票	逃げ上手の若君
53位	後藤ひとり	8票	ぼっち・ざ・ろっく!
46位	八奈見杏		負けヒロインが多すぎる
79位	ラム	4票	うる星やつら
79位	高杉晋助	4票	銀魂
73位	山田リョウ	5票	ぼっち・ざ・ろっく!
64位	御影玲王	6票	ブルーロック
62位	クリシュナ	7票	ラーメン赤猫
53位	中原中也	8票	文豪ストレイドッグス
47位	ナミ		ONE PIECE
79位	リムル=テンペスト	4票	転生したらスライムだった件
79位	千早瞬平	4票	忘却バッテリー
73位	夜桜七悪	5票	夜桜さんちの大作戦
64位	緑谷出久	6票	僕のヒーローアカデミア
64位	黄前久美子	6票	響け!ユーフォニアム3
53位	凪 誠士郎	8票	ブルーロック
48位	キリト(桐ヶ谷		ソードアート・オンライ
53位	七海建人	8票	呪術廻戦 渋谷事変
48位	サンジ		ONE PIECE

おことわり◆93位以下は同順位のキャラクター多数のため割愛します。

本誌アンケートはがきQ2欄に、好きなキャラクターを作品名とともにフルネームで【2名】書き、切手を貼って投票してください。
2月21日必着。ご記入の個人情報は集計目的以外での利用はいたしません。※2名とも同じ名前の場合は1票とします。
★投票ハガキはお一人1枚で(公平性確保のため同一人物による複数投票は無効とします)

アニメージュ

Animage

TVアニメ『魔法使いの約束』
アクリルスタンド

アニメ第1話から美しく登場したシャイロック。
カトレアにも負けない
艶やかな微笑みをあなたのそばに。

2000円
送料・消費税・事務手数料込み

応募締切日 当日消印有効
2025年2月28日(金)
商品は2025年5月下旬発送予定

※発送予定は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※締切日を過ぎますと、処理の都合上応募を受け付けることができません。その場合、お客様には事務手数料を差し引いた上、ご返金させていただきます。
※お客様都合によるご注文後のキャンセルは一切お受けしておりません。
※監修中のため、デザイン・仕様は変更になる可能性があります。

\ ほぼ原寸大! /



本体：約145mm×約100mm
台座：約102mm×約32mm
アニメージュ2025年2月号イラスト
©coly/アニメまほやく製作委員会

応募方法

1. 162ページの左に付いている専用の「払込取扱票」(コピー不可)を切り取って、黒色のボールペンかサインペンで必要事項(住所、氏名、電話番号など)をていねいに記入してください。右側にある「振替払込請求書兼受領証」の※印がある「ご依頼人」の欄にも氏名を忘れずに記入してください。
2. 必要事項を全て記入した「払込取扱票」と代金を用意し、郵便局の窓口またはATMで手続きしてください。この際、払込手数料が別途かかりますのでご了承ください。
3. 受け付けが終わると、「振替払込請求書兼受領証」(用紙の右側)が渡されます。この用紙は、送金されたことの証明になります。商品がお手元に届くまで大切に保管してください。



- この商品は、郵便振替またはトクマショップでお申し込みされた方全員がお求めになれます。
- 郵便振替はお近くの郵便局で。窓口またはATMのお取り扱い時間をご確認の上、必ず締切日までに手続きしてください。
- 完全受注生産のため、お申し込み多数の場合、発送予定日より遅れることがあります。また、発送予定日より3ヵ月を過ぎても商品が届かない場合は、必ず問い合わせ先にご連絡ください。

注意 応募する前に必ず読んでね！

- 郵便振替は本誌綴じ込みの「払込取扱票」用紙で応募してください。用紙は折ったり点線部分を切り離したりしないでください。
- 「払込取扱票」の住所・氏名は記入欄からはみ出ないように、ハッキリとした字で記入してください。記入ミス、記入もれ、省略、略字、崩し字などは商品未着の原因になりますので、ご注意ください。
- ご注文商品番号の記入ミスや金額の過不足などご注文時の過誤防止および事務処理の都合上、「払込取扱票」1枚につき1種のご注文とさせていただきます。
- ご記入いただいた個人情報は、商品発送の目的以外での利用はいたしません。
- 締切日を過ぎますと、処理の都合上応募を受け付けることができません。その場合、お客様には事務手数料を差し引いた上、ご返金させていただきます。ご了承ください。
- 金額が不足していた場合や、必要以上の金額をお支払いいただいた場合、応募が無効となることがありますのでご注意ください。
- 為替・未使用切手・現金などによる応募は受け付けられません。
- 日本国内の発送に限らせていただきます。
- 発送予定までの間に転居される場合は、必ずアニメージュ編集部あてにハガキで、旧住所・新住所・新電話番号・申し込んだ商品名・数量・払い込み日を記入し、送ってください。
- 商品は業務を委託した業者よりお届けいたします。
- 受け取り拒否、または長期不在などの場合はキャンセル扱いとさせていただきます(発送後6ヵ月以内)。
- キャンセル扱いとなったお客様には、事務手数料を差し引いた上、代金を返金させていただきます。
- 商品・特典のデザインは変更になる場合があります。
- 万一商品に破損など不良品がございましたら、アニメージュ編集部までお問い合わせください。
- 発送中のパッケージおよびケースの破損については、お取り替えできない場合があります。

トクマショップでも受付中

アニメージュやコミックリュウのオリジナル商品の通販サイト「トクマショップ」
➡https://www.tokuma-shop.com/
アニメージュ公式HPからもアクセスできます。
➡https://animageplus.jp/
※携帯電話からはうまくアクセスできない場合があります。

トクマショップ問い合わせフォームはこちら
https://ws.formzu.net/fgen/S36698681/

問い合わせ先 株式会社徳間書店 アニメージュ編集部 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア 03-5403-4341 電話受付時間：朝11時～夜6時(土日祝休)

アニメージュ
Animage

※一部の記事が掲載されていない場合があります。ご了承くださいますようお願いいたします。





Animage アニメージュ 2025 2 VOL.560

CONTENTS

20 3年Z組銀八先生
銀魂流の青春の形
プロデューサーコメント／ティザーPV徹底解説＆３年Ｚ組ファッションチェック

24 2025年 新春特集
ヘビー級のパンチ力！
01【メダリスト】 02【FARMAGIA（ファーマギア）】
03【沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる】 04【もめんたりー・リリィ】

178 レッドブルー 後ろ読み
自分の意志を押し通せ！
日陰者の反撃！／対談＝木村慧人（鈴木青葉役）×長谷川慎（岩瀬三之助役）

3 Special Pin-up ①
A-side 3年Z組銀八先生……点数はどうかな？
B-side 演劇『ライチ☆光クラブ』2025……永遠に美しく
7 Special Pin-up ②
A-side 花は咲く、修羅の如く……放送部へようこそ
B-side BanG Dream! Ave Mujica……心を隠して
11 Special Pin-up ③
A-side 劇場版 美男高校地球防衛部ETERNAL LOVE!……久しぶりにラブメイキング♥
B-side キャラクターベスト10特別編……あけましてベスト100
15 応募者全員サービス
『魔法使いの約束』アクリルスタンド
32 魔法使いの約束
さあ、行きましょう
36 BanG Dream! Ave Mujica
二人の居場所
40 花は咲く、修羅の如く
声の花がひらく
44 SAKAMOTO DAYS
相手になるぜ！
48 想星のアクエリオン Myth of Emotions
一万年と二千年と二十年前から
50 青の祓魔師 終夜篇
トラブル多発中…
52 薬屋のひとりごと
再び始まる薬屋の日常
54 全修。
描け、描くんだナツ子！
56 ババンババンバンバンパイア
銭湯から愛を込めて
58 アラフォー男の異世界通販
やっぱりカレーは正義
60 天久鷹央の推理カルテ
天才医師は名探偵！
62 ダンダダン
まだ終われねえ！
66 チ。-地球の運動について-
新しい世界へ
68 夏目友人帳 漆
変わるもの、変わらないもの
72 メカウデ
小さな一歩が結んだ未来
76 わんだふるぷりきゅあ！
みんなの笑顔で彩る世界を
78 魔法つかいプリキュア!! ～MIRAI DAYS～
キュアップ･ラパパ！ みんなに会いたい！
82 劇場版 忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師
土井先生が一緒に帰る場所
88 劇場アニメ『ベルサイユのばら』
薔薇は気高く咲いて
94 ロード・オブ・ザ・リング／ローハンの戦い
歴史に残らぬ英雄譚
98 映画『ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-』
Mic rewrites the ending
100 ハニーレモンソーダ
自分を変える勇気を
102 メイクアガール
この感情は誰のもの？
104 劇場版プロジェクトセカイ 壊れたセカイと歌えないミク
“想い”は届く！
106 劇場版 美男高校地球防衛部 ETERNAL LOVE!
愛よ、再び！
120 モエチャッカファイア
サメた視線が灯す炎
124 千銃士:Rhodoknight
もう一度貴銃士たちの輝きを
126 FIRE BOMBER
バサラの魂（うた）を創った男
128 U-TREASURE
『さくら』色に煌めくジュエリー
130 戦隊レッド 異世界で冒険者になる
スーパーヒーロー異世界に現る!!
132 爆上戦隊ブンブンジャー
バクアゲで行くぜ!!
134 仮面ライダーガヴ
その男、ヴラム
163 新連載 LAH！
第1回 世界×中島颯太

X (Twitter) @animage_tokuma
HP https://animageplus.jp/

定期購読お申込み受付中
詳細▼
fujisan.co.jp/product/85/

表紙デザイン
間中幸子（クウ）

デザイン
クウ
山川夏実
坂野弘美
谷口圭詩
山崎サチ子
フリーウェイ
柳川ユリ
東京カラーフォト・プロセス




表紙 ３年Ｚ組銀八先生
作画 遠藤 香
仕上げ 穂積恵梨香
仕上げ検査 鈴木ようこ
特効 山川明子

裏表紙 レッドブルー
撮影 能美潤一郎

付録

とじ込みリバーシブルフォトカード
『モエチャッカファイア』×『ゼンレスゾーンゼロ』

B2サイズ両面ポスター
劇場アニメ『ベルサイユのばら』／『魔法使いの約束』



19 今月のプレゼント
111 富野に訊け!! ◆富野由悠季
112 AM ☆ CRUISE MUSIC CINEMA GAME&GOODS
115 アニメイト店員雑記・今日もアニメ日和
116 バリウタの愛を知りたい!!
119 タスクのつぶやき◆畠中 祐
136 本棚の奥から◆新房昭之
138 大塚隆史＆小松田大全のハッピーアニメライフ！
～“好き”を進路にしてみたら～
143 Animage Next Recommend
『名探偵コナン 隻眼の残像』ほか
151 マイ・アニメージュ
168 Actors Animage ＋
演劇『ライチ☆光クラブ』2025
岐洲 匠 × 原嶋元久

▶今月の「ANIMATION WORLD」「コスメージュ」「この人に話を聞きたい」「設定資料 FILE」はお休みです。

Animage
アニメージュ

PRESENT

応募方法

✦プレゼントをご希望の人は、本誌とじこみアンケートはがきオモテの応募欄に欲しい賞品番号を一つ記入して2025年2月8日（当日消印有効）までにお送りください。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。応募者多数の場合は抽選いたします。アンケートはがきに記入された個人情報は、今後の企画の参考と賞品の発送に利用いたします。
✦プレゼントの賞品について、第三者への譲渡または譲渡申請（オークション出品等）を行うことを固く禁止いたします。万が一違反された場合には、当選を取り消し、プレゼントの返還や価格賠償等を請求することがございますので、ご了承ください。

1 1名 『FARMAGIA』
天﨑滉平（テン役）・土田玲央（レイ役）直筆サイン入り色紙



2 1名 TVアニメ『魔法使いの約束』
仲村水希（ムル役）・立花慎之介（シャイロック役）直筆サイン入り色紙



3 2名 『花は咲く、修羅の如く』
藤寺美徳（春山花奈役）・島袋美由利（薄頼瑞希役）・和泉風花（夏江 杏役）直筆サイン入りポラ



4 1名 『想星のアクエリオン Myth of Emotions』
AKINO from bless4・福山芳樹（主題歌アーティスト）直筆サイン入り色紙



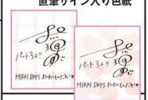
5 3名 『天久鷹央の推理カルテ』
佐倉綾音（天久鷹央役）・小野賢章（小鳥遊優役）直筆サイン入りポラ



6 1名 『薬屋のひとりごと』
悠木 碧（猫猫役）・大塚剛央（壬氏役）直筆サイン入りチェキ



7 2名 『魔法つかいプリキュア!! ～MIRAI DAYS～』
北川理恵（OP歌手）直筆サイン入り色紙



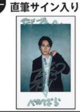
8 1名 劇場アニメ『ベルサイユのばら』
沢城みゆき（オスカル役）豊永利行（アンドレ役）・直筆サイン入りチェキ



9 1名 平野 綾（マリー・アントワネット役）直筆サイン入りチェキ



10 1名 加藤和樹（フェルゼン役）直筆サイン入りチェキ



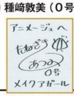
11 1名 映画『ヒプノシスマイク - Division Rap Battle -』
小林ゆう（東方天乙統女役）直筆サイン入り色紙



12 1名 メイクアガール
直筆サイン入り色紙
安田現象（原作・脚本・監督）



13 1名 種﨑敦美（0号役）



14 2名 『仮面ライダーガヴ』
庄司浩平（ラーゲ9役）直筆サイン入りチェキ



15 2名 新連載「LAH！」
世界（FANTASTICS）・中島颯太（FANTASTICS）直筆サイン入りポラ



16 3名 演劇『ライチ☆光クラブ』2025
岐洲 匠（タミヤ役）・原嶋元久（ダフ役）直筆サイン入りチェキ



17 2名 『レッドブルー』
木村慧人（鈴木青葉役）・長谷川慎（岩瀬三之助役）直筆サイン入りポラ



18 3名 映画『野生の島のロズ』オリジナルノート＆鉛筆セット
［提供：東宝東和、ギャガ］



19 1名 Nintendo Switch用ソフト『UNDER DEFEAT（アンダーディフィート）』
［提供：シティコネクション］



20 1名 TVアニメ「妖怪学校の先生はじめました！」Blu-ray 第1巻【通常版】
［提供：フロンティアワークス］



21 1名 「きらりん☆レボリューション」アニバーサリーBD-BOX 3 ～MilkyWay～
［提供：フロンティアワークス］



22 1名 あんさんぶるスターズ！！追憶セレクション＜『エレメント』『クロスロード』『チェックメイト』＞
［提供：フロンティアワークス］



23 1名 Astro Dive First Message -LMLMM×××♡-
［提供：フロンティアワークス］



24 1名 バトルスピリッツ メガデッキ 豪炎の創世主【SD69】
［提供：バンダイカード事業部］



※プレゼントは1セット

25 3名 バトルスピリッツ 契約編：真 第4章 神王の帰還【BS71】
［提供：バンダイカード事業部］



※プレゼントは3パック

26 3名 デジモンカードゲーム ブースターパック OVER THE X【BT-20】
［提供：バンダイカード事業部］



※プレゼントは3パック

27 3名 UNION ARENA ブースターパック 2.5次元の誘惑【UA33BT】
［提供：バンダイカード事業部］



※プレゼントは3パック

28 2名 デジモンカードゲーム オフィシャルカードスリーブ2025 Ver.1.0
［提供：バンダイカード事業部］



※プレゼントは1セット

29 3名 WIND BREAKER ダイカットステッカーセット（パック）
［提供：バンダイカード事業部］



※プレゼントは3パック

30 3名 2.5次元の誘惑 クリアカードコレクション（パック）
［提供：バンダイカード事業部］



※プレゼントは3パック

31 3名 ONE PIECEカード エクストラブースター Anime25th collection【EB-02】
［提供：バンダイカード事業部］



※プレゼントは3パック

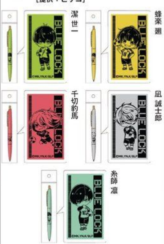
32 2名 hololive CITY'24 ダイカットステッカーセット Vol.1（パック）
［提供：バンダイカード事業部］



※プレゼントは3パック

33 2名 TVアニメ『ブルーロック』ボールペン
［提供：ヒサゴ］

潔 世一 / 蜂楽 廻 / 千切豹馬 / 凪 誠士郎 / 糸師 凛



※ボールペン（黒）5本セット

34 2名 TVスペシャルアニメ『五等分の花嫁∽』マイルドライナー
［提供：ヒサゴ］

一花（マイルドレモンイエロー） / 二乃（マイルドバイオレット） / 三玖（マイルドシアン） / 四葉（マイルドグリーン） / 五月（マイルドレッド）



※カラー5本セット

35 2名 『コジコジ』エナージェル エス
［提供：ヒサゴ］

コジコジと次郎 / ビューン



※ボールペン（黒）2本セット

3年Z組銀八先生

✿10月より✿テレ東系列にて放送
HP✿https://anime-gintama.com/ginpachi/

STAFF✿原作／空知英秋（集英社）　著者／大崎知仁（集英社 JUMP j BOOKS 刊）　総監督／森脇真琴　監督／東田夏実　シリーズ構成／筆安一幸、未定 Mark II　キャラクターデザイン・総作画監督／竹内進二　音楽／ Audio Highs　制作／ BN Pictures
CAST✿坂田銀八／杉田智和　志村新八／阪口大助　神楽／釘宮理恵　志村 妙／ゆきのさつき　近藤 勲／千葉進歩　土方十四郎／中井和哉　沖田総悟／鈴村健一　山崎 退／太田哲治　猿飛あやめ／小林ゆう　桂小太郎／石田 彰　高杉晋助／子安武人　神威／日野 聡



3年Z組には、普通の高校生なら
まず出会うことのない個性的な生徒が集う。
その担任を務めるのが、普段から
全くやる気が感じられない無気力教師・坂田銀八。
だらしない風貌だが、本当は熱い(?)
銀八先生と生徒との波乱万丈な学園生活を、
一足先に覗いてみよう！

坂田銀八
GINPACHI SAKATA

銀魂高校３年Ｚ組担任教師。だらしない白衣と死んだ魚のような目がトレードマークという風貌だが、何となく頼れる男？

志村新八
SHINPACHI SHIMURA

３年Ｚ組の生徒。マジメだがドルオタで、個性派揃いのクラスメイトたちをただひたすらにツッコミ続ける損な役回り

Illustrated by Kaori Endo
Finished by Erika Hotsumi
Painted check by Yoko Suzuki
Special effect by Akiko Yamakawa

青春の形

銀魂流の

2025年で楽しみなこと、いろいろあるけど――やっぱ一番はコレだよね？　TVアニメ『3年Z組銀八先生』ですよ！　いやいや、いうても放送スタートは10月予定だし、気が早すぎね？というツッコミが聞こえてきたけど、でもしょうがないじゃない！　今年一番の楽しみなんだから、年始めからしっかりチェック&マークしたいじゃない!!

そもそもTVアニメ『3年Z組銀八先生』って何？　というアナタに説明すると、人気漫画「銀魂」番外編「銀魂―3年Z組銀八先生」のスピンオフ小説をベースとした、通称銀魂まるちばーすアニメだ。『銀魂』から飛び出した強烈なキャラたちが高校生として「銀魂高校」に集い、担任教師・坂田銀八とともに大暴れする銀魂流学園ストーリーで、『銀魂』でお馴染みのメンバーが、いつもとは違う舞台で魅力を炸裂させてくれます。

原作小説の味わいも活かしつつ、アニメ独自のアレンジも効いているらしいので、期待はさらに膨らみまくり。まだ1月はじまったばかりだけど……ほら、もう10月が待ち遠しくなってきた!!



神楽
KAGURA

見た目はかわいい留学生だが、異常な食欲でいつも朝から早弁を敢行。クラスメイトのキャサリンと闘争を繰り広げる

BNP プロデューサー **樋口弘光**

しっかり制作は進んでいますよ！

銀魂20周年記念企画『3年Z組銀八先生』アニメ化初報からだいぶお待たせしちゃってます！　安心してください、しっかり制作は進んでいますよ（笑）。20周年企画をいろいろ考えたところ、新作映像を観たい、作りたいと思って、満を持しての今作となりました。『銀魂』同様ギャグと人情、アクションをあんなキャラやこんなキャラ豪華総出演でお届けできたらと思いますので、アニメ『銀魂』で予習復習するのも良し、もうちょっとだけお待ちください。どうぞお楽しみに！









嵐を呼ぶ男？

思春期真っ只、しかも問題児が揃った生徒たちに、独自のスタイルで対峙する銀八先生。そこで描かれる独自の青春の形とは？





校長が絶対

人間離れしたルックスが気になるハタ校長と、教頭のじい。時には銀八先生に無理難題をふっかけることも？

個性的すぎる 3年Z組!!

銀魂高校・3年Z組では、とても高校生には見えない強烈な生徒たちが、日々大暴れ！ そんな彼らの日常をチラ見せしちゃいます☆







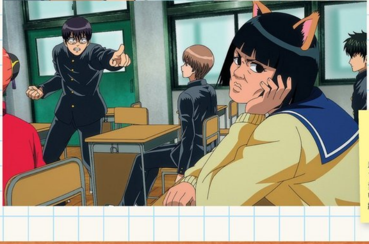


クラスで唯一の優等生！

超絶個性派かつそれぞれに過激なクラスメイトばかりだからこそ、没個性な優等生が逆に映えるのか？ 新八の存在は3年Z組の鍵！









留学生

クセの強い留学生としてクラス内でも強い存在感を放つ神楽。ゲロイン的立ち位置も健在のようで、新八からのツッコミも炸裂！

こう見えて教師

見た目のだらしなさもダルそうなしゃべり方も、およそ教師とは思えない銀八先生。だが、そんな男だからこそ強烈な生徒たちを束ねられる？

ツッコミはお家芸

新八といえばのメガネとツッコミは、たとえ舞台が変わっても決して変わらない永遠の原則！ もはや熟練のツッコミ芸に期待だ。



青春の舞台～銀魂高校



【全景】
こちらが舞台となる銀魂高校。校舎に体育館、プール、校庭にはバックネットとサッカーゴール、部室棟や駐輪場などもある。



【校門】学校を正門から見たところ。校章が見える。真正面にハタ校長の像が立っていて、しかも金色に輝いているのが不気味さを漂わせる。





【3年Z組教室】
黒板の上に燦然と輝く「糖分」の額。掲示された習字の題材も「糖分」だが、ひとりだけ「マヨ」。誰が書いたかは想像に難くない。

アニメ銀魂と銀八先生

というわけで放送開始が待ち遠しい『3年Z組銀八先生』だけど……実はすでにたっぷりアニメ化されていることは、ファンのみなさんならご存じのはず！

そもそもTVアニメ『銀魂』の出発点だったジャンプアニメツアー2005で公開された「銀魂～何事も最初が肝心なので多少背伸びするくらいが丁度良い～」でも『銀八先生』コーナーがあった。アニメ『銀魂』でもオマケコーナーとしてたびたび『銀八先生』が登場、TVを観ていて「3ね～んZぐみ～」と銀さんの気だるい声がきこえてくると、「お、今週はオマケありか！」とお得な気分になったものです。

アニメ『銀魂』を締め括った映画『銀魂 THE FINAL』もEDは『銀八先生』。さらに、今回のアニメ化が初めて発表されたのも、イベント「銀魂後祭り2023（仮）」の終演後に流れた『銀八先生』映像でした。

つまり、『銀八先生』とアニメ『銀魂』は切っても切れない関係なのかもしれない！





3年Z組ファッションチェック！



坂田銀八
白衣にメガネで教師感を表現。ルーズなネクタイで、お洒落感とグダグダ感も醸し出す

志村新八
詰め襟制服をアレンジなく着用。真面目さと平凡さを兼ね備えた量産型メガネ高校生だ

神楽
セーラー服とジャージを組み合わせた着こなしにぐるぐるメガネで個性派ヒロインを演出



土方十四郎
シンプルな着こなしだが詰め襟&第一ボタン解放で「優等生じゃないぜ」感をアピール？

近藤 勲
実は風紀委員なので、制服の着こなしは正統派。しかし、ガタイの良さが目立つ

沖田総悟
前ボタン全開の着こなしで、胸元にのぞくTシャツの柄は己の象徴である「S」



桂 小太郎
生真面目な佇まいだが高校生らしからぬロングヘアで、アンバランスな個性を感じさせる

長谷川泰三
グラサンと首元からのぞく素肌が、セクシーさ以上に貧乏臭さを感じさせるのはなぜか？

高杉晋助
白い眼帯と赤い開襟シャツが野性的な魅力を強調。スニーカーのデザインもちょいお洒落

神威
深緑の長ランと太目のズボンは正統派ヤンキーの象徴？ 裏地の虎柄もこだわりポイントだ

・2025年＊新春特集・

粘着質で負けず嫌いな性格と言われる巳年生まれ。今年誕生する作品には、作り手たちのしつこいこだわりが込められているはず？ 面白さヘビー級のアニメたちはこれだ!!

ヘビー級のパンチ力！

小学5年生の結束いのりが、金メダリストを目指してフィギュアスケートに情熱を傾ける姿を描く『メダリスト』。登場するスケーターは、小学生のクラスであるノービスの選手が中心だ。とはいえ、幼少期から練習を積んできた上級者だらけのその中で、ビギナーのいのりがどう勝ち上がっていくのかが本作の見どころになる。

半ば勢いでいのりのコーチを買って出た明浦路司も、指導者としてはビギナー。彼自身もスケートを始めた時期が遅く、志半ばのままに終わった過去を持つ。そんな司がいのりと一緒に成長していくという、W主人公的な作りでもある。根底は熱くてヘビーなスポーツドラマだが、いのりや司のギャグタッチなやりとりが明るさを添え、ワクワク感のある作品だ。

第1話は二人の運命的な出会いと、いのりが自分の意志で一歩を踏み出すまでが描かれた。本格的にフィギュアへの道を進むいのりと、彼女を支える司には、これからどんなドラマが待っているのか？



・CGによるリアルな演技・

見せ場となるのはやはりスケートのシーン。振付は鈴木明子さんによるアニメオリジナルだ。スケーティングのアニメーションは基本的にCGでモーションキャプチャを使用。質感は作画に合わせており、作画による練習シーンとの差異を感じさせないのはお見事。

新春パンチ！

けるに執念！

いのりが思いを絞り出した第1話 ［監督］山本靖貴

――原作漫画を読んでの感想は？

山本 ここまでストレートな熱血スポーツものは、最近少なかった気がして、とても新鮮でした。それと、すごくキャラクターへの愛情にあふれた作品だなとも思いましたね。アニメにする上で一番どうしようかと思ったのは、やっぱりフィギュアスケートの描写です。単純にリアルに見せればいいというものでもないし、専門的な題材を映像としてどう描いていくかは最初に考えました。

――フィギュアの演技シーンはCGアニメで作られていますよね。

山本 はい、顔のアップなどは作画も併用しています。実際に一通りの演技をやってもらい、モーションキャプチャしてCGを作成した上で、シーンに必要なカット割りやアングルなどを考えて構築しています。

――主人公はいのりですが、コーチの司とW主人公のようなところがあります。

山本 そう、二人が一緒に成長していく物語なんですよね。いのりはまだ小学生ですけど、司はいのりを、一個人として尊重しており、必要以上に子ども扱いしないんです。原作で緻密に描かれているので、アニメでも大事に作っていきたいです。

――一方でコミカルなシーンも多いですよね。普段おとなしいいのりも、ものすごいギャグ顔になったりして。

Supervised by Chinatsu Kameyama
Illustrated by Yuki Tamori, Noa Fukuda
Finished by T.D.I.

メダリスト

◆毎週土曜日◆深夜1時30分◆テレビ朝日系“NUMAnimation”ほか
HP◆https://medalist-pr.com/
X（Twitter）◆@medalist_PR



新春パンチ！

・ライバルは超絶上級者？・

ライバルとなるのは、第1話アバンで流麗な演技を見せたノービスクラスの選手の狼嵜光。いのりと同い年の天才少女だ。完全ビギナーのいのりが、TV番組で特集もされるほどの上級者の光と、一体どうやって出会い、関係を育んでいくのか。第2話に乞うご期待！

明浦路司

アイスダンスの選手だったが、現在はフリーターでギリギリの生活を送っていた。コーチ職の誘いを受け、いのりを指導していく

Tsukasa Akeuraji

結束いのり

一見内気だが、フィギュアスケートへの強烈な憧れを秘めており、独学で練習していた。スケートに対する情熱と意欲が強い武器に

Inori Yuitsuka

ヘビに負けないあきらめの悪さ！

いのりは、内向的で意志表示が苦手な性格だが、スケートリンク受付スタッフの瀬古間の好意もあって、こっそりスケートの練習を続けてきた。第1話はフィギュアへの熱意を母親に懸命に告げるのが見せ場だが、そのあきらめない強さ、リンクへの執念こそがいのりの真価だ。

リンクに賭

★山本監督のお話は次号に続きます。お楽しみに！

山本　そこも原作の魅力ですよね。基本は熱い展開が多いのですが、時折壁にぶつかったりするシリアスなシーンもあります。そんな時もドタバタな楽しいギャグシーンでバランスをとることにより、いのりのかわいらしさが増していると思います。そうしたシリアスとギャグのバリエーションは、アニメでも工夫しています。

――放送されたばかりの第1話は、映像のテンポ感やカットワークなどが、実写ドラマのような印象を受けました。

山本　そこは僕の好みの部分も出ているとは思います（笑）。ただ今回は、題材自体がとてもリアル寄りなので、嘘がないように描かないといけないと思っています。「現実にこんな感じなのかもな」というのが、観ている人に伝わるように。

――いのりが手すりを滑り降りていくシーンも、アクロバティックな動きをきっちり追っていく作りでしたよね。

山本　原作で最初のつかみとして、司との追いかけっこを楽しく描いていますからね。アニメでも、第1話はスケートシーンもあまりないし、アニメーションとしての頑張りどころはここだろうなと。ハラハラ感をより出せるように動かしました。

――また第1話では、いのりが母親の前でスケートをやりたいと意志表示するシーンでの、過呼吸気味な芝居が圧巻でした。

山本　第1話は自分が絵コンテ・演出をやりましたが、やはりこの訴えるシーンが肝ですよね。ここが盛り上がるように組み立てていきました。総作画監督の亀山千夏さんも表情に気を配って、力を入れてくださいました。亀山さんの原作の理解度には助けられていますね。画はもちろんのこと、いのり役の春瀬なつみさんの声の演技もとても重要で。いのりがどういう思いで言葉を絞り出したのかを意識して、アフレコでは何度もトライしていただきました。

――物語の舞台は名古屋ですが、ロケハンも？

山本　はい、しました。実は自分の地元だったりもするんです。ロケハンのたびに実家に寄っていたので「よく帰ってくるね」なんて言われたり（笑）。いのりが練習に使っているリンクも、ロケハンしてCGで忠実に再現しています。この作品は、3DCGで忠実に再現している美術設定が結構多くて、レイアウトも3Dを使っていたりするんです。自分の演出話数では、レイアウトチェックをする時に、1カット単位でカメラ位置を細かく調整しているので、より実写っぽくなったのかもしれません。

ずって行こう！

真島ヒロさんがキャラクター&モンスターデザインを担当したコンシューマーゲームが1月からアニメ化！　舞台である魔界・フェリシダは、人間に似た姿を持つ魔界人と、多種多様なモンスターが共生し、文明を築き上げている世界だ。

中でもモンスターを育成・使役できる者は「ファーマギア」と呼ばれ、魔界で重要な役割を担っている。アウリオン大陸に住む少年・テンもその一人。各大陸を治める領主・竜顎六柱将を目指してモンスターを育てていた。しかし、魔王の死によって平穏な生活が一変。新たな魔王・グラーザによる、優れた者が支配する社会を実現するため、テンたちのアウリオン大陸へ攻撃をしかけるところから物語は始まる。

本作の最大の特徴は、ファーマギアとモンスター、そして仲間たちとの絆の強さだ。モンスターは、物語が進むにつれ、テンをはじめとしたファーマギアたちと固い絆で結ばれていく。これからテンは、クラーザの支配に抗うべく、幼なじみのレイやアルシェ、チーカとともに旅に出る。心強い仲間とモンスターが一緒なら、どんなヘビー級の困難にも立ち向かっていけるはず！





FARMAGIA（ファーマギア）

◆1月10日から放送開始◆毎週金曜日◆夜10時30分◆TOKYO MXほか
HP◆https://anime-farmagia.marv.jp/　X(Twitter)◆@FARMAGIA_PR

STAFF■原作／FARMAGIA(マーベラス)　キャラクター原案／真島ヒロ　総監督／石平信司　監督／佐野聡彦　シリーズ構成／根元歳三　キャラクターデザイン／飯泉俊臣　音楽／睦月周平　アニメーション制作／ブリッジ

CAST■テン／天﨑滉平　ルクロ／種﨑敦美　レイ／土田玲央　アルシェ／佐倉綾音　チーカ／水瀬いのり　イメロ／下野 紘　アンザー／佐藤拓也　デントロ／千葉 繁　ナーレス／小松未可子　グラーザ／中尾隆聖　マナス／内山昂輝　コルプス／稲田 徹　ロレーユ／大原さやか　リサーン／日笠陽子　ディルクロム／津田健次郎　エーダ／手塚ヒロミチ　ビーザ／石狩勇気

毎話の濃密さにパンチ力あり!?　［テン役］天﨑滉平×［レイ役］土田玲央

――本作の印象をお聞かせください。

天﨑　ファンタジー世界が舞台の作品でありながら、農業という要素がメインになっているところが面白いなと感じました。それに、ゲームもアニメも、どの世代にも分かりやすい導入になっているので、どちらから触れていただいても楽しめる作品なんじゃないかな。

土田　そうだね。オーディションを受けたときに台本やキャラクター設定を見て、まず面白いなってなりました。また、キャラクター原案に真島ヒロ先生、アニメの総監督が『FAIRY TAIL』や『EDENS ZERO』の監督を務めていた石平信司さんなので、きっとそれらの作品のファンの方にも刺さる気がする。

天﨑　知っているとニヤニヤしてしまうポイントが、たくさんありますもんね。

――出演が決まったときのお気持ちはいかがでしたか？

土田　すごく嬉しかったです。スタッフさんがレイ役を決めるときの最後の一押しになったのが、僕の名前が玲央だからなんだとか（笑）。なので、名前の中に〝レイ〟があってよかった～と思いましたね。

天﨑　えぇ、まさか!?（笑）　僕もオーディションを受けてテン役に決まったけど、天﨑の天という字がテンとも読めるから決まったのか……？　そう考えると、他のキャストも実は名前にあやかった？

土田　だったりして（笑）。

――デビュー年が同じお二人は、今回初めてレギュラー作品で共演することになりました。

天﨑　同じゲームやアニメに出演していることはあっても、こうしてがっつり掛け合うこともなかったね。玲央くんは空気づくりが上手な役者なので、共演できて嬉しいし、心強いと感じています。それに、レイはテンと違って、いろいろな表情を見せてくれるキャラクターだから、そのどれも丁寧に汲み取らなければいけないと思うんです。実際に収録を聴いていて、玲央くんからしか出ないレイの味が出ていたので、「やっぱり上手いな～」と思っています。

土田　嬉しい～、ありがとうございます。

天﨑　さぁ、僕の印象は？

土田　まず、テン役があまちゃんだと聞いて、ぴったりだなと。収録が始まる前から、あまちゃんのテンが頭に浮かびましたが、想像以上のお芝居を見せてくれて。あぁ、さすがだなって。

天﨑　やった。ありがとうございます！

――テン、レイを演じるときに大切にしていることを教えてください。

天﨑　テンは一度目標が決まってしまえば、達成するまで我が道を突き進んでしまうタイプです。アフレコが始まったばかりのころは、テンの、いい意味でも悪い意味でも人の話に影響されないところを意識していました。僕はわりと相手がどう考えているのか、どう見られているのかを気にしてしまうタイプなんですよね。だからこそ、テンの真っすぐすぎる性格を無意識に強調していたみたいで、スタッフさんから「もっと自然な会話になるよう、シンプルに演じてみて」とディレクションをいただきました。それからは、テンが周りを見た上でスルーしたり、突っ走っている感じを出すようになりました。

土田　レイを演じるときは、ちゃんと周りに気を配る冷静さを大切にしています。ただ、テンと一緒にふざけることもあるし、二人は真逆の性格ってわけでもないんです。だから僕も、自然なリアクションで演じるようにしています。

――天﨑さんから見たレイ、土田さんから見たテンの素敵だと思う部分は？

天﨑　レイは、テンが見えていないところを見つけて、フォローしてくれます。もし現実世界にレイがいたら、僕もすごく助けられるだろうな。そしたら、たくさん頭をなでてあげよう。

ヘビー級のパンチ力！

這い



テン
デントロ孤児院出身のファーマギア。いつも明るく前向きな性格で、悩むより先に行動してしまうことが多く、レイに注意されている
Ten



レイ
テンのことを「ゼロテン野郎」と呼ぶ、親友兼ライバル。戦闘時は、周囲の状況を注意深く観察し、冷静な判断を下すことができる
Leii







ルクロ
テンの良き理解者で相棒。テンが戦うときはサポートを、普段は孤児院のみんなと育てているモンスター畑の管理している
Lookie-Loo

ヘビに負けないしぶとさ！



テンは、ただの竜頭六柱将ではなく、"最強"の竜頭六柱将になることを目標にしている。そのためには強いモンスターの育成が必須で、自分の畑には水やりなどの地味で面倒な作業も毎日率先して行っている。



新春パンチ！
・種から生まれるモンスター・
ファーマギアにとって欠かせない存在であるモンスターは、なんと水や肥料を与え種から育成する。テンたちが育った孤児院にも専用の畑があり、人々の暮らしを豊かにしてくれている。ファーマギアは、モンスターと人が共生する世界を作っている！

ヘビに負けない好戦ぶり！



幼なじみのテンとレイは、仲がいいからこそ些細なことで言い合いになる。それは戦いの場でも変わらないが、共通の敵を目の前にすると、相棒モンスター以上のコンビネーションを見せる。普段はライバル関係だが、勝つためなら手を組み、何度でも挑んでいく。

ルキノス
両手に鎌のような刃を持ち、敵を斬りつけて攻撃をするレイのモンスター。戦わないときは、レイと一緒に畑の草刈りを手伝っている
Arkie



ファング
テンが強い想いを込めたことによって生まれたモンスター。鋭い牙や爪を持ち、噛みつきなどの攻撃を得意とする
Fang



土田　（笑）。僕が思うテンのいいところは、彼が発する言葉全てに裏も表もないところ。飾らない純粋さがあるからこそ、救われることもたくさんありそう。テンのような騒がしい人は、僕自身は得意ではなかったのですが、意外と相性はいいのかもしれないな。自分が日陰者だからこそ、陽の光を持つ人に惹かれるというか。

――そんな魅力が詰まったテン、レイの相棒モンスターたちの自慢ポイントを教えてください。

天﨑　テンのモンスターのファングは、パキッとしたオレンジ色の毛色とフカフカの毛並みです。アニメでも、リアルな動物のような毛並みが表現されているので、第1話から愛着を持って接していました。

――でも、テンは犬が苦手という設定があります。

天﨑　そうなんですよ～。こんなに可愛いのに、すごく怯えてしまうんです。でも、最初は苦手な相手だったのに、そこを乗り越えて相棒にまで上り詰めるって、物語としては熱い展開ですよね。テンには早く、ファングに慣れてほしいです（笑）。

――レイの相棒モンスターのルキノスはいかがですか？

土田　小回りが利くところがいいなって思います。

天﨑　もしかして、軽自動車の話してる？

土田　燃費がよくて……というのは冗談ですが（笑）、ルキノスは冷静なので、レイと似た者同士で相性がいいモンスターだなって思います。

天﨑　戦いの最中、レイが「ルキノス！」って呼ぶところが好きなんだよね。聴いていてすごく気持ちがよくて、僕がルキノスだったら「よっしゃ、行くぞ！」ってなれるの。

土田　ほんと？　嬉しいなぁ。僕もテンがファングを呼んでいるとき、そう感じました、と書いておいてください（笑）。

――（笑）。テンたちとともに旅するメンバーの印象はいかがですか？

天﨑　ルクロは、種﨑（敦美）さんのお芝居も相まって可愛い。

土田　分かる～。

天﨑　ただ、ルクロってそもそも何なんだい？　っていう疑問はあるんだけどね。

土田　たしかに。旅メンバーの中で、ルクロが一番の常識人（？）だと思うんだけど、あまちゃんはどう思う？

天﨑　そうかもしれない。ツッコミもレイよりルクロのほうが担ってくれることが多い気もするし。ツッコミ以外の活躍にも、ぜひ期待していてくださいね。可愛い繋がりだと、幼なじみのチーカも魅力的です。

土田　可愛いは可愛いけど、正体も分からない草を突然食べちゃうところが心配だなぁ。

天﨑　目を離したら、何をしでかすか分からない不安はあるね。

――今回の「ヘビー級のパンチ力！」特集にちなみ、本作のパンチのきいたところを教えてください。

土田　一話一話の濃密さかな。毎話笑いあり、涙あり、バトルありで、ぎゅっと凝縮、ドカンって感じです（笑）。

天﨑　つまり、退屈する時間がないってこと？

土田　そういうこと！

天﨑　ゲームでも膨大なストーリーが描かれますが、アニメではアニメでオリジナルの要素が入ったストーリーが展開されて、僕も濃密さにはパンチ力があると思います。

――最後に、読者に向けてメッセージをお願いします。

天﨑　テンたちの旅に、毎週ワクワクすること間違いありません。OP・EDもすごくいいです。曲が入るタイミングなど、演出面でも作品を盛り上げてくれるので、注目して観ていただけると嬉しいです。

土田　恐らく、皆さんが求めるものが、何かしら絶対に入っていると思っています。最後まで退屈させることはないと思うので、テンたちの旅を見守っていただけると幸いです。よろしくお願いします！



ヘビー級のパンチカ！

比嘉夏菜

愛称・かーなー。照秋に飛夏の言葉を通訳することもしばしば。引っ込み事案で、照秋に話しかける時にドキドキしすぎてしまうことも

Kana Higa

中村照秋

東京から沖縄に引っ越してきた。沖縄について知らないことが多く、東京との違いに驚く毎日。みんなからは「てーるー」と呼ばれている

Teruaki Nakamura

喜屋武飛夏

愛称・ひーなー。明るく元気で、面倒見のいい照秋のクラスメイト。若者のうちなーぐち離れの深刻さにショックを受けることも

Hina Kyan

ヘビに負けない粘り強さ！
スタッフもめきめき成長中

「この作品は（板垣総監督が取締役として経営に参加している）ミルパンセの社内で制作しています。アニメーター不足の時代に、外部スタッフの取り合いをするよりは、若手の力不足が画面に残らないよう、やり直しさせたり、僕が手直しする様子を見てもらってクオリティアップを目指しています。そのぶん時間はかかるんですけどね」（板垣）

沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる

◆毎週土曜日◆深夜１時◆TOKYO MXほか
HP◆https://okitsura.com/　X（Twitter）◆@okitsura

五穀豊穣の新生活

東京から沖縄へ引っ越してきた。そして、好きな子ができた。でも相手は、方言がヘビー級で!? 放送がスタートしたばかりの『沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる』は、中村照秋と、クラスメイトの喜屋武飛夏や比嘉夏菜、沖縄の人々との日々を描く作品だ。

沖縄の方言は〝うちなーぐち〟と呼ばれ、標準語とは似ても似つかない言葉も多くある。特に照秋が思いを寄せる飛夏のなまりは群を抜いており、照秋には何を言っているかわからないことが多い。好きな子から話しかけられているのに、うまく会話できないのは大問題……でも、よく夏菜が通訳をしてくれるので、かなり助かっている。

親切なのは、夏菜だけではない。この土地で暮らす人たちは、人と人との距離が近い。誰かが困っていれば手助けをするし、照秋がサーターアンダギーを食べたことがないと知れば、みんなが大量に持ってくる。それは、ここの人たちにとって当たり前のこと。きっと照秋は、見聞きするものや感じるもののすべてに驚かされるだろう。そして観ている我々に「こんな暮らしもいいな」と思わせてくれるのだ。

新春パンチ！

ほがらかな物語が郷土愛を刺激する

［総監督］板垣 伸

——『沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる』は漫画が原作ですが、アニメにする際にどのようなところを大事にしましたか？

板垣　原作を読んで「沖縄に行かなきゃ幸せになれない」ではなくて、「こういう場所で、こんな人間関係を育むっていいよね」と郷土愛を感じさせてくれるところが魅力だと思いました。アニメ化に際して、原作の空えぐみ先生になぜ沖縄に惹かれたのかを聞いたら「人と人との距離が近いところ」と言っていて。それは、僕も両親の田舎で感じたことがあるんです。僕の両親は山形の出身で、行くといろいろな人が、とにかく赤かぶを持たせてくる。

——作中でみんながサーターアンダギーを大量に持ち寄ってきたように（笑）。

板垣　そうそう。付き合いもないのに大量の赤かぶを持ってきて、方言が強くて何を言っているかわからないけれど、好意的に話し続けてくれる。建物同士は遠いのに、人同士は近いんです。アニメではそんな「感じたことがある」という普遍性を大事にしたいと思いました。たとえば印象派の絵画も、描かれている風景が海外だとしても、あの光の感じは僕たちも感じたことがある。だからこそ共感ができたりするように。

——人の温かさだったり、地方に行った際のとまどいだったり、感じたことがある人も多いですよね。

板垣　抽象的だからこそ感じられるものを、アニメで見せていくのがいいんじゃないかなと思ったんです。そこに、原作でも描かれている沖縄の魅力もしっかり出していけば、面白いんじゃないかなと。

——キャラクターも魅力的です。主人公の中村照秋が沖縄の学校に転校、そこで出会う二人のヒロイン・喜屋武飛夏と比嘉夏菜はタイプの違う愛らしさを持っています。

板垣　これは僕の想像ではあるんだけど、喜屋武さんも比嘉さんも理想のヒロインとして生まれたんじゃないかと思うんです。照秋に恋をする比嘉さんは〝こんな子に想いを寄せられたい〟。そして照秋が恋に落ちた喜屋武さんは〝こんな子を追いかけたい〟。男というものは、案外単純な感情の一つだけで好きになりがちで、だからあちこちに好きな子ができる男が多いんだろうな（笑）。というのは置いておいて、第1話の冒頭で喜屋武さんは照秋に無邪気にしゃべり続けているじゃないですか。それって、小動物の愛らしさにも近くて。だからこそ、愛でたくなるわけです。

——照秋に言葉が伝わっていないことに気づいているのかいないのか、とてもキラキラした表情で話しているのが印象的でした。

板垣　そうそう。実は最初のコンテでは、「伝わっているのかな……？」と汗を流しながら一生懸命にしゃべっていたので、全部変えたんですよ。この子はそういうんじゃなくて、自分の世界で話し続けているんだよって。これは演出陣とも共通認識として固めたところなんです。

——夏菜についてはいかがですか？

板垣　年齢相応の〝好きな人がいるだけでも盛り上がる〟感じがある子ですよね。とても乙女で、女性に共感される子だと思うんです。ちなみに比嘉さんは、想いを寄せる側だけど、都合がいい存在ではないんですよ。よくあるハーレム作品で、どこに魅力があるかわからない男になぜか恋をする女の子がいるけれど、それって女の子が品定めされているみたいで嫌じゃないですか。比嘉さんはそういう人ではないし、アニメでそう見えてしまわないようにというのは意識しているんです。これにはトラウマがあって、ずいぶん前に女の子がたくさん出てくる作品の監督をやったことがあるんですけど、その作品より前に一緒に仕事した男性プロデューサーから「（アイキャッチのカットを見て）板垣さんもこういうことするんですね。品がないです」と言われて。作っているときには気がつかなかったけれど、確かにそうだなと。すごく反省して、それからより気をつけるようにしているんですよ。アニメーターや演出がキャラクターを消費するような描き方をしたら、お説教するし（笑）。

——（笑）。照秋以外はうちなーぐち（沖縄の方言）をしゃべり続ける作品でもありますが、キャストのお芝居を聴いていかがでしたか？

板垣　今の声優さんは多才だと思いましたね。方言指導がついているとはいえ、鬼頭明里さんもファイルーズあいさんも、現場で少し調整するだけで本番にいける。それって相当すごいことですよ。鬼頭さんは役ごとに印象が違うし、雑談をしているときの声もまた全然違って驚かされるし、ファイルーズさんもなんでもできる。ファイルーズさんが空き時間に絵を描いていたんですけど、驚くほどレベルが高かったんです。あと、クッキーがうまい。

——クッキーですか？

板垣　そう。「朝焼いてきたんです」って、本人の顔写真を袋に貼ったファイルーズクッキーを持ってきてくれて。「こりゃあシュールだ」と思いながら食べてみたら、おいしかったんです。本当に芸達者ですよ、今の方々は。神様は考え直したほうがいいよね。才能をいただけなかった俺らみたいなのがいるんだから。この格差をどうにかしてほしいもんです。

——（笑）。それほどに、素晴らしいキャスト陣なのですね。

板垣　「なんで沖縄出身じゃないんだ」というファンの声もあるかもしれないけれど、そもそも、その土地の出身である必要はない気がするんです。それは今の声優さんが芸達者というのもあるし、出身じゃないからこそ客観的視点を持って演じてもらえたりもするから。それはアニメ作りも同じで、作品のファンが手がけるならば、一歩引いた人間が近くにいて、冷静に見ることが必要ですからね。

——いいバランスで作られているのですね。第2話以降も楽しみにしています。

板垣　安心して観られる作品だと思います。劇中の人間関係もそうだし、言葉がわからなくてもそれを通訳してくれる比嘉さんのような存在もいる。令和の世の中になって〝安心〟がこれまで以上に大事なテーマになっていると思うんです。喧嘩をしたり、奪い合って勝ち取ったりする作品って、気がつくとずいぶん減っています。それは視聴者の求めているものが反映された結果なんじゃないかなと。それに、最近はスマートフォンでアニメを観る方も多いですから。ちょっとした休憩時間にも観ることができる、そしてにんまりできる作品を届けられるように、制作を続けていきたいと思います。





言葉がわからない！

飛夏はうちなーぐちレベルが高いため、照秋には通じていないことも多い。そこで助けになるのが夏菜の通訳だ。「くるざーたーかむんな？」＝「黒糖食べる？」など、翻訳必須の言葉が、今後も続々登場する！





恋の矢印はここにも？

夏菜はどうやら照秋に恋をしている様子。ある日、比嘉姓が多いので、照秋は下の名前で「夏菜さん」と呼んだ。うちなーぐちで「かなさん」＝「愛してる」とは知らず……。そのときの夏菜の表情は乙女そのもの！

新春パンチ！





沖縄を感じて

照秋たちは海辺に行くことも多いようだ。澄みわたる空、エメラルドグリーンの海を眺めながらおしゃべりをするなんて、羨ましい！ そのほかにも、沖縄の文化や自然を感じられるのも、本作の魅力だ。

戦いの後は祝勝会!



最終回後に変わる第1話の印象

[河津ゆり役] 阿部菜摘子 × [霞れんげ役] 村上まなつ

――前号に続いてお話をお聞きします。ゆりとれんげ以外の印象を教えてください。まずはえりかから。

村上 えりかのことはみんな好きだと思います。だってこのビジュアルですよ?(笑) でも彼女にはひなげしという特段愛すべき存在がいるんですよね。この二人の間にはなかなか入り込めない。あと、えりかの口癖である「お姉ちゃんの知恵袋」。彼女の中でだいぶヒットしているんだろうなと思えて、かわいい(笑)。

阿部 アフレコ前は、えりかはしっかりしたキャラクターだとイメージしていましたが、実際には思った以上に抜けている子でした(笑)。私は桜木(つぐみ)さんの節回しがとても好きで。日常シーンでは柔らかさも兼ね備えた不思議な雰囲気。でも戦いとなると一転、力強く響くんです。

――続いては、ひなげしです。

村上 これぞツンデレ。えりかに世話を焼かれることを嫌がっているけど、ひなげしは絶対喜んでいるはず。でもそれを全く出さない態度なのが逆にかわいい。改めてツンデレの良さを実感しました(笑)。

阿部 彼女のセリフの中には耳なじみのあるゲームネタがたくさん入っていて、それが作品の世界観と合わさると素晴らしいマリアージュなんです! だから、視聴者が一番身近に感じられるキャラクターなんじゃないかなと思います。

――さざんかについてはいかがでしょうか?

村上 ギャルで一見抜けていそうな外見ですが、実は一番しっかりしている。彼女がいなかったら、6人はまとまらなかったかもしれません。私、久野(美咲)さんの「さーざんかだよ!」が大好きで。久野さんのおかげで、さざんかの魅力が何倍にもなっているし、あの声でギャル言葉を話すギャップが最高。

阿部 おにぎりを食べた後のさざんかが「マジヤバいし」と言うシーンも印象的でした。私は「ヤバい」=「美味しい」というニュアンス一択だと思ってしまっていたんですが、久野さんは「手がベタベタになる」から「ヤバい」という解釈でもお芝居を用意されていて、オシャレを気にしているさざんかのことを、深く理解しているんだなと。

村上 それにさざんかは語彙力がすごい。知らない四字熟語も使うんですよ。

阿部 「珍味佳肴」とか!(笑)。

――最後はあやめです。



美味しい料理は廃墟で生きる希望

［総監督・キャラクターデザイン］鈴木信吾

――本作の企画はどのようにして生まれ、どのようなテーマを軸にしたのでしょうか？

鈴木　GoHandsは創立以来、常にオリジナル企画をストックし、定期的に更新しています。今回、松竹様からオリジナル企画のお話をいただき、「世界が滅びた廃墟で、戦いの中で仲間たちと生きていき、美味しいご飯を自炊するアクション料理企画（笑）」を提案しました。さらに松竹様からのリクエスト「女性を主人公にしたストーリー」「海外展開を見据えたこだわりのアクション」も反映しています。テーマは「人は一人では生きられない。他者の力を借りて共に生きていく」ことです。同年代の友人と補完し合って成長すること。私が歳を重ねて感じるようになった、友人へ感謝の念も込めています。

――『もめんたりー・リリィ』のタイトルの由来を教えてください。

鈴木　死が隣り合わせの彼女たちを言い表す語として、「Mortal（モータル：残酷な）」「Momentary（モメンタリ：一瞬の）」が浮かびました。このエモーショナルな二語を合わせ、人名にも聞こえる「リリィ」を加えました。「命は機械とは違って有限で儚い」ことを表現しています。

――キャラクター設定、デザインはどのように作り上げたのですか？

鈴木　初めにプロトタイプとして、「リリィ」という完璧な人格を作り、その個性を5分割しました。5人が揃えば百人力になるイメージです。ちなみにリリィの原型が色濃く残っているのは、ゆりですね。デザイン面では、まず脚本の八薙玉造さんが、プロットを膨らませる形で明確に物語のビジョンを提示してくれて。私もプロットと答え合わせができ、悩むことなく深堀りすることができました。

――キャラクターの描写やディレクションで気をつけたことは何でしょうか？

鈴木　キャラクターの作りこみは、リリィを5人に分けたプロットの段階でできていました。そのうえで、脚本の初稿を読んだ時に私が感じた「キャラクター同士のやりとり」「セリフから伝わる表情」が芝居としてズレないことを意識しました。

――キャラクターの名前には、どのような意図が？

鈴木　「姓：桜の品種」「名前：花の名称」で構成しています。彼女たちは死と隣り合わせながらも、華やかに生きていく。緊迫感だけではない、ゆりたちの楽しい日常を象徴することを意識しました。

――アンドヴァリのデザインコンセプトもお聞きできればと思います。

鈴木　企画が決定した段階で、コンセプトデザイナーの岸田隆宏さんと、メカデザインの大久保宏さんに相談しました。というのも、キャラクターデザインと違って、武器や世界観を含めたコンセプトデザインは考え始めるとドツボにハマってしまうだろうなと思っていたんです。でもお二人から、楽器をモチーフにしたアンドヴァリデザインが上がってきて。ゆりたちの心の琴線を奏でるという意味合いを含めたその解釈は、シナリオを読んだ岸田さんの完全オリジナルイメージでした。私も想定しておらず、想像以上のアイデアに驚き感動しましたね。各アンドヴァリの名前は北欧神話由来です。個人的な解釈になってしまいますが、北欧神話は多くの死がつきまとう印象があって。ゆりたちの状況と近しいと感じ、北欧神話モチーフの名前を付けました。ちなみにアンドヴァリという名称も「呪われた財宝にまつわる北欧神話」から採りました。

――第2話以降の見どころと読者にメッセージをお願いします。

鈴木　人がいなくなった街で、ゆりたちが楽しく生き抜こうとする姿を通じ、友情と絆の大切さを描いている物語です。自分たちにとって、友達という存在がどれほど特別だったのかを強く認識していくことになります。彼女たちが行きつく先をぜひ見届けてください。

ヘビに負けないしなやかさ!

制作を手がけるのは、圧倒的なビジュアル表現で知られるGoHands。見どころは2Dと3Dを融合させたアニメーションが生むバトル。ヘビのように鋭く、しなやかな動きでワイルドハントを撃退するゆりたち。そのアクションが織りなす爽快感は、視聴者を惹きつける！

ゲームや読書、スキンケアなど、普通の女子高校生のような楽しい時間を過ごす河津ゆりたち。そんな彼女たちの目の前に、高層ビルほどの巨大生命体「ワイルドハント」が突如現れる。「アンドヴァリ・エクステンド」の掛け声で、手のひらサイズのアイテム「アンドヴァリ」が巨大な武器に変形。連携プレーで、見事にワイルドハントを撃退する。

第1話冒頭から、予想に反して迫力満点のアクションが描かれた本作。ワイルドハントの目的とは？　ゆりたちがアンドヴァリを扱える理由とは？　ほかに生存者はいるのかなど、まだまだ分からないことだらけだ。

さらにその後、新たなワイルドハントが2体出現し、ゆりたちの輪に加わったれんげも丸腰で後を追う。そこへ、れんげの声に呼応したアンドヴァリが飛来し、彼女はワイルドハントを一瞬で撃破するのだった……。

れんげを助けるかのように新たなアンドヴァリがやってきたのはなぜなのか。謎は深まるばかりだが、まずは勝利の祝杯と美味しい食事を堪能しよう。シリアス＆リラックス、そしてヘビーな展開から、新年早々目が離せない！



・割烹でヘビー級の体重に?・

「ゆりたちの世界は、保存食だけで生の食品がありません。それでも美味しい食事は、生きる活力を与えてくれます。それにれんげの『かっぽー』は実際に作っても美味しいです。毎話入れているので、ぜひ試してください！」（鈴木）。視聴の際は飯テロに注意!?

・戦闘時はヘビー級に変化・

普段はジュエリーのようなアンドヴァリ。「アンドヴァリ・エクステンド」の掛け声でそれぞれの武器に変形する。ゆりたちは軽々と扱っているため、見た目ほどは重くはない？　ゆりたちいわく、アンドヴァリはワイルドハント撃退時に手に入れたとのことだが……。



新春パンチ！



・牛鬼蛇神の嫌悪感・

機械仕掛けの侵略者「ワイルドハント」は、円盤に人間の身体がついたなんとも不気味な姿だ。ゆりたちによると、その声で大多数の人間が消失したという。一方で彼女たちの生活のインフラは、ワイルドハントと共に現れた小型ロボがなぜか管理してくれている。

もめんたりー・リリィ

◆毎週木曜日◆夜11時30分◆TOKYO MXほか
HP◆https://sh-anime.shochiku.co.jp/momentary-lily/
X（Twitter）◆@MML_animePR



村上　中身と外見のギャップが一番ある（笑）。「アンドヴァリ」や「ワイルドハント」など、この世界のいろいろなものの名付けは彼女なんです。その理由が明らかになる話数もあるので、楽しみにしていてほしいです。

阿部　好きなものを語る時の情熱的な一面と、普段の冷静さとのギャップも魅力です。「委員長」と呼ばれるのを嫌がっているのもかわいいんですよね。

――ゆりたちは巨大な武器アンドヴァリでワイルドハントと戦っています。お二人が使ってみたいアンドヴァリは何でしょうか？

村上　銃や弓のような、なるべく遠距離のアンドヴァリですね。ワイルドハントに近付いて勝つなんて無理。私に残された道は、スナイパーのように気付かれる前に仕留めるしかない（笑）。

阿部　私はマトリョーシカや鎧のような着用タイプが欲しいです。全方位からの攻撃を跳ね返しつつ、さらに変形もして攻撃もできる。そんな装備なら、ワイルドハントに接近して戦うことも私はためらいません。なんなら、至近距離でじっくり観察したい（笑）。

村上　近づけるなんて、強すぎる（笑）。私はオペラグラスで遠くから見るよ。

阿部　ただ、着用タイプも、弾やビーム系なら防げても、踏み潰されたら大変……。あ！　ハリネズミみたいにトゲが出ている形態ならどうだろう？

村上　まあそれなら、口の中に入っても反撃できるね（笑）。

――最後に第2話以降の見どころを教えてください！

村上　ワイルドハントがとにかく気持ち悪い（笑）。それもそのはずで、スタッフさんからは嫌悪感を抱く敵として意図して描いていると伺いました。その嫌悪感がなんか嬉しくて（笑）。今後もいろいろな形態のワイルドハントが出てくるので、ぜひ注目してください！

阿部　最終回まで観ると、第1話のゆりのモノローグの印象も大きく変わるんじゃないかと思います。ぜひ最後まで観ていただければと思います。



シャイロック
声・立花慎之介
独自の美的センスを持つ、マイペースな性格の魔法使い。西の国では魔法使い専門の酒場を経営していた。ムルとは友人のようだけど……？

とんがり帽子の魔法使い



自宅マンションのエレベーター内に突然現れた魔法使い・ムル。ムルによると、行き先は＜大いなる厄災＞によって壊れかけた世界。「この世界の真実を、あなたに見つけて欲しい」と告げ、ムルは姿を消してしまった。

世界を救う？





晶の到着を待っていたのは中央の国の魔法管理大臣を名乗るドラモンドとその部下たちだった。＜大いなる厄災＞と戦い世界を救うために来てほしいと言う彼らに困惑していると、今度は魔法使いがこちらにやってきて……？

さあ、行きましょう

ある夜、異世界に召喚された真木晶。彼女の前に現れたのは、魔法使いたちと、魔法使いを嫌う人間たちで――？

箒に乗って空を飛び、不思議な力を駆使する魔法使い。そして、魔法使いを差別する人間――家に帰るはずが、知らない世界に来てしまった真木晶。そこには、晶を「賢者様」と呼ぶ者たちが待っていた。

都合を押し付け、無理やり晶をどこかへ連れ去ろうとする人間たちにも、きっと事情はある。けれど、魔法使いたちは、自分たちのために力を貸してほしいと真剣に訴えた。切実で誠実な思いを感じた晶は、状況が把握できないままに魔法使いの元へ行くことを選んだ――その先に待ち受けるのは何なのか、不安と少しの高揚感を抱きながら。

ついに放送が始まったTVアニメ『魔法使いの約束』。第1話で魔法使いたちの手を取った晶は、これからもっと多くの魔法使いに出会うこととなる。彼らがなぜ晶を必要としたのか、何が起こっているのか。晶の目を通して、彼らの物語を感じてほしい。

魔法使いの約束

毎週月曜日 夜10時 TOKYO MXほか
HP https://sh-anime.shochiku.co.jp/mahoyaku-anime/
X（Twitter） @mahoyaku_anime

これは夢じゃない



現れた魔法使いのカインとヒースクリフの会話によると、ドラモンドは晶をさらいに来たようだ。カインたちがドラモンドとその兵を撃退する様子を見て、これは夢じゃないことに気づき始める。



笑顔の裏には……？

カインたちの助太刀に来たシャイロックとムル。「魔法使いはいい加減で、嘘つき」と言うドラモンドにシャイロックは「お黙りになって」と返す。その時のシャイロックは、笑顔。しかし、目は一切笑っていなかった。

この空間にいると感じさせてくれるアニメ

――『まほやく』待望のアニメがスタートしますね（※取材は放送前）。

仲村　やっぱり嬉しいですね。映像映えする作品だなと思っていたので、どんな仕上がりになるのかずっと妄想して、ワクワクしていたんです。

立花　満を持してようやく叶った感じですよね。きっと皆さんもだいぶ待っていたんじゃないかなと思います。原作では、賢者はプレイヤーというのもあり、声が入っていないんです。アニメで初めて声が付いて、どんなふうになるんだろうと楽しみでした。

――ストーリーは、原作準拠のようですね。

仲村　そうなんです。台本を頂戴したときに、「ゲームのまんまだ！」と驚いたんです。『まほやく』の物語のありのままを届けたいんだというスタッフさんの思いを感じて、僕も大事にお芝居をしていきたいなと思いました。



魔法で迎撃、でも?

シャイロックがパイプの煙を吐き出すと、その煙はぷかぷかと漂い、兵たちを眠らせてしまった。ごきげんな表情で倒れる兵たち。シャイロックは、自分たちを襲う者に対して、ある意味幸せな魔法をかけた。

仲村水希

ムル役

Mizuki Nakamura



なかむら・みずき／7月18日生まれ／福井県出身／ぷろだくしょんバオバブ所属／主な出演作は『映画 ドラえもん のび太と奇跡の島〜アニマルアドベンチャー〜』（ドーゴ役）、『ちはやふる3』（土屋憲一役）ほか

立花　最初にいただいたお話だと、アニメのシャイロックはポイントで出てくるキャラクターと聞いていたんですよ。でも、台本を読んでみたら毎話登場していて、ちょっとびっくりしたんです。実は、ポイントで喋るというだけで、まんべんなくその場にはいるということだったという（笑）。でも確かにシャイロックは保護者のような立ち位置でもあって、ということは、原作でもその場にいたんだよなって。

仲村　ゲームだと基本的に、セリフがある魔法使いのビジュアルだけ映し出されますもんね。

立花　そうそう。アニメになったことで、どういう立ち位置でいるのか、どんな立ち振る舞いをするのかが、改めて理解できました。

仲村　ちなみにムルも賑やかしじゃないですが、跳んだり跳ねたり、高確率で画面の中にいるんですよ（笑）。あと、魔法の演出が素敵です。これもアニメになったからこそより鮮明になった気がします。

立花　今後も魔法はよく出てくるよね。アフレコで、いっぱい吸って吐いた気がする（笑）。

仲村　シャイロックの吐く煙で、大変な目に遭う人もいたりして（笑）。

立花　そうそう。ほかの魔法使いたちの魔法も、ぜひ楽しみにしていてほしいです。

――シャイロックとムルはそれぞれどのようなキャラクターと捉えていますか?

仲村　シャイロックは、〝ありのままであること〟を愛している人だと感じますね。ムルと言い合うことはあっても、ムルの考えていることをちゃんと受け取ってくれるし、否定をしないんですよ。

立花　そうですね。仲村くんが言うように、基本的には肯定するという立ち位置で、すごく大人。もちろんシャイロックの中にも好き嫌いがあるけれど、それは相手にも言えること。だからこそ、ありのままを認めていく懐の深さがあるんだなと。ただ、そんなシャイロックが感情を表すときもあるんです。シャイロックが嫌悪を滲ませるということは、相当嫌いということなのでしょう（笑）。

仲村　そうですね（笑）。

立花　でも、それはまれなことで。魔法舎の中では、みんなの変化や成長を見守る、お母さんみたいな一面もあるなと思っています。

――演じる際に意識していることは何ですか?

立花　シャイロックは、どういう状況なのかを冷静に説明する役も担っているので、その冷静さを意識しようと。あと、アニメは動きがつくこともあって、ゲームよりも大人っぽいイメージがあるんです。なので、芝居も大人っぽくセクシー寄りな感じでやっています。

仲村　色っぽいですよね。第1話で、最初に出てきた瞬間に「わー色っぽい男が来たよ」ってニヤニヤしました。箒にまたがり空を飛ぶ姿も、眼差しの妖艶さも素敵です。

立花　佇まいや動きに、魔法使いたちの人柄が出ていますよね。あと、





あの人と同一人物?

ドラモンドが、ムルの魔法でねずみになってしまった。ドラモンドを食べるフリをしたり楽しそうなムルは、まるで猫のよう。エレベーターで会った魔法使いと同一人物のはずだけど……なんだか様子が違う?

冷静で一歩引いてみんなを見ているシャイロックが、ムルに対してだけは感情を見せたり、ちょっと皮肉を言うシーンもあるんです。ムルはほかの魔法使いとは違う関係値なので、やりとりをする際にメリハリをつけながら演じました。

――ムルについてはいかがですか?

仲村　天真爛漫で、まるで子どもが見ている世界といいますか、目に飛び込んでくるもの全部キラキラしていて、新鮮で美しく輝いている。そのすべてが、ムルの好奇心を掻き立てていて。でも、子どものような振る舞いをしているけれど、どこか欠けています。それは演じるときに意識している部分です。

立花　シャイロックから見れば、ムルは狂人じみた科学者でもあって、シャイロックにはムルを止められなかった悔しさみたいなのもあるのかなって感じます。一方で、変わらずに尊敬している部分あって、すごく複雑な思いを抱いているんだろうなって。ムルに見せる感情って、信頼しているからこそ向けられるというか……ちょっと超越している感じがある。何があっても最終的に愛しているといいますか。道を外れたとしても、突き放しはしない。もちろん怒るけれど、根底には深い愛があるんだろうなって。その愛情は恋愛とはまた違って、見返りを求めないものだと思います。

仲村　すごくわかります！

――ムルを演じるときに意識してることはありますか?

仲村　どこか欠けている部分を出していくために、自分の中にある何かしらの感情をあまり掘り起こさないように、感じないようにしていますね。それは優しさだったり、気遣いだったり、その時々で変わるんですけれど。自分の心の中にあるエッセンスをちょっと削ぐことで、ムルに寄り添えたらいいなと。たまに「仲





本心からのお願い

世界を守るための戦いで「ファウスト」という魔法使いが死にかけているという。ヒースクリフは彼を特に慕っているようで、泣きそうな顔で晶に助けを乞う。晶は、彼らの言葉に嘘はないと感じ、共に行くと決心する。

美しくて繊細な物語に触れてほしい

村さん、やり過ぎなのでこうしましょう」って言われることもあるんですが（笑）。

──ムルは跳んだり跳ねたり、アドリブも多そうです。

仲村　多かったですね。事前にVチェック（※アフレコ前に本編映像を観ること）をするのが本当に楽しかったです。逆さまになっているシーンがあったら、実際に自分が逆さまになってそういう感覚を味わってみようとか、いろいろな実験をしてから現場に行ったりもして。

──逆さまになる……？

仲村　自宅で逆立ちをするとか、足で鉄棒にぶら下がってみるとか（笑）。実際に空を飛んだり宙を跳ねたりはできないけれど、彼の経験していることや感覚をできる限り実際に体験してみたりして、得たものを演技に反映するように心がけましたね。

──この作品は魔法使いたちの言葉がとても美しいのも魅力です。第1話のラストのムルの言葉も、素敵でしたね。

仲村　「人生は旅さ！　二度と出会えない素敵なものに、あふれてる」。非常にムルらしさが詰まった台詞だなって思います。世の中辛いこと、見たくないこともいっぱいあるけれど、実は綺麗なものや愛おしいものにあふれているんですよね。もちろんネガティブなものが見えていないわけじゃないけれど、視点を変えれば、こんなにも素敵なものがあるんだと思える。本当に強くて美しい言葉だと感じました。

ムルとシャイロックとの付き合い方を模索しよう

──この二人は、そばにいると翻弄されそうな、掴みどころのなさがありますね。

仲村　僕はムルみたいな子がいたら、絶対に翻弄されまくると思うんです。シャイロックは、「君の好きなようにしてみたら」とこちらにも裁量をくれる気がしているのですが、ムルは次から次へとやりたいこと、気になることが出てきて、自由に動き回る。それが素敵で、僕も付いていきたいと思うんだけど、毎度戸惑ったりする気がして。

立花　確かに、そばにいてほしいのはシャイロックかな。自分のすべてを受け止めてサポートしてくれるのはとてもいいですよね。例えばの話をすると、ムルは王様なんですよ。そしてシャイロックってそこに仕えている腹心みたいな存在で。ムルは、自由気ままで、他人にはない発想を持ってやっていくタイプ。そこはすごく魅力的だし、僕もどちらかと言うと好奇心が強いほうなので、いろいろなことをやってみたいと思う。でも一人ではできないこともあるので、支えてくれる人としてシャイロックがいると、とても助かるし、いいなって思う。ムルは……そばには置きたくないかもしれない。

──近い感覚を持っているけれど、そばに置くのは話が違う？

立花　そうです。ムルは100m先くらいにいるのを双眼鏡で見てるくらいがいいです。

仲村　わかります（笑）。

立花　それに、ムルには「それ僕が先にやろうとしていたのに」って同族嫌悪的な気持ちを抱いてしまうかもしれない（笑）。

──シャイロックがそばにいたとして、腹心となってくれるほど信頼を得るのも難しそうです。

立花　シャイロックは大人なので、無駄な荒波を立てないためにも表面上で付き合っているところも多いんです。だから彼のような人には、嘘をつかずに真摯に自分の本音を喋ることが大事なのかなって思うんです。きっとシャイロックは嘘を見抜けちゃうから、こちらの上っ面なんてすぐ見破られてしまう。ならば、本心をさらけ出して、さらけ出せる相手は君だけだと素直に伝えたほうがよくて。きっと、ムルも意図的ではないけれど、同じタイプだと思うんです。ムルは誰に対してもあけすけにいろいろ言っているように見えるけれど、シャイロックにしか見せていない部分がありますから。

仲村　シャイロックとやっていくには、本音で真摯に向き合うのが大事なのですね。

立花　だと思うな。相手のことを探っていたら、相手にも探られてしまうわけだから。

仲村　確かに……これって、本当に大事なことですよね。どんな関係においても。

──真摯に向き合って真摯に付き合う。ハッとさせられますね。さて、これからどんどん物語が進んでいくことになりますが、お二人はどんなことをアニメに期待していますか？

立花　もしかすると原作にあたるアプリ『魔法使いの約束』を知らない方もいると思うんです。そんな方にはこのアニメを観て、ぜひ原作に触れていただけると嬉しいです。

仲村　入口になってくれると嬉しいですよね。

立花　最近は配信もあるおかげで海外にもジャパニメーションがより広がっているので、海外の方にも日本のアニメ文化と、日本人の描く魔法使いの世界を見てもらえると嬉しいなと思います。

仲村　立花さんが言うように、この作品は日本の良さが詰まった作品ですよね。『まほやく』は、文章にせよキャラクターの振る舞いにせよ、とても繊細です。洋画はすごくダイナミックで、それはそれで素晴らしくて感動するけれど、『まほやく』はそれよりも、人と人との心の機微をじっくりと見せているという感じ。そこを魅力的に感じて、より『まほやく』を知りたいと思ってくれたら嬉しいですね。





衝撃的体験

ファウストのいる場所へ、ムルは晶を箒に……ではなく、突然手を引いて共に塔から飛び降りた。落下しながら、楽しんでいるムル。カインがムルを嗜めたのもあり、無事に箒に乗れたが……ムルは本当に掴めない人だ。



儚く綺麗で、素敵なもの

空を飛んでいる最中、晶は宝石のように光る花びらに包まれた。これは世界を修復する時に現れる「花かけらの波」だという。その美しい光景に、ムルは言う。「人生は旅さ！　二度と出会えない素敵なものに、あふれてる」と。



シャイロック役
立花慎之介
Shinnosuke Tachibana

たちばな・しんのすけ／4月26日生まれ／岐阜県出身／BLACK SHIP代表取締役／主な出演作は『わんだふるぷりきゅあ！』（メエメエ役）、『ハイキュー!!』シリーズ（夜久衛輔役）、『アイドリッシュセブン』シリーズ（千役）ほか



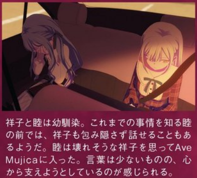
二人の居場所

鮮烈なデビューを飾り、大会場でライブを開催するほど、注目を集める新進気鋭のガールズバンド
Ave Mujicaは、豊川祥子と若葉 睦の、新しい居場所となった――

豊川祥子
オブリビオニス
Sakiko Togawa
声・高尾奏音
キーボード担当。羽丘女子学園の高校1年生。元CRYCHICのメンバー。祥子が生み出したAve Mujicaは、世界観・音楽性が高く評価され、一躍人気バンドとなったが……

若葉 睦
モーティス
Mutsumi Wakaba
声・渡瀬結月
ギター担当。月ノ森女子学園の高校1年生。元CRYCHICのメンバーで祥子の幼馴染。芸能人の両親を持ち、その事実は伏せてAve Mujicaのメンバーとして活動していた

二人の信頼関係



祥子と睦は幼馴染。これまでの事情を知る睦の前では、祥子も包み隠さず話せることもあるようだ。睦は壊れそうな祥子を思ってAve Mujicaに入った。言葉は少ないものの、心から支えようとしているのが感じられる。

BanG Dream! Ave Mujica

豊川祥子が、メンバーの人生を背負い、必死に作り出したバンド・Ave Mujica。メンバーには、祥子の抱えるものを唯一知る、幼馴染の若葉睦もいる。

祥子が生み出した世界は、多くの人の心を掴んだ。彼女たちは徹底的に素顔も素性も隠し、そのミステリアスさは、かつて二人がいたバンドとは、まるでカラーが違う。事情を抱えた二人だけど、新たな仲間と音楽に向き合ううちに、ここが二人にとって心落ち着く場所になるかもしれない……と想像にふける暇もなく、たった数秒の出来事が彼女たちの仮面を剥がし、完璧に仕上げたはずの世界は、形を変えてしまった。

#1から、波乱の展開。Ave Mujicaは、祥子たちにとって、ずっと居られる場所となりうるのか、それとも……？

毎週木曜日 夜11時 TOKYO MXほか
HP https://anime.bang-dream.com/avemujica/
X（Twitter） @bang_dream_info

ドールたちの物語



Ave Mujicaは、ミステリアスな雰囲気や音楽性はもちろん、マスカレードの合間に披露される寸劇も人を惹きつける理由の一つ。ドールとして振る舞う彼女たちの芝居は、より世界観の説得力を増しているようだ。

剥がれた仮面



売りになる部分を隠し、仮面をつけ続けることに疑問と不満を感じていた祐天寺にゃむは、寸劇の途中で自ら仮面を外す暴挙に出る。劇の流れを止めるわけにもいかず、全員が素顔を見せる事態となった。



最後まで見守って

豊川祥子役
高尾奏音

たかお・かのん／9月10日生まれ／東京都出身／リンク・プラン所属／最近の出演作は『ワンルーム、日当たり普通、天使つき。』（蔓深ひすい役）、『君のことが大大大大大好きな100人の彼女』（華暮愛々役）ほか多数



抱えるものが重くても そばで支えていたい

——お二人から見た豊川祥子と若葉睦はどのような人物ですか？

渡瀬　奏音ちゃん演じる祥子は、生きるのが不器用すぎる子です。みんな不器用だけど、とびきり不器用で。

高尾　Ave Mujicaでぶっちぎりです。そこには祥子の置かれた境遇があったり、こう生きるしかないと思っているからこそでもあるけれど……。

——＃1では、Ave Mujicaの活動のほか、祥子の家の没落と現在の生活が描かれましたね。

高尾　高校生でこんな経験している人いないだろうな……。

渡瀬　小さい頃から恵まれていて、幸せ過ぎた家庭だったからこそ、落ちた瞬間の衝撃はかなりのものだったと思う。けれど、そこで自分が落ちきってしまうと、お父さんが本当にダメになってしまうから、踏みとどまっていて。きつすぎる状況でも、自分を奮い立たせられるのはすごいことだよ。

高尾　祥子は本来、CRYCHICの活動を続けていた時のような、優しい女の子なんです。その優しさが抜けきっていなくて、だからこそこんなに苦しそうなんだと思うことが多くて。自分で自分を追い詰めちゃっているんだろうな。

渡瀬　人を見捨てることができない子なんだろうね。祥子はきっと綱渡りの状態にいる。しかもだいぶ細めの綱で、少しでもふらついたら落ちてしまいそうな。それなのに、見守るだけじゃなくて、助けようとも思ってしまう。

高尾　自分が綱から落ちそうになりながらも。

高尾・渡瀬　（しんみり）

渡瀬　ちなみに、私は『It's MyGO!!!!!』が始まる前に、睦の性格やバックボーンを聞いていたの。今思えば、それは睦のほんの一部だったなと思うけれど。

高尾　あとからどんどん新事実が出てくるもんね（笑）。

渡瀬　祥子については、どのくらい聞いてたの？

高尾　私はずっとAve Mujicaを作ってからの祥子の性格しか知らなくて。CRYCHIC時代の祥子を知ったのは、『It's MyGO!!!!!』のアフレコが始まってから。ずっと少し冷酷な面を持つ子という印象だったけれど、こんなに温かな面もあったのかって思ったよ。

渡瀬　そうだったんだ。じゃあ、アニメの台本を読んで驚くことが多かったんじゃない？

高尾　だらけだよ。「まだ言えないけど、高尾さんにはこの先の展開を内緒にしておいて」ということもあったじゃない？　後でお芝居をするときに素直な気持ちでやってほしいからって。

渡瀬　私は事前に聞いて衝撃だった。

高尾　「一体何が起こるの？」って思っていたら、とんでもなく……。

渡瀬　思い出すだけで……。

高尾・渡瀬　（しんみり）

——そんなにですか？

渡瀬　そんなに、です。

高尾　楽しみにしていてください！

——睦についてはいかがですか？

渡瀬　『It's MyGO!!!!!』で睦がAve Mujicaに入るって決めたときに、「祥が……壊れそうだから」と言っていたんです。それは、祥子をそばで支えたいと思っているからこそ出た言葉。でも私は睦に、「自分はどうなの？　大丈夫なの？」と思ったんです。睦も、抱えているものが重いから。



高尾　そうなんだよね。お互いを助けたいと思っていて、実際に支え合っているんだろうけど……このままだと、共倒れになっちゃう。

渡瀬　二人とも本当は自分のことで精一杯。相手をどしっと受け止められないんです。だから、ふらついちゃうし、不安が拭えない。しかも睦は無口だし、頑張って言葉を紡ごうと思っても、その場において一番相応しくない言葉を選んでしまったりして。

高尾　睦もとんでもなく不器用なんだよね……。

渡瀬　この先の展開も知っているからこその考えなのかもしれないけれど、睦のいる場所は、祥子のところしかないと思うの。

高尾　それは私も思う。一番甘えられる相手というか。すべてをわかりあっているような関係。ちなみに、『It's MyGO!!!!!』の＃3に、CRYCHICのメンバーでカラオケに行くシーンがあるんです。そこで、「睦は笑いますわよ」というセリフがあったのですが、20回ほど録り直したんです。当時、スタッフさんがなぜこのセリフにこだわるのかがわからなくて。でも、そうした意味がわかるシーンが、この先あるんです。

渡瀬　ハッとさせられたよね。

——祥子は、CRYCHIC崩壊の中心にいた人物でもありますよね。

渡瀬　そうなんです。私たちは祥子と睦を演じているし、その時にどういう思いがあったのかわかっていたけれど、きっと当時観ていた方、特にMyGO!!!!!の視点で観ていた方は、悪者として映ったと思うんです。

高尾　「祥子はなんでこんなことするの」と観ている方が怒りを感じるのも頷けて……。でも、今作の＃1を観て、少し祥子のことをわかってくれていたらいいなって。

——祥子が雨に打たれ号泣している姿は、観ているこちらも胸が締め付けられる思いでした。

高尾　このシーンは、オンエアでは短めの泣き声がいくつか乗せられているのですが、アフレコでは「今からずっと泣いてほしい」というオーダーがあったんです。その長尺の芝居の中から、いいところをカットして使ってくださっているんです。

——その作業は大変だったのでは？

高尾　どっと疲れはしました（笑）。ただ、現場はものすごく優しいし、いい雰囲気の中でやらせていただいて。

渡瀬　求めてくれるお芝居のレベルが高くて、それに応えたいと思うし、応えられるよう柿本広大監督も親身にサポートしてくれるんです。自分から居残りをさせていただくこともあって、それに付き合っていただいたりもして。ただ、メンタルをごそっと持っていかれるんです。外に出るときには、もうフラフラです（笑）。

高尾　そうなんだよね（笑）。役に入りこみすぎて日常でもセンチメンタルになったりもして。でも、役者としてすごくいい経験になったよね。

渡瀬　本当に、貴重な経験すぎたよ。

——Ave Mujicaはメンバーが仮面をつけ、素顔も心も隠して活動をしていました。しかし、＃1のラストで、メンバーの祐天寺にゃむによって仮面が外されてしまいました。

渡瀬　にゃむは仮面を被り続けることに、「顔と数字が台無しなんだけど」と言っていましたが、それは正論なんですよね。



祥子の本心は……

CRYCHIC時代、仲間にバンドをやめると告げた後、雨に打たれながら声を上げて涙した祥子。本心は辞めたくなかった。しかし、多くのことが祥子に一気にのしかかり、この決断をするしかなかったようだ。



父親を選んだ祥子

父親は多額の詐欺に遭った責任を取り、会社をクビになった。母方の祖父は祥子を引き取る予定だったが、祥子は父の元へ。高校生になってからはアルバイトをしながら、酒浸りとなった父の面倒を見てきたが……。



睦の抱えるものとは

祥子が母親を亡くしたときも、父親の言葉にショックを受けて家を出たときも、そしてAve Mujicaが動きだしたときも、祥子のそばに寄り添ってきた睦。しかし彼女もまた、素顔を隠す理由があるようで……。



もう一人の幼馴染

祥子の幼馴染・三角初華は、アイドルユニットsumimiの活動も並行している。両方をこなすのは負担が大きいはずだが、彼女はそれを否定する。「さきちゃんと、ずっと一緒にいたいって夢がかなったから」と。



絆のないバンド？

個々の信頼はあっても、バンド自体には絆と呼べるものは、見当たらない。仮面を外すことになったのも、お互いの事情をあまりにも知らなすぎるために起きたとも言える。彼女たちは、このままで進んでいくのだろうか。

渡瀬結月

若葉 睦役

わたせ・ゆづき／2月18日生まれ／千葉県出身／響所属／『D4DJ All Mix（竹下みいこ役）、『カードファイト!! ヴァンガード Divinez』（西園寺ユナ役）ほか多数



でも祥子の言う、最高の舞台・最高のタイミングでというのも間違いではなくて。きっとあのライブが、にゃむにとって最高の舞台で、最高のタイミングだったと思うんです。

高尾 にゃむちに共感する人もたくさんいると思う。ただ、祥子たちとは意見が違っていたし、目指しているところもそれぞれ違っていて。お互いの考えを、擦り合わせることをしないから……。

渡瀬 事前に相談したり、事情を話せたりする関係でもなくて。今はもしかすると「仮面を外すなんて、にゃむちはひどい！」と思う人もいるかもしれません。でも、ラストにいくにつれてどんどん好きになる子なんですよ。

――初華や海鈴はどういう人柄なのかは、まだあまり見えていないように感じます。

高尾 私たちが今話せることは……。

渡瀬 初華は優しくて気配りができる子。幼馴染の祥子のことを気にかけてくれているよね。

高尾 海鈴はバンドをいくつも掛け持ちする実力者で、一見クールなんだけど、すごく面白い。

渡瀬 そしてとっても可愛い！　そしてこの二人のどちらかの爆弾が……。

高尾 ものすごい。みんな何かしら持っているし、どれも驚くのですが。

渡瀬 ちょっと放り込まれる角度が違いすぎました。

――これは絶対に見逃せませんね。本作がこんなふうにシリアスな展開になると思っていましたか？

高尾 ここまでとは思ってもいなかったです。

渡瀬 『It's MyGO!!!!!』も、今までの『バンドリ！』とはまったく違う次元ですわ……と何度も思ったけれど、今回のは「うぇええ？」の連続でした。

高尾 サスペンス小説でも読んでいるのかなって思ったよね。

渡瀬 この先、観た方からどんな反応が来るんだろうって、ドキドキしているんですよ（※取材はオンエア前）。オンエアは木曜日の夜帯じゃないですか、週の後半にこれを観て、金曜日のメンタルはどうなるのか。

――華金どころじゃないかもしれませんね（笑）。

渡瀬 しかも、回を重ねるごとにどんどんすごいことになりますから。

ED後のCパートもお見逃しなく！

――Ave Mujicaのキャスト5人は、アニメのアフレコが始まる以前からずっと一緒にバンドの練習をしてきたんですよね。

渡瀬 そうですね。もう3年以上になります。

――楽器の経験はあったのですか？

高尾 私はピアノの経験がありました。

渡瀬 私はエレクトーンの経験はあったのですが、ギターは未経験でした。

――触れたことのない楽器に挑戦するのは大変だったのではないですか？

渡瀬 正直、不安で怖かったです。ギターに限らず、楽器は繊細なものですから。触れ方、扱い方一つで音が変わっちゃうイメージがあったから、何も知らない自分が勝手に触っていいものではないという意識もあって。でも、触らないと演奏はできないし、もう「えーい、ままよ！」と。

――「やるしかない！」と飛び込むしかないですよね。

渡瀬 綺麗にコードを弾けるようになるまでが、本当に大変でした。指のちょっとした角度で音も変わるし、力の入れ方がわからなかったりもして。周りにギターをやっている人もいなかったので、そもそもの仕組みもわからないまま、一から学んでいきました。

――高尾さんはもともとピアノを習っていたそうですが、ジャンルはクラシックですか？

高尾 そうです。メタルの弾き方といいますか、タッチやリズム感などこれまでとは違うものがあって、慣れるまで大変でした。ドラムのリズムに合わせて演奏するっていうことも経験がなかったですし。

渡瀬 みんなで一緒に楽器を合わせるのって、難しいよね。

高尾 合わさったらこんな音になるんだって、衝撃を受けました。ちなみにこのプロジェクトに関わることが決まり、練習を始めた頃って、私たちは演じる役がどんな性格なのか、どんなジャンルの音楽をやるのか知らなかったんです。

渡瀬 そうそう！　具体的なことを知るまで、時間があったんです。まずは本格的なバンド活動をしていくための、下地づくりの時間だったと思います。だから最初の頃は、いろいろなジャンルの曲を練習していたんですよ。ほかの『バンドリ！』バンドの曲をみんなでコピーしたり。

高尾 みんなで歌割りを作ったりして。

渡瀬 懐かしいね！

――青春ですね。

高尾 そうかもしれないです（笑）。この期間は、放課後に集まってバンド練習しているような感覚もありました。

渡瀬 練習で毎週会っていたし、音を合わせることで、より仲も深まったと思います。その状態でアニメの収録が始まったから、すごく良かったよね。

――Ave Mujicaは作中でも高い評価を得ているように、その音楽性も魅力です。メタルという音楽ジャンルや世界観に触れていかがですか？

高尾 初めて触れるジャンルだったので、最初は私にできるのかなという不安があったんです。でもすごく好きな世界観だし、楽しみでもありました。

渡瀬 同じくです。このジャンルのバンドを見たり聴いたりしたことがなくて、どういう感じなのかな……と思いつつ蓋を開けてみたら、ものすごく刺さる感じ。まさか仮面をつけるとも思わなかったし、とても新鮮でした。

高尾 コンセプトが最高だよね！

渡瀬 きっとみんなも喜んでくれるだろうなと思えたし、関われることもすごく嬉しかったよね。

――ちなみに、みなさんは随分前に全話完成版を観ているんですよね？

渡瀬 一気に観ました。関係者試写会があって、そちらにお邪魔したんです。朝から夕方までぶっ続けで。

高尾 私はスケジュール的に行けず、後から観せていただいたんですよ。一気に観て、メンタルは大丈夫だった？

渡瀬 もちろん大丈夫じゃなかった（笑）。米澤茜ちゃんと佐々木李子ちゃんと一緒に観て、#6が終わった後に、一旦お昼休憩を挟んだけど、みんなシーンとしちゃって。3人でただ静かに、もそもそご飯を食べるという……。ちなみに食べたのは韓国料理。

高尾 そうなんだ（笑）。

渡瀬 一気に観るのも、毎週1話ずつ観るのも、大変なんだろうな……。

――ちなみに昨年12月1日に#1の世界最速同時上映会が、15日にはAve Mujica 4th LIVE「Adventus」で#1の上映がありました。

渡瀬 ここで#1を観た方は、続きが観られるのは1月9日ということですよね。

高尾 そっか！　1月2日は#1の放送だね。

渡瀬 楽しみにする時間が長いのもいいけれど……。

高尾 先が気になりすぎるよね。私たちだってそうだったわけだから。

――まさに今、#2以降を楽しみにしている読者に、最後にメッセージをお願いします。

高尾 #2以降、本当に衝撃の連続といいますか、毎話一つは爆弾が爆発するようなアニメになっているので、期待していてほしいです。ちなみに今後登場する楽曲も一曲一曲深い意味があるんです。キャラクターのことを知ってから聴くと、もっと好きになっていただけるはずです。なので、音楽もキャラクターもどっちも最後まで愛していただきたいなと思います。

渡瀬 #1のラストを観た方はきっと、睦の変化に気づいたと思います。ここから睦にもフォーカスが当たっていくので、ぜひ見守っていただけると嬉しいです。ちなみに、配信でご覧になる方も多いと思うのですが、ここ最近の配信媒体はとても親切で、EDをスキップする機能が付いていることがあります。でもどうか、スキップせずに観てほしいです！

高尾 大事！　Cパートを見逃さないでほしいです。次の話につながる重要なシーンがあることも多いので……！

渡瀬 EDテーマもすごく素敵ですから、ぜひ噛み締めてほしいですね。



がひらく

控えめな女の子・春山花奈が唯一好きと言えるもの——朗読
さまざまなテクニックを駆使し、ただ声のみで表現する。
その可能性に魅せられた放送部員たちの青春ストーリーが幕を開ける！

すももが丘高校の放送部は創部二年。まだ無名だが、全国大会に進出した実績もある。先輩の薄頼瑞希に誘われ、高校進学を機に放送部へ入部する春山花奈。しかし、これまで趣味として朗読を続けてきた花奈にとって、誰かと比べられたり、評価されたりするのは初めてのこと。部活動を通じて怖気づくこと、ヘコむこと、嬉しいこと……さまざまな感情を経験していく。その視線の先にあるものは、「NHK杯 全国高校放送コンテスト（Nコン）」への出場——！

『響け！ ユーフォニアム』の武田綾乃が原作を務める『花は咲く、修羅の如く』（通称・花修羅）は、「声」をモチーフとするだけにアニメ化する意義の大きい作品だ。日常生活で何気なく耳にする「読み」にもいろいろなルールがあり、アクセントや息づかいといった、多くの技術が注ぎ込まれている。そんな「読み」の世界を藤寺美徳ら実力派声優がどう表現するのか、しっかり耳を傾けたいポイントだ。

才能があるにも関わらず、いま一歩前に前にと踏み出せない性格の花奈。彼女が放送部メンバーとの出会いを経て、文字通り花が咲くように心が開かれていく過程にも注目しよう。

春山花奈
Hana Haruyama

天才子役・西園寺修羅の朗読に触発されて以来、地元で子供たちに読み聞かせイベントを開いている。物語の世界に人を引き込む独特の声質を持つ



ワガママは言えない

本当は放送部に入りたいのに躊躇する花奈。島では年下の子たちのお手本で、大人からは「聞き分けの良い子」と言われてきた花奈は、いつしか自己主張が苦手な少女になっていた。



心からの叫び

内側から突き上げるような衝動にかられた花奈は、瑞希に「放送部に入りたい」と本当の気持ちを口にする。本心にフタをしがちな花奈がひとつ、自分の殻を破った瞬間だ。



夏江 杏
An Natsue

花奈の同級生。中学時代から放送部に所属し、全国大会も経験している。ある理由から朗読部門に見切りをつけ、アナウンス部門へと転向した

花は咲く、修羅の如く

■毎週火曜日■深夜1時29分■日本テレビ・BS日テレほか
HP■hanashura-anime.com

Illustrated by Yuichi Hinada（AtoriE）
Painted by Tomoe Oku
Finished by Mei Yoshizaki(Graphinica)





物語の世界へ

花奈にとって朗読は物語の世界に没入でき、違う自分になれるような気がする大切なもの。心から楽しんでいるが、その「好き」がのちのち、心にのしかかっていくことに……。



勝たなくてはダメ？

誰かと競うことをしてこなかった花奈は、Nコンに向け当然のように勝敗を口にする瑞希らに困惑。出場への準備を進める中、花奈の「読み」に対する意識はどう変わっていくのか。

薄頼瑞希
Mizuki Usurai

全国大会決勝進出に意欲を燃やす放送部の部長。他人の長所を見つけるのが上手く、十鳴島で偶然にも花奈の朗読を耳にし、放送部にスカウトする



相対する価値観

Nコンをめぐり、課題に対する向き合い方にも部員それぞれに違いが。自分の好みを優先するか、それとも声質や適性を考慮して選ぶべきか。花奈が出す答えとは……？

青春をかけて、求めるもの

photo by Daisuke Arakane



薄頼瑞希 役

島袋美由利

Miyuri Shimabukuro

12月6日生まれ／沖縄県出身／大沢事務所所属／主な出演作は『夜のクラゲは泳げない』（高梨・キム・アヌーク・めい）、『ももんたりー・リリィ』（咲耶あやめ）ほか



春山花奈 役

藤寺美徳

Minori Fujidera

12月18日生まれ／千葉県出身／エイベックス・ピクチャーズ所属／主な出演作は『ワッチャプリマジ！』（御芽河あうる）、『ひみつのアイプリ』（青空ひまり）ほか



夏江 杏 役

和泉風花

Fuka Izumi

1月11日生まれ／愛知県出身／アミューズ所属／主な出演作は『HIGHSPEED Étoile』（輪堂凛）、『しかのこのこのここしたんたん』（馬車芽めめ）ほか

キャストに求められる声質・技術のハードル

――『花は咲く、修羅の如く』は「声」をテーマにした作品であるだけに、キャストがどう演じるかにも大きな注目が集まっています。役が決まったときのお気持ちをお聞かせください。

藤寺　花奈役の決定をいただいたとき、（所属）事務所からサプライズを通して伝えられました。「オーディションの審査が難航しているので、これから追加資料として朗読シーンを収録します。これを読んでください」と事務所で言われ、何枚か原稿を渡されて。1枚目はオーディションのときと同じ朗読シーンで、2枚目は真っ白。そして3枚目に「出演が決まりました！」と書いてあって、「わぁっ！」となりました。

島袋・和泉　わぁ〜、素敵！

藤寺　マネージャーさんがクラッカーを鳴らして……たぶん、冬賀くんがクラッカーを鳴らすシーンを意識してくださったんですね。原作の扉絵に出てきた花束に似た白いお花もいただきました。手の込んだサプライズをしていただいたことと、選んでいただけた嬉しさで胸がいっぱいになって、全身の力が抜けてしまって。その場にぱたっと座り込んでしまいました（笑）。

和泉　「オーディションの追加資料で」って言われたら信じちゃいますよね。

藤寺　そうなんです。その追加資料で結果が決まるんだ、と思ったらすごく緊張して。そこからのサプライズだったので、本当に素敵な思い出になりました。

島袋　私の場合は、そんなドラマチックなことはなくて（笑）。お仕事終わりに事務所から電話がかかってきたのですが、普段マネージャーさんから電話をいただくことがあまりないので「何かやらかしたのかな？」とドキドキしました。そうしたら「オーディション、受かったよ」と言われて、「そっちか！」と（笑）。それと同時に、放送部の部長としてどうみんなを引っ張っていこうか、瑞希ならではの「読み」をどうやって表現していこうか……と、自分なりにいろいろな課題が出てきて。配役が決まってから収録まで半年から1年くらい空く作品もある中、本作はあまり間がなかったので「どこから準備すればいいんだろう⁉」と、ずいぶん焦りました（笑）。

和泉　私も特にサプライズはなく（笑）。もともと別役でオーディションを受けていて、事務所からは「そちらはちょっと難しそうだけど、別のキャラクターで出演が決まるかも」と聞いていたんです。でも、まさか杏ちゃんとは思っておらず、とても驚きました！　私は普段もっとフワッとした感じのキャラクターを演じることが多くて、杏ちゃんのようにキッパリとしていてブレない役柄は初めてなんです。選んでいただけた嬉しさと同時に、プレッシャーも大きかったですね。

――花奈と瑞希は朗読部門ですが、杏はアナウンス部門ですね。

和泉　島袋さんがおっしゃったように収録まであまり間がなかったし、私自身アナウンスの経験もないので、「夏江杏を演じる」という目線で原作を声に出して読んだり、Nコンの動画を観たりして、急ピッチで体勢を整えました。

――みなさんは言葉や声で伝えるお仕事をされていますが、原作や台本を読んで、共感できる点などはありましたか？

藤寺　演者としては声質や技術など、求められるハードルがすごく高い作品だなと思って、原作を読みながら身が引き締まる思いがしました。収録が始まってからも、どうしたら表現できるんだろう、どうしたら花奈ちゃんになれるんだろうと悩んだり、試行錯誤していました。でも、ひとりの読者としては、本格的な朗読・アナウンスというこれまで知らなかった世界がそこにあって、とてもワクワクしたんです。特に朗読シーンは、世界がパッと読み手のものになるような描写があって、私もこんな「読み」ができたらなと。武田綾乃先生の書かれる素敵な物語と、むっしゅ先生のフレッシュな絵柄がとても好きで、私もこんな青春を送ってみたい！　放送部に入ってみたい！と、とても憧れます。

島袋　実は私、放送部だったんです。すももが丘高校みたいに活発ではなくて、もっとゆるめの活動だったのですが……声質に合ったテーマを選ぶとか、好きな箇所をチョイスしたいけれど朗読に適さない長さになってしまうとか、共感できることがたくさんありました。収録が始まってからは作品に対する理解度も高まっていたので、改めて原作を読み返して、より共感できるポイントが増えましたね。特に藤寺さんのお芝居にすごく説得力があって、瑞希の前で『春と修羅』を朗読するシーンでは鳥肌が立ちました。

藤寺　そんなふうにおっしゃっていただけて、嬉しいです……！

島袋　隣で聴いていると、花奈が朗読するだけで世界がパッと開けていくのが肌で感じられるんです。改めて、表現するってすごいことなんだって。藤寺さんのお芝居を通じて、原作への共感がより深まりました。

和泉　放送部がモチーフになっている作品って、私は『花修羅』が初めてで。スポーツものなどと比べても珍しいモチーフだと思うのですが、王道の少年漫画のような熱さやキャッチーさがあって、キャラクターの心情が直に伝わってくるような気がします。私たち声優とも、悩むポイントが似ているんですよね。花奈ちゃんは好きなものを読むか、より結果が出やすいものを読むのかで悩みますが、私たちの場合も演じてみたい役柄と、自分の声に合う役柄が異な



杏との距離

放送部の新入生は経験者が多く、何も知らない花奈はちょっぴり居心地が悪い。特に意識の高い杏は花奈にイライラしがちだが、やがて二人の距離感を変えるある出来事が……。

Q 放送部のようなアナウンス・朗読を学んだことは？

藤寺　ありませんでした。声優として活動する上で、養成所などに通っていたわけではなかったので、知識はほぼゼロの状態でした。オーディションを受けるときから、覚悟を決めて向き合わなければいけないと思いましたし、自分の世界が広がっていく感じがして楽しく、本当に学ぶことがたくさんあります。Nコンについても知らなかったので、いっぱい調べたり、実際に放送部に所属している方に話を聞いたり、イメージを膨らませて現場に臨みました。

島袋　アナウンスはありませんが、朗読は高校時代に少し学びました。先輩から基礎の部分を教えていただくこともありましたが、CDでいろいろな方の読みを聞き、そのまねをするといった練習をしていた記憶があります。地方出身なので、そこで初めて言葉には正しいアクセントがあること、そしてそのアクセントを調べるための辞典があることを知りました。

和泉　今まで全く学んでこなかったので、これはまずいぞ……！　と思いまして。オーディションを受ける段階から朗読について学びました。夏江杏役として選んでいただいてからはアナウンスについて調べたり、アナウンサーさんの読みを聞いて研究したりしました。

Q 好き重視派？ 結果重視派？

藤寺　「好き重視派」かもしれません。楽しいなと思えることをどんどん広げてやってみて、途中で苦しい壁に出会うこともあるかもしれないのですが、好きだったら続けていけそうな気がするからです。好きを選んで結果もついてきたら最高だなと思います……！

島袋　あくまで私個人に限って言うのであれば、「好き重視派」だと思います。結果が大切なのはもちろんですし、「好き」でかつ結果が伴うことが一番なのだとは思います。ですが、仮に結果だけを目標に進んでいく過程に「好き」がないのだとしたら、私はどのような結果が出ても、達成感や充足感を得られない気がしています。

和泉　とても難しい選択ですね……。「好き」を重視して選んだ場合、どんな結果になっても自分の気持ちを優先したことだから、納得がいくと思うんです。でも結果を重視して、それがついてきたらよし！　となると思うのですが、結果がついてこなかったとき「やっぱり好きなほうを読めばよかった……」と。私の性格だと、そうなってしまいそうなので。うーん、でもやっぱり結果欲しいもんなー！　難しい……選べません……！

ることはよくあります。それと、朗読やアナウンスについて、楽しいという思いだけでなく、苦しさを抱えている子もいて。「わかる……！」と共感することもあれば、声優として耳が痛くなるセリフもあったりして、読んでいていろいろな感情が湧いてくる作品だと思います。でも、ベースには少年漫画っぽい味わいがあるので、読後はすごくさっぱりしていて心地いいですね。

強さと弱さの間で揺れる放送部の部員たち

――ご自身が演じるキャラクターをどう捉えていますか。

藤寺　花奈ちゃんは箱山先輩が言った通り、すごく真っ白で素直な子だと思います。島では同級生がいなくて、年下の子たちに囲まれて暮らしていたので、高校という場所はきっと彼女にとって刺激的で、新しい物事にあふれた世界なんじゃないかなと思います。放送部の先輩や同級生たちと関わっていく中で成長する姿は応援したくなるし、なんだか姉や親のような気持ちで見守ってしまいます（笑）。



最強顧問、現る！

放送部顧問の吉祥寺は、Nコン優勝経験もある「読み」のエキスパート。一見チャラそうだが指導力は瑞希たちも認めるところで、彼のもと花奈たちは全国大会出場を目指す。

――藤寺さんは現役の高校生ですね。同年代として花奈に共感できるところはありますか。

藤寺　花奈ちゃんの悩みはとてもリアルで、同じ高校生として共感できるところがたくさんあります。新しいことに挑戦する不安とか、自分の「好き」を言葉にするための葛藤とか。そんな自分と向き合いながら階段を上るように成長していく姿にも共感できるし、その成長に私自身もついていけるように頑張らないと、とも思います。私自身お芝居が好きでずっと続けてきたので、花奈ちゃんが島で読み聞かせを続けてきた気持ちがよくわかるんです。

――瑞希については？

島袋　瑞希をひと言で言うと「活発」、そして「強引」。私としてはブルドーザーみたいな印象をもっていて……（笑）。

和泉　すべてを巻き込んでいくみたいな？

島袋　そう。有無を言わさず、全部もっていく感じ。でも、だからといって周りが見えていないわけではなくて、相手ときちんと向き合って必要な言葉をスッと届ける。なぜ瑞希はそういうふうに振る舞えるのかなと考えたとき、それはきっと彼女が「立ち向かい続けている人だから」と思ったんです。自分の言葉をまっすぐに届ける素直さと同時に、かける言葉に責任をもつ強さも備えていて、そのことにある種の覚悟をもっているような……。







和泉　瑞希はどこにたどりつくのか、掴みにくいキャラクターでもありますよね。

島袋　第3話でも、「ここは少し突き放す感じで」というディレクションをいただいたんです。明るくて元気いっぱいなようでいて、ふいに大人の顔を見せるんですよね。掘り下げていくほどに、どこにたどりつくのかわからない子だと思います。後々、彼女の家庭のことや生い立ちが明かされるのですが、年齢のわりに人生経験が豊富なことや、瑞希が「好きであること」にこだわる理由もわかってきます。みんなに寄り添っているというより、みんなの「好き」に寄り添っていることがだんだん見えてきますので、視聴者のみなさんにはその点も楽しみにしていただけたらなと思います。

――杏はいかがでしょう。

和泉　杏ちゃんはまっすぐでいることしか知らないのか、というくらいまっすぐです。とても強い子だけど、その中に弱さも秘めていて、自分でもその弱さをなんとなく自覚しているんじゃないかと思います。瑞希の場合は強さが前面に出すぎていない分、芯はきっともっと強い人だと思うんですが、杏の場合その逆というか。

――強い分、逆説的に弱さも抱えているんですね。

和泉　だからこそ、より自分を強くもとうとしているんだと思います。朗読部門で一度挫折を経験しているにもかかわらず、より強い気持ちでアナウンス部門に向かっていけるのは本当にすごいことですよね。私だったら気持ちが折れて、部を辞めてしまうかもしれないと思うのですが、そこを圧倒的な努力で覆して、自分のものにしていく。だから私、杏を密かに「夏江プロ」って呼んでるんです（笑）。プロ意識がすごいから。

――たしかに杏は結果にこだわるだけあって、意識が高いですね。

和泉　その一方で、杏はあまり周りを見て行動できるタイプではないんです。それが、花奈に対する強めの当たりになってしまったんでしょうね。たぶん杏の目から見ると、「好き」を優先する花奈のことが能天気に映るんだと思います。

――決して視野が広い子ではないんですよね。

和泉　はじめましての相手に対して、壁を作るようなところがあるんですよね。「私は強い」と武装するがゆえの視野の狭さだと思います。でも、そこがほどけていくにつれ周りの人たちのことも受け入れていって、お互いにいい影響を与え合うことができるんじゃないかと。回を追うごとに杏の柔らかい一面も見えてくると思います。



いつか、どこかで

多彩な技術を使い分け、聴衆を魅了する西園寺修羅の朗読。天性の声質を持つが技術が伴わない花奈と、圧倒的な表現力をもつ修羅。対照的な二人の道が交わる日は来るのか……。

青春のすべてをかけて追い求めるもの

――最後に、序盤の見どころとファンへのメッセージをお願いします。

藤寺　花奈が自分の殻を破っていくのはもちろん、放送部の部員たちがそれぞれ何を考えているのかがだんだん明らかになっていきます。これからその掘り下げがより深くなっていくので、ぜひご期待ください。それと、桜の花びらやカーテンの揺れでキャラクターの感情を表現するなど、繊細な演出がされている作品なので、ぜひ何度も観ていただきたいです。

島袋　序盤では放送部はどんな活動をしているのか、その活動を通じてみんなが何を表現したいのか、そうしたことが語られます。みんなが青春をかけて追い求めているものについて、まずは興味を持っていただけたら嬉しいです。

和泉　序盤では放送部の活動や雰囲気が丁寧に描かれています。最初は花奈の目から見た放送部ですが、少しずつ他のキャラクターの目線も入ってきます。それと音響監督の濱野高年さんから、キャラクターの心情にマッチするよう音作りにもすごくこだわっているとうかがいました。繊細な演出と相まって、とてもきれいな作品に仕上がっているので、毎週楽しみにご覧ください。

Q もしNコンに参加するとしたらどの部門に参加してみたい？

藤寺　朗読で参加してみたいです。花奈ちゃんやみんなが読みについてたくさん考えて練習している姿を見ていたら、私も朗読がしたくなりました。作中では、花奈ちゃんがどう読むかを考えて演じているので、藤寺として朗読をしたらどんな表現にしようかなって、想像するだけで楽しいです。読むとしたら、童話とか小さい子に向けたような作品がいいなと思います。あとは、冬賀くんみたいな監督になって、ドラマを作ってみたい気持ちもすごくあるので、どちらも並行してやりたいです。

島袋　ドキュメンタリーに挑戦してみたいです。きっとすごく繊細で、神経を使う作業が必要になると思うのですが、普段エッセイを読むのが好きなので、映像を通して、ひとりの人や事柄を深く掘り下げてみたいです。

和泉　ドラマ部門に参加してみたいです！　朗読やアナウンスは、舞台上にひとりで行ってひとりで読んで……って、怖すぎて想像しただけでも震えます……！　それに、お芝居が好きなのでドラマ部門がとても楽しそうだなぁと、ドラマを撮るシーンのアフレコをしながら思っていました。

Q 部活動の経験は？

藤寺　中学のときに演劇部に入っていたことがあります。コロナ禍になる前はみんなで円になって声を出したり、窓に向かって発声練習をしていたので、放送部の発声のシーンはちょっと親近感がありました。「中学時代の一番の思い出は？」と聞かれたら「部活です！」と答えるぐらい部活が好きでした。演劇部で仲間とひとつの作品を作る楽しさや、お芝居の面白さを知り、今の声優活動につながっているので、自分自身にとって大きな存在です。

島袋　ひとつのことに集中して打ち込むのが苦手だったことと、いろんなことに興味があるタイプだったので、ゆるく複数の部活をかけ持ちしていました。なので、ひとつひとつの部活での濃い思い出はありませんが、誰もいない部室でひとりこっそりと練習しているときが、一番落ち着ける好きな時間でした。

和泉　クラス担任が水泳部の顧問で、「マネージャー募集中です」と言っていたので応募したら、結構な人数が集まってしまい……。結果、やることがなくなってしまったので、先生公認の幽霊部員をしていました！　でも、同じくあぶれマネージャー組の子と放課後の教室で踊ったり、エチュードをしたりオタク語りをしたり……すごく青春な時間を過ごせました。

SAKAMOTO DAYS

■1月11日より放送開始■毎週土曜日■夜11時■テレ東系列ほか
HP■https://sakamotodays.jp/　X（Twitter）■@SAKAMOTODAYS_PR

STAFF
原作／鈴木祐斗（集英社）　監督／渡辺正樹　シリーズ構成／岸本 卓　キャラクターデザイン／森山 洋　音楽／林ゆうき　制作／トムス・エンタテインメント

CAST
坂本太郎／杉田智和　朝倉シン／島﨑信長　陸少糖／佐倉綾音　坂本 葵／東山奈央　坂本 花／木野日菜　眞霜平助／鈴木崚汰　南雲／花江夏樹　神々廻／八代 拓　大佛／早見沙織　豹／安元洋貴　篁／大塚芳忠　X（スラー）／浪川大輔



相手になるぜ！



朝倉シン
ASAKURA SHIN

相手の心や思考を読むことができるエスパーで殺し屋。組織の命令で坂本を殺そうとしたが失敗し、殺し屋を引退することになった

元・殺し屋が営む坂本商店には
さまざまな刺客がやってくる
何よりも家族を重んじる坂本は
命を狙ってきた殺し屋に一切容赦しない!!

坂本太郎
SAKAMOTO TARO

坂本商店の店長を務めながら、街の便利屋もしている元・殺し屋。現在は家族を一番大切にしており、殺し屋に戻る気は全くない





こじんまりした商店を営む坂本太郎は、全ての悪党が恐れ、憧れた伝説の殺し屋だ。しかし、コンビニ店員の葵との出会いをきっかけに、あっさり殺し屋を引退。一人娘の花を授かり、仲睦まじい家庭を築いていた。

引退した殺し屋が、家族を守るために再び戦場に立つ。そこには超能力者やチート級の強キャラが立ちはだかり……と聞くと、一見ありがちな設定にも思えるが、実はそれを上回るストーリー展開と迫力満載のアクションが、原作ファンの心を掴んでいる。

特に坂本の戦闘描写は、身近にあるものをなんでも武器にして戦う意外性とスピードで、目が離せない。その辺に落ちていた石も、エプロンのポケットに指していたボールペンも、最強の殺し屋にとっては武器の一つ。一般人では到底出すことのできない威力を乗せて、相手を圧倒する姿に爽快感を覚えるだろう。いよいよ始まるTVアニメで、どのようにダイナミックに描かれるのか要チェックだ。

エスパーに太極拳の使い手など、殺し屋が集う坂本商店は、今日も町一番の賑わいを見せている。そんな坂本たちの、日常×非日常のネオアクションストーリーを覗いてみよう。

仲間と書いてファミリーと読む

杉田智和 SUGITA TOMOKAZU
坂本太郎役

島﨑信長 SHIMAZAKI NOBUNAGA
朝倉シン役



すぎた・ともかず
埼玉県出身／10月11日生まれ／AGRS所属／主な出演作は『魔神創造伝ワタル』（龍神丸）、『青のミブロ』（近藤 勇）ほか

しまざき・のぶなが
宮城県出身／12月6日生まれ／青二プロダクション所属／主な出演作は『村井の恋』（春夏秋冬）、『TO BE HERO X』（魂電）ほか

坂本太郎と杉田智和は“見守り方”が同じ

——キャラクターの印象や魅力、それを表現するにあたって気をつけていることを教えてください。

杉田　完成された存在に、ある日突然生まれた新しい要素。それを、過去のすべてを廃してでも優先すると決めた男。それが坂本太郎だと思っています。いかなるときでも“家族”が最優先になるけど、博愛精神でそうなっているわけじゃないから、「自分や仲間」と「家族」の命が二択になったら必ず家族を優先する。というわけで、すまんなシン。

島﨑　きっとシンも納得すると思いますよ。「それでこそ坂本さんです」って（笑）。

杉田　家庭を持つということは（戦う際の）弱点を増やすことにもなるから、慎重にならざるを得ない。まぁ、坂本に“命を選ばせる”状況を作るのは容易ではないと思いますが。

——どこまでも強い坂本の魅力を前にしたら、シンが心酔してしまうのも無理がない気がしてきました。そんなシン自身の魅力は、どんな部分にあるのでしょうか。

島﨑　坂本さんへの敬意を原動力に動く姿や、そこから来るかわいらしさが、最初に見える魅力ではありますよね。でも、彼の人生を真面目に考えてみると、相当な経験を経てきて今があるんですよね。パッと見の印象では“舎弟感”に重心を寄せたくなるんですけど、周囲を疑いながら孤独に殺し屋稼業を生き抜いてきた一匹狼の姿こそ、彼のニュートラルなスタンスなんじゃないかなと、僕は思っています。

杉田　結構ほかの人には当たり強いよね（笑）。それが普段の姿で、むしろ坂本に見せてる姿が特殊なんだな。

島﨑　そうなんです。シンも、身内には接し方が変わる人ではあるから、それぞれの関係性に対してシンがどう感じているかを前提において、相手によって雰囲気が変わる部分を大事にしています。

——お互いのキャラクターに対する印象はいかがでしたか？

杉田　シン役を島﨑信長さんが担当すると聞いて、素直に嬉しかったです。キャラクターの後ろ暗い過去を魅力に変えられるような役者さんだと思っているので、シン役に合っているだろうなと。演じる際、役者がキャラクターの理解者になれると、キャラクターが孤独にならないんです。坂本は自己を偽らないので接しやすいんですが、シンには複雑な過去があり、どこまで踏み込めばいいかは案配が難しい。そこに対して、島﨑さんは明るく踏み込んでいけるし、何が出てきても優しく受け止められる度量もある。そういう意味でも、相性はいいんじゃないかなって思いますよ。

島﨑　僕も、杉田さんの演技を聴いて「流石だな」と思うと同時に「嬉しいな」って思いましたね。坂本さんの見守り方って、どこか杉田さんと繋がる部分があるんです。坂本さんは家族を大事にしているけど、デレデレした姿は見せませんよね。身内は守るけれど、一定の距離を保ちつつ見守っているというか。その感じがね、ちょっと杉田さんっぽい気がするんです。

杉田　あんまり実感ないけど（笑）、そうかな。

島﨑　僕が若手の頃、杉田さんが僕らの同世代が集まる会を開いてくれたじゃないですか。おかげで横の繋がりができて、すごく嬉しかったんですよ。

杉田　それは、当時の自分が欲していたものだったから。若い頃って、自分を写す鏡になるような存在が必要で、それには先輩も後輩も異性もちょっと適さない。一回集めたら、あとは勝手につながってもらって、各々で縁をうまく使ってくれたらいいなって考えただけだよ。

島﨑　そう、それが杉田さんのスタンスの最たるところですよ。包容力にもいろいろな姿がありますけど、自分から積極的に関与せずに見守る杉田さんのそれは、“坂本的”だと思いますね。お芝居に過剰さを感じさせない部分もそうですけど、しっかり坂本さんらしいポジションで話している感じが出ている印象があって、まさにぴったりな配役だなって。僕もシンとして自然に慕いやすいなと思っています。



二択になったら必ず家族を優先する男



坂本の人間としての奥行きに魅力を感じた

——坂本とシンとの間には、バディとも師弟とも言えない不思議な関係性があるようですが、お二人はどう感じていますか？

杉田　坂本にとってのシンは、自分の店で雇っている店員だけど、単なる部下よりはもう少し近い位置にいる。もちろん家族とは違うポジションだけど、「仲間」と書いて「ファミリー」と読むような。そんなイメージがあります。いろいろな意味で“仕事”を共にする仲間だから、そこには一定の信頼関係がある。

島﨑　シンからの目線は、いわゆる憧れの先輩ですね。それも、すごくいい形での「ちゃんとした憧れ」。坂本さんが太ろうが、家庭を持とうが、それが壊れたりしない。これって、すごくいい憧れ方だと思うんです。

杉田　自分の中で作り上げた幻想に対する盲信じゃないんだよね。坂本太郎の生き様自体が好きなのであれば、ブレることもないわけだ。

島﨑　そうですね。坂本さんには仕事や技術だけでなく、人間としての奥行きに魅力を感じたんじゃないかと思います。解釈違いなんて言葉も最近はありますけど、シンの憧れ方にはそれがない。まさに、ちゃんと憧れているなって。

頭の中は常に家族と仲間でいっぱい

——収録時のディレクションで、印象深いものを教えてください。

撮影＝江藤はんな



杉田　当然、しっかりと演出の説明はいただきましたし、演じるにあたって僕からディレクターさんに相談したこともあります。でも、ディレクションによって何か特別、大きな変化があったことはないです。

島崎　今回の現場って、収録がすっごくスムーズなんです。経験も実績も豊富で、場を回すために必要なことが分かっているメンバーが揃っているので、逆におもしろエピソードみたいなのは出てこないんですよ。環境がよすぎて言えることがない（笑）。

杉田　誰もが手際よく仕事をしていますから。おかげで、しっかりとした芝居が提供できたと思っています。

――スタッフの皆さんの反応などはいかがですか？

島崎　ブースの外で行われている話し合いは演者からは見えないので、うかがい知れない部分も多いです。ただ、渡辺（正樹）監督がいつもニコニコと楽しそうにされているので、雰囲気はとてもいいです。

杉田　そう、演者だけじゃなくてスタッフさんたちの雰囲気もいいんです。作っている人たち全員、『SAKAMOTO DAYS』が好きなんだろうなって伝わってきますね。

――「映像になっているところを観たい！」と感じたシーンがあれば教えてください。

島崎　個人的には、シリーズ序盤の観覧車でのシーンかな。あそこから一気にアクションが加速していった印象があるので、どう表現されるのかは気になっています。

杉田　アクションシーンにしても、殺意の有無で雰囲気はだいぶ変わるから、確かにそこは気になるところかも。坂本の場合、家族を守るために戦っているわけで、単純に敵を殺すための戦いとは性質が違うというのがわかります。

――ご自身の担当以外で、注目しているキャラクターはいますか？

杉田　坂本を演じる立場で言うなら、頭の中は常に家族と仲間（ファミリー）でいっぱいなんですよ。だから、それを脅かす者には注目します。でも、思考よりも早く排除するので、ここで挙げられるような人物は“すでにいません”。どんな人がいなくなったかは、本編を楽しみにしていてください（笑）。

島崎　お話ごとに個性的な殺し屋が登場するんですが、彼らがどんなふうに動くのかは楽しみですね。アフレコ現場では全員めちゃくちゃ面白かったので、完成された映像でどんな形になっているのか楽しみです。

――放送を楽しみにしている読者へ、メッセージをお願いします。

島崎　今頃皆さんは、原作を楽しまれているかと思います。アニメも本当に楽しくて、毎週ウキウキしながら現場に行っています。キャラクターの通じ合いやドラマが楽しめるうえに、びっくり箱から面白いものがポンポン飛び出してくる。きっと皆さんにも、ぽかぽかとあったかく楽しんでもらえると思うので、ぜひご覧になってみてください。

杉田　声、映像、音楽が一つになった姿で初めて完成品ですから、どうなっているか僕らも楽しみにしています。作り手を信じて、坂本のお腹くらい柔らかな気持ちで、アニメを楽しんでいただけたら嬉しいです。



坂本商店を訪れる殺し屋たちは、癖のある奴らばかり。狙撃の腕前は一流なのに、それ以外の能力が残念な眞霜や、坂本の殺し屋時代の同期・南雲の活躍からも目が離せない!!

坂本のお腹くらい柔らかな気持ちで ぽかぽかとあったかく楽しんで



坂本商店にいらっしゃい!!

**平穏を脅かすものには、やりすぎなぐらいがちょうどいい!?
襲い来る危険から、家族と日常を守り抜け!**



坂本 葵
SAKAMOTO AOI

強くて優しい坂本の妻で、家庭料理が得意。以前はコンビニで働いていたが、結婚を機に、坂本と一緒に働ける個人商店を始めた

坂本 花
SAKAMOTO HANA

葵に似て、いつも明るい笑顔を浮かべる、坂本家の一人娘。幼いながらも胆が据わっており、相手が殺し屋だろうとすぐに仲良しに





坂本商店

坂本が店長を務めている個人経営の商店。食品から日用品まで幅広く取り揃えており、地域の住民からの人気も高い。店で悪さをする相手には、元・殺し屋の坂本が黙ってない!?



衰えない力

坂本は伝説の殺し屋と謳われていた存在だが、今では見る影もないほど体型が変わった。それでも長年鍛えられた殺しの技術は衰えておらず、シンの襲撃にもすぐに対応できた。







外見以外にも変化が

外見以外に変わったことといえば、坂本がタバコを吸わなくなったことだろう。昔は仕事の片手間に吸っていたが、現在は葵や花の体に配慮し、タバコをやめ店内も全て禁煙に。

坂本太郎（昔）

昔はスラッとしており、顔の輪郭も細かった。太ったのがおやつのせいだとすると、戦いで激しく動けば、この姿も見られるのかも!?





坂本家を襲う刺客

元同僚のシン、偶然助けた陸が坂本商店で働くことになってから、一層坂本家は賑やかに。一方で、組織を抜けた坂本を許せない殺し屋たちが、次々に坂本商店に刺客を送り込む。





陸少糖
LU SHAOTANG

もともとマフィアに所属していた太極拳の使い手。敵に追われていたところを坂本とシンに助けられ、坂本ファミリーに仲間入りした



想星のアクエリオン Myth of Emotions

●毎週木曜日●深夜０時30分●TOKYO MXほか
HP●https://aq-moe.com/
X（Twitter）●@AQ_moe

福山芳樹

ふくやまよしき
９月14日生まれ／1991年にロックバンドHUMMING BIRDとして「ハッピー・バースデイ」でメジャーデビュー。TVアニメ『マクロス７』に登場するロックバンドFIRE BOMBER、スーパーユニットJAM Projectのメンバーとしても活動。

AKINO from bless4

あきのふろむぶれすふぉー
12月31日生まれ／兄妹のコーラス・ダンスグループbless4のボーカル・衣装を担当。2005年にTVアニメ『創聖のアクエリオン』のオープニングテーマ「創聖のアクエリオン」でソロデビュー。

一万年と二千年と二十年前から

伝説のアニソン「創聖のアクエリオン」が、アクエリオンシリーズ20周年を迎える2025年、新作TVアニメの主題歌として再臨！「創聖のアクエリオン Myth of Emotions Ver.」を歌うAKINO from bless4・福山芳樹が、楽曲や初タッグへの想いを語る!!

魅力と挑戦が合わさったデュエットソングに

――今回のお話を聞いたときの感想を教えてください。

AKINO 私と福山さんは以前、イベントでご一緒したことがあるんです。

福山 そうそう。12年前に僕が「創聖のアクエリオン 熱輝合体Ver.」を歌ったときのイベントでお話ししたことがあって。

AKINO アニソンイベントとかで一緒になったこともあるんですが、そういうときは軽くご挨拶をするくらいで。「創聖のアクエリオン」でデュエットすると聞いたときはとても嬉しくて、「うおぉぉぉ!!」って感じでした（笑）。

福山 僕が歌った曲はパチンコのために作られたもので、盤（CD）として出ていなければ、ライブでやったのも先ほど話したイベントの一回だけだったんです。今回のお話をいただいたときは「えっ、あの曲ってデュエットになるのかな？」と思ったし、非常に難しい曲という印象があって、20年間ずっと歌い続けているAKINOさんと歌うことにかなりビビっていました。

AKINO えっ、ビビっていたんですか？（笑）

福山 はい（笑）。作品のファンだけでなく、アニメファンにとってお馴染みの曲なので、プレッシャーは感じていました。

――原曲を歌っている人とデュエットというシチュエーション自体、珍しい気がします。

福山 そうですね。でも、AKINOさんがどうアプローチを変えてくるのかは、楽しみではありました。

――ちなみに、作品についてはどんな印象をお持ちですか。

福山 僕たち、詳しい内容までは知らされてないんですよね。

AKINO そうなんです。

福山 だから、「あれ、今までこんな絵だったっけ？」「江の島の話なんだ？」と、ネットで見て新鮮に驚いてます（笑）。

AKINO （笑）。今回はキャラの等身が子どもっぽくなっていてビックリしたんですけど、すごくかわいいですよね。何か意味があってこういうキャラになっていると思うので、放送を楽しみにしています。

――曲を聴いた感想は？

AKINO ストリングスとかいろいろな楽器の音が入っていて、ロック調のアレンジがされていると感じました。元は私が14歳の頃の曲で、当時は流れ



「創聖のアクエリオン Myth of Emotions Ver./告白」
【発売日】2025年２月19日（水）
【価格】1,430円（税込）

収録曲
M1「創聖のアクエリオン Myth of Emotions Ver.」
歌唱／AKINO from bless4・福山芳樹　作詞／岩里祐穂　作曲／菅野よう子　編曲／CHOKKAKU　鷺巣詩郎
M2「告白」
歌唱／AKINO from bless4　作詞／菅野よう子　糸曽賢志　作曲・編曲／菅野よう子
M3「創聖のアクエリオン 私立江ノ島学園Ver.」
歌唱／オオトリサッコ（声／花守ゆみり）、アマハモモヒメ（声／和氣あず未）　作詞／岩里祐穂　作曲・編曲／菅野よう子
M4「創聖のアクエリオン Myth of Emotions Ver.(Instrumental)」
M5「告白(Instrumental)」

私立江ノ島学園の特殊強化クラスの生徒サッコ、リミヤ、トシは、ベクターマシンに乗り込み、神話獣と呼ばれる侵略兵器との戦いを強いられる。激闘の最中、サッコの叫びに応えた３機のベクターマシンは、機械天翅アクエリオンへと想星合体を果たす！

今作のＯＰ「創聖のアクエリオン Myth of Emotions Ver.」は、アクエリオンシリーズ第１作の主題歌を鷺巣詩郎がアレンジした楽曲だ。迫力満点の男女デュエットとなった本曲を歌うのは、原曲の歌唱を務めたAKINO from bless4と、『フィーバー創聖のアクエリオンⅢ』の主題歌「創聖のアクエリオン 熱輝合体Ver.」を歌唱した福山芳樹。ロックテイスト強めなメロディに二人のパワフルな歌声が合わさったことで、原曲の秘めた魅力を引き出すと同時に、新たな物語の誕生を言祝ぐような一曲となっている。

また、AKINO from bless4が歌唱するＥＤ「告白」は、アクエリオンシリーズとゆかりが深く、「創星のアクエリオン」などで彼女と何度もタッグを組んだ菅野よう子の書き下ろし曲。壮大かつ情熱的なこの曲もまた、ＯＰとは別の角度から作品の世界観を表現している。どちらの楽曲も聴き込むことで、20年目の新作をさらに楽しめるはずだ。

るような感じで歌ったんですが、今回は原曲よりもキーが下がっていたんです。レコーディング前に音声を録って、聴いて、また録ってを繰り返し、歌い方のニュアンスとかを研究しました。聴く人に「低いな」と思わせたくなかったので、低さだけでなく太さも出すことは大切にしていましたね。ここまで低いのは初めてかもしれません。福山さんがどう歌うのかも、すごく楽しみでした。

福山　AKINOさん側がドカッとキーを落としていたのは意外でした。てっきり高いキーのところを担当されると思っていたから、ちょっと面白い分け方だなって。

AKINO　ああ！　確かにそうですね。私もビックリしました！

福山　カバーのときは原曲から楽器が変わって、ちょっとヘビーになったくらいだったんですよね。今回はストリングスの不協和音がずっと入っているとか、いろいろと新しいことをしていて、大きくアレンジが変わっているなと感じました。

――レコーディングの際に意識したことはなんですか？

AKINO　今回はデュエットで曲自体も新しいアレンジなので、14歳の声よりもレベルアップしたいと思っていました。すごく愛がこもったフレーズがたくさんあるので、福山さんに託すような歌い方ができたらな、と意識していましたね。レコーディング当日までどう歌うか悩んでいたのが、一番の後のコーラス。オリジナルよりキーが高くなっていたんですが、1オクターブ下で歌うのか、高めに歌うのか迷って、どちらも練習して臨んで当日みんなに聴いてもらい、高めの歌い方になりました。

福山　僕はもう、丁寧に歌うことを大切にしていました。キーというか音符がすごく難しくて、そもそも丁寧に歌わないと難易度が高い曲なんです。歌い出しはリズムがないというか、静かに始まるから、ノッて歌わないようにしていたかな。最初は静かに歌って、だんだん上がっていく感じで。サビはAKINOさんの下を歌うというメロディだったんですけど、AKINOさんが先に録音されていたので、実はすごく楽でした。AKINOさんの歌声にピシッと合わせるというか、20年間歌っている人に「はい、従いまーす」みたいな（笑）。

AKINO　（笑）。

福山　でも、そういう感じで二声のハーモニーが録れたのは、とても良かったと思います。一人で完結する楽曲だと、語尾が荒れていても「カッコいいからOK！」ってなるんですが、ハモる曲はちゃんと歌わないとできないんです。最後の一節は「シャウトしてくれ」と言われて、そこだけはAKINOさんと合わせずに、地を出してガツンとやってみました。

AKINO　最後のシャウト、めちゃくちゃカッコよかったです！　やっぱり福山さんのシャウトは最高でした。私たち二人の良さが詰まっていて、まさにザ・ロックな感じで締まった気がします。

福山　それを言うなら、14歳でこの曲歌っていたのは改めて「すげぇな！」と思いましたよ。僕も自分の家で歌声を録ったんですが、「全然届かない」「全く息が続かないぞ……」ってなりました。どれだけ当時からポテンシャルが高かったんだって（笑）。

ライブ、カバー……最強タッグの野望!?

――AKINOさんから見た、福山さんのアーティストとしての魅力はどこですか？

AKINO　福山さんのライブを観に行かせていただいたときに、高音のシャウトがもうあり得ないくらい伸びていて、ビックリしちゃいました。私も高音には自信があるんですが、絶対枯れないんじゃないかってくらいすごくて。

福山　いやいや！　枯れてる、枯れてる（笑）。

AKINO　今回の曲は先ほど福山さんがおっしゃっていた通り、歌い出しのところは静かなんですが、そこに福山さんの優しい歌声が入るのがグッときました。一緒に同じ曲を歌えて、本当に嬉しかったです。

福山　褒めてくれて嬉しいよ、ありがとう！

――逆に福山さんが感じる、AKINOさんの魅力は？

福山　bless4としてデビューしたときから知っているんですが、4人でダンスをしながら、さらに細かいハーモニーもつけて、あんな声で歌うって、逆立ちしてもできないです。

AKINO　（笑）。

福山　一番の魅力は歌声だと思いますね。僕は子どもの頃に洋楽を聴きまくっていたんですが、歌声の独特なスウィング感、シンコペーション感は、日本人ではなかなか出せなくて。僕が真似しようとしてもできなかったことを、AKINOさんはサッとやれるんです。今回の曲でも英語の歌詞で洋楽チックな歌い方をしていて、「そこがカッコいいんだよ！」と感じながら聴いていましたし、そこに歌声を合わせていくのが楽しかったなって。

AKINO　嬉しいです！

福山　確か、昔そこを直そうとして、菅野（よう子）さんに止められたんだっけ？

AKINO　はい。発音が外国っぽいので、「創聖のアクエリオン」を歌ったときにお兄ちゃん（※bless4のAKASHI）が、菅野さんに「変えたほうがいいですよね？」と聞いたんです。そうしたら、「絶対に変えないでほしい」「そこを変えてしまったらAKINOちゃんじゃない」と言われて。

福山　そこがほかの人にない魅力だと僕は思っているんですよね。

AKINO　ありがとうございます。そのときの菅野さんの言葉を受けて、今まで変えずにやってきました。

福山　僕も20年前の菅野さんと同意見です（笑）。

AKINO　（笑）。さっき子どもの頃に洋楽を聴いていたと話していましたけど、それが福山さんの声にも出ていると思います。

福山　あっ、そうなんだ？

AKINO　そうです。シャウトのやり方や音楽の作り方、グルーヴ感とかに洋楽を聴いている感覚があるなって。今回の曲にもそういう感じが出ていて、とてもやりやすかったです。

福山　本場の人にそう言ってもらえると嬉しいです。

――福山さんが「創聖のアクエリオン」をカバーしたように、福山さんがAKINOさんに歌ってみてほしい曲、AKINOさんが歌ってみたい福山さんの曲はありますか？

AKINO　私、FIRE BOMBERの「突撃ラブハート」を歌ってみたいです！　すごくカッコよくて好きなんですよ。最近の曲だと、「BURN! BURN! BURN!」を福山さんと一緒に歌ってみたいなって。

福山　FIRE BOMBERは男女で歌う曲がいくつかあるから、ぜひぜひ。俺がギターを弾いて一緒に歌う、っていうのも面白いかも。

AKINO　やりたいですね！　あと、「Go Tight!」もデュエットで歌ってみたいです。もともとロック調の曲だし、ガンガン行けそうな感じがしません？

福山　こっちはドキドキするけど、お客さんは喜ぶだろうなぁ（笑）。

――お二人のデュエットが持つ可能性を感じますね。今回の一曲だけで終わるのがもったいないというか。

福山　僕としてはこういう機会はあまりなかったし、最高のデュエットができたと思っているので、ちゃんと定番にしていきたいです。

AKINO　いろいろなことができそうですね。

福山　そうだね。二人とも芸達者だし（笑）。

AKINO　（笑）。

――本誌の発売が1月なので、25年の抱負も伺えればと思います。

AKINO　まずは福山さんとこの曲を一緒に歌いたいです。

福山　そうですね。

AKINO　福山さんと一緒にデュエットしてバージョンアップした曲で、たくさんの人に愛を伝えていきたいです。アーティストとしては、ゴスペル風の曲とかいろいろなジャンルに挑戦して、さらにレベルアップしていきたいなって。また、25年はソロデビュー20周年のツアーもやる予定です。ファンの人たちと音楽で一つになれたらいいな、と思っています。

福山　25年は『マクロス7』30周年のライブや僕個人、JAM Projectとしての活動で、実はいろいろとやることが決まっていて。その合間を縫って、この曲をライブで歌うことができたら最高ですね。ここで頑張らないと、定着しないですから。

――最後に読者へメッセージをお願いします。

AKINO　今まで「創聖のアクエリオン」は一人で歌ってきましたが、この曲に込められた愛をアピールするには、一人より二人の力があるとさらに伝わりますね。大好きなパートナーとペアで歌ったら盛り上がると思うので、たくさんの人たちに歌ってほしいし、私たち二人の熱い想いも、皆さんに届けていきたいです！

福山　原曲がとてもいい曲であると同時に、エキセントリックな曲でもあるので、デュエットバージョンは最初耳慣れないかもしれませんが、「結構ありだな」と思っていただけたら嬉しいです。ぜひカラオケで歌ってほしいですし、ライブでは僕らと一緒に楽しんでください！

出だしから200%の感情を込めた「告白」

――ED曲「告白」の印象を教えてください。

AKINO　「創聖のアクエリオン」は、愛してるという気持ちをガンガン出しているのに対して、「告白」は愛する人への想いが昂っているのに、恥ずかしくて伝えられない。だから、心の中で叫んでいる……という印象を受けました。私も恋愛ではシャイになるので、そういう気持ちはよくわかるんです。「あなたに会いたい」「あなたはなんてすばらしい人なの」という想いを込めて、情熱的に歌いました。

――レコーディングで記憶に残っていることは？

AKINO　出だしのフレーズは最初、優しく歌おうかなと思っていたんですが、菅野さんから「100%、200%の感情を出してほしい」と言われました。すごく難しかったですけど、実際にやってみたら気持ちが伝わる感覚がありましたね。あと、追っかけの部分も「もっとアクセント入れて」「スタッカート入れて」と技術的なところで指導を受けて、何テイクか録りました。

――OPもEDも情熱的な曲なのは面白いですね。

AKINO　そうですね。自分の中の気持ちを叫ぶED曲で告白して、成立したらOP曲で思いっきり≪愛してる≫コールをぶつける……みたいなストーリーも想像できます。



トラブル多発中…

正十字騎士團の重大な秘密や、
自身の目に宿る魔神・サタンの青い炎に雪男は衝撃を受ける!!



奥村 雪男
Yukio Okumura
断片的だが、騎士團や養父・藤本獅郎の秘密を知り、善と悪が分からなくなる。無意識のうちに訪れた祓魔屋で、しえみに強く当たってしまう



奥村 燐
Rin Okumura
TV ニュースで、メフィストが撃たれた会場で雪男が拘束されたと知る。現場に向かう途中、雪男を連れて行くシュラからは家で大人しくしているよう指示される

出生の真相を知りたい雪男と、ただただ雪男の様子が心配な燐。それぞれの思いがぶつかり合った「雪ノ果篇」の激闘を振り返ろう！

『青の祓魔師』という物語の根幹に迫る「終夜篇」にいよいよ突入！　今期は、奥村兄弟の出生にまつわるドラマが見どころになりそうだ。

誕生日＆クリスマスパーティで盛り上がっていた燐たちだが、上級悪魔が都内に現れたことで、一般の人々に悪魔の存在が知られてしまう。シュラも手を焼くような悪魔たちが各地で出現しており、数々の死線を潜り抜けてきた祓魔師たちでも弱音を吐いてしまうほどだ。

これまで出自を隠されてきた雪男は、〝青い夜〟を調べているライトニングや勝呂に、知っていることを教えろと迫った。しかし、ライトニングから受け取ったデータには、雪男が求めていた情報はなかった。代わりに、正十字騎士團が人間世界を守るために多数の人間を生贄にして、悪魔の王の憑依体を生産していた事実を知る。いわば、イルミナティと同じ穴の貉だったわけだ。

そのころ、またも何も知らない燐は、なぜそこまで雪男が出自を知りたがるのか分からず、不安を募らせていた。「どっちも正しくて間違ってて、僕らは本当に気の合わない兄弟だったもんね」という言葉を吐き捨てる雪男。「もう雪男が判んねぇ…」と燐は弱気になってしまう。

性格も考え方も正反対な二人だからこそ話し合いが必要なのに、このままでは『京都不浄王篇』のときと同じような衝突を起こしてしまう!?　燐の無鉄砲な行動力で悩める雪男を助けられるかどうかが、今後の戦いでの鍵となるだろう。





トラブル 1
上級悪魔の出現

都市部に上級悪魔が出現し、祓魔師たちは対応に追われる。魔障を受けたことにより悪魔が見える人も増え、世界は混乱に陥っていく。池袋ではシュラが陣頭指揮をとっていた。





勝呂竜士
Ryuji Suguro
ライトニングに振り回されつつ、弟子として付き従う。「止めるなら今のうちだ」と言われるも、最後までついて行くと断言した

トラブル 2
雪男の脅迫

雪男は勝呂を銃で脅し、ライトニングとの調査内容を聞き出そうとした。なんとか声を絞り出した勝呂は必死に「撃つんですか、俺を…!?」と雪男に訴え、無傷で解放された。



トラブル 3
もう一つの通称

正月休みを返上し、ライトニングはイルミナティとつながりがありそうなドラク・ドラグレスクに接触。拷問官とも呼ばれているライトニングは、問答無用で彼を追い詰めていく。







ルーイン・ライト
（ライトニング）
Lewin Light
メフィストとイルミナティのつながりを疑い、騎士團の日本支部内を調査中。人が相手でも容赦なく力を振うため、勝呂がストッパーに

















強制召喚

ドラグレスクへの暴行が早くもヴァチカン支部の上層部に告発され、ライトニングは一時的に拘束されることに。これまでの報告書を勝呂に託し、オセオラに連行された。

しえみとの衝突

騎士團の秘密を知り、雪男は複雑な感情に押し潰されそうになる。そして無意識のうちに祓魔屋へ足を運ぶも、しえみからの「頼んでもいない心配」に、思わず反発してしまう。

トラブル 6

雪男に宿る炎

藤堂との戦いの中で雪男が感じた青い炎の正体は、サタンだった。サタンは雪男の目から世界を覗き、どこからともなく話しかけてくる。

誰もが悪魔を見る世界に

悪魔の動きが活性化したことにより、物質界は混乱している。首相官邸に招集されたメフィストは、「まもなく全人類が悪魔を見る世界が来る」と断言し、政府に協力するよう呼びかける。





トラブル 7



メフィスト・フェレス
Mephisto Pheles
銃撃により深手を負い、人工虚無界の門の結界を手放すことに。雪男のように予測不能な行動を起こす人の営みを、面白がっている



トラブル 8

会見中に発砲？

雪男は、自分は燐と同じ炎を継いでいるのかとメフィストに問うが、彼はふざけた態度でそれを無視。思わず雪男はメフィストに銃口を向けるが、別の方角からメフィストが撃たれる。







解 決 に 向 け て…















まずは悪魔退治を

どんどん物質界に押し寄せる悪魔を、今はとにかく祓うしかない。人間に感知されると悪魔は強力になるため、一般の人々が姿を見る前に処理しなくてはならない。

要検査

謎が多いサタンの炎を継いでいるとなると、雪男は騎士團で検査しなくてはならない。だが、燐は今、処刑保留の身。雪男の味方になってくれる人物に心当たりがなく、不安を抱く。

落ち着いて話そう

燐も雪男も高ぶった感情ばかりが先行して、どうしても言い合いになってしまう。自分の意見をただ言い合うのではなく、お互いに耳を傾けることができれば、衝突も減るのかも。

青の祓魔師 終夜篇

✦毎週土曜日✦深夜0時30分✦TOKYO MXほか
HP✦https://www.ao-ex.com/

再び始まる 薬屋の日常

毒と薬好きの下女・猫猫と美貌の宦官・壬氏が繰り広げる後宮謎解き譚が、約1年ぶりに帰ってくる！ 様々な人間の思惑が複雑に絡み合う後宮で、二人が次に挑む事件とは？



ゆうき・あおい
3月27日生まれ／千葉県出身／青二プロダクション所属／『僕のヒーローアカデミア』（蛙吹梅雨）、『妻、小学生になる。』（新島貴恵、白石万理華）ほか

おおつか・たけお
10月19日／東京都出身／アイムエンタープライズ所属／『トリリオンゲーム』（天王寺 陽）、『【推しの子】』（アクア）ほか

薬屋のひとりごと

◆1月10日より放送開始◆毎週金曜日◆夜11時
◆日本テレビ系「FRIDAY ANIME NIGHT」
◆初回放送は夜11時40分開始
HP◆https://kusuriyanohitorigoto.jp/

STAFF◆原作／日向夏（ヒーロー文庫 イマジカインフォス刊） キャラクター原案／しのとうこ 総監督・シリーズ構成／長沼範裕 監督／筆坂明規 キャラクターデザイン／中谷友紀子 美術監督／髙尾克己 音楽／神前 暁・Kevin Penkin・桶狭間ありさ アニメーション制作／TOHO animation STUDIO × OLM

悠木ヘアメイク＝森 香織
大塚ヘアメイク＝川端啓子（addmix B.G）
大塚スタイリング＝宇都宮春男（YKP）

『薬屋のひとりごと』がついに新章開幕！

猫猫（マオマオ）の実父である軍師・羅漢（ラカン）と、猫猫の母である元妓女・鳳仙（フォンシェン）の愛を取り戻すことができ、切ないながらもめでたしめでたしで幕を閉じた第1期。しかし、よくよく考えてみると、壬氏（ジンシ）の命を狙った犯人は一体誰なのか？　その目的は？　死を偽装して姿を消した官女・翠苓（スイレイ）の行方はいずこ？

また、玉葉妃（ギョクヨウヒ）の懐妊で後宮のパワーバランスはどう変わる？　そして、猫猫はいつになったら貴重な薬「牛黄」をもらうことができるのか？　……などなど、解決していないことは山積みだ。

そんな中、今度は異国からの隊商（キャラバン）と特使がやって来ることに。人の出入りが増えるとなれば、宮中にうごめく思惑や陰謀がますます複雑さを増すことは必至。それに伴って、新たな事件が起きることもまず間違いないないだろう。

果たして猫猫と壬氏は、それにどう立ち向かっていくのか？　仲がいいようでどこか噛み合わない、薬屋＆宦官の凸凹コンビの新たな活躍を見守ろう！

新たに広がる人間模様



第2期からは、子翠というおしゃべり好きの下女も、猫猫の日常に絡むことになるらしい。子翠との関わりで、猫猫はどんな新たな一面を見せてくれるのだろうか？　また、阿多妃に代わり柘榴宮に入ったものの、いまだ人間性が見えてこない淑妃・楼蘭妃の動きも気になるところだ。

謎多き壬氏の素顔とは？



皇帝と親しげに言葉を交わしていたり、重要な祭事を執り行っていたりと、いくら身分が高いとはいえ、言動に謎の多い壬氏。猫猫は彼の裏事情について疑問を抱きつつも、あえて深入りしないようにしてきた。だが第2期では、そんな壬氏のバックボーンが物語の鍵になる!?



猫猫役
悠木碧

今期もやきもきは続いていく!?

「親子」がテーマの第1期を振り返って

——第1期では様々な親子の形が描かれましたね。

悠木　第1期では長沼（範裕）監督（第2期では総監督）が『薬屋』はファンタジーの世界観で、年齢層が様々な男女もたくさん出てくるけど、そのすべてに親がいて、子どもだった時期がある。それは観ている人も同じ。どんな人にも家族との関係性があるから、みんなが共感できるように『親子』をテーマに作っているんです」とおっしゃっていたんです。その話を聞いて「なるほど、だから幅広い方に観られているのか！」と思いました。ターゲット層を絞らずにどんな人でも楽しく観られる仕掛けとして、みんなが考えるパーツを一個組み込んでいたんだな、と。猫猫も壬氏も、人物像だけを見ると結構心を寄せにくい部分もあると思うんですよ。猫猫は主人公にしてはダウナーだし、壬氏は何でも持っている人だから。それでも、二人の置かれている状況になんとなく共感できるのは、そういった工夫のおかげだと思います。本当に「もの作りのプロ、すごい！」って感じましたね。

大塚　僕ら演者としても、スタッフの皆さんがテーマとして一本芯を通してくださったおかげで、ブレずにいられました。もちろん、それによってハードルが上がった部分もありますけど、こだわりの一端を担わせていただけて嬉しかったです。作品を観た方にもそれを感じ取っていただけたらいいなと思いながら演じました。

——特にお二人の印象に残った親子はどの組み合わせですか？

悠木　猫猫をやっている身としては、やっぱり「猫猫と（養父の）羅門（ルオメン）」を推しますね！　羅門に教えてもらったことがちゃんと彼女の中に根付いていて。それって親子の在り方としてすごく正しいなって思うんです。「師匠であり、親である」という、その関係性がすごくいいなと思いました。彼女がなぜ薬が好きかと言ったら、羅門に褒められたかったから、同じ景色が見たかったからじゃないですか。そこに猫猫のバックボーンが詰まっているな、と。あ、もちろん、（実父の）羅漢のことも好きですけどね（笑）。

大塚　僕は、「阿多妃（アードゥオヒ）と里樹妃（リーシュヒ）」が素敵だなと思いましたね。本当の親子ではないですけど。

悠木　あー、分かる！

大塚　阿多妃が後宮から出ていく時に、里樹妃と接しながら母親の顔になるあの一瞬、とてもぐっときました。壬氏も「今だけでいい」と泣いていた姿がとても印象に残っています。



今期も変わらない猫猫と壬氏の関係性

——第1期の物語を経て、お二人は猫猫と壬氏の魅力をどのように感じていますか？

悠木　一視聴者として本編を観ていて思ったのは、「こんなに壬氏が想ってくれているのに、まったく猫猫はつれないね～」と（笑）。猫猫、なぜか壬氏に関してだけは勘が働かないんです。そこが愛おしくもあり、やきもきもするし。そして壬氏は、かわいそうでかわいい（笑）。ちょっと問題なところもあるけど、基本的には壬氏ってまともじゃないですか。ちゃんと毎日働いて、人に気を配って社会人として立ち回って。なのに、一番好きな子にはちっとも振り向いてもらえなくて。なんでも持っているのに、本当に欲しいものが手に入らない。その、ままならなさが魅力なのかもしれないな。

大塚　壬氏も彼なりに頑張っているんです。

悠木　うん、分かってる！

大塚　立場的にいろんなことの板挟みにもなりつつ、猫猫に対してもすごく思いやっていて。でも、「いや、そのやり方じゃ猫猫に気持ちは伝わらないだろ……」という方法を取ったりもするんですよね（笑）。そんなところも、彼のかわいさなのかなとは思います。壬氏は最初、猫猫を「使える駒」とか「新しいからかい相手」みたいに見ていたようですけど、接する中で、彼女の一本芯の通った生き方に惹かれていったんだと思います。それと「今までうまくいっていたことが、この人には全然通用しない」という子どもっぽい悔しさもあって、どんどんのめり込んでいったんだと思います。猫猫は本当に名前の通り猫っぽくて、懐いてくれたらめちゃくちゃ嬉しくなっちゃう。そこが猫猫の魅力だと思います。

——第1期最終話では、猫猫と壬氏がキラキラと見つめ合うシーンもありましたが……。

大塚　でもあれは、牛黄に対してゴロニャンしていただけですよね？　壬氏に対してどうこうというのはまったくなかったですからね（笑）。

悠木　そうそう、言っちゃえば「ちゅ～るを待つ猫」みたいな（笑）。

——（笑）。今期では、二人の距離感にどんな変化があるのか楽しみです。

悠木　猫猫はあんまり変わらないですね。壬氏とは身分の違いもあるので、本人も努めてその一線を引いていると思います。ただ、第2期は壬氏の身の回りのことや生い立ちが少しずつ見えてくるので、そこは注目ポイントかな、と。壬氏のことにだけは勘が鈍いと言いましたが、視聴者と一緒にだんだん彼への理解を深めていくといいですよね。

大塚　そうですね。基本的な関係性は変わらないですが、その中でもお互いのことを少しずつ分かるようになって。特に猫猫から見て壬氏のことがちょっとずつ……。そういう「変わるの？　変わらないの？」みたいなところが見どころになると思います。

悠木　結局やきもきは続きます！（笑）

——演じるにあたって、第1期から引き継いだところや、逆に第2期から新たに意識している点はありますか？

悠木　なるべく今まで通りにやっていますね。第1期からそんなに劇中時間も経っていないので、猫猫のイメージをガラッと変えることはせず、地続きであることを大事にしています。ただ、ちょーっとだけ猫猫が壬氏になじんでいると思うので、その温度調節は図っています。あとは、子翠という新入りの下女が登場するので、彼女との空気感も大事にできたらいいな、と。壬氏や高順（ガオシュン）たち高官と喋っている時と、子翠や小蘭（シャオラン）といった職場の同僚の子たちと喋っている時の違いが分かりやすくなるように。

大塚　そういう「誰とどこでどんな内容の話をしているのか」「どういう温度感の会話なのか」という点は、壬氏を演じる上でも常に気にしています。たとえばシリアスなエピソードでも、「猫猫といる時は『猫猫と話せてちょっと嬉しい』みたいな感情もあるはずなので、そんなに深刻な空気感じゃないほうがいいね」というように、都度ディレクションをいただき、意識しながら演じています。

——第2期でお二人が特に注目してほしいキャラクターを教えてください。

悠木　新キャラクターではないですが、鈴麗（リンリー）ちゃん（玉葉妃の娘）がかわいくて！　唯一の公主さまですから、そりゃあ大事な大事な宝物ですけど、「本当によその子って大きくなるのが早いわよね～」という気持ちで見ています（笑）。立っちするようになった鈴麗ちゃんの面倒をみんなで見ているところとか、「あー、分かる」という感じで。あとは、小蘭ですね。彼女もいろいろと頑張るので、猫猫との友情もより深まるんじゃないかなと思います。そして「盗賊改め」こと、猫の毛毛（マオマオ）も注目ですね。

大塚　そうですね。かわいいのはもちろんのこと、毛毛に翻弄される人たちや、その魅力にとりつかれる人たちも面白いです。

悠木　大塚くんも猫好きだもんね。第1期の時、まだ私たちの共通の話題があんまりなかった頃、猫のことで盛り上がったの、覚えているよ。「猫、かわいいよね！」って。

大塚　そうでしたね（笑）。あとは個人的には、皇帝もとても気になっています。皇帝をはじめ、位の高い人たちが出てくるたびに毎回ちょっと空気が変わる感じがして。そのあたりがこれからどう掘り下げられていくのかも、ぜひ楽しみにしていただけたらと思います。



壬氏役
大塚剛央

◆お二人の話は次号に続きます。お楽しみに！

描け、描くんだナツ子！

MAPPAが手掛ける完全オリジナル異世界転生作品として注目を集める『全修。』
破滅へ向かう異世界を、天才アニメクリエイターのナツ子はいかにして救うのか⁉

若くして天才の名をほしいままにするアニメ監督のナツ子は、食あたりによる腹痛で倒れてしまう。目が覚めると、そこは彼女が幼い頃に観たアニメ映画『滅びゆく物語』の世界だった！

混乱と驚き、そして憧れのアニメの世界に転生できた喜びに浸るのもつかの間、ナツ子はあることに思い至る。『滅びゆく物語』はその名の通り、主人公・ルークの仲間たちが戦いの中で命を落としていき、最終的に悲劇的な結末を迎える「鬱アニメ」なのだ……。

だが、幸いにもナツ子は繰り返し作品を観たため、これから何が起こるかすべて知っている。世界を滅ぼす存在・ヴォイドの大群が押し寄せてくるのを予知し、さらには「アニメの作業机で書いたものを召喚する」という異能力を発動して、危機に陥ったルークや街のみんなを救うことに成功する。

自爆魔法で死ぬはずだったユニオも無事で、まずは一安心。だが、それは『滅びゆく物語』の展開を根本から変えてしまう行為だった。ナツ子の行動は、この世界にどんな影響を与えていくのか。そして彼女は無事に現実世界に戻れるのか。ナツ子やルークの戦いを見守りたい。



広瀬ナツ子
22歳のアニメ監督・アニメーター。自他ともに認める天才だが、コミュ障気味。ルークたちと出会い、世界を守るため行動を開始する

全修。
✘毎週日曜日✘夜11時45分✘テレ東系列ほか
HP✘https://zenshu-anime.com/



ルーク・ブレイブハート
『滅びゆく物語』の主人公で、伝説の勇者。18歳。若い女性の扱いが苦手。ナツ子が見せた不思議な召喚術に、世界を救う希望を見出す



メメルン
ルークの仲間で、数百年の時を生きるエルフ。冷静沈着で感情を表に出さず、ナツ子が街を救った際もどこか物憂げな様子を見せていた



QJ
ルークの仲間で機械仕掛けの温厚なロボ。ヴォイドの接近を感知する能力を持つが、肝心な時に限って充電中で使えないことが多い



ユニオ
ルークの守護獣。普段は2頭身の姿だが、気高いユニコーンの姿にも変身できる。初対面で「獣臭い」と言ったナツ子への当たりが強い

キラキラBANKで「召喚」

ナツ子は作業机で描いたものを召喚する能力を持つ。第1話では、迫りくるヴォイドの大群に対抗し、某怪物を召喚してビームで瞬殺した！　毎回どんなアニメのオマージュが登場するのかは、本作の大きな見どころになるだろう。また、召喚に至るBANKシーンもとても華やか。「ゼーンシュー♪」というコーラスが流れ、蝶や鳥も羽ばたく中、ナツ子が人間離れした早業で原画を描いていく。某アンドロイドのように「アーニメーター」（アにアクセント）と呼ばれるのも納得の無双ぶりだ。





世界の運命を変える知識

『滅びゆく物語』は「意味不明な鬱アニメ」という評価を受けたが、幼いナツ子の心に鮮烈な感動を与えた。その後、何度も繰り返しこの作品を観て、セリフも一字一句すべて覚えている。そんなナツ子は、まさに世界の予言者。敵がいつどこから侵攻してくるのかも分かる知識は、この世界の運命を変えるかもしれない。





不器用同士のぶつかり合い

内向的で他人を信用せず、マイペースでへそ曲がりなナツ子。そして、勇者としての責任感はあるが、頑固で子どもっぽく尊大なところもあるルーク。どっちもどっちなナツ子とルークは、当然ながらたびたび衝突する。ヴォイドとの戦いを通じて、二人の関係がどう変わっていくのかにも注目しよう。



髪で隠れたナツ子の素顔

劇場作品のコンテが上がるまで髪を切らないと願掛けをした結果、ナツ子の髪は伸び放題。そのため顔がまったく見えず、ルークたちに人間とは違う種族だと思われるような風体に。だが、ふとした瞬間にのぞく素顔は意外と美人のようで、気を失った彼女の顔を見たルークは驚きながらも見とれていた。

「召喚されるもの」にお強い方々が参加しました

原作・監督　山﨑みつえ

——『全修。』はアニメ用語で「全リテイク」であることが第1話冒頭で語られます。本作の『全修。』というタイトルに込めた意味について教えてください。

山﨑　業界的にぞっとする単語で目を引いています。ナツ子は大切で大事にしてきたアニメを「修正」することに抵抗があるので、それをどうやって「全修。」するのか、楽しんでもらえたらいいなと思っています。

——第1話は現実世界と『滅びゆく物語』の2パートで物語が展開しました。絵作りではどんなことを念頭に置きましたか？

山﨑　どちらも背景の色と対比して、ナツ子の紫色のパーカーが際立つようにしました。現実世界はわりとグレイッシュで素っ気なく、硬い感じで。異世界は中世ということもあって茶色が多く、紫が目立つようにモブ色などもコントロールしてもらいました。第1話は変身BANKまでナツ子の顔を見せたくなかったので、いかに黒髪と紫パーカーで主人公として認識してもらえるか、色と動きで工夫したつもりです。

——ナツ子が作業机で作画することで、様々なものを召喚するシーンは毎話のトピックになりそうです。この発想は、どのようにして生まれたのでしょうか？

山﨑　彼女がアニメーターであることを異世界で示すために、絵を描く動作をどう表現するかでかなり悩みました。空中で絵を描くとか、異空間で絵を描くとか、いろいろ検討する中、「アニメーター」で画像検索したら、透過台机に向かっているアニメーターの写真が出てきたんです。「アニメーターは机がセットなんだ！」となり、砂漠に透過台机を出すことになりました。その時の元絵の構図が、ティザービジュアルで使われたりして、チームの「アニメーター」の印象をかなり引っ張ってくれました。キャラクターデザインの石川佳代子さんが、そこからひらめいて、変身BANKの絵コンテを急に描いてきてくれたんです。びっくりしましたが、すごくありがたかったです。

線画も出てくるのは、原画の線撮でアフレコやダビングを見ながら、「これがフィニッシュで見えたら面白いのになあ」と以前から思っていたからです。そのアイデアを、画面にそのまま入れた感じです。撮影処理でとてもカッコよくしていただけて、とても気に入っています。当初すべて線画で構成するかも悩んだんですが、特殊な作り方でできているシーンです。

——ナツ子は作中でほとんど顔が髪で隠れていますが、キービジュアルを見る限り、顔立ち自体は整っているように思います。今後、どんな場面で顔を出していくようになるのでしょうか？

山﨑　かわいい顔を自慢して回っているように見えると、アニメーターじゃないなと思ったんです。それで、他者とコミュニケーションを遮断しているようなキャラにしてもらいました。髪は彼女の心の壁だし、コミュニケーションをとりたいルークたちにとっても壁。「顔が見たい」「ご飯を食べて美味しいって言っている顔が見たい」と思ってもらうギミックになっています。ルークたちとの仲が変わっていくと、髪型をいじられまくるので、楽しみにしてほしいです。

——もしナツ子が実際の現場にいたら、山﨑監督は同業者として、どのように接しますか？

山﨑　自分が参加する作品の監督さんがナツ子だったら、あんまり声をかけないと思いますね……。ピリピリしている人は放っておいてほしいと思うので。私も「できれば関わりたくない～」って逃げて回ると思います。各話演出に入ってくれるなら、「勝手に作っていいよ～」って甘やかして、いいもの作ってもらうかな。

——ルークの仲間であるユニオやメメルン、QJは、それぞれどのようなキャラクターですか？

山﨑　ユニオは女好きのゲスなユニコーン。かわいいナリをしているだけで、だまされます。ルークが唯一、心を許せる友達。そしてナツ子のケンカ相手でギャグ要員です。でも、釘宮理恵さんのお芝居が大変かわいらしくて、あまりゲスにならなかったですね。

メメルンは、長生きしすぎて疲れているエルフ。表情を作るのも疲れています。ナツ子をあまりヒロインっぽくしなかったので、もともとは絵映え要員でした。でも、メメルン回が大変かわいらしくて応援したくなり、私の中で大事ランクがかなり上がりました。最終話まで結構頑張る子です。あと、歌が上手いです。

QJはポンコツメカ。ユニオとナツ子のケンカをいいお兄さん的に諫めてくれるチームの潤滑油です。謎の力で浮いている謎兵器でもあります。あと、ヴォイドが来てから反応するというポンコツっぷりが愛せるところです。癖になる、欠かせないメンバーで、陶山章央さんにしかできないお声です。

——あらためて第1話を振り返って見どころを教えてください。

山﨑　こだわって作ったナツ子の机は、実際にスタジオを歩き回って見せてもらった女性アニメーターさんたちの机を参考にしています。お気に入りのチビキャラを飾っていたり、ドリップコーヒーやかわいい文具、頭痛薬があったり。ゴミがぐしゃっとなっていても気にしていなかったり。机の壁に、終わったリテイク表や、終わった予定のポストイットなども貼ってあったり。鉛筆はMITSUBISHIの2Bですが、2Bは私が使っているからです。

ナツ子の職場であるスタジオコンコンは、40年ぐらい続いている古いアニメスタジオのつもりです。昔のポスターが貼ってあったり、スタジオあるあるな様子を見てもらえると嬉しいです。今後のヒントが映っていたりもしますね。

——第2話以降の注目ポイントをお聞かせください。

山﨑　毎話数、ナツ子が何を召喚するのか、楽しみにしてもらえると嬉しいです。召喚されるものにお強い絵コンテマン、演出さん、アニメーターさんに、いっぱい参加していただいたので、絵や動きで楽しめると思います。



不思議でいっぱいのティザービジュアル。異世界に作画机ごとやってきた!?



バンパイアの森 蘭丸は、とある組織に追われて満身創痍だったところを、幼い少年・立野李仁に救われる。それから10年——蘭丸は李仁の実家である、老舗銭湯「こいの湯」で住み込みバイトとして働いていた。自分の命を救ってくれた李仁へ恩返しをするために、そして彼の血を吸うために……！

血の味にうるさく、「18歳童貞の血」を至高とする蘭丸は、李仁の貞操をずっと守り続けてきた。15歳の李仁が熟すまであと3年となったが、李仁が同級生の篠塚 葵に一目惚れしてしまう。果たして蘭丸は李仁の貞操を守り抜き、「18歳童貞の血」を味わうことができるのか——!?

異色の組み合わせのように見える「銭湯×バンパイア」だが、蘭丸本人は意外と楽しんで銭湯生活を送っているようだ。裸の付き合いでご馳走（李仁）の状態を常に確認できるし、バンパイアハンターからもまさか銭湯にいるとは思われず、隠れ蓑となる。しかし、李仁の魅力が年々増してきて、蘭丸の我慢にも限界が……!? 李仁が恋を知ったことにより、血の味にどれだけ影響が出るのかも気になるところだ。



銭湯から愛を込めて

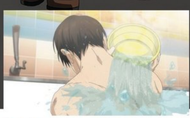
夜の湯けむりと共に、恋の矢印が予期せぬ方向に交錯する!?
銭湯で住み込みバイト中のバンパイア×純朴な男子高校生による、ブラッディ・ラブコメ（BL）がついに開幕！



立野李仁役 小林裕介

立野李仁
RIHITO TATSUNO

15歳の男子高校生で、老舗銭湯「こいの湯」4代目。純朴＆天然な好青年で、蘭丸がバンパイアだという話をジョークだと思っている



李仁の印象は？

浪川　ぷっくりとした肌、唇、全てが美しいし、ご馳走です！

小林　童貞を絵に描いたような、ある意味理想が詰め込まれているキャラクターかなと。ピュアなままで突っ走ってほしいですが、ちょうどお年頃ですからね。

浪川　恋愛面でも真っ直ぐだしね。

小林　フランケンの存在を考えると、決して治安のいい学校ではなさそうですよね（笑）。それでもあのピュアさを貫いているのは、才能だなと思います。もしかしたら、蘭丸が密かに守ってくれていたのかもしれませんが。

浪川　必死ですよ。蘭丸が命がけで守っています！

タイトルのインパクト！

浪川　真剣に取り組まないと、一発じゃ言えないタイトルですよね。最初にこのタイトルを見たときは衝撃を受けましたが、インパクトがあって素敵だと思います。でも、「何で『ハ』に点々なんだ？」と思わなかった？

小林　普通は『ウ』に点々で「ヴァンパイア」ですもんね。

浪川　やっぱりそこは、ザ・ドリフターズの「いい湯だな」の歌詞にかけてるのかな？

小林　ドリフターズ繋がりで、わかる人には一発でギャグアニメというのも伝わりますしね。このタイトルだから、僕はてっきりOPかEDで、「いい湯だな」を蘭丸がカバーして歌うのかなと密かに期待していました（笑）。

銭湯×バンパイア？

小林　「なんでバンパイアが銭湯にいるんだろう？」とずっと思っているんですが……。全く結びつきを感じませんよね（笑）。

浪川　いや、これはアレですよ。

小林　なんですか？

浪川　ツヤ感！　ツヤ感を表現するには、洋服も大事ですが、やっぱり裸の付き合いじゃないですか。李仁くんの美しさを出すには、銭湯は欠かせない要素なんです。

小林　あ、そうか！　これBL（ブラッディ・ラブコメ）作品ですからね。

浪川　でも、本当のところはどうなんでしょうね。奥嶋ひろまさ先生に聞いてみないとわからないですが……。やっぱり李仁くんが銭湯の息子だからじゃないですかね？（笑）

小林　それは言っちゃダメでしょう（笑）。

浪川　蘭丸としても、狙うには側にいたほうが狙いやすいですから。

小林　きっかけはそうかもしれませんが、銭湯で語られるそれぞれの本音みたいなものもあるんですよね。そういう場面を見ると、お風呂という場を大事にしているのかなと、奥嶋先生のこだわりを感じました。

浪川　銭湯での男同士のミステリアスな会話って、女性の方はわからないでしょうし、逆もまた然りで。そういう未知の世界が垣間見えるのは、ワクワクする部分でもあるのかなと思います。

小林　でも、よくよく考えてみたら、あの銭湯って僕たち以外の客、誰もいないですよ？

浪川　確かに、蘭丸たちが入っているときは誰もいないね。

小林　経営が心配になります！

原作の印象は？

浪川　原作を読んだら、予想以上に動きがあって。内容的にも、とても絶妙なすれ違いがずっと続く面白さを見事に表現しているので、演じる側としては難しいなと思いました。李仁くんはどうなの？

小林　最初に原作を読んだ印象としては、ギャグがシュールでじわじわくる面白さがあるなと感じました。演じる側は技術を要されるなとは思いましたが、李仁はそれに乗っかってしまうと純粋さ、ピュアさが薄れてしまうんですよね。李仁としては、会話をしているようで自分の道を真っ直ぐ突き進むことが正解で。そこを守るのは大変でありつつも、面白さを求められることは、ある意味少なかったです。

浪川　いや、ちょっと言わせてもらいますけど！

小林　なんですか!?（笑）

浪川　蘭丸も、ある意味真っ直ぐなんです。

小林　確かにそうですね。

浪川　李仁くんが18歳になるまで（吸血を）待つという目標のために、真っ直ぐピュアな気持ちで生きているんです！　お互いそうだと思うけれど、ブレるとズレの面白さが計算高くなってしまうので、そこは気をつけていました。



ロックオン

「18歳童貞の血」を至高とする蘭丸にとって、李仁はあともう少しで出来上がるご馳走そのもの。一緒に湯船に浸かっているときも、獲物を狙うような視線を隠しきれていない。



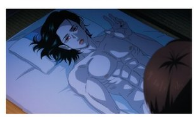
ここにもご馳走!?

李仁と同じ高校で、不良たちのリーダー格であるフランケン。見た目は怖いが、酒やタバコには手を出さない健康優良児で童貞という、蘭丸にとってはご馳走のような存在だ。



吸血

「こいの湯」で人間に紛れながら、わりと楽しく暮らしている蘭丸。人間と共存していくためにも、普段は悪人の血だけを吸っているが、葵の血を吸おうとするシーンも——!?



寝る時は全裸？

バンパイアだが、蘭丸は棺に入って眠らなくても大丈夫なようだ。部屋を暗くし、布団を敷いて眠るところまでは一般的な人間と同じ。ただし、なぜか全裸で寝ているらしい。

ババンババンバンバンパイア

♨1月11日より♨毎週土曜日♨夜11時30分
♨テレビ朝日系全国24局ネット"IMAnimation"枠にて放送開始
♨BS朝日ほかにて放送開始 ♨Netflixにて独占配信
HP♨bababa-anime.com





甘酸っぱい恋

大切に育てても、子供はいつか羽ばたくもの。15歳というお年頃になった李仁は、ついに恋を知ってしまう。李仁の恋に対し、蘭丸はどんな手段で童貞を死守しようとするのか!?



至高の童貞

10年間、蘭丸がすぐ隣でその貞操を守り続けてきた甲斐あって、李仁は蘭丸の理想を絵に描いたような、素直で純朴な好青年に育った。魂レベルで穢れを知らない、貴重な童貞だ。

アフレコ時のエピソードは？

小林　浪川さん名物の、アフレコ直前になって「この漢字、なんて読むの?」という質問はやっぱりありましたね。

浪川　不安になるんだよね。セリフが長いので……特に長いものは、20行近く喋りますから。漢字の読み間違いをしたら、最初から録り直しになっちゃうので、間違えないように漢字博士にお伺いを立てていました。

小林　でも、一度僕が間違ったことを教えてしまって……。「三助」のアクセントを浪川さんが迷われていたときに違うほうを教えて、結局リテイクになったという。あれはごめんなさいでした(笑)。

浪川　悪い男です!(笑)

小林　すみません(笑)。「いや、こっちのアクセントでしょう!」と自信満々に言ったのに、間違えました……。

アニメの見どころは？

浪川　もともとテンポのいい原作ですが、音楽や効果音がついて、よりテンポ感が増しています。原作に忠実に作っているので、原作ファンの方の期待も裏切らずに楽しんでいただけるはず!　テンポがよく、アニメから入った方は「ここはじっくり読みたいな」というシーンは原作で確認していただければ、もっと楽しめるかと思います。さらに、実写映画も同時期に公開されます。いろいろな面白さをいっぺんに味わえる作品、ぜひチェックしてください!

小林　浪川さんのおっしゃる通り、テンポ感がすごく心地よい作品です。かといって、ただ駆け抜けるだけじゃなく急にブレーキがかかるなど、キャスト陣の緩急の付け方が本当に絶妙なんです。しかも、舞台が銭湯ということで、キャラクターたちの肉体美を拝むことができるのもひとつの魅力。視覚的にも、耳でも楽しむことができる仕様のこの作品、ぜひ楽しみにしていただけたらうれしいです。

蘭丸のディレクションは？

浪川　うーん……、蘭丸のディレクションは……。

小林　いや、何もなかったです。

浪川　せめて自分で言わせて!(笑)

小林　最初のPVを録ったときは、何かありましたか?

浪川　いや、5分くらいで終わった(笑)。

小林　これが"浪川さんクオリティ"なんですよ(笑)。

浪川　でも、第1話はものすごく尺が短かったので、どうしても早口になってしまうところを、文言の修正などでバランスをとっていくことはしていましたね。あとは、画が劇画タッチになるときは、「もっとほしい」「もっと強めに」とよく言われた気がします。

蘭丸の印象は？

小林　蘭丸は、アニメで色がついたことで「あ、こんなに色が白かったんだ」と感じました。それも吸血鬼らしいといえばらしいなと。それと、ギャグの起点は基本的に蘭丸。何百年と生きてきたのなら、もう少し達観して落ち着いた雰囲気があってもいいと思うのですが……そんなこともなく(笑)。作中の時代が令和なのか平成なのかはわかりませんが、人々の変化に未だに対応しきれず振り回されているところが、とても面白いなと思います。

浪川　シュッとした感じで喋ると、クールでカッコよくて強いという印象がありますが、過去の記憶や、450年生きてきた経験などが積み重なった上で、今の蘭丸があるんです。ギャグシーンで顔が崩れたり、面白い顔になったりしても、背負ってきたもの・経験したものは忘れないような、謎めいた部分を持っている。かつてのつらい思いも楽しい思いも、いいも悪いも全部知っているという部分は、演じるにあたって大切にしようと思いました。

声のチューニングとは

浪川　朝、現場に入ると、小林くんがいつも「ファッファファッファ」って、声チェックみたいことをやっているんです。確認作業がすごく長いので、「どうしたの?」と聞くと、「今日大丈夫かな……」と新人のように不安になっていて(笑)。結局、全然大丈夫だったよね。

小林　でも、浪川さんはそのことを知ってか、「今日はキツそうだね」みたいなことをあえて言ってくるんですよ(笑)。

浪川　(お酒を)飲んでいないのに、「昨日何時まで飲んだの?」とか言ってたよね(笑)。小林くんはちゃんとコンディション整えて、素晴らしかったです。

小林　テープオーディションで、地声に近いお芝居で演じたら、それで通っちゃったんです。「じゃあ、それでいいんだな」と第1話のアフレコに臨んだら、「もうちょっと高くできるかな」と言われてしまって(苦笑)。

浪川　ザワッとしたでしょ?

小林　しました(笑)。しかも、いいのか悪いのか、第1話は喉のコンディションが絶好調だったので、最大限で演じてしまったところ、それ以降全部それでやらなきゃいけないという……。

浪川　地獄の始まりだ(笑)。

小林　収録前日の寝る時間や当日の朝起きる時間もしっかりと設定して、それでも不安なので現場で声出しをしていたのですが……それをずっと聞かれていたのは、恥ずかしいですね(苦笑)。

森蘭丸役
浪川大輔



森 蘭丸
RANMARU MORI

450歳のバンパイアで、「こいの湯」の住み込みバイト。李仁の生き血を最高に美味しい状態で味わうため、彼の貞操を守り続けている



天敵

李仁が通う高校の教師である坂本梅太郎の正体は、蘭丸を追い続けるバンパイアハンター。10年前に蘭丸をボロボロになるまで追い詰めるなど、実力は一応あるようだが……?



黙っていれば美形

バンパイアだから美形なのか、それとも人間のときから美形なのかは定かではないが、蘭丸の容姿は美しい。怖いくらいの微笑み、髪をお団子にひっつめても、惚れ惚れするほど綺麗だ。



Notクール

酸いも甘いも噛み分けてきた450歳のバンパイアにしては、蘭丸は感情豊かで表情にも出やすい。しかし、周囲は天然な人物が多く、大抵はスルーされるので問題はないようだ。



予期せぬ事態に

道でぶつかった李仁に優しく接したことで一目惚れされた葵だが、恋に進展する気配はなし。むしろ葵は、李仁に惚れているか確認しにきた蘭丸のことが気になるようで……!?



やっぱりカレーは正義

現代日本で生きていたアラフォー男が、突然異世界へと放り出された！見知らぬ世界で理想の生活を送るキーアイテムは、元の世界のものが買える通販サイトと── カレー!?

現代日本からファンタジックな異世界に突然転移してしまった、アラフォーの独身男・ケンイチ。あてもなくさまよう彼は、よく利用していた巨大ネット通販サイト「シャングリ・ラ」が使えることに気がつく。ケンイチには異世界のアイテムを換金し、通販サイトの商品が買えるチートスキルが備わっていたのだ！

異世界転生・転移ものアニメの見どころの一つが、主人公がどう異世界をサバイブしていくのかということ。そこでケンイチの武器となるのが、通販サイトが活用できる能力とアラフォーの年の功だ。交渉術や直感を活かして商人として身を立てたり、大好物のカレーなどの料理を振る舞って異世界人との心の距離を縮めたりする姿を見れば、ポジティブな力と食欲が湧いてくるかも？

念願だったスローライフの実現を目指すケンイチだが、彼に惹かれた少女たちだけでなく、トラブルまでもが押し寄せてくる。異世界での生活は、カレーみたいに刺激たっぷりな予感!?

ニャメナ
声・小林ゆう

プリムラに護衛として雇われた、虎のような模様の猫獣人の女性。筋肉質な肉体の持ち主。豪快な性格ながら、時折優しさを覗かせる

ミャレー
声・富田美憂

人懐っこくて元気な獣人で、語尾によく「にゃ」がつく。矢を射ることが得意。香辛料に目がなく、ケンイチのカレーの匂いに気づく

ケンイチ
声・諏訪部順一

日本から異世界に転移してしまったアラフォーの独身男。「シャングリ・ラ」を駆使して、自由気ままな自給自足生活を送ろうとする。面倒なことは嫌いだが、世話焼きな一面も

プリムラ
声・本渡 楓

ケンイチが訪れたダリアで有数の商店「マロウ商会」の長女。物腰が柔らかく穏やか。商売熱心で「商売の機会を逃すな」がモットー

アネモネ
声・久野美咲

奴隷商人に売られた後、野盗に捕まって監禁されてしまった悲惨な境遇の少女。ケンイチと交流するうちに、本来の明るさを取り戻す

アラフォー男の異世界通販

1月9日より放送開始｜毎週木曜日｜夜10時30分｜TOKYO MXほか
HP｜https://arafo-tsuhan.com/
X (Twitter)｜@arafotsuhan

【STAFF】原作／朝倉一二三、うみハル（月刊「Gファンタジー」スクウェア・エニックス刊） キャラクター原案／やまかわ　監督／夕澄慶英！　シリーズ構成／赤星政尚　キャラクターデザイン／森口弘之（イーストフィッシュスタジオ）　音響監督／田中 亮　音楽／夢見クジラ　音楽制作／AniTone　アニメーション制作／イーストフィッシュスタジオ

異世界人と心をつなぐ〝食〟

ケンイチ役 諏訪部順一

食文化の大切さを実感する異世界生活

――先ほどはゴーゴーカレーコラボ企画動画（KADOKAWAanime YouTubeにて配信中！）の撮影、お疲れさまでした！　さまざまなトッピングのカレーを召し上がっていましたね。

諏訪部　ガチで食べたので満腹になりました。いつもはカレーにトッピングをしたり、味変のために途中で何か加えたりすることはあまりないので、なかなか楽しい企画でした。あくまで私個人の感想ではありますが、ゴーゴーカレーさんのカレーにベストマッチするトッピングを見つけられた気がします（笑）。

――諏訪部さんはカレー好きを公言されていて、よくX（Twitter）にカレーの写真を上げていますが、いつからカレーはお好きなんですか？

諏訪部　子どもの頃からですね。しかし、カレーと言っても多種多様。こと日本では、カレーと名のつくさまざまな料理を食べることができます。広がりがあって面白いんですよね。スパイスで構成されているので、食べると元気も出ますし。お店で食べるだけでなく、自分でもよく作るのですが、スパイスをブレンドするところから始めています。巷では「スパイスからカレーを作る男はめんどくさい」と言われているようですが、それがどうした！　という感じです。旨いが正義！（笑）

――こだわりは大事です（笑）。原作や台本を読んだ印象を教えてください。

諏訪部　タイトルにある通り、本作はいわゆる「異世界もの」ですが、それまでいた世界の通販サイトで買い物ができるという、なかなか荒唐無稽な設定です。中世ヨーロッパ的な異世界に、現代の技術を持ち込んだら何が起こるか……。みんな大好き〝俺TUEEE〟感を存分にお楽しみいただける作品だと思います。しかしケンイチは、そんな自分の能力をアピールするタイプではなく、あくまでも降りかかる火の粉を払うというスタンス。しかし、元の世界で果たせなかった念願のスローライフはなかなか実現しません。人生が思うように転がらないのは異世界でも変わらないようですね（笑）。

――異世界であっても世知辛さが付きまとうのがリアルというか（笑）。家庭の味というイメージのあるカレーがキーアイテムなこともあってか、作品全体にどこかあたたかみが感じられることも特徴だと思います。

諏訪部　「カレーは正義」ですからね（笑）。そこはとても共感できるポイントです。特に説明はありませんが、ケンイチはとても料理上手。そのため、この作品には料理を作るシーン、食べるシーンが結構あります。食とは、その人のバックボーンにある文化に根差したもの。食事を通じて異世界の人と交流が深まる描写にはリアリティがあります。ケンイチがふるまう料理を食べた異世界の人たちは、一体どういうリアクションをするのか？　とても面白いですね。

アラフォー主人公は意外と高スペック？

――ケンイチについて、どういう人物だと捉えていますか？

諏訪部　根は優しい人で、基本的には親切。そして手先がかなり器用。どうしてそんな知識や技術を持っているんだろう？と、素性を疑ってしまうくらい、ケンイチは何でもできてしまうハイスペックな男です。ただ、時々とてもドライに感じてしまうことがあったり、異性との関わり方に問題があったりと、担当している役ですが共感できないところもあります（笑）。

――突然転移した異世界のルールなどをすぐに理解して日銭を稼いでいく姿には、アラフォーならではの年の功のようなものを感じました。

諏訪部　どんな突飛なことが起きても、ケンイチは割と冷静に対処できます。状況を分析してロジカルに行動できるところを「大人」と感じる方も多いのでは？

――ケンイチを演じるにあたって、大切にしようとしたことなどありますか？

諏訪部　特別意識したことはありません。ケンイチは特殊な背景を持った、内面に大きなものを抱えているようなタイプのキャラクターではないですし。「機転が利く普通の人」というイメージで向き合っていった感じですね。大きなダメ出しも収録の際にはなかったですね。自分がアウトプットするものと、演出サイドが求めていたものに大きな差異がなかったのかもしれません。

――もし諏訪部さんがケンイチと同じ境遇になったとしたら、通販サイトのシャングリ・ラでどんなものを購入しますか？

諏訪部　難しいですね……。通販サイトと言っても、シャングリ・ラで扱っている商品は本当に幅広く、重機なども購入できますからね。まぁ、とりあえずレトルトカレーとごはん。そして、それを食べるための道具一式を買って腹ごなし、ですかね。そのあとは、ひとり暮らしを始めるときのように、生活に必要な身近なものを揃えていく……普通ですね（笑）。

――ちなみに、諏訪部さんご自身は普段、通販サイトは利用していますか？

諏訪部　よく利用しています。なかなか買いに行く時間が取れない衣服や靴は、通販で買うことが多いですね。あと、お取り寄せグルメみたいなものも。事務用品のまとめ買いにも利用していますね。日々、大変お世話になっています。そして、TVの通販番組のナレーションを長年担当しております（笑）。

――完成した映像を観るのが楽しみなシーンはありますか？

諏訪部　このインタビューを受けている時点で、完成している映像は公開済みのPVのみなので、すべてのシーンが楽しみではありますが、第1話の収録の際に夕澄慶英！監督が、「物語はもちろん、異世界の風景も楽しんでもらえるような作品にしたい」的なことをおっしゃっていました。作品の中で描かれている世界が、どれほどの広がりを感じられるものなのか、楽しみですね。そして、そこでキャラクターたちが活き活きと生きている姿を早く見たいです。

――最後に読者へメッセージをお願いします。

諏訪部　のんびりとした時間のお供にピッタリの作品です。毎回、30分の異世界旅行を楽しむかのように、リラックスしてお楽しみください。もちろん、なかにはドラマチックな展開もありますよ！



すわべ・じゅんいち／3月29日生まれ／東京都出身／俳協所属／主な出演作は『テニスの王子様』（跡部景吾役）、『呪術廻戦』（両面宿儺役）、『ブルーロック』（馬狼照英役）ほか多数



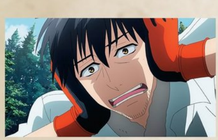
現代文明の利器で切り抜けろ！

初めての食事にありついている最中、黒狼たちに囲まれてしまったケンイチ。彼は通販サイトで手に入れた花火やスリングショットで敵を追い払い、マウンテンバイクで爆逃げ！　元いた世界のアイテムを駆使して、異世界で起こったピンチを切り抜ける姿は爽快だ。



カレーなる!?　異世界料理生活

どこの世界でも空腹は最大の敵、というわけでケンイチは通販サイトから、さまざまな食べ物を調達していく。そのラインナップはレトルトカレーなどの簡単な食事から、本格的なものまで多種多様。お馴染みの料理も、異世界だといつもよりも美味しそうに見える!?



どこの世界でもお金は大事!!

たまたま手にしたアイテムを換金したケンイチは、それを元手に異世界での生活をスタート。しかし、自由自在に通販サイトが使えても、先立つものがなければ生きていけない。ケンイチは都市で商人を始めて、通販で仕入れたアイテムを異世界の人々に売りさばく。

Q　カレーの隠し味、オススメは？

スーパーでまとめ売りしている割と安価なレトルトカレーなどでも、クミンを足すと一気に本格的な雰囲気になります。パウダー状のものより香りが出る、クミンシードがおすすめです。フライパンにオイルをひき、焦がさぬよう弱火で炒めたら、そのままそこにレトルトカレーを投入。混ぜ合わせ、全体が温まったら完成です。お試しあれ！（諏訪部）



小鳥遊優

Yu Takanashi

鷹央のもとで経験を積む内科医。誠実で人当たりのいい性格のため、傍若無人な鷹央にいつもコキ使われている。あだ名は「小鳥」



天久鷹央の推理カルテ

✦毎週水曜日✦深夜0時30分✦TOKYO MXほか
HP✦https://atdk-a.com/

小鳥遊たち他の医師が戸惑うような症状にも、鷹央はびしびしと診断をつけていく。その豊富な医療知識を支えるのは、一度見たものは忘れない圧倒的な記憶力とあくなき好奇心だ。



小鳥遊は統括診断部だけでなく、「レンタル猫の手」として超多忙な救急部の手伝いもしている。小鳥遊の働き方や給料、ボーナスは上司である鷹央の独断で決まるらしい。









青い血を流す患者が救急部に搬送され、鷹央の好奇心が爆発！　鷹央が奇妙な出来事に首を突っこみたがるのは、自分の卓越した頭脳を使う機会に飢えているからでもある。



空気が読めない鷹央は、患者や病院関係者とのトラブルも多い。鷹央が自分の能力をいきいきと発揮し、統括診断部が機能し始めたのは小鳥遊が赴任してきてからだという。

小柄で幼い見た目を気にしている鷹央は、よく中高生と間違えられては怒っている。自分のことは立派な大人の女性だと思っており、あくまで「レディ」だと言い張る。





巨大生物に脚を食いちぎられた遺体が発見されたことで、鷹央は都内のある施設に目をつける。彼女が真相に辿り着くまでの思考は、鋭い観察と現象からの逆算がポイントなのだ。





鷹央の住まいは病院屋上に建てた、小さいが瀟洒な家。パソコンと大量の本に埋もれて暮らしている。



父・天久大鷲は天医会総合病院の院長。鷹央が事件に関わることを快く思っておらず、真相究明を「探偵ごっこ」と断じる。今後も鷹央とは何かと対立し、行く手に立ちふさがる人物だ。

天久鷹央

Takao Ameku

常人離れした知能をもつ統括診断部の部長兼探偵。怖いもの知らずで、相手かまわずズバズバものを言うが、姉の真鶴には頭が上がらない



互いにないものをもつ鷹央と小鳥遊は、仕事や事件を通じて信頼関係を深めていく。人からは恋人同士と誤解されがちだが、本人たちは付き合っていないと断固として否定。



刑事の成瀬と桜井は鷹央の顔なじみ。若手の成瀬は、強引に事件に介入してくる鷹央に反感を覚えている様子だ。一方したたかな桜井は、鷹央の頭脳をうまく利用している節がある。



天才医師は名探偵！

原作・知念実希人による書き下ろし脚本で華々しく幕を開けた『天久鷹央の推理カルテ』は、隠された謎に医学の光を当てる新感覚医療ミステリーだ。随所にめぐらされた細かい伏線まで見逃せない！

天医会総合病院・統括診断部の仕事――それは診療困難な患者を総合的に観察し、あらゆる可能性を検証して診断を下すこと。だが、部長の天久鷹央が診断するのは、なにも患者だけではない。青い血液をもつ急患、呪いの動画で自殺未遂をした女子高生……。鷹央のもとには、病院の内外から続々と奇妙な事件が集まってくる。彼女は超人的な知識量と推理力を駆使し、事件の背後にある病気や科学現象を探り当て、合理的な診断（＝解決）を下す名探偵でもあるのだ！

原作はシリーズ累計350万部を突破した、知念実希人によるメディカルミステリー小説。満を持してのアニメ化となった本作は、興味をひかれる魅力的な謎、変わり者の名探偵、意外な真相と、原作の面白さそのままに極上の推理エンタメに仕上がっている。天才だが意外と弱みの多い鷹央と、お人好しの部下・小鳥遊優による息ピッタリの連携も胸アツ間違いなし。特に注目したいポイントは、一見すると不可解な謎に身近なものが潜んでいること。鷹央が下す診断は毎話、新鮮な驚きをもたらしてくれるはずだ。

photo by Daisuke Arakane



必ず「正解がある」という爽快感

小鳥遊優役 **小野賢章** × 天久鷹央役 **佐倉綾音**

背中を押してくれた先輩のひと言

——『天久鷹央の推理カルテ』は医療ミステリーですが、お二人は推理ものというジャンルにどんな印象を持っていますか？

佐倉　小さいころからミステリーが好きで、いろいろと読んできました。ただ読むだけでも頭を使うジャンルなので、たくさん時間がある学生時代はだいぶのめり込んでいましたが、社会人になるとじっくり腰を据えて読む機会が減ってしまって。『天久鷹央の推理カルテ』はファンの方が「面白いですよ」と送ってくださったものを読んでいたこともあり、オーディションのお話をいただいたときはビックリしました。いとうのいぢ先生のキャラクターデザインもとてもかわいらしく華を添えていて、第1巻発売当時から人気のあった作品なので、待ちに待ったアニメ化ですよね。

小野　僕は、ミステリーには実はあまりご縁がなくて……。脱出系のアミューズメントでも、結局謎が解けなくて終わってしまうという（笑）。

佐倉　普段、本は読まれるんですか？

小野　ミステリーよりはコメディ寄りの恋愛ものをよく読んでいます。森見登美彦さんとか。

——役が決まったときのお気持ちをお聞かせください。

小野　嬉しいのはもちろんですが、正直なところを言うと、医療ものやミステリーについての知識がない分ちょっと大変な役かな……という思いはありました。

佐倉　でも、小鳥遊は巻き込まれタイプですし、「自分、何も知らないので」的なところが、かえって演じる上でプラスになったりはしていませんか？

小野　それはあるかもしれません。本作で描かれていることは僕自身知らないことばかりで、それがお芝居を通じて自分の中にインプットされていく感覚がとても楽しいです。「こんな病気があるんだ」とか、知らなかったことを自分なりに調べてみたりして。知識欲が刺激される作品だし、そうすることで自分の引き出しも増えていくように思います。

佐倉　たしかに！　自分で演じてみて改めて、お医者様が持つ膨大な知識量に圧倒されます。私はよくお医者様のお世話になることが多いのですが、カルテに書かれている呪文のような文字を見るのがなぜか好きなんです（笑）。あれを病院内で共有できるチームワークもすごいですし、自分が知らないこと、感知できないことを目の当たりにしているようで、ちょっとワクワクします。

小野　あれは英語とかドイツ語ですよね。たしかに、何も知らない側からすると不思議に見えます。

佐倉　ドッキリにかけられたような気持ちになりますよね（笑）。

小野　言葉って、使わないと忘れていきますが、医療従事者の方は普段の会話では出てこないような難しい用語にも、当たり前のように対応されている。本当にすごいと思います。

——佐倉さんは事前に原作を読んでいたこともあって、オーディションも比較的スムーズでしたか。

佐倉　鷹央がどんなキャラクターかは、オーディション前にそれなりに掴んでいました。なので、受けるにあたってまずは「アニメになった鷹央がどうしゃべったら、一読者として嬉しいだろうか」を念頭に置いて考えました。私の先輩に「オーディションは好き勝手できるから好き」とおっしゃる方がいるのですが、鷹央役を受けたことでその気持ちが初めてわかったというか……。オーディションは誰もがドキドキ緊張するものだと思うのですが、それを自由度として捉えて楽しんでいることに衝撃を受けて。本番ではその先輩の言葉を思い出し、「それなら鷹央が楽しそうにしていたら、楽しく演じるのがベストだろう」と思い、自由で傍若無人な天久鷹央像を作って提出しました。オーディションテープを聴いたスタッフさんからのちのち、「医療用語がスラスラと出ていますね」とお言葉をもらえて、「ああ、楽しく演じた甲斐があったなあ」と。

天才・天久鷹央は「真顔で面白い人」

——演じているキャラクターについて、どのように解釈されていますか。

佐倉　いただいたディレクションに「他のキャラクターと会話が噛み合わない感じで」というものがありました。本来であれば、感情の流れに沿って一本のラインを作りながら、相手とのコミュニケーションを成立させるのがお芝居の基本です。でも鷹央の場合は、そこがブツブツと途切れることがある。「その起伏が読めないようにしてほしい」「かといって、誇張しすぎないで」というのが、スタッフさんからのオーダーでした。

小野　鷹央は何を考えているのか、そこを汲み取るのも難しいキャラクターですよね。

佐倉　大変ですけど、鷹央はそういうキャラクターだと思うし、人間ってそもそも心の底では何を考えているか、他人にはわからないものです。たとえば今この瞬間、隣にいる賢章くんが突然ブチ切れたとしても、その真意なんてわからないし（笑）。

小野　たしかに、僕も「わかりにくい」ってよく言われる（笑）。冗談が冗談に聞こえないって。だからマネージャーさんやスタッフさんが代わるときは、「怒っているんじゃないです」とか「気にしないでください」とひと言添えるようにしています。

佐倉　鷹央もそうですが、私はそういう「真顔で面白い人」に憧れています。あまり面白がると失礼になってしまう場合もあるので、そこは加減を考えないとなぁとは思っていますが……。

——小鳥遊はいかがでしょうか。

小野　小鳥遊は天才型の鷹央とは対照的で、いい意味で普通の人という印象です。演じるにあたってまず考えたのは、「振り回されがちな人って、突き詰めるとどういうタイプなのかな」ということでした。彼は鷹央のもとでいろいろと学んでいる立場だから、鷹央の言葉はできる限り逃さず耳を傾けようというスタンスでいる。それに加えて、小鳥遊はもともと人当たりがいいし、他人を否定するより受け入れていこうとする性格もあって、より振り回されやすくなっているんじゃないかと思いました。

——最後に、今後の見どころを教えてください！

小野　僕は医療やミステリーには明るくないのですが、その分新鮮な気持ちで、楽しく収録させてもらっています。原作の知念実希人先生は実際にお医者様で、物語上誇張する部分はあったとしても、医療現場についての描写はリアルに則したものだと思いますし、とても説得力があります。作中でどんなに不可解な事件が起きたとしても、そこにはちゃんと原因があって、医学的な知識によって解明できる。みなさんには、「必ず正解がある」というこの爽快感をぜひ味わっていただきたいです。それと、小鳥遊の不運ぶりにも注目してください（笑）。

佐倉　医療ミステリーという、これまでアニメーションがあまり斬り込んでこなかったであろうジャンルに、天久鷹央というとびきり魅力的なキャラクターが斬り込んでいきます。もちろん、スタッフさん方も気合い十分です。原作も知念先生の筆の力でとても読みやすく、面白い作品となっていますので、ぜひ原作・アニメともに合わせて楽しんでください！



Ayane Sakura

1月29日生まれ／東京都出身／青二プロダクション所属／主な出演作は『SAKAMOTO DAYS』（陸少糖）、『僕のヒーローアカデミア』（獅子ヶ谷桐花）ほか

Kensho Ono

10月5日生まれ／福岡県出身／アニモプロデュース所属／主な出演作は『青のミブロ』（沖田総司）、『ユア・フォルマ』（ハロルド・W・ルークラフト）ほか

ダンダダン

●7月から第２期放送開始
HP●https://anime-dandadan.com/
X(Twitter)●@anime_dandadan

ジジ
引っ越した先で怪異と出会い、星子を頼ってやってきた。モモの幼馴染みで初恋相手。陽キャなイケメンで、オカルンのライバルに!?

星子
アイラが驚くほどに若く見える美魔女であり、モモの祖母。霊媒師として怪異との戦いを陰に陽にサポートしてくれる。カニが好き

アイラ
アクロバティックさらさらとの戦いを経て、彼女の能力を受け継いだ美少女。バトル中に助けてくれたオカルンに好意を持っている

モモ
セルポ星人によって〝能力〟が覚醒した女子高生。さまざまな怪異とのバトルを通して、オカルンの魅力に気づき、距離を縮めている

変化に注目!



必ず解放してあげる！
モモやオカルンに「悪魔」だのひどい暴言を浴びせていたアイラだが、アクロバティックさらさらとの戦いで何度も助けられているうち、オカルンが大好きに。その後のセルポ星人再襲撃の際、協力して戦ったことで、モモに対しても心境に変化が。

変化に注目!



これって恋じゃね？
任侠映画に登場しそうな、不器用かつ男気のあるタイプが好みのモモ。クラスメイトからいじめられていたオカルンは、真逆のように思っていたが……。ターボババアとの決戦を乗り越えて以降、オカルンへの好意は高まってきている様子。第２期で進展はあるか!?

オカルン
ターボババアの能力を持つことになったモモの同級生。モモのことを意識しているが、アイラからも好意を寄せられている

変化に注目!



メッチャ後悔してる
初登場時、高いテンションで奇抜な行動を炸裂させたジジだが、その後、小学生の頃にモモをバカにしたことを真摯に謝罪。ただ明るいヘンなヤツではないことが判明した。オカルンのオカルトトークを真正面から受け止め、素直に感心するいいヤツだ！

ターボババア
オカルンに能力を奪われた妖怪。口調が乱暴で文句だらけだが、なんだかんだでモモたちを手助けしている。じつは優しい性格!?

変化に注目!



もっと強くなりたい!!
一緒にいくつものオカルト事件を乗り越え、同じ目線で言葉を交わしてくれるモモに、オカルンが惹かれるのは必然。アクロバティックさらさらとの戦いの後は、モモを守れる男になろうと秘密裏に筋トレに励むほど。その努力が実ることを願う！

怪異バトルをプレイバック

個性的でどこか愛らしい妖怪や宇宙人たち。
彼らとのバトルなくして、モモたちの青春は語れない！

第1戦
ターボババア＆セルポ星人



「カオスなバトルロワイアル」

幽霊を信じるか。宇宙人はいるのか。オカルティック青春物語はここから始まった。モモとオカルンの前に、最初に現れたのがセルポ星人とターボババアだった。しかも、人間VS怪異ではなく、セルポ星人とターボババアも戦うすさまじい乱戦に発展した。

第2戦
フラットウッズモンスター



「モモの頭脳戦」

セルポ星人＆ターボババア戦で満身創痍な二人の前に現れたのがフラットウッズモンスター。力士のような見た目で、超巨大。そんな相手にモモが仕掛けたのは頭脳戦。敵の張り手を利用して鳥居の外に出て、なんとか倒すことに成功した。

第3戦
ターボババア



「鬼ごっこを経て、かわいい姿に！」

鬼ごっこを挑めば必ず乗ってくるプライドの高さを利用し、モモたちはターボババアを挑発。夜空を飛び、街を爆走するモモとオカルンの壮絶アクションは何度観ても圧巻。さらに、ターボババアが招き猫の姿になりキュートに変化するギャップに驚愕！

第4戦
アクロバティックさらさら



「敵の特性を活用せよ」

アクロバティックさらさら戦も、モモの発想が戦局を打開した。戦闘前、アイラの持っていたロザリオからオイルの匂い。それがライターだと気づき、アクさらに丸呑みされたあと、体内で髪の毛に着火。一気に形勢を逆転できた。

第5戦
セルポ星人＆ドーバーデーモン＆カミッシー



「シャコの強さは水依存」

ドーバーデーモンとカミッシーを連れたセルポ星人が学校に襲撃。ここでもモモの戦術眼が光った。ドーバーデーモンたちと合体したセルポ星人が放つ水レーザーとシャコパンチに追い込まれるものの、水の抵抗がなければ自身の筋力で自滅すると見抜き、見事勝利。

まだ終われねえ！

ターボババアにセルポ星人、アクロバティックさらさら……
次々と立ち現れるオカルト事件を乗り越えたモモたち
綾瀬家にジジがやってきたことで、新たな事件の幕が上がる！！

ターボババアとセルポ星人が目の前に現れてから、オカルティックに弾けるような日々を疾走し続けているモモたちの青春物語。その続編となる第2期が、今夏放送決定！　繊細に描かれる恋心もド迫力に描かれるバトルシーンも、まだまだ楽しめるぞ！

気になるのは、やっぱり第1期終盤で登場したジジの存在。モモの幼馴染みであり、一見するとイケメンな陽キャである。徐々に距離を縮めているように見えたモモとオカルンの青春ドキドキな関係性に、どんな影響を与えるのか。また、星子を頼ってきたことから抱えているように、オカルト現象の悩みを抱えており、そこも気になるところ。さらに、本作の魅力といえば、ユニークな怪異の存在も忘れられない。人体模型の太郎と花のピュアすぎる恋物語は、何度見ても面白すぎる！

そして、この恋あり怪異あり、ギャグも涙も、なんでもありの贅沢な物語が、サイエンスSARUによって映像化されたのも大きなポイントだ。アクションシーンに度肝を抜かれ、青春シーンに胸を締め付けられる。圧倒的濃度の作画と演出に毎回驚かされた。

そんな第1期の見どころ、魅力を濃縮したので、一緒にプレイバック！



盤外編　太郎＆花

「自分が好きになった女性」

太郎と花、人体模型同士の恋物語。「キミと出会って灰色だった世界に色が付いた」と語り街を駆け抜ける太郎の姿に、オカルンはモモと出会った時の自身の気持ちを思い出す。たとえ恋のライバルでも、ジジには負けないとオカルンが決意するきっかけとなった。

亀井Pの全話選抜解説!





第1話 それって恋のはじまりじゃんよ



二人の距離

「モモとオカルンの関係性の変化に注目してください。最後に、オカルンの本名がモモの大好きな俳優と同じだ、という驚きにつながる構成になっています。その驚きに合わせてセルポ星人のＵＦＯが大爆発し、作品タイトルが登場。インパクトがありますよね」

第2話 それって宇宙人じゃね



怪異との遭遇時の色

「オカルンが初めて変身する場面が、大きな見どころです。フラットウッズモンスターの出現とともに、画面全体が白黒に。変身したオカルンのまとう紅い光がすごく映えます。『ダンダダン』は、怪異との遭遇時の画面全体の色が変わります。ここもその一つです」

第3話 ババアとババアが激突じゃんか



軽妙な掛け合い

「星子初登場の回。彼女とオカルンの会話の掛け合いが面白い。モモとオカルンがものすごくヤバい事態に巻き込まれているのに、その重さを感じさせない軽妙さ。特にオカルンが〝バナナ〟の有無を確かめるためにトイレに駆け込むところは爆笑です」

第4話 ターボババアをぶっ飛ばそう



アクション&バディ

「スピード感と立体感にあふれるアクションシーンは圧巻です。オカルンがモモを抱えて走り出した時、カーブを曲がりきれませんでしたが、手をつなぎ逃走する場面ではモモの超能力でちゃんと曲がりきる。そういうバディ感も楽しんでほしいです」

第5話 タマはどこじゃんよ



丁寧に描かれる青春

「本作では珍しい日常描写の多いエピソードです。テンポよくモモたちの青春が描かれています。ハデなオカルトバトルがなくても面白いのは良作の証。この第5話を編集している時に、あまりに面白くて〝この作品はイケる!〟と、心のなかで確信しました」

第6話 ヤベー女がきた



アイラの個性

「アイラ本格登場回です。オカルンの金のタマを拾ったことで、自分が選ばれた戦士だと思い込む感受性がユニーク。独特な感性を持っているので、モモやオカルンと絡んだ時の掛け合いが笑えます。アクロバティックさらさらが登場した時の、ピンクに染まる画面も印象的」

サイコーじゃん!

〈プロデューサー〉亀井博司

第2期はワチャワチャ感が激増します!

カオスなのに統一感のある作品

—TVシリーズ第1期が大反響でした。

亀井　ありがとうございます。スタッフが全力投球で駆け抜けた12話で、全編を通して超ハイクオリティの映像になりました。第1話から第12話まで、どのエピソードも丁寧に描かれており、それがしっかり視聴者に伝わってよかったです。

—若山詩音さんを筆頭にキャストのお芝居もすばらしかったです。

亀井　本当に同感です。日常場面はコミカルに、オカルトバトルは迫力のある演技をしてくださり、本作のクオリティを高めてくれました。どなたもお芝居の幅が広く、軽妙な掛け合いのある場面では笑いを誘うし、感動的なエピソードでは情感あふれる演技をしてくださいました。山代風我監督をはじめとする、本作に関わってくださった皆さんが全力を尽くしてくれたおかげです。

—アニメ化の企画は亀井さんからスタートしたと伺いました。原作のどんなところに魅力を感じたのでしょうか。

亀井　龍幸伸先生の原作はさまざまな要素がカオス的に組み込まれ、それが圧倒的な画力と構成力によって一つの作品として統合されています。キャラクターは個性的だし、ギャグもペーソスも盛りだくさん。このような作品に接したのは初めてで、絶対にアニメ化したいと思いました。その際に、原作の持ち味である、カオスでありながら作品としてまとまっている統一感を表現するのが肝要だと考えていました。企画当初、集英社の担当者とお話させていただいた時は、そういう方向性を持ちつつ、オカルトバトルと青春模様を両立させたアニメを作らせていただきたいと伝えました。

—そうしてアニメ化が始まったわけですね。

亀井　アニメ化するにあたって、龍先生に絵コンテなどを確認していただきつつ、山代監督をはじめとするスタッフが丁寧にひとコマずつ作っていきました。アニメージュ11月号で山代監督がコメントされていたとおり、アニメを見終えた時の「視聴感」を、原作を読み終えた時の「読後感」と重なるようにしよう、そんなコンセプトで作っています。その試みは上手くいったようで、アニメの第1話完成後に内々でやった上映会では、龍先生に「本当にすばらしい出来でした」と言っていただけました。また龍先生はアニメ各話の放送でもXのアカウントにコメントを残してくれていたり。さらに、その感想を聞いて監督が安堵していたのは印象深いです。もちろんSNSなどでファンの皆さんのコメントも読ませていただき、とても大きな手ごたえを感じました。

—山代さんが監督に就任した経緯について教えてください。

亀井　サイエンスSARUに企画を相談した際、山代監督を推薦していただきました。初対面だったのですが、『平家物語』の第十話の絵コンテ・演出をされていたと知り、実際に映像を拝見して「このセンスの良さならイケる」と感じました。

—第十話というと「壇ノ浦」ですね。

亀井　絵が動くというアニメーションの本質的な面白さと、映画的な映像表現が組み合わさっていて、とても魅力的でした。キャラクターの動き、レイアウト、カメラアングル……と、どの切り口で観ても面白い。さらに、すべてのカットに意味を持たせるのが山代監督の演出の特徴と言えます。曰く「構造美を





第7話

優しい世界へ



悲しい記憶と救いの物語

「胸が締め付けられる回です。生前のアクロバティックさらさらが経験した悲しい記憶と、そんな彼女に救いをもたらすアイラ。二人が丁寧に描かれていました。また、物語に没入できる画面を作り上げたスタッフのみなさんの力量にも拍手！」

第8話

なんかモヤモヤするじゃんよ



3人の青春模様

「モモ、オカルン、アイラのワチャワチャした絡みを楽しんでください。これぞ青春です。あと、この回は実写のシャコ映像を入れているのですが、こちらは大阪万博公園の『生きているミュージアム ニフレル』からお借りしてきました」

第9話

合体！セルポドーバーデーモンネッシー！



水中バトル

「モモたちとセルポ星人＆ドーバーデーモン＆カミッシーのバトル回。水中というこれまでにないステージで繰り広げられました。なかでもドーバーデーモンの立ち位置と独特な動きは必見。アイラがアクロバティックさらさらに変身して戦うのも注目点です」

第10話

キャトルミューティレーションを君は見たか



牛と女王先生

「この回の放送後、Xで『キャトルミューティレーション』がトレンド入りしたのは嬉しかったです。ＵＦＯに牛が吸い込まれるところをどう見せるかが勝負でした。保健室の養護教諭・女王先生のインパクトなど、『ダンダダン』らしさが詰まった話だと思います」

第11話

初恋の人



人体模型のメロドラマ

「人体模型の太郎と花による恋物語。この回は、太郎を演じる杉田智和さんの振り切った芝居を楽しんでください。恋つながりで言うと、モモの初恋の人で幼馴染みのジジが本格的に参戦します。彼はモモとオカルンの関係にどんな影響を及ぼすのでしょうか」

第12話

呪いの家へレッツゴー



オカルン＆ジジ

「ジジが星子の家にやってきた理由がすこし明かされます。ジジとオカルンの電車内での交流に注目。明るく陽気なジジと、内気なオカルン。全然違う人間なのに似ているところがあるんです。両者の対比から双方のいいところを感じ取ってください」

青春もバトルも全部

大切にする」というスタンスだそうです。

――意味のあるカットの積み重ねという部分を、もう少し具体的にお聞かせください。

亀井　本作第1話の序盤、オカルンが落としたオカルト雑誌『ポー』をモモが拾って手渡す場面と、第1話ラストのモモがオカルンに服を手渡す場面。じつはカメラアングルやレイアウトが一緒なんです。モモとオカルンが関係を持つことになる最初の接触と、オカルト事件を一緒に乗り越えたことで関係性が少し深まった場面を同じアングルにすることで、カット同士が意味のあるつながりを持つことになります。本作のアニメーションはそういった要素の積み重ねによって作られていきます。意識してご覧いただくと、さまざまな発見があるはずです。カメラアングルだけではなく、色彩などにも意味があります。そういったことを気にせずにご覧いただいていたとしても、無意識のなかに伝わるものがあるはずです。本作が多くの方に受け入れていただけた理由としては、こうした工夫が実を結んだ部分もあると考えています。

気になる第2期は W監督体制に

――ほかに亀井さんが考えるヒットの要因は？

亀井　まず、なんと言っても原作が面白い！　演出は前述したとおりですし、作画も圧倒的。キャストの皆さんのお芝居も抜群でした。楽曲と映像もガッチリとハマっていた。つまり総合芸術として、原作の魅力を拡張することに成功したからだと言っていいと思います。

――声と楽曲のベストマッチ感は、確かに感じました。

亀井　Creepy NutsのOP「オトノケ」と、ずっと真夜中でいいのに。のED「TAIDADA」も最高でした。「オトノケ」を聴くと、あの映像が頭に浮かぶし、「TAIDADA」は楽しくかわいい雰囲気で、ヘビロテして聴いています。ほかにも宣伝まわりで、配信サービスやTV番組と絡めつつプロモーションを展開し続けられたのもよかったです。

――亀井さんご自身は、アニメをご覧になっていかがでしたか。

亀井　各話ごとの体感視聴時間が短いんです。楽しいものほど、それを体験している時の体感時間は短くなるものですが、それを本作でも感じることができました。毎話、画面から伝わる情報量は膨大なのに、それがなんとなく理解でき、すっと入ってくる。この気持ちよさも、本作が多くの方にご支持をいただけた大きな要因かもしれません。

――TVシリーズ第1期は、ジジが抱える問題がほのめかされるところで幕を下ろしました。ここを区切りにしたのはなぜでしょう？

亀井　海外ドラマなどでも同じですが、各エピソードのラストは「次回、なにか重大なことが起きそうだ」と匂わせることが重要です。本作も、各話ラストで次回が気になるようにヒキがあるように構成しています。TVシリーズ第1期をこういうふうに締めくくったのも同じ理由です。単一作品の幕引きとしては唐突感を感じるかもしれませんが、ご覧になった方は次のシリーズへ期待していただけたのではないでしょうか。

――第2期は、どういった展開が待っているんでしょう。

亀井　まずはジジのバックグラウンドが描かれるであろうことは、視聴者の皆さんも予想されていると思います。ジジが好青年なのは伝わっているでしょうけれど、それだけなはずがありません。また、メインキャラクターが増えたことで、掛け合いにも注目してほしいです。ワチャワチャ感が増して、さらににぎやかになります。山代監督に加え、TVシリーズ第1期のOP映像を手掛けたアベル・ゴンゴラさんが、もう一人の監督として本作に携わることになっています。監督二人体制です。

――W監督による新たなシナジーにも期待ですね。

亀井　そうですね。あと、第1期では山代監督が超全力投球をしてくれたので、アベルさんがもう一人の監督として立ってくれることで、山代監督の負担軽減もできればと思っての座組になっています。

――TVシリーズ第2期、今から楽しみです。

亀井　スタッフやキャストの情熱もそうですが、本作がここまで大きな話題になったのは、ファンである皆さんの応援があってこそです。さまざまな要素がカオス的に絡み合った『ダンダダン』。オカルトが好き、アクションが好き、青春模様が好きなど、皆さんの「好き」を見つけて楽しんでください。同時に本作は、見る切り口次第でどんな人にも楽しんでもらえる構造になっていますので、ぜひ未見の方にもおすすめしてほしいです。TVシリーズ第1期をプレイバックしつつ、第2期の完成と放送開始を楽しみにしていてください！　夏にまたお会いしましょう！



1 現世もまた魅力的だ

代闘士としてしか生きられず、人間の醜い部分ばかり目の当たりにしてきたオクジー。だからこそ、美しく清らかな天国に早く行きたいと思っていた。しかし、地動説に触れたことから、現世にもすばらしいものがあるのではないかと考えるようになった。





オクジー

代闘士。優れた視力をもっていたことから、地動説の研究に協力。その過程で自由を欲するようになり、異端審問官と戦うことになった



2 情熱に突き動かされて

地動説を立証しようとするバデーニやヨレンタ、天文に一生を捧げたピャスト伯といった研究者たち。その情熱に触れたオクジーは、自分にもできることがあるのではないかと考え、文字を覚えて、日記をつけることに。そして、大学へ行きたいと願うようになった。

3 研究は誰にも渡さない

地動説の資料を手に入れたバデーニは、この研究を完成させられるのは自分だけだと確信。研究によって世界を変えられれば、多大な名誉と金銭が手に入るはず……。そのためバデーニは、他国へ亡命し、修道士から還俗してでも論文を完成させることを決意した。

艱難辛苦の果て、地動説は完成した。しかし、それは神の教えに背くもの。復活できぬように火刑に処せられるほどの禁忌であるにも関わらず、処刑台のオクジーとバデーニの表情は、どこか充足した笑みを浮かべているように見えた。

　ポイントは、それぞれの変化だ。地動説を完成させる過程は、死屍累々の凄惨を極めていたが、新しい世界をつくりだす高揚感を秘めていた。オクジーは現世にも美しいものはあると確信し、厭世的だった自らの変化を感じていた。また、捕縛され拷問されているオクジーの姿に耐えられず、あれだけ利己的だったバデーニの心が折れた。研究を続けるなかで次第に心境が変化し、他人を尊重するようになったのだ。さらに異端審問官の同情により処刑場から逃げ出すことに成功したヨレンタも、いつか自分の名前で論文を発表したいと未来や希望を語るようになっていた。

　それぞれが意識するようになった新しい自分。しかし、その変化は地動説同様に危険な兆候。地動説が信じられる世界を目にすることはなく、オクジーとバデーニは異端審問によって死に、ヨレンタは姿を消した。

　時代という大きな潮流の変化、そして地動説が広まった新しい世界はまだ訪れない！





チ。―地球の運動について―

★毎週土曜日★夜11時45分★NHK総合ほか
HP★https://anime-chi.jp/
X（Twitter）★@chikyu_chi



バデーニ

優れた頭脳とともに名誉欲を合わせ持つ修道士。独善的だったが、論文完成には批判や訂正が大事だと考えるようになった

4 他人を思いやるということ

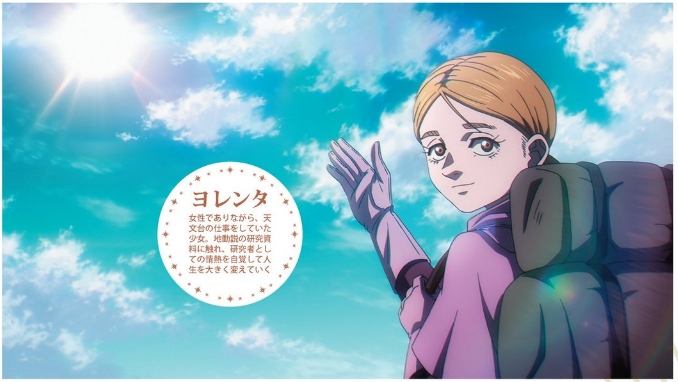


自分の利益のためには、他人を踏み台にしても構わないと考えていたバデーニ。オクジーが拷問にかけられても、「研究資料は捨てた」と嘘をつき続けるつもりだったが、実際には、目の前で行われる拷問を見続けることに耐えられず、資料のありかを白状した。



新しい世界へ

オクジーとバデーニは処刑され、
ヨレンタは九死に一生を得て逃避の旅へ……。
新たな世界を信じて、美しい夜空のもと
3人は残酷な現実を受け入れた。



ヨレンタ
女性でありながら、天文台の仕事をしていた少女。地動説の研究資料に触れ、研究者としての情熱を自覚して人生を大きく変えていく

少年をも変える地動説




優秀な学生だったラファウは、世の中をうまく渡っていくことが人生だと考えていた。しかし、その心の中には天文学研究への情熱が燃え続けていた。フベルトと出会い地動説という考え方に触れた時、ラファウは一人の研究者として真理に殉じる意識が芽生えた。

異端審問の先にあるもの



職務として冷徹に異端審問をこなしていたノヴァクにも、ヨレンタという愛する娘がいた。娘には職業をはっきりと告げず、家族思いの優しい父親として振る舞っていた。しかし娘が地動説を信じ、研究していることを知った今、胸中に去来するのは……!?





5 唯一の女性研究者として

天文研究所に唯一の女性として採用されたヨレンタ。だが、研究所ではあくまで男性研究者の助手でしかない。自らの論文も先輩の名前で発表されてしまうような環境だった。それでもヨレンタは、いつかは自分の名前で研究を発表したいと願い続けた。



6 逃げたヨレンタの運命は

異端として拷問されたヨレンタ。だがその裏では、父であるノヴァクを追い落とそうとする、別の異端審問官の謀略があった。それを知った者が密かにヨレンタを逃がしたのだが、生き延びることができるのだろうか。

坂本真綾〈ラファウ役〉 津田健次郎〈ノヴァク役〉 速水 奨〈フベルト役〉

第一幕で登場した声優陣のオフレコトーク

「物語は二転三転」

坂本 ラファウくんもフベルトさんも早々に退場してしまったのですが、その後も地動説の資料がいろいろな人の手にわたり、バトンタッチされていきます。

津田 物語が進むにつれて主人公が変わっていく。そして、空気感も別作品のように変化していきます。そこを楽しんでほしいですね。

坂本 あのノヴァクが、娘であるヨレンタさんとどんな想いで会話していたのか。

津田 僕は、ヨレンタという登場人物がとても大好きなんです。多分ノヴァクも、優秀な娘をすごく愛おしく思っているんですが、お互いに対立する立場になった時に、ヨレンタとの関係をどう考えるのか。

速水 僕が気になるのは、森のなかで、地動説の資料を隠している石の箱ですね(笑)。フベルトが作ったとも思えないし、かといって適当な箱が売られていたとも考えにくいし、誰が作ったんだろう?

坂本 たしかに、あの箱も重要なアイテムですね。あとは、星空の描かれ方がやっぱりすばらしい。圧倒的です。

津田 スタッフの皆さんも、空の描写がいかに重要なのか分かって作っていらっしゃると思うので、ぜひ注目してほしいですね。

速水 空もそうだけど、背景の描き込みもすごくない? ラファウのいた学校の教室などもすごく雰囲気があると思う。

坂本 まだまだ物語は二転三転していくので、夜空や文化などにも注目して、ぜひこれからの展開もお楽しみください。

津田 オクジーやバデーニが死に、ヨレンタが逃走。地動説は誰が受け継ぐのか。

速水 ドラマチックな展開に期待せざるを得ないよね。



第一期の放送から数えて16年、
第七期となるTVシリーズが大団円を迎えた。
主人公である夏目貴志の置かれた環境はさほど変わっていないが、
人や妖との関係性は少しずつ変化している。
その中で見えてくるものとは……。

変わるもの、変わらないもの

的場静司
【まとばせいじ】
祓い屋・的場一門の頭首。利害が一致しないと協力してくれないことがほとんどだが、夏目や名取に頼まれると、たまに力を貸すことも

Illustrated by Akira Takata
Colordesign by Hiromi Miyawaki
Composite by Hitoshi Tamura





キャラクターデザイン
高田 晃

Q 第七期ならではのポイントは？

漫画の絵は厳密な立体物を描いているわけではないので、アニメに落とし込む際に角度の表現が難しいんです。これまで鼻の高さや髪型などを立体的に考えて描いていましたが、第七期になってようやく割り切れたというか、「この角度ならこのシルエットがベスト」といったように、立体としての正しさより見栄えを優先できるようになりました。原画の中割りをする動画スタッフは大変もしれませんが、僕の中ではこれがひとつの答えとなっています。

妖怪デザイン
山田起生

Q 『夏目』のロケハンはどんな感じ？

現地では全員が勝手に散っていって、ここぞと思う場所を写真に撮るんです。僕は1日で500枚くらい写真を撮っていました。自分が撮った写真が絵コンテや背景の参考にされると、やっぱり嬉しいですね。

Q ロケハンをする効果は？

人吉は盆地なので、背景に必ず山が見えるんです。家や田園風景と、遠くにある山との距離感は、写真ではなかなか伝わりにくいので、現地に行って自分の目で確かめることで絵も変わってきます。



ニャンコ先生／斑
【にゃんこせんせい／まだら】
妖の面倒事以外に、名取や的場の仕事を夏目に頼まれうんざりしながらも、手を貸している。最近は家でのんびりする時間がお気に入り

夏目貴志
【なつめたかし】
妖の名前を記した友人帳の存在を名取に明かし、二人の距離がまた一歩近づいた。どんな妖にも肩入れすることを名取は心配している

人の世界に馴染めないまま、妖の世界に触れ続ける夏目。第七期でもこれまでと変わらない日常が続いていたが、その中で意外な変化もあった。

例えば、祓い屋・的場との関係。ほかの者を交えずに一対一で話す機会が増えたことで、夏目は的場の新たな一面を垣間見る。また、学校の友人たちとの絆も深まった。妖の存在を知っている田沼や多岐だけでなく、北本や西村が妖絡みの事件に巻き込まれたことで、いつか夏目が周りを気にせず妖の話ができるのでは、という期待が生まれた。

時の流れとともに、人も妖も気持ちや環境が変化していく。そのまま留めておきたいと願っても、叶うことではない。しかしその中で、決して変わらないものがある。それが絆だ。人同士や妖同士、人と妖の間にできた絆は、一度結びつけばいつまでも思いが通じ合う。今という同じ時を過ごすものとして、絆を育むことで、より深い関係を築いていく。変わりゆくもの、変わらないもの、そのどちらも大切に描き出しているのが、『夏目友人帳』という作品なのだ。

夏目友人帳 漆

❖DVD & Blu-ray 第2巻が1月29日発売
HP❖https://www.natsume-anime.jp/

キャラクターデザイン

高田 晃

原作が続く限り新シリーズの可能性も!?



——第一期から実に16年という長寿シリーズとなりました。どんなところがファンに愛されていると思いますか？

山田 実は第一期のとき、ここまで爆発的な人気になるような作品ではないだろうって予想していたんです。

高田 スタッフのほとんどが、同じようなことを言っていたね。

山田 放送後何年か経った夏休みの午前中に再放送されているのを観て、「たまたま観たけど、いい話だったよ」って言われるようなタイプの作品だと思っていたんです。だからこそ、年月が経っても違和感なく観られるように、服や小物に流行りの要素を入れないでおこうと打ち合わせをしたのを、今でも覚えています。

高田 老若男女、誰もが安心して観られるような、罪のない物語だよね。そういうところが根強い人気につながったのかな。



山田 最近はちょっと伏線じみたものが出てきたけど、元々の原作が読み切りの作品だったしね。

高田 原作が続く限り新シリーズの可能性も考えられるし、特に終わりを意識して作ったりはしていなかったと思います。

——原作の緑川ゆきさんとは、作品の舞台とされている熊本県人吉市にロケハンに行った際に打ち合わせをしていると聞いています。アニメスタッフから見た緑川さんの印象は？

山田 実は、毎シリーズロケハンに行っているわけではないので、お目にかかったのは2回くらいなんです。たしか第一期と第三期、劇場版のときにロケハンがあって、その際スケジュールが合ったスタッフが参加するといった感じで。

高田 僕は2回参加したけど、2回とも冬でした。劇場版のロケハンは夏だったらしいので、夏に一度行ってみたかったな。僕が最後に緑川先生にお会いしたのは10年以上前なので、うっすら記憶が残っているくらいですが、すごくいい人という印象があります。

山田 最初に打ち合わせをした日の帰り、「すごくいい人だったから、アニメを観てがっかりされたら嫌だな」とみんなしきりに言い合っていたよね。晃くんも、「あんないい人を悲しませちゃいけない」って言っていたし。

高田 アニメの作画作業に入ってからも、制作に注文をつけてくるでもなく、アニメオリジナルの設定を描いてもわりと大らかに受け止めてくれるし、信用してくれているんだなと実感しますね。本当にありがたいことです。

——キャラクターデザインや作画にあたって、原作のどんな部分を大切にしていますか？

高田 これといったパーツではなく、雰囲気的なものですかね。細かい部分を比較すると、結構違っていると思います。

山田 第七期の監督を務めている伊藤秀樹さんは、元々アニメーターなんです。絵コンテを描く段階から、原作をどう映像に落とし込むか、原作を毎度確認しながら演出しています。その姿を見てしまうと、自分が好きに変えてしまうのが申し訳ないような気がして、こちらも原作コミックを片手に作業しています。原画の人は好きに描いてくれていいし、そのほうが作品としてよければ原作と違う部分があっても通しますけどね。

高田 僕も、その話の決めどころのシーンでは原作を見ながら描きますよ。特に表情は原作リスペクトです。それが絶対に正しいというわけではないんですが、僕自身は原作をできるだけ再現したいと思っているので。

山田 技術的な話になりますが、アニメとしてはギャップを出したほうが、インパクトがあります。なので僕は、原作に沿いつつもギャップを意識して作業しています。ただ、少女漫画原作のアニメに携わったのは、多分この作品が初めてで、第一期や第二期ぐらいまでは手探りでやっていました。例えばニャンコ先生なら、動くことでかわいさが出て、アニメとしての売りになりますよね。でも、僕が担当しているのは妖怪デザインですから、怖い方向に振っていきます。そのギャップが、作品をより盛り上げるのではとも思っています。キャラクターデザイン担当の晃くんよりは、かなりのびのびと自由にやらせてもらっているんじゃないかな。

「夏目クオリティ」を今の体制で続けたい

——夏目は育ってきた境遇のせいか、同級生より大人びている印象があります。作画の際にも、意識されているのでしょうか。

高田 意識しているというか、本音を言うとむしろもっと夏目と人を乖離させたいくらいなんですよ、僕は。

山田 当初からずっと言っていましたよね（笑）。

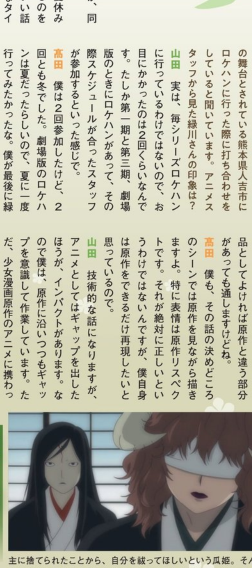
高田 僕の中では、夏目貴志は孤独でいてほしいんです。どこかに孤独の影があったほうがいいと、勝手に思っています。この作品を夏目の成長物語として捉えると、家という居場所や家族、友達、それらすべてを手に入れたら終わってしまうなと。今はまだ、どこかに気を許せない部分が夏目にはあるからこそ、本当に手に入れるまでの変遷が描けます。僕が作画するときは、あまり和気あいあいとした感じは出さないようにしています。

——お二人にとって『夏目友人帳』は、どういう位置付けの作品になりますか？

山田 僕らの職業は、依頼された仕事をこなして金銭を得るものなので、自分の中での位置づけといった感覚は発生しにくいですね。この作品に関しても、第一期は大森（貴弘）さんが監督、晃くんがデザインの作品に原画で入ると聞いて、僕が妖怪デザインを担当するというのも「面白そうだからやってみたい、この猫を描いてみたい」くらいの感覚でした。少女漫画原作で、かわいいものを描くことで、苦手ジャンルを克服できるかなという思いもあって。もちろん、そのときにできることを精一杯やってきたつもりですが、その作品が思いのほか長寿シリーズになったことで、今は変に力むことなく取り組んできたのがよかったんじゃないかと思っています。

高田 僕にとっては、自由にやれる作品ですね。ある意味、腕試しというか、普段の仕事で培ってきたもの

名取と瓜姫



『夏目友人帳』第九話「あやかし祓い」より

主に捨てられたことから、自分を祓ってほしいという瓜姫。そんな妖を初めて見た名取は、瓜姫のことをもっと知りたいと思う。名取にとっては、妖との関係を見直すきっかけになったのかも!?

あえて流行を取り入れない



妖は祓うべき存在で、妖は決して信用できない、妖を信じれば必ず裏切られると思っている。契約している式も単なる道具としか考えておらず、使えなくなれば即座に切り捨てる。



人も妖も信用できないと思っているようで、自身の式を犠牲にすることもいとわない。常に飄々とした態度を崩さずに、仕事をこなしている。



妖は祓うべきものと思いつつ、妖の事情も考慮して仕事を行う。契約している式も大切に扱っている。しかし、妖という存在そのものを憎んでいるような態度を見せることも。



を自由に出せる場。ほかの人がキャラクターデザインをした作品だと、いろいろと気を遣ってしまいますが、アニメの『夏目』に関しては、僕がルールブックであり、選手だという意識で作業をしています。僕が描いているのに「似てない」って言われることもありますけどね（苦笑）。

——本作に限らず、絵を描く際に「ここだけは譲れない」というところはありますか？

高田　個人的には、流行り廃りに影響されない、長く観られる絵を描きたいと思っています。時代に合わせて絵柄を変えていく人もいますが、流行に特化しすぎると一過性のブームで終わってしまう気がして……。アニメーターとして、いつまでも愛され続ける絵を描きたい。それが僕の個人的なコンセプトです。

山田　僕は晃くんとは逆で、悪目立ちしてなんぼみたいな感覚があります。真面目な人がきちんと描いた絵を、どう崩したらインパクトが出るだろうと。『夏目友人帳』は僕にとってスタンダード寄りの仕事なんだけど、真面目な夏目といい加減なニャンコ先生のコンビのように、ボケとツッコミ的な効果を期待して仕事が割り振られているような気がします。

高田　『夏目』は本当に、個性派と個性派の組み合わせだからね。

山田　人間のキャラはすごく真面目な人がきっちり描いてくれるから、僕は安心して変な絵を描けてラッキー！　くらいに思っています。

——最後にファンに向けて、メッセージをお願いします。

高田　15年以上も変わらず愛してくれてありがとうございます、としか言いようがありません。

山田　アニメは人気商売だから、新シリーズが始まってみたら、すでにお客さんがいなかったということもあり得るのに、毎回同じように応援してくれるのは、本当にありがたいです。ただ「親子で観ています」と言われると、年月が経ったことを痛感してガックリくることもあるけど（笑）。

高田　第一期のころから比べると、僕らの描く絵も少しずつ変わってきているんです。でも、ファンの人たちは「変わらない」って言ってくれていて。多分ですが、細かい部分は変わっていても、同じテイストを醸し出す、すごく難しいバランスを、大森さんをはじめとしたスタッフ全員が頑張って作り上げているものだと思っています。

山田　一部のファンの中では「夏目クオリティ」なんて呼ばれ方をしているみたいだし、もしまた新シリーズがあっても、この体制を続けていけたらいいですね。

——ファンとしては新シリーズもそうですが、劇場版もあったらいいなと思っているのではないでしょうか。

高田　劇場版!?　劇場版はアカンでしょ（笑）。

山田　アカンです（笑）。TVシリーズでやるほうがいい。

高田　僕らは短距離ランナーなので、長距離は苦手なんです（苦笑）。

山田　『夏目』はどちらかというと、大きい物語をドカンとやるより、小さいエピソードを重ねていくほうが向いている作品じゃないかな？

高田　原作の連載も続いているし、また新たにTVシリーズを展開する余地は十分にあるでしょうね。

山田　いずれ第八期があると思ってる？

高田　思ってる。

山田　できれば原作が終わるまで付き合いたい？

高田　どうかな。僕の年齢的な問題もあるし、何とも言えないですが……（笑）。でも、作品としては新展開の余地があるので、今後もずっと愛していってくれたらありがたいです。

妖怪デザイン

山田起生



名取周一【なとりしゅういち】

人気俳優でありながら、裏では妖の祓い屋をしている。夏目をあまり妖に近づけたくないと思いつつも、一緒に行動することが多い



七瀬【ななせ】

的場一門の術師。一門の中でもかなりの実力者で、的場の不在時には現場の指揮をとるほど。夏目の存在をあまり好ましく思っていない



小さな一歩が結んだ未来

ヒカルの優しさはアルマだけではなく多くの人々を救い、人間とメカウデが手を取り合って生きる未来という希望の光を示した
それは一人のクリエイターのイラストからスタートして、ＴＶアニメ化にまで至った、メカウデプロジェクトの歩みを想起させる







メカウデプロジェクトは、ＴｒｉＦスタジオのアニメーション作家、オカモトさんが描いたイラストから始動した。ＹｏｕＴｕｂｅでショートＰＶを公開し、海外、国内のクラウドファンディングで調達した資金をもとにパイロットエピソードを制作、やがてＴＶアニメへとつながっていく。その過程は、物語の中でヒカルが歩んだ道筋と重なって見える。

どこにでもいるごく普通の中校生だったヒカルは、相棒のアルマをはじめとしたさまざまなメカウデ、メカウデ使いたちと出会い、自身の優しさや思いやりの気持ちを出せるようになっていった。そんなヒカルの優しさは巡りめぐって、瀕死になった彼を救おうとしたカガミたちの行動や、人間とメカウデが一緒に生きる社会という、新たな可能性に結びつく。多くの人の力が集まって、無謀にも思えることを成し遂げる。それはどこの世界でも変わらないのだろう。

日常へと戻ったヒカルの姿で、物語は幕を閉じた。だが、オカモトさんと河村翔太さんが語ったように、『メカウデ』はまだ見ぬ可能性が感じさせる作品でもある。メカウデたちにまた会える、そんな未来を夢見て待ちたい。

メカウデ

✦Blu-ray vol.1が1月22日(水)に発売予定
HP✦https://mecha-ude.com/
X(Twitter)✦@mechaude_JP

ヒカルたちとともに成長した日々

原案・監督 オカモト × 3DCG監督 河村翔太

おかもと
アニメーター・アニメーション監督。TriF スタジオ所属。MV などの制作を経て『メカウデ』が初監督作品

かわむら・しょうた
CGI&VFXクリエイター。TriFスタジオ所属。3DCG アニメ『スシポリス』にてCGディレクターを担当。『メカウデ』では 3DCG 監督、制作総括を務める



トライ&エラーが生んだダイナミックなアクション

——取材時点ではTVアニメの放送中ですが、ファンや周囲からの反響はいかがですか。

オカモト　もともと作品を通じてキャラクターを愛していただきたいな、と思っていましたが、メインキャラクターだけでなく敵役やサブキャラクターもしっかり見ていただけたのは予想外でした。サクガとかも「いいキャラだ」と言ってくれる人がいて、細かく観てくださっていることがとても嬉しかったです。

河村　福岡で仕事をしているのですが、身の回りで観てくれている人、知ってくれている人と会うと、「ここでも放送されているんだな」と実感が湧いてきます。ただ、自分たちにとっては結構前に作ったもので、特に第1話を観たときは懐かしい気持ちになりました（笑）。

——『メカウデ』では監督、3DCG監督としてタッグを組んでいるお二人ですが、最初に顔を合わせたのはいつ頃だったのでしょうか。

オカモト　私が大学生の頃、大学の授業で見かけたのが初めてでした。大学院に進学した学生が授業を補佐する、ティーチング・アシスタントという制度があって。プログラミングの授業のスタッフで参加していたのが、河村さんだったんです。当時から精力的にCGやVFXの分野で活躍されていたり、映像制作のサークルを立ち上げたりと、お名前を聞いたことはあったのですが、それまで直接の交流はなくて。授業のときに「この人が噂の河村翔太か」と思った記憶があります（笑）。

河村　自分は映像制作のサークル活動で名前を知りました。そのサークルは、実写なり手描きアニメなりCGなり、好きなもので映像を作りなよ、という趣旨の集まりで、ゴールデンウィークや夏休み前の時期には、作品の発表会があったんです。そのときにオカモト監督は、CGで牛のキャラクターのモデリングをしていて、「なんかクオリティの高いCGの映像を作っている新入生がいるな」と存在を認識しました。そういうこともあって、最初はCG希望の子だと思っていたんですが、後で手描きアニメを作る人だと知って驚きました。一緒に仕事をしたのは、だいぶ後のことでしたよね？

オカモト　そうですね。私がTriFスタジオのアルバイトとして彩色などをしていたとき、河村さんもCGの仕事をしていたのですが、直接やり取りがあったというわけではなくて。

河村　明確にタッグを組んで仕事をしたのは、Eveさんの「あの娘シークレット」のMVが最初かな……いや、『メカウデ』の特報が先か（※『メカウデ』の特報は14年発表、「あの娘シークレット」のMVは17年発表）。

——河村さんがCGの道に進んだきっかけはなんだったのでしょうか？

河村　大学で「何か作りたい」と思い、数居が低いからと実写を撮り始めたんですけど、実写では自分の好きなものが上手く撮れなくて。そこで「ハリウッド映画が好きならCGをやればいいのでは？」と考えて、VFXやCG、合成の勉強をして、フリーで仕事をするようになりました。

——どちらかというと、ハリウッド映画のような実写作品に河村さんの創作のルーツがあると。

河村　はい、もともとは映画好きだったんです。CGの仕事を始めた当時、いただける仕事がアニメに関するものが多くて、だんだんとアニメに染まっていきました。幼少期はジブリ映画やディズニー映画を浴びるように観ていたらしく、『デジモンアドベンチャー』といったキッズアニメもよく観ていたので、根っこの部分でそういった作品の影響は受けている気がします。

——河村さんは『メカウデ』で3DCG監督のほかにも、撮影監督、制作統括としてもクレジットされていますね。

河村　作画はオカモト監督で自分はその他、みたいな役割分担です（笑）。3DCG周りの仕事では、作画と馴染むように常に気を遣っていました。メカウデのCGは出力したものがそのまま画面に出て、人間と常にセットで映るので、馴染みがいいものじゃないと〝モノ感〟が出てしまうんです。

——本作は縦横無尽なアクションシーンが印象的でした。アクション描写で大切にしたことはなんですか？

河村　いろいろと吟味しながら作れたことがクオリティアップにつながったと思います。普通のアニメなら、いわゆる神アニメーターさんにお願いして原画を描いてもらうという戦法が使えるんですが、それは今回難しく、できるだけCGでまかなっていく方向性になりました。CGのメリットは、どういう画面にしていくか検討がしやすいことなんです。たとえば、カメラのアイレベル（※地面からの目線の高さ）を変更するとなったら、作画の場合は一度描いたものを描き直す必要がありますが、CGは少し動かすだけで変えられるんですよ。実作業としては、自分たちが作ったものをオカモト監督に見ていただいて話し合い、CGだと難しい絵の嘘や誇張表現は監督に描いてもらう、という手順で進めていきました。画作りの段階で検討を重ねられたおかげで、まだ経験が足りない自分たちが出せる最大限のクオリティで、各話の見せ場に相応しいアクションカットを作り出せたのではないかなと。

——オカモト監督から河村さんにリクエストしたことなどはありますか？

オカモト　河村さんに限った話ではないのですが、メカウデは単なる武器じゃなくてキャラクターだと、いろいろなスタッフに伝えていました。レイアウトであれば、メカウデが画面に収まるように、仲間に見えるようにお願いしますと話して。あとは、キャラクターの関係値をアクションに反映させることも大切にしていましたね。ヒカルはもともと一般人だったから、序盤はアルマに引っ張られていたけど、だんだん成長してアルマと一緒に戦えるようになっていく、という流れを意識していました。アキは最初から戦い慣れているのでスマートな動きに、カガミだと序盤では自分自身は動かず、ウロボロスを道具として自由自在に操る……というアプローチでアクションを考えました。

河村　メカウデに関して言えば、アルマ、フィスト、アマリリスはオルデラの事故で特殊な能力を手に入れた特別な三体、という背景があって。特にアルマとフィストは対をなして見えるように、変形や戦い方の共通性を意識して演出しました。

〝小ささ〟にこだわったヒカルの成長ストーリー

——最終決戦がヒカル対カガミの構図になったのは、どういう経緯だったのでしょうか？

オカモト　もともとヒカルとカガミの戦いは二回やりたいと話していて、第3話でヒカルに敗れたカガミがリベンジマッチを挑む、という構想があったんですが、尺的にそんな余裕がなく……（笑）。全体の構成を考えていくうちに、フィストやツキヒト、カガミ家周りの設定が固まってきて、フィストがツキヒトの無念をカガミの身体を使って晴らす、というアイデアが出てきたんです。それで上手い具合に、最後の戦いがヒカルとカガミの対戦カードになりました。

——ヒカルが出会ってきた人たちが集結していく展開も、胸が熱くなりました。メカウデとメカウデ使いの人間がコンビで登場するため、結果的に1クールのアニメとしてはかなり登場人物の人数が多くなった気がします。

オカモト　そうですね。個人的にはもっとたくさん出したかったんですけど、これくらいの人数が限界なのかもしれません（笑）。キャラクターはシナリオベースで考えていて、「この話数にはこういう敵がほしい」と思ったときに、新たな人物やメカウデを作っていくというケースが多かったです。

——ちなみに、河村さんが特に好きなキャラクターを挙げるとしたら誰でしょう？

河村　ナンバですかね。子どもを子ども扱いする中年男性キャラが好きなんです。掘り下げ回があれば嬉しいと思っていたのですが、後半か



アルマ
フィストとの戦いに決着をつけた後、復興のためにヒカルと別れて自分の故郷へと帰った

ヒカル
名残惜しそうなアルマの背中を押して、別れ際に彼がデライズしていたパーカーを手渡す



らの登場でそんな時間はなかった（笑）。

オカモト　河村さんはカズワのことをめちゃくちゃ掘り下げてくださった記憶があるんですけど、カズワに関してはどうですか？

河村　カズワの掘り下げは、物語の中で必要だと思ったんです。メカウデと人間の和解を描くには、メカウデに対してシャークルを使っていた人を許す構図がないと、物語に影を落としてしまうなと。そこを担うのがカズワではないかと考えて、彼を掘り下げようと話をしたのですが、別に好みというわけではないんです、残念ながら（笑）。

オカモト　なるほど(笑)。カズワは最初、第1話に出てくるやられ役で終わる予定でしたが、それだけではもったいないので、何かしらの形でもう一度出したいとは思っていたんです。河村さんが『メカウデ』の物語が暗くならないように、作品全体のテーマに関わる形でカズワのドラマを考えてくれたことは、とても思い出深いです。

――カガミとアキは家族の存在がそれぞれのドラマに密接に関わる一方で、ヒカルは家族の描写が全くないですよね。

オカモト　はい、ヒカルの家族は意図的に描写していないです。主人公は一番感情移入してほしいキャラクターにしたくて、家族との関係を描いてプロフィールを固定しないようにしていました。

――確かに両親や兄弟の存在に触れられたり、逆にほかの家族がいないとハッキリ描写されたりすると、共感や感情移入の対象として見られなくなる部分があると思います。

オカモト　そうなんですよね。兄弟がいたらどういう関係性なのかが気になるでしょうし、そもそも家にアルマがいてバレないのかという問題も浮かび上がってきて、ノイズになるんじゃないかなと。ヒカルは孤独を抱えた人、言うなれば〝持っていない人〟として描きたかったので、友達も最小限しか出していないんです。その友達も特別仲が良いわけではなく、付き合いで一緒にいるだけみたいな感じで。その対比として、アキとカガミは劇的な人間関係やドラマを背負っている人として描こうと、家族の話が出てきました。

――最終回が第1話との対比で、ヒカルが電車の席を譲るシーンで終わるのも印象深かったです。このラストは当初から構想にあったのでしょうか？

オカモト　具体的な表現は作っていく途中、第5話か第6話を制作しているあたりに生まれたものですが、ヒカルの小さな成長の物語を描きたい、というのは最初から考えていました。アキやカガミみたいに、家族の関係が発展するといった大きな成長ではなく、小さい成長を描きたいなと。それが第1話と違って電車で席を譲れるようになった、という描写につながったんです。それまでヒカルに大きな成長をさせるべきかどうかをずっと議論していましたが、電車のシーンが思い浮かんだことで、小さな成長を描くと方向性が定まりました。

新主人公、別ジャンル……『メカウデ』は可能性の塊

――本作でのタッグを経て感じた、お互いの印象について教えてください。

オカモト　河村さんはとにかく頭が良いクリエイターですね。理解力が高く、言語化が難しいことも的確に言葉にされていて、制作の実作業だけでなくスケジュールを組むといった、管理的なところまでシステマチックにこなしていくんです。打ち合わせで「これはこういうことだよね？」と、私の理解を超えた話をされることもあって、頭が良すぎると思うくらい（笑）。自分のスタッフへの指示が曖昧で意図が伝わり切っていないところを、的確に伝えてくれたこともあって、かなり助けていただきました。

河村　自分は不真面目ゆえに理屈で考えるタイプの理詰め人間なんですが（笑）、オカモト監督は性格が真面目でストイックな、正攻法の努力量でぶち抜くタイプだと思います。感覚派ベースの理詰めというか、感覚から理屈を組み立てようとしたり、逆に理屈を考えた後に感覚に戻ったりで、感覚と理屈を巧みにコントロールできている印象を受けます。『メカウデ』に関して言えば、キャラクター造形力の高さを改めて実感しました。ビジュアルにしても設定にしても、オカモト監督独自のキャラクターを生み出すことができる、その圧倒的な強みを感じましたね。あと、ほかのアニメーターを凌駕するレベルで決め絵の絵力が強いことも、自ら現場で絵を描くタイプの監督ならではだな、と。

――今回の経験で、今後のクリエイターとしての活動で活かしていきたいことはなんですか？

オカモト　今までは個人での創作活動が









アキ
妹のフブキや相棒のシニス＆デキスと力を合わせて、アマリリスの後始末に尽力している









アマリリスは怪獣？
「アルマ、フィストに対して、アマリリスはどう描くか迷っていたんです。デザイナーの塗壁やプロデューサーの麻生（秀一）が好きな特撮の要素を取り入れて、『ゴジラ VS ビオランテ』のビオランテみたいなイメージで強さと迫力を表現していきました」（河村）



エルジスの声の秘密
「エルジスがヤクモの身体がベースなのに、ツキヒトと同じ声をしているのは、被っていた仮面に付いている変声機を使用していたからです。フィストのツキヒトに対する執着を表現するために、彼の声を作ってエルジスとして発している……という設定になりました」（オカモト）

クセ強なキャラ付けの理由
「拘束して自我を奪うシャークルは、冷静に考えると結構エグいことをしているんですよね。『メカウデ』はあまりダークなお話にしたくなかったので、暗い過去をぶっ飛ばすような、ハイテンションで面白おかしいメカウデが多くなった気がします（笑）」（河村）

メインで、自分自身も実際に手を動かして作っていたことが多かったのですが、『メカウデ』で初めて作業を人に頼むことを覚えました。作画で言えば、第1話のときは結構自分が手を入れていたんですが、第7話くらいからは自分がほぼ関わらずに、良い作品ができるようになりました。今後も人に振れるところは振って、自分がこだわりたいところに注力できる作品づくりをしたいですね。

河村　これまではオカモト監督と二人でMVを作るような仕事がほとんどで、1クールのアニメを数十人のスタッフで作る、という経験は今回が初めてでした。エンターテインメントとして、一つの作品としてやり切れた実感はあるのですが、作業フローには自分の中での反省点がめちゃくちゃ多くて。ただ、自分が理系だからか、失敗やダメだったところはネガティブに捉えず、むしろ「この問題はこうすれば解決できるな」「次はもっとクオリティが上げられるぞ」というテンションになるというか（笑）。やる前の自分との差が明確にわかるので、できなかったことが嬉しく感じるんです。成功も失敗も糧にして、これからの仕事やモノ作りに活かしていきたいです。

オカモト　私もできなかったことの話をしていいですか？　『メカウデ』ではキャラクターをしっかり描きたいという気持ちがあって、お客さんにも刺さったという手応えを感じていたんですが、本当はもっともっとマニアックなところを掘り下げたかったんです。たとえばビジュアル面だと、このキャラクターはこういうファッションをしているから、履いている靴の裏のデザインはこうで……という感じに描き込みたかった。次のプロジェクトではスタッフにサポートしてもらい、キャラクターの細かい設定などに自分の労力が割けるよう調整できればと思います。





――最終回は、ここから新たな物語が紡がれる余地のあるラストだったと思うのですが、今後『メカウデ』で描きたい物語などありますか？

オカモト　続編の制作が決まっているわけではないですが、「大きな物語としてはこういうことをやりたいね」という制作チームのアイデアは、最終回のエンドロールで描いてみました。あくまで個人的にではありますが、それとは別に『メカウデ』の新作を作るとしたら何をやろう、何が観たいだろうと真剣に考えていて。最近は『デジモンアドベンチャー02』みたいに主人公が変わるけど、前の主人公が先輩になって登場する物語の作り方は面白いんじゃないかな、と思っています。

河村　自分の好みで言うなら、『ハリー・ポッター』みたいにファンと一緒に年齢設定を上げて、だんだん作風も大人向けになっていく続編とかは面白そうだなと。あとはSF成分を濃くした話や、メカウデとは相性最悪ですけど、ホラーとかにも挑戦したいです（笑）。

オカモト　ほかのスタッフと話しているときには、騎士（ナイト）ガンダムのような感じで騎士アルマを作りたい、時代を超えてメカウデが活躍する物語を見てみたい、って意見も出てきていましたね。







『メカウデ』は、そんな可能性も秘めたコンテンツだと感じています。

――最後に、応援してきたファンに向けてメッセージをお願いします。

河村　弊社TriFスタジオも、『メカウデ』と一緒に大きくなっていった実感があります。放送が終わっても、TriFスタジオは続いていくので、『メカウデ』ともども、応援していただけると嬉しいです。

オカモト　私としては、もっともっと『メカウデ』の世界観を広げていきたいと考えています。TVアニメの続編ではないかもしれないですが、何かしらの形で新しいコンテンツをお届けしたいです。













メカウデに影響を与えた実写ロボット

「『メカウデ』制作前に、『トランスフォーマー』の実写映画シリーズをみんなで一緒に観る会、みたいなものを開いたんですよね。トランスフォーマーが車の姿で走っているところから、ぬるぬるっと人型に変形してまた元に戻るってアクションがカッコいいなと思って。決めのシーンはガシャンガシャンと変形している様子を見せるようにしていますが、そうではない場面では実写『トランスフォーマー』的なぬるっとした変形を取り入れています。第7話冒頭のヒカルとアルマの合体シーンはまさにそうですね」（オカモト）



スレイグとアキの力量差

「スレイグはメカウデをたくさんデライズしすぎて、すぐにスタミナ切れを起こしたから負けてしまったんです。アキのように訓練されたメカウデ使いなら、2体以上のメカウデとデライズしても問題ないんですが、スレイグでは力が及びませんでした」（オカモト）



新興三課の舞台裏

「振興三課のコードネームが数字由来なのは、裏事情を話すと仮の名前がそのまま決まってしまって……（笑）。でも、メカウデを完全に道具扱いしているように、人も駒として管理下に置きたいという、サクガ専務の気持ちが表れているのかなと思います」（オカモト）



プリキュアの活躍で、ニコアニマルはすべてニコガーデンに戻ることができた。もうガオガオーンが出せなくなったトラメに、こむぎは一緒に遊ぼうと持ちかける。戦うのではなく、ただただみんなで追いかけっこするのだ。全力で駆け回るうちに、フクちゃんとの別れで沈んでいたフレンディの気持ちも自然と上向き、トラメとも心を通わせた。自ら浄化を望んだトラメは、ガオウのことをプリキュアに託し、光となって消えていった。

ザクロは、自分だけは最後までガオウのそばにいると誓うが、一方でプリティホリックの温かいクリスマス装飾にふと見惚れてしまう。その姿を見たニャミーは、ザクロの奥底にある穏やかな心を感じとる。ザクロはニャミーの言葉を拒絶しつつも、復讐の虚しさを口にする。しかし、憎しみに囚われたガオウは聞く耳を持たず、アニマルタウンに凶暴な狼ガオガオーンを送り込んできて……。

いよいよクライマックス、ここからガオウたちの衝撃の事実が明らかになる!



一緒に楽しく遊んだらもう友達。トラメとは笑顔でお別れができた。ガオウやザクロとも、心を通わせることはできないのだろうか。誰も欠けることのない、きらめく世界を目指して!

わんだふるぷりきゅあ!

🐾毎週日曜日🐾朝8時30分🐾ABCテレビ・テレビ朝日系列
HP🐾https://www.toei-anim.co.jp/tv/precure/

★アニメージュ1月号増刊「わんだふるぷりきゅあ!」特別増刊号 発売中。P.18を見てね

ラスト3本はギュッとドラマを詰め込みました

シリーズ構成 成田良美

チェイスアクションの到達点だったトラメ回

—第45話はトラメ回でした。これまでザクロはアニマルタウンの動物を直接ガオガオーンにしていましたが、トラメはガルガルの卵からガオガオーンを生み出してきましたね。

成田　シリーズ後半、危機感を高めて盛り上げるために、アニマルタウンで暮らす動物がガオガオーンにされてしまうという展開を加えました。ザクロにその役割を与え、トラメは黒い卵を見つけてそれを孵す役割を。こむぎたちが見つけられなかった黒い卵をトラメは見つけられるという能力を持っています。襲撃のバリエーションを作りました。

—この回は、ワンダフルとフレンディが主軸でしたが、子どもらしく「遊ぶ」がキーワードだったようですね。

成田　こむぎは「いっしょに遊ぼ♪」とずっと言い続けていて、トラメも「面白い」「つまらない」「遊びたい」が行動基準。そこがうまく合致すると思い、犬組はトラメ担当に収まりました。トラメの年齢感は小学校高学年男子のイメージなので、こむぎと精神年齢が近く、子ども同士、楽しく遊べるだろうなと。

—いろはは、最初は第44話のフクちゃんとの別れをまだ引きずっている状態でした。

成田　いろはは、お友達との別れを初めて経験し、その抱えた気持ちは、第44話の中だけでは消化しきれないだろうと。そこで次の回で、フクちゃんとはまた違ったお別れエピソードを持ってきて、そこへ至る流れの中で、心が浮上するようにしていければと思いました。

—まさかトラメが、クリスマス前の時期に退場するとは。

成田　最初から決めていたわけではないのですが、トラメはザクロよりも少し早めに退場する予定ではありました。構成を組んでいったら、自然とこの位置に収まった感じです。

—切なさはありつつも、ポジティブな形での浄化でしたね。これもまた意外でした。

成田　今までにない浄化の仕方にしたいと思ったんです。トラメはもともと子どもの狼で、しっかりと物心つく前に命を落としてしまったという裏設定があるんです。だから、大人の狼ほど人間への強い恨みや憎しみは持っていないだろうと。第29話の登場時には、人間に対して怒りを向けてはいましたが、それはガオウやザクロに影響されたところが大きくて。子どもって、周りの大人たちの考えに影響されて同調しちゃうことってありますからね。トラメは、「もっと群れの仲間と一緒にいたかった。みんなで遊びたかった」という心残りのほうが強くて、そのわだかまりが解消されれば、浄化されるだろうなと思いました。

これまでプリキュアがキズナシャワーを放って浄化されたガオガオーンは、みんなニコニコ〜と笑顔になり、トラメはそれを見て密かに「いいなぁ、楽しそうだなぁ」とうらやましく思っていました。その思いを最後に打ち明けて、望んでキズナシャワーを浴びる流れにしたんです。

—トラメの心を満喫させるためにも、第45話のアクションは追いかけっこになったと。

成田　はい。それと、「プリキュアの能力を使って、全力で遊ぶ」というのを、一度やりたいと考えていたんです。ここで満を持して、見せることができました。

—『わんぷり』といえばチェイスアクション。この作品の一つの到達点のようにも感じました。

成田　そうですね。狼たちがどれだけ攻撃してきても、彼らの過去や気持ちを知った今となっては、もう反撃はできないですから。『わんぷり』らしいシーンになったと思います。

似ているところがあるザクロとユキの一途さ

—第46話はクリスマス回。ザクロのガオウへの排他的な想いに、ユキがかつての自分のまゆへの心情を重ね合わせつつ、でもそれは違うと考えたところに成長を感じました。

成田　この第46話がユキのまとめ回です。ニャミー登場時は、まゆさえよければいいと、彼女はガルガルに容赦なく攻撃していました。でも、こむぎやいろはたちと一緒にプリキュアをやり、悟や様々な人々、動物、ニコガーデンのアニマルたちと交流して、ここまで成長しましたよ、という到達点を見せる話になりました。

—ザクロのガオウへの一途さは、かつてのユキのまゆへの気持ちとの対比感を狙っていたのですか?

成田　狙っていたわけではないのですが、書いていくうちに「ザクロとユキの一途さって似ているかも」と感じたんです。そこは、まゆも同様で。まゆも最初はユキ以外とのコミュニケーションが苦手で、猫組だからこそ、ザクロと向き合えると思いました。

—「世界で二人ぼっち」ではダメなのだと。

成田　二人でも楽しく過ごせるかもしれないけど、いろいろな人や動物たちと仲良くなればもっとワンダフルになれるかもしれない。だからユキもまゆも、猫集会の猫たちやクラスメイトたち、アニマルタウンの人たちとの交流をシリーズの随所で描き、友達の輪を広げてもらいました。

—まゆも、第43話の編み物でザクロと接点ができていたわけですが、それまでの悟の恋の応援のテンション感のままでザクロの恋を応援するのが絶妙で!

成田　そこも、書いていく中で自然と筆が進んだ感じでした。ザクロの年齢感は20代前半くらいで考えていて、ま

2種類ある一人称

「こむぎの一人称は、犬の姿の時は『こむぎ』、人間の姿の時は『私』で統一させています。人間の姿になると、精神的にも犬の時とは少し変わるだろうなと。それと、いろはの真似をしているところもあります。『ワンダフル』って言葉もいろは発信で使い始めた言葉ですから。もし、いろはが自分のことを『うち』とか呼んでいたら、こむぎも『うち』って言っていたかもしれません(笑)。自分の呼び方を含めて、こむぎはいろはから様々なことを学んできたということです」(成田)



で彩る世界を



キュアニャミー
猫屋敷（ねこやしき）ユキ
ザクロのガオウへの一途な想いを知り、まゆ以外とのつながりも持てた自分と重ね合わせる。今後もザクロをかまい続けると決めた

ザクロ
まゆに続いてユキからも歩み寄られて一瞬心が揺らぐ。だが、ガオウを支え続けたい想いが勝り、あくまで敵対の姿勢をとるのだった



キュアリリアン
猫屋敷（ねこやしき）まゆ
アニマルタウンで初めて迎えた新年は、みんなで初日の出を見て、初詣。この街独特の、動物との仲良し感ある正月風情にほっこり



トラメ
自ら進んでエターナルキズナシャワーを浴びる。浄化され、消えていく中、友達になれたフレンディにガオウのことを頼むのだった

キュアワンダフル
犬飼（いぬかい）こむぎ
サンタのトナカイもニコアニマルで、みんなで一緒にサンタのお手伝い。きれいな雪も降ってきて、とても楽しいクリスマスになった



キュアフレンディ
犬飼（いぬかい）いろは
トラメと追いかけっこをする中で、プリキュアになった理由はこむぎと一緒に走りたかったからだと伝える。ワンダフルも嬉しく応えた

兎山（とやま）悟（さとる）
ニコガーデンでのクリスマス会で、いろはに犬のチャームをプレゼント。いろはからは手編みのマフラーをもらい、お互いの宝物に

ガオウたちのネーミング

「『ガオウ』という名前は、狼の鳴き声由来のところと、子どもたちが覚えやすい、カッコいい語感からつけました。『我王』という漢字も当てられますしね。『トラメ』『ザクロ』は石の名前由来ですが（虎目石、柘榴石）、そもそも二人は石像の狛狼で、石モチーフなんです。第47話でガオウが生み出した狼ガオガオーンも、遠吠神社に安置されている石が本体です。ガオウが仲良くしていた青年の名前は、ガオウと同じようにカタカナ表記でも変じゃない、明治時代の人名ということで考えました。それと、いつもガオウと一緒に山の上から星を眺めていたイメージがあったので、星の名前でもあるスバルにしました」（成田）

「遠吠神社のモデルにした神社があるのですが、実際に狛狼がありました。トラメとザクロの石モチーフはそこからのイメージもあります。スバルの名前は、日記での表記は漢字の『昴』ですが、キャラ名としてはガオウたちと合わせ、カタカタの『スバル』でクレジットしています」（プロデューサー・髙橋麻樹）



ガオウ



消えていったトラメの魂

「第45話で、トラメの宝玉の炎が揺れる描写がありましたが、この炎はガオウによって呼び戻された彼の魂です。炎の中心にはニコガーデンから奪ったニコダイヤのかけらがあり、ダイヤの力を使って実体化しました。ザクロも同じ宝玉を髪に付けており、ガオウも手に持っています。この設定、実はキャラクターデザインありきだったんです。宝玉のデザインを見て、脚本にも落とし込みました」（成田）



トラメ



ザクロ

だ乙女な恋愛に憧れている年頃ですからね。

——まゆが悟の恋心をつつくのはギャグ的な見せ方でしたが、それが作品テーマに直結するような場面で効いてくるところに驚きました。

成田　まゆによる悟の恋心アテレコは楽しくしたくてギャグな表現にしましたが、まゆ自身は心から悟を応援していたんですよ。まゆは繊細で臆病なところがありますが、周囲の心の機微に気づける子で。本人はコミュニケーションが苦手だと思っていますけど、実は一回失敗しちゃっただけなんです。本来のまゆは、じっくり深い付き合いができる子、親友になれるタイプの子だと思います。いろはははあらゆる人と広く付き合える力があるんですが、まゆはそれとは違う形で、ちゃんと友達ができる子なんです。ザクロとのやりとりで、そういうまゆの良さが際立つといいなと思いました。

——トラメが犬組、ザクロが猫組と、寄りそうチームが分かれたのも『わんぷり』らしい感じがします。

成田　そこもやりながら考えましたね。構成を書いていく中で決めて、提案しました。

——『わんぷり』も残り3話となりましたが。

成田　第48話からのラスト3本は、密度の高いドラマになっています。クライマックスは話数をかけてじっくり描きたいところですが、重たい話が続くと、観ている子どもたちが疲れてしまうんです。なので、2本半もしくは3本くらいで収めるために、ギュウギュウに詰め込みました。1年間見続けてくれた子どもたちには、最後まで楽しんで観てもらいたいですからね。

——ストーリーとしては、ガオウたち狼とどう決着するのかが気になります。

成田　そもそも100年前に絶滅した狼をどうやったら救うことができるのか。シリーズ当初に目処をつけてはいましたが、うまくできるのか少し不安でした。でも試行錯誤の末に、なんとか形になったかなと思います。そこも、クライマックスの見どころとして期待していただきたいです。

——そして最終回後のお楽しみというと、2月8日・9日の「わんだふるぷりきゅあ！感謝祭」。オリジナルショー「わんだふるな大運動会！」の脚本を書いたそうですが。

成田　もともと本編でやりたかったネタなんですが、話数的に入れ込む余裕がなくなってしまったので、感謝祭で披露できて嬉しいです。本編には出ていないガルガルも出てきますよ。それともう一本、朗読劇のシナリオも書きました。こちらは最終回後の話で、その後の様子が垣間見えます。パジャマパーティで、ワイワイ楽しい女子トークです。どちらもぜひお楽しみに！

みんなの笑顔



キュアップ・ラパパ！ みんなに会いたい！

装いも新たに、『魔法つかいプリキュア！』が帰ってくる。大学生のみらいや教師になったリコたちの日常は、やっぱりハチャメチャ大混乱！?

キュアミラクル
朝日奈みらい
声／高橋李依
大学生となってキャンパスライフをエンジョイ中。だけど、なぜか今も魔法学校の制服を着てナシマホウ界で魔法を使っているみたい

キュアフェリーチェ
花海ことは
声／早見沙織
前作でデウスマストとの決戦後、あまねく生命の母、マザー・ラパーパの力を継いだ。地球や魔法界を含めた世界全体を見守る存在に

キュアマジカル
十六夜リコ
声／堀江由衣
魔法界の魔法学校で教鞭をとっているが、どんな事情で再びナシマホウ界に来ることになるのだろうか。モノクルは父にあやかった？

モフルン
声／齋藤彩夏
今でもいつもみらいのそばにいて、カバンの中に隠れて一緒に行動。みらいと共に魔法学校の制服を着ていたりするが、果たして？

「プリキュア」の大人向けシリーズ、『魔法つかいプリキュア!!～MIRAI DAYS～』の放送がいよいよスタート。２０１６年～２０１７年放送の『魔法つかいプリキュア！』から世界観も時系列も含めての正真正銘の続編だ。

前作の物語は、中学生のみらいと魔法つかいのリコが、桜咲く十六夜の下で出会ったことからが始まった。みらいのぬいぐるみのモフルンが魔法の力で動き出したり、不思議な赤ちゃん・はーちゃんをみんなでお世話したり。プリキュアとして世界を守る戦いもあったが、それ以上に、４人のほんわかした楽しい日々が印象深い。離ればなれになったみらいたちが時を経て、十六夜の下で感動の再会を果たすシーンは、今でもファンの語り草だ。

そんなみらいたちの「その後」が描かれるとは、まさにワクワクもの！しかし19歳になったみらいたちが、どうしてまたプリキュアに変身するのだろうか。そして予告映像で言われている「魔法ガール」って一体誰のこと？

魔法つかいプリキュア！！～MIRAI DAYS～

♥1月11日より放送開始♥毎週土曜日♥深夜2時
♥ABCテレビ・テレビ朝日系列「ANiMAZiNG!!!」枠
HP♥https://www.toei-anim.co.jp/tv/mahotsukai_precure2/

STAFF♥シリーズディレクター／浜名孝行　キャラクター原案／宮本絵美子　シリーズ構成／村山 功　キャラクターデザイン／袖山麻美　音楽／高木 洋　アニメーション制作／東映アニメーション・スタジオディーン

過去と向き合いながら未来に進んでいく

プロデューサー 内藤圭祐（東映アニメーション）

――2023年3月の制作発表からしばらく空きましたが、今作の企画の経緯からお聞かせください。

内藤 プリキュア20周年施策の一環として、大人向け企画の『キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～』がありましたが、その一本だけではないことを示すために『魔法つかいプリキュア！2（仮）』の発表も同時期に行ったんです。ありがたいことに、大人向けの企画には『まほプリ』が向いているんじゃないかという話が出て、それでスタートした感じでした。大人になった主人公たちが出てきたシリーズは放送当時は珍しかったし、魔法というモチーフもとても自由度が高いですからね。

――前作の最終回から直接つながる時系列の話というのは、最初から考えていたのですか？

内藤 はい。そこは迷わず第50話からの続きにしようと。放送枠も当初から深夜想定だったので、従来のファンのみならず、習慣的に深夜アニメを観ている層も楽しめるようにする必要がありまして。そうすると、前作のどこかに入る外伝的な話にするよりは、最終回から先の物語をしっかり描くべきだろうと考えました。

――シリーズ構成は村山功さんが続投ですね。

内藤 前作から時間も経っているので、『まほプリ』世界をしっかり担保するにも、村山さんにまたオファーしました。村山さんはとても『まほプリ』愛が強く、ご本人が「全話書きます」とおっしゃったので、脚本は丸ごとおまかせしました。

――それは頼もしいですね。『～MIRAI DAYS～』というタイトルは？

内藤 『2』が付けられるのは続編だからこそですし、個人的には『魔法つかいプリキュア！2』のままでもいいと思ったんです。ただ、初見の視聴者も想定するのであれば、副題で作品の雰囲気を伝えたほうが親切だろうという意見も出まして。それでみんなで案出しをして、このタイトルに決まりました。

――英文表記は、ダブルミーニング性を出すためですか？

内藤 そうです。朝日奈みらいとフューチャーの未来を掛けたもので。今回の作品テーマは「時間」なので、ぴったりだと思いました。そしてロゴ発注の時に、『2』の代わりとして、「！」は『!!』にしてもらいました。

――監督は『キボウノチカラ』から引き続いて浜名孝行さんですね。

内藤 浜名監督は『キボウノチカラ』を通じて、大人向けの「プリキュア」についてはご理解いただいていますので、今回も大人っぽいメッセージ性を入れたいというお話をしました。また、敵との対立軸はありつつも、一番重要なのはみらいたち４人の関係値なので、そこはぶれないように、ともお願いしました。脚本作業を進める中で、監督ご自身もそこを強く意識してくださっていました。

――デザインでは、ダイヤスタイルがリニューアルしていますね。

内藤 ダイヤのリンクルストーンが何らかの影響でパワーアップして、衣装がマイナーチェンジしたという設定です。新シリーズだからというだけでなく、物語の必然性でもあります。デザイン原案は、前作のキャラクターデザインだった宮本絵美子さんに起こしてもらいました。新キャラのひーちゃん（ひすい）やアイルのキャラクター原案も宮本さんです。

――ひすいの立ち絵は、ことはの幼少期と比べ、表情が硬いですよね。

内藤 はーちゃんとはまた違うワガママっぽさが出せたらいいかなと。ちょっと気が強いというか、第一次反抗期というか（笑）。ひすいの声は早見沙織さんなので、はーちゃんとなんらかの関係があるんだろうというのは皆さん想像していると思います。ひーちゃんのことも好きになってもらえたら嬉しいですね。

――謎の男であるアイルについてもお聞きしたいのですが。

内藤 アイルは当面の敵になります。前作で気をつけていたのは、敵が人間っぽくならないようにすることでした。対等なコミュニケーションが成立しない相手、いわば「意志ある災害」のような存在だからこそ、派手にぶっ飛ばせるということで。じゃあ、今回のアイルはなぜ人間のような見た目なのか。「もしかしたら、アイルの行動や主張に何か共感できるところがあったり？」「なんなら、プリキュア側も彼の言うことに動揺を見せたり？」といった想像ができるかと思います。

――アイル役を豊永利行さんにお願いした理由は？

内藤 アンニュイでシニカルなキャラなので、他の作品でのご活躍も見て、豊永さんが合いそうだなと。キャスティング担当と相談して、オファーしました。豊永さんとは『ドラゴンクエスト ダイの大冒険』でもご一緒しましたが、仕事に対する姿勢がとても真摯な方なので、ぜひまた機会があればという気持ちもありました。

――OP主題歌は「Dokkin◇魔法つかいプリキュア！」の新バージョン、ED主題歌の「キセキラリンク」も前作同様にキャラソンですが、ここも前作を完全踏襲ですね。

内藤 もちろんです。でも、僕がゴリ押ししたというよりも、むしろマーベラスさんから「ここはやっぱり、北川理恵さんと声優さんたちですよね！」と言っていただけて、すんなり進んでいった気がします（笑）。

――作詞・作編曲もおなじみの方々ですね。

内藤 EDについては、作編曲が高木洋さん、作詞は六ツ見純代先生。お二人の感じる『まほプリ』の世界を表現していただきました。とっても耳なじみのいい楽曲で、収録も和気あいあいと行いました。明るい曲なんですけど、個人的にはすごく泣けるんです！

――OP「Dokkin◇魔法つかいプリキュア!! Part3～MIRAI DAYS～」の作詞に関しては？

内藤 大ベテランの森雪之丞先生に、緊張しながらお願いしました。というのも、同じメロディラインで、3度も別の詞を考えていただくことになるので。森先生からも「なかなかないですね」と言われてしまいました（苦笑）。先生には、自分の過去と向き合いながら、それでも未来に進んでいくという作品メッセージや、今はもう中高生になっているであろう当時の子どもたちがもう一度観たいと思える作品に、といった狙いをお伝えしました。あと、Part1・2どちらにもあった、「人はね…みんな違う 愛し方や痛みも違う その違いが〝素敵〟だって 今なら言える」が残ると嬉しいですと。やはりこのフレーズが、トータルで『まほプリ』を表していると感じておりましたので。そうしたら先生からも「ここは残すつもりでいました」とおっしゃっていただきました。

――OPのサウンドも、今回はかなりゴージャスですよね。

内藤 『まほプリ』愛にあふれる高木さんの新たなアレンジです。『まほプリ』の集大成を感じさせる、キラキラした楽曲になりました。

――最後に、今作の見どころをお願いします。

内藤 軸になる４人の関係はぶらさず、きっと共感してもらえるだろうテーマを織り込んでみました。『まほプリ』を好きでいてくださった方々には、ご納得いただける作品になったと思います。プリキュア以外のおなじみの面々の登場も、どうかお楽しみに。また、『まほプリ』を観たことがなかった人も、飽きさせない作品になっています。これをきっかけに前作を観てもらえると、より世界観に没入できると思います！

19歳のみらい&リコ

今作のみらいたちのデザインは、前作第49話用に宮本絵美子さんが起こした設定を元にしている。そのため、視聴者的にはよく知っている姿だ。なお、前作では「プリキュアに変身すると大人びた姿になる」設定だったため、今作では変身前後の年齢感が一致している。







新衣装は「ピンクダイヤスタイル」

前作のダイヤスタイルから、ほぼ全パーツのディテールがアレンジされた新衣装。ミラクルはスカートの段の面積配分、手袋やブーツのラインなどが変化。マジカルはトップスやボトムがバルーン状に。二人とも細かいリボンの数が減り、大人っぽさにつながっている。





ひすい

声／早見沙織

みらいとリコの前にひょっこり現れた幼い女の子。見た目ははーちゃんに似ているのだが……。髪と瞳の色は、きれいなひすい色

謎の敵アイル

前作では、敵は「見た目の異形性」が特徴だった。シリーズ前半は使い魔的な動物の化身で、シリーズ後半は派手な肌の色の非人間的な上位存在といった具合だ。しかし、今作のアイルは普通の人間のよう。予告映像では異空間で不敵な表情を浮かべているが、彼は一体何者なのか？



アイル

声／豊永利行

今作で再びナシマホウ界に怪物が出現し、それと呼応するように、みらいたちの前に現れる謎の男。手にした香炉も気になるところ



呼ばれて飛び出て Part 3

オープニング主題歌
「Dokkin◇魔法つかいプリキュア！！
Part３～ MIRAI DAYS ～」

北川理恵

「Dokkin◇魔法つかいプリキュア！」シリーズの３曲目が登場。楽しさいっぱいのリズムの中に、過ぎゆく時へのノスタルジーといった大人のムードも感じさせる。

『魔法つかいプリキュア！！
～ MIRAI DAYS ～』
主題歌シングル

2月5日発売
「Dokkin ◇魔法つかいプリキュア！！ Part３
～ MIRAI DAYS ～」「キセキラリンク」を収録
HP◆https://www.marv.jp/titles/mc/10843/



CD＋DVD盤



通常盤

大人になっても「ワクワクもんだぁ！」は忘れてないぞ



『魔法つかいプリキュア！』の顔といえば、北川理恵さんの軽快なOP主題歌「Dokkin◇魔法つかいプリキュア！」。前作の第22話以降は、歌詞とアレンジを新たにしたPart 2にチェンジした。そして今作『MIRAI DAYS』でも、またリニューアル版が登場。その名も「Dokkin◇魔法つかいプリキュア！！ Part 3 ～MIRAI DAYS～」だ。

今回の歌詞には、これまでのバージョンを喚起させるワードも散りばめられている。たとえば、Part 1の「犬咲れば ワンだフルでしょ」、Part 2での「猫咲れば ニャンてコト！でしょ」にかぶせた「ブタ踊れば トントン拍子？」。また、Part 2の「ごめんね！今かけたの"魔法"じゃない"御迷惑"かも」を、今回の終盤に意図的に持ってきている点にも思わずニヤリ。一方で、今作のテーマである「時間」についての思いが語られ、幸せだった過去を抱きしめるような、ほのかな切なさも漂わせる。

新アレンジは、オーケストレーションによる華やかさがあり、元々のポップな雰囲気はそのままにアップグレードさせている。艶やかさと茶目っ気が同居した北川さんの歌声からも、子ども心を忘れない大人の魅力が感じられる。

宝石の輝きのようなイントロからスタート

――まず『魔法つかいプリキュア！』の続編制作の話を聞いた時はどうでしたか？

北川　とっても嬉しかったです！　たくさんのシリーズがある中で『まほプリ』を選んでもらえたんだなって、拍手喝采でした。

――『まほプリ』のラストがすでに成長したみらいとリコの話で、あの時点で続編的な感じもありましたよね。

北川　当時は驚きました。こういうパターンってあるんだ！って。それと、奇跡って本当に起こるんだなと思いました。みらいとリコは、一旦離れてしまったけれど、やっぱり絆って色褪せないんだなって。最終回ののち、みらいたちがどういう道を進んでいったのか、みんなすごく想像したと思うんです。その続編を、前作放送開始から9年後、私たちも歳を重ねた状態で観られるって、それこそ奇跡的なことですよね！

しかもOP主題歌は「Dokkin◇魔法つかいプリキュア！」シリーズで、ED主題歌も引き続き、声優さん（高橋李依さん・堀江由衣さん・早見沙織さん）のキャラソン。主題歌も含めて、ちゃんと第50話からつながっているわけですよね。Part3ってワードが入っているのもすごいなあと……。引き続き担当できること、本当にありがたいです！

――このPart3はアレンジがまた変わりましたね。

北川　初めてイントロがついたんです。前作のストーリーは、宝石（リンクルストーン）を集めるお話だったんですよね。その宝石たちを、大人になったみらいたちが、ワーッとみんなに見せてくれるかのような、きらめきを感じるイントロになっています。

それと、Part2までは疾走感がありましたよね。私がステージで歌う時も、なぜか走り回る演出がついていたので、文字通り心も体も走り続けて歌っていたんです（笑）。それが今度は高木（洋）先生のアレンジで、少し大人になった雰囲気があります。

――大人の余裕がどこか匂う楽曲ですよね。

北川　そうですよね。『MIRAI DAYS』という副題の通り、未来のことも考えられるようになった感じがして。私の好きなフレーズは、サビの「なんてね！　オトナぶって噴き出しちゃう　コドモでござる」です。この感じ、大人になったみらいたちにぴったりですよね。ちょっといいことを言ってみて、「なんちゃって」って照れくさくなる感じ。大人として共感できます。

――「ござる」というおふざけ感ある語尾も『まほプリ』らしい茶目っ気を感じます。

北川　森（雪之丞）先生の、大人になっても「ワクワクもんだぁ！」は忘れてないぞ！という気持ちが詰まっていますよね。ぜひ大人の皆さんにも歌ってもらいたいです。

3曲を順々に聴いて歴史を感じてほしい

――レコーディングの際に気をつけたことは？

北川　歌詞にもありますけど、作品テーマは「時間」で、過去や未来への向き合い方だとお聞きしまして。前作では、私は子どもらしさを意識して歌ったんですね。『Go！プリンセスプリキュア』のED主題歌のエレガントな感じとはまったく違う歌い方を模索して。そこから、みらいたちが大人になった今作の主題歌はどう歌ったらいいのかなと考えたのですが、今の私の等身大で歌ってみてほしいとディレクションしていただいて。子ども心にあふれたメロディラインがあるのだから、あえて子どもっぽくするよりも、あれから9年経った自分がそこに乗っかるよう私も心がけました。おかげで、時間軸のテーマともリンクできたかなと思います。「素敵な過去の時代に戻りたい」と思うことって、誰しもあるじゃないですか。でも、その過去も含めて全部、自分の中に残っている。それを糧にして前に進んでいこう、そんな物語になるのだと思います。

――歌詞とアレンジは新規ですが、メロディ自体はずっと変わりませんね。

北川　そうなんです。特にPart2のほうはいろいろなステージで歌わせていただいてきたんですが、今回新しい歌詞とアレンジをいただいたことによって、「ここはこんなふうに歌ったらもっと面白いんじゃないか？」とかアイデアが浮かんできました。それと、さっきの「なんてね！　オトナぶって噴き出しちゃう　コドモでござる」もそうですが、大人として日々を生きてはいるものの、「いやぁ、でもそこまでまだ大人じゃないぞ。へへ♪」みたいな感じで歌えたかなと（笑）。前作の積み重ねがあって、それにプラスされたものも含めて、このPart3に詰まっている気がします。

――セルフカバーにプラスアルファを加えたような？

北川　そんな感じですね。3曲を順々に聴いていくと、一つ一つ前に進んできたのを感じます。歌詞も「2人」だったのが、「3人」になって、「大人」になっています。あとは、終盤の「でもメゲずに　ポーズ決めて　パート3よ！」の直前に、Part2の「ごめんね！　今かけたの"魔法"じゃない"御迷惑"かも」があえてそのまま入ってたりとか。そういう森先生の"魔法"も、皆さんにも一緒に面白がってもらいたいです！

――最後にファンへのメッセージをお願いします。

北川　放送で流れるのはTVサイズですが、ぜひCDでフルサイズも楽しんでもらいたいと思ってます。というのも、全部聴くと、これまでの歴史を感じられるから！　そこはED主題歌もそうなっています。私自身も『まほプリ』の大ファンなので、『MIRAI DAYS』を全力で応援していきます。これから一緒に楽しみましょう！



きたがわ・りえ
1990年11月25日生まれ／千葉県出身／ミュージカル女優としても活動

Q 予告ムービーの感想は？

「最初のみらいの『みんな、ただいま！』でもう泣いちゃいました。『本当に帰ってきたぁ！』ってなりましたね。みらいは大学生で、世界を回りたくていろいろな勉強をしていて、リコは魔法学校の先生として頑張っていて。二人ともすごく大人びているし、凛々しくて素敵です。一方で、はーちゃんは今も地球を見守ってくれていて、モフルンはいつも通り！　きっと、4人が集まった時のワチャワチャ感も変わっていないんでしょうね。それと、新しいモチーフや新キャラたちの見せ方にも想像をかき立てられて、『ワクワクもんにさせるの、さすがだなぁ！』って感じです（笑）」



Q エンディング主題歌「キセキラリンク」の印象は？

「キャスト3人の声が重なっている部分も、ソロで歌いつないでいる部分も、聴いていて涙が出ました。本当に『おかえり！』って気持ちになれましたね。昔のままの『まほプリ』らしさが出た曲で、かつ3人のあうんの呼吸をより一層感じられる歌だなあと感じました。ED主題歌も、前作からの全3曲を続けて聴くと、積み重なって進んでいる感じが素敵なんです。今回がシリーズ初見の人には、『ぜひ以前のED主題歌も全部聴いてくれ！　頼む！』と熱く伝えたいです（笑）」

劇場版 忍たま乱太郎
ドクタケ忍者隊最強の軍師

✦全国公開中
HP✦https://sh-anime.shochiku.co.jp/nintama-movie/

原作✧「落第忍者乱太郎」尼子騒兵衛（朝日新聞出版刊）テレビアニメシリーズ「忍たま乱太郎」「小説 落第忍者乱太郎 ドクタケ忍者隊 最強の軍師」（原作・イラスト：尼子騒兵衛／小説：阪口和久／朝日新聞出版刊）

※本インタビューは本編のネタバレを含みます※

11年前に原作小説が発売されるやファンの間で話題騒然となり、長らくその映像化が待たれていたこの作品。いつもの『忍たま』の明るいテイストを残しながらも、謎のキャラクター・天鬼の登場を軸に描かれるシリアスな物語展開、緊張感ある映像表現、リアルな殺陣や戦略の描写、緻密な作画・美術・撮影よって浮かび上がる室町時代の日本の風景や市井の人々の姿。何よりもレギュラーキャラたち（土井半助、稗田八方斎、雑渡昆奈門、諸泉尊奈門、山田伝蔵、六年生、きり丸……）がふと見せる、普段とは異なる繊細な表情芝居が、大スクリーンにふさわしい重厚さとともに観る者に迫ってくる。

アニメスタジオ・亜細亜堂で38年にわたりさまざまな作品にアニメーターや演出家として携わり続け、2024年に還暦を迎えた藤森監督にとっても大きなチャレンジだっただろう。同じく『忍たま』班のメインスタッフとして、藤森監督を支えてきた新山さんの存在も大きい。

二人の強力タッグを中心に、スタッフとキャストが隅々にまで行き届かせた、躍動感と実在感に満ちた「画」と「音」の素晴らしさ。その背景には、芝山努、小林治両氏をはじめとする亜細亜堂メンバーが47年間に育成してきた優秀な人材の厚みと、アニメーションへの信念がもたらした成果が垣間見えるようだ。


「先生はどうして僕のこと、気にかけてくれるんですか」そう尋ねるきり丸に、土井半助は遠い記憶を探るように答えた。「……まあ、同じような育ち方してるからかな」

土井先生が一緒に帰る場所

執筆 原口正宏



話題の小説を原作に、待望の劇場アニメ化が実現した『忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師』。監督の藤森雅也さん、キャラクターデザイン・総作画監督の新山恵美子さんに、文字通り「最強の」忍たま映画へ込めた思いをお聞きした。



監督
藤森雅也
土井が本来核に持っていた人格が表出したものが天鬼なんです

ふじもり・まさや
1964年11月11日、大阪府生まれ。大阪芸術大学映像科卒業後、'87年、亜細亜堂入社。TVアニメ『忍たま乱太郎』では第1シリーズからキャラクターデザイン、作画監督を務め、第2シリーズから演出、第5シリーズからコンテも担当。'10年に『おまえうまそうだな』で監督デビュー。以後、数多くのTVシリーズや劇場作品の監督を歴任。

彼岸花と禍々しい月が示す血生臭さと狂気

――11年前（2013年）、小説が発表されたその当時、藤森さんはすでにこの作品を読んでいたのでしょうか。

藤森　読みました。それこそ、『乱太郎』の作画に関わる人たちが発売当時に盛り上がっていて、「これ読んでみてくださいよ」って渡されて（笑）。当時から「これ映画にならないですかね」と言っていました。自分はボリューム的なことも考えて、「TVスペシャルぐらいがいいんじゃないの」みたいなことを答えていたんです。でも、よもやそれが映画化、しかも自分に回ってくるとは……当時は全然考えもしなかったです。

――長く映画化されなかったのは、やっぱり内容的に結構ハードだったり、難しい部分があったのでしょうか。

藤森　それはちょっと自分にはわかりかねるところですね。今回は、松竹のプロデューサーの御手洗（絵里）さんが、「ぜひこの小説を映画にしたい、藤森さんで」ということで……（笑）。

――（笑）。そこはもうセットなんですね。

藤森　深夜アニメの『REVENGER』（'23年）でご一緒したとき、多分私の作風を見て、『忍たま』にシリアスな要素を持ち込める可能性を感じられたんじゃないかなと。

――確かに、時代劇でちゃんとした殺陣を描いていましたからね。あの作品が今回の映画の試金石の役割を果たしたんですね。

藤森　うん。でも血は出しちゃいけないという（笑）……たくさんはね。『REVENGER』は血の雨を降らせましたけど。

――それで言うと、この作品で特に印象的なのが彼岸花です。トップシーンから強い赤のイメージで始まり、その後も随所にインサートされました。これは、小説にもシナリオにも具体的な描写はなかったですよね。

藤森　天鬼のキャラクターを造形するにあたり、土井先生の過去の映像は作りたいと思っていたんです。でも、「悲惨な」というぐらいのふんわりした情報しかなくて具体的には描くことができない。そこで、「もともとは血生臭い巷にいた人なんだよ」ということを象徴的に伝えるための映像表現を入れてみたかったんです。血が飛び散ったことを連想できるような彼岸花のイメージ。それと、劇中では火事の描写もあるんですが、そこでもあえて、火の粉が花びらと同じ色になるようにしました。

――彼岸花を選んだのは、色や形も含めて赤い血や死に一番直結しやすいか

天鬼（てんき）
声✧関 俊彦
ドクタケ忍者隊に突如現れた謎の軍師。その正体は土井半助。優れた兵法の知識を八宝斎と木野小次郎竹高に利用される





「天鬼」と呼ばれた男の眼差し

全身を白い忍び装束と頭巾で覆ったその姿。涼やかなはずの目には、冷酷で虚無な光が宿る。忍術学園の記憶が封印された代わりに、忘れようとしていた過去が呼び覚まされたかのごとく……。風鬼、雨鬼、雪鬼など天候にちなんだ名の忍者が所属するドクタケにとって、「天気」⇒「天鬼」とは彼らを統べるにふさわしいネーミングだ。

らですか。

藤森　そうですね。彼岸花ってそういう言われ方もあるじゃないですか。根っこに毒があってモグラよけにもなるので、結果としてお墓とセットで見られることが多いんです。あと、田んぼの畔でもよく見かけるんですが、あれもモグラに崩されると困るからという理由で植えられているんですね。

――今回の映画は、土井先生が敵側の軍師になる意外性だけではなく、幼い頃に家族を失って天涯孤独になったというきり丸と土井先生の境遇を重ねて描くことで、「新たな孤児を出さないために何をすべきか？」という、別のメッセージや裏の物語も見えてくるように感じたのですが。

藤森　それは、あると言えばあるし、ないと言えばないというところです。僕は戦国時代というもの全体を否定するつもりは全然なくて、原作の尼子（騒兵衛）さんの思想もそうだと思うのだけれども、「戦をしていたから悪い時代」というとらえ方はしていないんですね。今回でいうと、まず天鬼がどういうキャラクターなのかと。土井はもともと天鬼だったわけですよ。それが山田先生と出会い、忍術学園と出会ったことで、今の朗らかに笑える土井先生の人格になった。でも山田先生と忍術学園の記憶をすっぱり忘れちゃって、あの悲惨なイメージの過去から直結しちゃったのが天鬼、という風に考えてるんです。

――なるほど。

藤森　そこに八方斎から、「この戦乱の世の中を終わらせようぜ、悪いのは忍術学園だぞ」と吹き込まれる。言われてみれば、そんな八方斎が言うような忍術学園の解釈も成り立つような、わざとそういう風に作ってあります。記憶を失っているとはいえ、土井みたいな頭のいいやつを洗脳するにはそれなりの根拠が必要で、そうじゃないと騙せない。土井は悲惨な過去があるからこそ、記憶を失った際に、八方斎の語る理想にすがらないと生きていけない。そんな状態にあるんじゃないのかなと考えたんです。単に頭を打って別人格になっちゃったということじゃなくて、本来、核に持っていた人格がそのまま表出したということで今回の天鬼を描いてみたんですね。

――つまり、もしかしたらこうなっていたかも知れない土井先生の姿……。

藤森　そういうことですね。

――もう一つ、本編に中村 紀さんがデザインした「禍々しい月」が出てきますよね。

藤森　はい。自分は割と月が好きで、よく作品のなかに出すんです。でも今回は、いつもと違うお話のスタートとして、「月の狂気が支配している世界ですよ」ということを示したかったんです。その月が何巡りかしたとき、土井と一緒におかしくなった八方斎が、子どもを斬らせようとする。そこで雲が切れてまたその「禍々しい月」が出てきたら、象徴的にすごく怖い映像になるんじゃないかと思って。それと、小説では八方斎がおかしくなる展開はないんですね。でも、「本来の八方斎はこんなに悪い人じゃないんですよ」という言い訳をどこかに用意しておかないと、いつものTVシリーズに戻れない、とも考えました。そこで土井と同じように、八方斎も頭を打つ、という展開を加えることにしました。

――この映画に登場する「月」は、TVシリーズからちょっと違うステージで描かれている物語の象徴でもある？

藤森　「禍々しく見えちゃってる月」ということですね。

――細かいことですが、土井先生が川に落下する際の描写が小説とは変えてありました。これは、プロの忍者だからそんなポカはしないよ、という意味にもとれたんですが。

藤森　まさしくそうですね。それは自分が言い出したというよりは、御手洗さんも含めて、土井が失敗した風には基本見せたくないなと。土井は優秀なので、危なげなく事態を収拾できる人なんです。ただ一点だけ、不幸にものすごく不自然な出来事（笑）が起きてしまった。それが原因で……と、そこも月に絡めているんです。

――そうですよね。あそこの「月……」という台詞が今のお話に繋がるんだなと。

藤森　そう。本当ならあり得ない事態によって、土井先生がこういう目に遭ったことを示すようなシーンにしたかったんです。

3段階ある戦闘シーンは明確に様相を描き分けた

――小説では、忍者同士の戦いに関して、技ひとつにもこと細かに考えや手順や行動が描写されています。映画では、それらすべてをわかりやすく、流れるような動きとともに迫力あるシーンにまとめていて、「さすがアクションが得意な藤森さん！」と思いました。

藤森　ありがとうございます。今回の映画では、いわゆる戦闘シーン的なアクションというのは大きく分けて3つあるんですね。最初の土井・尊奈門戦、中盤の六年生・天鬼戦。そして最後の利吉＆卒業生・雑渡戦。それぞれの戦いの様相をしっかり描き分けたいと思いました。

土井・尊奈門戦って、割とスポーティーなものを狙ったんです。スピード感はあるんだけど殺気はひとつも感じない。尊奈門は一所懸命だけど、土井は余裕で捌いている。それに対して、竹やぶの中での一対六の戦闘は殺気があふれる感じ。ただし、ここまでは基本地上戦なんです。一番最後の雑渡と利吉たちの戦いはもう空中戦で、一番トップクラスの連中が戦うとこうなる、みたいな。そこは最初から明確に差をつけていこうと計画していました。

――六年生・天鬼戦は小説だと室内ですよね。あれを外にしたのは？

藤森　いやもう、劇場の画面でのびのびと動かしたいからに尽きます。

――普段だと六年生は一年生にいじられたり本領を発揮しないエピソードが続出しているので、「本当はすごいんだぞ」という姿が万全に描かれていると感じました。それでも天鬼には勝てない。傷だらけで、大変な状態になっている。これももう狙いとして？

藤森　狙いですね。六年生って絶対に優秀なはずなんですよ。その上で個々の実力もすごく、しかもちゃんと連携できるところなど、一流の忍者として描いているんです。武器を準備するところもすごくカッコよく描いたつもりだし、その後の潜入も意気込みが高すぎるくらい。それでも天鬼には敵わないんです。その強さの対比をしっかり



きり丸（まる）

声✣田中真弓

一年は組。戦で家族を失った境遇が土井と似ており、長期休暇中は彼の家に身を寄せている。ドケチを自認する天才アルバイター。図書委員



しんベヱ

声✣一龍斎貞友

一年は組。堺の豪商の長男。おっとりとした食いしん坊。本作では、きり丸の異変にいち早く気づき、類い稀な嗅覚が真相への近道に。用具委員



乱太郎（らんたろう）

声✣高山みなみ

一年は組。「乱・きり・しん」トリオのまとめ役。本作でもしんベヱや他の生徒たちと連携し、きり丸を助けて活躍する。保健委員で俊足



オアシスのような忍たまシーン

上級生や大人たちのシリアスでハードな展開が多い本作では、一年は組のみんなが織りなす楽しくユルい会話や、聞き違いギャグが飛び交う教室は一種のオアシスのように機能している。





シリアスムードのドクタケ城

乱・きり・しんのツッコミに、いつものテンションで反応するギャグは健在。一方、木野小次郎竹高や風鬼との会話にはシリアスな空気が漂う。本作では、竹高の張り子の馬さえ夕闇のなかで怪しい存在感を醸し出している。



ノリノリのドクタケダンス

八方斎とドクタケ忍者隊のダンスシーン。グラフィックな画面と際立った照明効果により異彩を放つシーンに仕上がっている。



稗田八方斎（ひえたはっぽうさい）

声✣間宮康弘

ドクタケ忍者隊首領。土井半助とともに頭を打ち、一時的に「賢い八方斎」へと変貌する。だがそれは、彼に冷徹な一面も与えてしまう








六年生たちの活躍

ドクタケ忍者隊詰所に赴く際の武器の準備の様子や、連携のとれた作戦行動には、卒業を控えたセミプロの貫禄が見える。天鬼との一対六の戦いも緊迫感がみなぎる名シーンだ。

出す必要があった。そのためにはとにかく、六年生は最適解の動きをしないといけない。よくある緩みの時間みたいなのを一切入れず、全員が全員、その時点でできる最善のことをやる。あんまり長い時間は保たなかったけど（笑）。自分としても「これ以上やったら、現場も死ぬし」というギリギリの尺感でやりました。

――それは伝わってきました。いつもとは違う『乱太郎』を観ている感じでした。それと対照的な意味で楽しかったのがドクタケのダンスシーンでした。今言われたハードな展開がある一方で、やっぱり普段の『乱太郎』の明るさやエンターテイメントとしての見せ場を意識したということでしょうか。

藤森　そうですね。今回ギャグや笑いのシーンが少ないのは構造上どうしようもないことだと思い、その部分を何かバラエティー感で補いたいと思ったんですよ。だから分割画面をやってみたり、漫画本のシーンをしっかり作ったり（まちだ亜矢子さん担当の「ドクタケ忍者隊 巻ノ一」漫画）。そしてダンスですね。これももう結構シナリオ段階から、ちゃんと練っていたものではあります。

――「愛と正義のドクタケ忍者隊」のダンスは、実際にダンサーの方々に踊ってもらったものを参考にされたんですか。

藤森　そうですね。振付（RYOJI担当）をもとに実際にダンサー（RYOGAさん他）さんに踊ってもらい、それをいろんな方向からカメラで撮影して、すべて手描きで再現しました。

――ここはどなたの担当なんですか。

藤森　コンテ・演出は小池（瞳子）という動画検査をやっている人なんですよ。演出に興味があるとずっと言っていたので、「じゃあ今回の映画で音楽シーンやってみる？」と聞いたら「やります！」って。それで任せました。原画は基本的には原画さんに描いてもらって、それの演出チェックとして、動検と二足のわらじでやってもらいました。

――藤森さんは監督として独り立ちされる前にも、例えば映画『ドラえもん』の一部分……オープニングや見せ場のカーチェイスシーンだけをコンテから担当し、時には作画まで手がけていたのが印象的です。おそらく、芝山努監督が若い才能にチャンスを与えようとされていたんじゃないかと。今はそれを藤森さんが繰り返しているように感じます。

藤森　いやもう、まさしくその通りです。自分が若い頃の亜細亜堂には、オープニングやエンディングの音楽シーンを丸々1本とか、とにかくアニメーターにコンテを描かせてみよう、という伝統があったんです。ただ近年、そういうのが少なくなってきたなと感じていたので、この映画でその機会が作れれば、若手が死ぬ気で頑張るだろうと（笑）。多分、生涯で一番いいものを出してくるんじゃないか、と思ってやってもらいました。まさしくおっしゃった通り、芝山さんや小林（治）さんが自分に任せてくれたことを、繰り返している、という思いですね。

いつものキャラが見せる普段とは違う側面

――『乱太郎』には個性豊かなキャラクターが多数登場し、それぞれに熱いファンがつくほどの人気を誇っています。今回の映画では六年生の活躍が目を引きましたが、一人一人に見せ場を作る上で、どんな工夫や苦労があったのでしょうか。

藤森　一年生から六年生までを合わせると大変な数になるので、そのすべてを活躍させるのは大変難しいんです。実は、前作の『劇場版アニメ 忍たま乱太郎 忍術学園 全員出動！の段』（11年）に比べると、今回はこれでも登場人物の数を減らしているんですよ。その分、濃く描けるところもあったので、こういう変わった事態に直面して、普段TVアニメで観ているキャラクターとは違う側面がちょっとずつ見えてくるようにしたいな、と考えました。例えば六年生でいうと、潮江（文次郎）や食満（留三郎）や、普段はしっかり者のはずの中在家（長次）が一番動揺していたり。

――長次が大声を出すとか。

藤森　そうそう。意外と七松（小平太）がいつも冷静に動いてるな、とかね。善法寺伊作に至っては、保健委員のくせに「みんなかすり傷です。ひと晩寝れば治ります」なんて言い出す。山田先生もしっかりお父さんの顔を見せているし。回想シーンも土井先生がきり丸に自分を重ねているところも含めて、いつもより踏み込んだ描き方にしてみました。この小説の映画化だからこそ今回はやってみようと。いつもの『乱太郎』だったら、そこは踏み込んじゃいけないかも知れない。そもそも、普段はあんまりシリアスに作らないじゃないですか。

――そうですね。

藤森　今回は「やっていい企画」でもあったので（笑）、じゃあ、みんなが想像していたであろう部分を、踏み込み過ぎない程度にしっかり描写しようと。ファンの皆さんが各々考えていることは少しずつ違うんだろうとは思うんだけど、割と平均値みたいなところを、しっかり映像化しようという気持ちはありました。多分この機会を逃すとできないだろう、という思いもあったし……。

――最後、忍術学園へ帰る道すがら、小説にはなくアニメで膨らませた重要なシーンもありましたね。

藤森　土井の贖罪みたいなものなんだけど、ただ、そんなことをしたところで、それは今日明日のことでしかないんだ、ということも含めて入れたシーンです。土井はもちろん、山田も六年生も解っている。一年は組のなかでは、きり丸だけがそれを解っていて、炊き出しを見ている表情がきり丸だけ違う……ということはちゃんと描いてます。

――忍術学園は、勢力同士の睨み合いを続けさせ、戦争を起こさせないバランサーとして、一応役に立っているとお考えなのですか。

藤森　そこら辺が難しいところです。「忍術学園に悪い側面があるの？」と聞かれたら、「いやそんなことはないですよ」という風に、そこはトボけないといけないんです。でも一つの可能性としての側面に今回は言及した……この映画はそういう作品でもあります。それ以降は、映画をご覧になった皆さんが、それぞれ自分のなかで考えてくれればいいかなと。ただ、やはり積極的に戦に加担しているようなところは、忍術学園としてはあり得ないよね。むしろ弱い者の立場に立って手助けすることはあって、今までもずっとそうだったし、おそらくこれからもそうなんだろうと。ただ、敵側の目から見ると悪く見えるところもあるのかなと。一つの見え方に言及した、ということです。






さりげない表情の機微

映画冒頭で交わされる土井先生と乱太郎たちのいつもの会話が、後半で見事な伏線として生きてくる作劇が胸を打つ。きり丸の異変にいち早く気づくしんベエ、不安を抱えて竹林を走るきり丸など、忍たまそれぞれの丁寧な表情変化も見どころだ。

声優さんたちの芝居に助けられ泣きながら作画をしたシーンも

キャラクターデザイン・総作画監督

新山恵美子

にいやま・えみこ
埼玉県生まれ。女子美術大学卒業後、'07年、亜細亜堂入社。TVアニメ『忍たま乱太郎』第17シリーズから原画、第20シリーズから作画監督を担当。'11年、『劇場版 アニメ忍たま乱太郎 忍術学園 全員出動！の段』で初のキャラクターデザイン。第25シリーズ以降の同作のOP・EDの絵コンテ、作画監督も務めている。

デフォルメキャラを動かす藤森さんの作画への憧れ

——新山さんは子どもの頃から『乱太郎』が好きで、藤森さんの作画にも憧れて、半ば運命的に亜細亜堂に入社された、と別の媒体のインタビューでお話されていました。

新山　はい（笑）。藤森さんの作画にはすごく憧れがありました。亜細亜堂は『乱太郎』以外にも『ドラえもん』など子ども向け作品をずっと作ってきた経緯がありますが、藤森さんはデフォルメしたキャラクターを魅力的にアニメーションにするのが本当に、言葉を選べないくらいお上手なんです。『乱太郎』のような、手足のでかいデザインに落とし込むことも抜群に上手くて。

　TVアニメシリーズの『忍たま乱太郎』のオープニングが解りやすいんですけど、キャラがワチャワチャって出てくるのに、ちゃんと目で追えるんです。藤森さんは、そういう観る人の導線だったり、本当に難しい自然なアニメーションの技術だったりをちゃんと設計して、見事にやってのけられている方なんですよ。

　私は学生の頃、素人で全然アニメーションを作ったこともないし、業界のことも何も知らなかったんです。でも、藤森さんのイラストやアニメーションだけはいつも判別できました。テロップを見て「ほら！」と（笑）。

——新山さんは、2010年から、『乱太郎』のキャラクターデザインを引き継いだのですよね。

新山　はい。26歳の時です。でも、藤森さんが『乱太郎』のキャラデをやったのも確か20代だったんですよ。

——クレジットだと第22シリーズからお名前が新山さんになっていますが、実際はその3年前、『劇場版アニメ 忍たま乱太郎 忍術学園 全員出動！の段』でキャラデザを務めたのを機に、TVシリーズでも第19シリーズからデザインをバトンタッチ。藤森さんの旧デザインも使う形で、徐々に移行されていったとお聞きしています。

新山　そうですね。でも上級生など、今も藤森さんのデザインのままのキャラもいるんです。リデザインする必要がないと思ったものは、そのまま生かすようにしています。

——新山さんは、今回の映画の制作には、どの段階から参加したのでしょう。

新山　シナリオが決定した後からですね。でも、キャラクターデザインをやれと言われるまで結構時間がかかっていて、「本当に私がやるのかな」と心配していました（笑）。

——その段階で初めてシナリオを？

新山　はい、読みました。小説とこんなに違うんだ、ということもそこで知りました。でも、藤森さんが作る『忍たま』は、その変更部分がとても腑に落ちたんです。例えば、ゲストキャラの卒業生二人は小説には出てきませんが、やっぱり利吉一人では雑渡に太刀打ちできないな、と納得できたり。藤森さんのなかで理由が固まっていて、それがシナリオにも反映されていたので、めちゃくちゃ安心できました。

——今回の映画では、新登場のキャラクター以外に、レギュラーのキャラについてもひと通りリデザインしたのでしょうか。

新山　そうですね。今回、藤森さんからオーダーされたのが、「一年生を除くキャラクター全員の頭身を上げる」ことでした。実は、TVアニメと全然頭身が違うんです。一番デカいのが雑渡昆奈門で、その次が土井先生。TVアニメのデザインはムチムチした印象があると思うんですけど、上げた頭身のバランスを取るためもう少しシュッと、スタイリッシュにデザインを変更させてもらいました。

——新キャラに関してお聞きします。天鬼のデザインが決まるまで、10パターンぐらいのデザイン案を作ったそうですね。

新山　天鬼というキャラクターを掴んでいくため、叩き台を出すつもりで描くうちに数が増えたんです。最初はもう少し忍たまっぽく描いたデザイン案もあったんですけど、それを見た藤森さんが「こうじゃない」と言われました。目が鋭く、怖い顔をしているものも描いたんですが、藤森さんから「別に天鬼は怖い人ではない」というヒントをもらえて、またそこから少し描き直したんです。やっぱり、天鬼の表情をどこまで出したらいいのかがわからなくて、海外のダーク系の映画役者さんを参考に表情を拾ってきたりもしましたが、今度は「やり過ぎ」と言われたり（笑）。

——そうやってやりとりを続けた結果、10パターンになったということですね。

新山　そうです。10パターンのなかには、全然藤森さんに見せていないものもあります。

——最初は白い頭巾の間から目しか見えないからだと思うんですけど、やはり目元の描き方に、普段の土井先生とは異なるデザインのイメージが込められているように感じます。



雑渡昆奈門（ざっとこんなもん）
声✣森久保祥太郎
タソガレドキ忍軍忍び組頭。利吉と卒業生二人が束でかかっても敵わない本物の実力の持ち主

諸泉尊奈門（もろいずみそんなもん）
声✣代永 翼
タソガレドキ忍者。土井にはチョークと出席簿で何度も返り討ちに遭ってきたが、今回は様子が違った





タソガレドキ教師コンビ

ひょんな成り行きから忍術学園一年は組の代理教師という意外な一面を見せる二人。昆奈門が生徒に扮しての質問攻めが楽しい。忍たまたちにはそれなりに教育効果があったようだ。ろ組の伏木蔵だけが昆奈門の気配に気づく描写も心にくい。

藤森雅也監督38年の軌跡



　亜細亜堂は、東映動画やAプロダクション（現・シンエイ動画）でアニメーターや演出家として活躍した芝山努さん、小林治さんが1978年に創設した制作スタジオだ。二人が作画監督や監督を手がけてきた『天才バカボン』『ど根性ガエル』『まんが日本昔ばなし』『ドラえもん』『ちびまる子ちゃん』『忍たま乱太郎』などの作品は、TVアニメのさまざまな制約（作画枚数やスケジュール）と向き合いながらも、魅力的な「画面設計」（構図やレイアウト）と、簡潔な線でまとめられたキャラクターたちが生き生きと動き回る「作画」の魅力にあふれ、それは亜細亜堂の社風にもつながっていた。

　'87年、アニメーターとして22歳で亜細亜堂に入社した藤森雅也さんは、25歳の時に『エスパー魔美』（'89年）で原画に昇格。28歳で『寺島町奇譚　ぎんながし（'93年）』と『忍たま乱太郎』（'93年）のキャラクターデザインに抜擢され、それぞれ作画監督も務めるなど早くも頭角を現していった。師匠・芝山さん譲りの、建物の上下構造や路地の奥行きを活かしたレイアウトをベースに、的確な枚数配分とタイミングを操る藤森さんの作画には、亜細亜堂の伝統が受け継がれていた。

　だが、同時にそこには「藤森流」とも言うべき独自の躍動感がプラスされていたのが特長だ。弾んだように伸び縮みする乱太郎、きり丸、しんベヱたちの動きは、キャラデザと不可分に響き合い、まるでアメリカン・カートゥーンのスクアッシュ＆ストレッチの技術を、日本の商業アニメに融合させたようなセンスと技術を感じさせる。観ているだけでウキウキと楽しくなる絵柄と動きこそ『忍たま』シリーズの大きな魅力なのだ。

　アニメーターとして出発した藤森さんだが、演出家の道を歩み始めるきっかけは30歳のとき、芝山監督から『忍たま』第5シリーズ（'95年）で各話絵コンテを任せられたことに端を発する。続いて、劇場版『ドラえもん のび太の 宇宙漂流記』（'99年）ではオープニングの絵コンテ・演出・作画監督・原画（船越英之、高野登と共同）を独立して一任され、ミュージッククリップを1本まるまる監督する作業を体験した。以後も、同劇場版シリーズのオープニングや、本編中のレースシーンを丸ごと絵コンテから担当する機会をたびたび与えられ、着実に演出家としての経験値を積み上げていった。

　藤森さん自身はアニメーターをずっとやるつもりだったという。だが、小林治さんが監督予定だった作品『おまえうまそうだな』を、「藤森くんやってみる?」と振ってくれたことにより、46歳にして監督デビューのチャンスは突然やってきた。幸い、完成した作品の評価も上々で、以後、途切れることなく藤森さんに劇場やＴＶでの監督の依頼が続くこととなった。

　藤森さんが『忍たま』の劇場版を監督するのは『劇場版アニメ 忍たま乱太郎 忍術学園 全員出動！の段』（'11年）に続いて２度目。初めてＴＶシリーズでキャラデザを手がけたときから数えると31年。藤森さんにとって、アニメ人生の８割強の期間を占めるロングランシリーズなのだ。その意味では、まさに還暦記念監督作にふさわしい位置づけなのではないだろうか。

新山　私はそれほど印象がなかったんですが、藤森さんが「土井先生は垂れ目だ」とおっしゃったんです。吊り上げ過ぎると違うみたいだったので、垂れ目で、目を伏せている感じにしました。さらに、「この目がベースではなく、表情としてやっているようにしてほしい」というオーダーをもとに突き詰めていくことで、現在のデザインに落ち着きました。

藤森さんのラフをもとにデザインした八方斎と天鬼

——新山さんは天鬼というキャラクターの内面をどんな風にとらえていたのですか。

新山　天鬼に関しては、土井先生の中にもともとある人格だと思うんです。山田先生と出会ってない世界線の土井半助ということですね。天鬼は怖い人ではないけれど少し冷酷なところはあって、子どもたちに何か教えられるような人間ではなかっただろうと。空っぽなんだけど闇の部分がある、というとらえ方がよいのかなと思いました。

——土井先生と天鬼とでは、眉毛の位置がだいぶ違いますね。

新山　そうなんです。天鬼はだいぶ眉をひそめているので、すごく力が入ってる表情なんです。ゆるっと力が抜けると、眉が前髪に隠れて土井先生っぽさが出てくるんです。

——天鬼と土井先生との行き来、表情の揺れを描くのは難しかったのではないですか。

新山　めちゃくちゃ難しかったですね。ただ、いつもの表情をしてくれると一気に土井先生になるので、そういう部分では描き分けはしやすいキャラクターだったと思います。

天鬼はこれ以外の表情はあまり見せなかったですし、土井先生も天鬼に近い表情になる瞬間はあるんですが、何となく周りに子どもがワラワラいるのが似合う表情になった途端、ちゃんと土井先生に見えてくるんです。

——稗田八方斎の新デザインについても教えてください。土井先生と同じように頭を打ち、人格が変化しますが、これは小説にはない展開です。しかも、頭身や睫毛の長さなど、外見の変化は土井先生以上です。どのような経緯で生まれたのでしょうか。

新山　この映画をやると決まったときに、藤森さんがまず持ってきたラフが八方斎だったんですよ。実は天鬼じゃなくて……（笑）。「俺はこれがやりたい。この姿で歌ったりするから」と。私は小説を読んでいたけれど、そんな描写は一切なかったので、藤森さんは一体何をしようとしているんだろうと（笑）。

デザインは結構固まっていて、八方斎の睫毛に関しても、私は少しアレンジしたものを出したんですが、藤森さんは「いやいやこのままでいい」と。でも、TVアニメの『忍たま』を観ている子どもたちからすると、今回の八方斎は賢くて怖い感じですよね。いつもの八方斎なら「子どもたちを斬れ」とは言わないでしょうから。そんな風に人格が変わっちゃってることを解りやすく見せるためには、おそらくビジュアルもここまで派手派手に変えないとダメだったんだと思います。

——藤森さんのラフは2つだけですか。

新山　はい。八方斎と天鬼のみですね。ほかは卒業生も含めて一切なかったです。

——その卒業生の二人・桜木清右衛門と若王寺勘兵衛についてですが、まず、尼子騒兵衛さんが原案を描いて、それを新山さんがデザインに起こす順番だったんでしょうか。

新山　そうです、そうです。その時点ではまだ、なにわ男子さんのキャスティングは決まっていなかったので、本人たちをモデルにしたデザインというわけではありませんでした。尼子先生からは、原案の画と一緒に二人の性格についても細かい設定が添えられていたので、とても参考になりました。桜木が冷静で後輩から尊敬されるタイプ、若王寺は明るく快活でおしゃべり。今の六年生が頭が上がらないみたいなことも書いてあったので、それらの性格設定はデザインをする上でめちゃくちゃヒントになりました。

目のアップが多い後半はディテール表現に苦労

——新山さんは、総作画監督と作画監督も務めていますが、全体のどれくらいを担当したんでしょうか。

新山　全部で1300カットぐらいあるなかで、総作監と作監の両方合わせて、750カットぐらいは見ました。私から積極的に「見せてくれ」って言いました（笑）。冒頭から、ドケチ忍法鵜の目鷹の目くらいまでは、もうほとんど私ががっちり固めました。他に得意分野を見極めて、作画監督の配置も私のほうで采配しています。

藤森さんからは「きり丸と土井先生を主に見てほしい」と言われたり、ちょっとしたオーダーが来たり。あとは、個人的に押さえたいシーンとか、絶対に押さえたい八方斎の表情とか、ポイントポイントで総作監に入りました。で、最後のシーンでまた作監で入る、みたいな感じで……。

——では、総作監に入ったシーンと作監に入ったシーンとが割と入り組んでいる？

新山　そうです。

——本当によく動いている作品で、普通に動きの作監としても大変な作業量だったと思います。劇場版だからこそ作画面で特にこだわった、というところはありますか。

新山　映画の後半になると、目のアップが多くなっていくんです。コンテを



土井と天鬼 推移する2つの表情

覆面がとり払われたとき、一瞬、土井半助の顔に戻ってから、天鬼の険しい眼差しへと推移する表情。さらに、口元にはかすかな笑みが浮かぶ。竹林に差し込む陽光の変化も相まって、美しいシーンとなっている。



見たときには「どうしよう」と思ったし、コンテを上げた藤森さんも「どうしよう」って言っていました（笑）。表情をつける上でのディテールアップはかなりしました。

もっとも、天鬼に関してはほかになかったんですよね。睫毛やシワをちょっと足してみたりとか、比較的描きやすかったんですけど……きり丸となると、普段は本当に白の中に黒い点が浮いてるだけの目で、キャラクター表でもそこまでしか描いてないんです。そういうカットは全体の映像から逆算的にバランスを取らないといけないので、どうしても私が総作監として回収しなきゃいけませんでした。でも、私は私でどうしたものかと悩みながらの作業でした。ディテールアップし過ぎると違うキャラになっちゃうし、ある程度のところで抑えて、かつ、ちゃんときり丸であるところも狙わなきゃいけないんです。TVアニメでも目のアップは出てくるんですけど、やっぱり変化はつけたいという気持ちが大きかったので、わざと実線切ってみようとか、ハイライトを別の形で入れてみようかとか。今回はちょっと挑戦してる部分と、でもやっぱりきり丸だっていう部分を、融合させて描いていった感じです。TVアニメでは攻めすぎに見えるような表情をたくさんやれたのは、劇場ならではの経験かなと思っています。

事件のなかで各キャラが見せていく感情を丁寧に

――声優さんのお芝居が作画の助けになった部分はありましたか。

新山　たくさんあります。今回、後半はほとんどアフレコ後のお声を聴きながらの作業だったので、そこで急激に解像度が上がりました。「ああ、こういう映画なんだな」という理解が一段と上がりましたし、例えば関（俊彦）さんの穏やかな声を聴くことで、「あ、ここは土井先生の普段の表情にして大丈夫なんだ！」と安心できたりしました。あと、田中（真弓）さんもすごかったです。近年、こういう田中さんのきり丸が聴ける機会って、なかなかなかったんじゃないでしょうか。藤森さんのコンテを見たときも、「ああ、今回はこういう表情をさせちゃっていいんだ」と思ったんですけれど、そこに田中さんの声が乗った状態で描くともう……ホントに泣きながら描いていました。すごく来るものがあって。

――例えば、どんなシーンですか。

新山　最後の「一緒に帰ろう」の手前、きり丸が涙をこぼしながら台詞をまくし立てるあたりです。ほかにも、私は土井先生の別のシーンでも泣いていました。そこはまだ、声優さんの声が乗っていなかった箇所なんですけど。土井先生の家を一人でけなげに掃除するきり丸に、透けた先生が「お帰り」と言うじゃないですか。「ああっ」となってしまって（泣）……私、あそこダメなんです、泣いちゃうんですよ。いない人の姿をダブらしで乗せる古典的な演出なんですが、『忍たま』ではこれまでやってこなかった手法でもあり、とても新鮮に感じて。いや来ますね……あれは泣きますね。

――新山さんと藤森さんのお二人は、原画としてもエンディングにお名前が出ていますが、新山さんはどこを描いたのですか。

新山　福笑いのシーンはわかります？

――はい。上級生の顔のとこですよね。

新山　そうです。あそこをやりました。素材は私の妹が作ったんです。打ち合わせで「このシーンは福笑いっぽくやりたい」と話していたときは、普通の作画でやるつもりだったんです。でも作画監督の一人が藤森さんに、「これ、本物でやったほうが面白いですね」と言って。妹からでき上がった素材だけを亜細亜堂に送ってもらって、それを私が藤森さんと一緒にピンセットでコマ撮りアニメーションにしました。

――それがあの「原画」のクレジットの正体だったんですね。

新山　はい。でも、「果たして原画なのか」という（笑）。

――よく見ると、素材の影が見えますからね。そうだったのか。

新山　やっぱり何か、ああいうところをちゃんと遊んだりするのが亜細亜堂らしいかなと。ちゃんと遊びたいっていう。

――もう一つ驚いたのは美術の緻密さです。キノコから落ち葉、林まで、陽射しの存在と質感が感じられ、空気感に満ちていました。

新山　はい、最初のススキの背景を見て腰を抜かしました。でも「作画も頑張らないと！」って（笑）。

――美術監督の川口正明さんの底力を見る思いがしました。

新山　今回は何だかより力が入っている感じがして驚きました。個人的に天鬼の部屋のボードの雰囲気が好きです。

――きり丸がお掃除しているシーンもすごく丁寧でした。

新山　『忍たま』でチンダル現象が見られましたからね。日の光のなかにホコリがふわーっと（笑）。

――題材が題材だけに、このシリアスな物語にちゃんと見合う美術や撮影のディテールを目指したように感じます。

新山　そこは、藤森さんもすごく意識していたと思います。藤森さんは知識量が豊富なんです。例えば、竹の根っこは節の間が狭くて、とか……本当にそういう細かな部分からオペレーションしてくれていましたからね。

――最後に、このキャラクターのこんなところに注目してほしい、というポイントがあったら教えてください。ファンはすでに一度は観ているかも知れませんが、「そこはちゃんと観てなかった、もう一回行こう」という気持ちになるような。

新山　いろんなキャラクターを描いたので、思いはいろいろあるんですけど、やっぱり、は組のテンション感はTVアニメシリーズとあんまり差がなくて、安心して観ていられたり、笑えるところもすごく多かったりしますのでお楽しみに。それ以外のTVと違う部分で言うと、六年生の心情の描き方ですかね。状況によって、みんな思っていることが違うので、リアクションもそれぞれ違う。ゲストの卒業生、桜木と若王寺は生徒たちとは実力に差をつけて描いていますし、山田先生がポーカーフェイスのままでごく焦っているところも見どころです。事件が起きていくなかで各キャラクターが見せていく感情を、作画監督としても丁寧に描いたつもりなので、そういうところを細かく観ていただけたら嬉しいです。「今度は五年生を見に行くか」「六年生を見に行くか」（笑）みたいなノリで、何回も観ていただけたらと思います。



何度でも観たくなるこだわりシーン

1 夜陰に乗じた五年生の的確な作戦行動も忍者らしい見せ場。ラストには、不破雷蔵と鉢屋三郎（変装）ならではの活躍も。**2** がらんとした長屋にキラキラとホコリが浮かぶチンダル現象のカット。**3** 土井半助の安否が確認できず、放心状態のきり丸の表情が胸に迫る。**4** 笑えて泣ける最高のシーン。きり丸たちが土井先生と繰り返してきたボケとツッコミのようなやりとりが、天鬼となった土井先生の心を揺さぶる。**5** 本作に二度出てくる幼子のカット。それは、きり丸であり、土井半助であり、あるいは幾多の戦災孤児のうちの誰かなのかも知れない。





薔薇は
気高く咲いて
18世紀後半のフランス、激動の時代を薔薇のように気高く生き抜き、
美しく儚く散っていた者たちがいた――。これは、時代が変わっても
決して色あせることのない、愛と誇りの物語。
劇場アニメ
『ベルサイユのばら』
1月31日(金)全国ロードショー
HP https://verbara-movie.jp/
©池田理代子プロダクション／ベルサイユのばら製作委員会
STAFF 原作／池田理代子(集英社「週刊マーガレット」連載) 監督／吉村 愛 脚本／金春智子 キャラクターデザイン／岡真里子 音楽／澤野弘之、KOHTA YAMAMOTO アニメーション制作／MAPPA
CAST オスカル・フランソワ・ド・ジャルジェ／沢城みゆき マリー・アントワネット／平野 綾 アンドレ・グランディエ／豊永利行 ハンス・アクセル・フォン・フェルゼン／加藤和樹 アラン・ド・ソワソン／武内駿輔 フローリアン・ド・ジェローデル／江口拓也 ベルナール・シャトレ／入野自由 ルイ16世／落合福嗣 ジャルジェ将軍／銀河万丈 マロン・グラッセ・モンブラン／田中真弓 ナレーション／黒木 瞳

1972年から「週刊マーガレット」で連載され、舞台化やTVアニメ化もされた、池田理代子による名作漫画『ベルサイユのばら』が、連載開始から50年以上の時を経て再び劇場アニメ化を果たす！

主人公は、女性でありながら将軍家の跡取り息子として育てられたオスカル・フランソワ・ド・ジャルジェ。そして、政略結婚のために14歳という若さでオーストリアからフランスへやって来たマリー・アントワネット。伝統と慣習に縛られ、親に、そして時代によって、人生のレールを定められていた二人である。身分が高く、衣食住いずれも満ち足りた何不自由ない生活を送っているように見えるが、その実、それぞれの置かれた立場ならではの〝不自由〟を抱えて生きていたのだ。そんな二人が、様々な出会いや経験によって、自らの心を貫く自由を獲得していく姿が今作の主軸となっている。

本当の愛や自由とはなんなのか？　気高さとは、誇りとは何か？　その答えを追い求めてもがき続けたオスカルやアントワネットの生き様は、現代を生きる我々にも同じ問いを投げかけてくれているようだ。

それぞれの変化を見せる





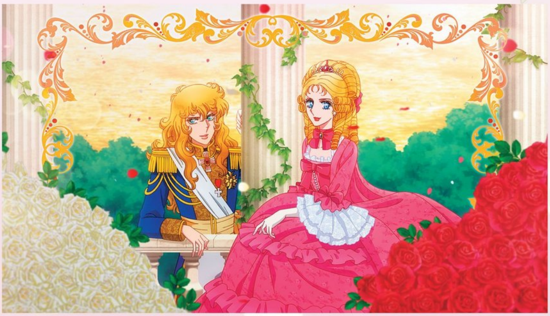
今作では、主にオスカルとアントワネットの成長にスポットを当てて、約20年の歩みを追いかけている。フェルゼンと出会い、真実の愛を知るアントワネット。様々な人の言葉に影響を受け、自らの生きる道を見出すオスカル。二人の考え方の変化にぜひ注目してほしい。

歌で紡がれる人間模様



オスカルやアントワネット、アンドレやフェルゼンたちの複雑に絡み合う感情やあふれ出す想いを、今作では歌唱演出で丁寧に表現している。音楽プロデューサーの澤野弘之さんがプロデュースを手掛けた挿入歌はいずれも、現代的かつ壮大で、ドラマチックな仕上がり。

華やかなファッション



アントワネットがまとう豪華絢爛なドレスや髪飾りは大きな見どころの一つ。シーンごとにデザインが異なっており、最新鋭のアニメーション技術によってどのドレスにもレースやフリル、刺しゅうなどが細かく描き込まれている。まさにため息が出るような美しさだ。

原作の絵の魅力を再現

「原作の絵を忠実にアニメーションとして動かす」というテーマで制作された今作。キャラクターデザインも原作のデザインを踏襲しており、緻密さはもちろんのこと、『ベルばら』ファンにはおなじみのキラキラと輝く瞳や、ショックを受けた際の白目顔も、原作の雰囲気そのままで登場！





香り立つ時代の空気





贅を尽くしたベルサイユ宮殿の佇まいや意匠を凝らした各部屋の調度品、天井から吊るされた豪奢なシャンデリアといった、現代日本ではお目にかかれない建築物やインテリアの数々。緻密な背景美術が、オスカルやアントワネットたちが生きた時代の空気感を伝えてくれている。

様々な愛の形







オスカルとアンドレ、そしてアントワネットとフェルゼンの身分を超えた愛が物語の中心だが、他にも様々な愛の形が描かれる。中でも、アントワネットを包み込むルイ16世の深い愛情や、ジェローデルがオスカルに向ける優しい眼差しには注目だ。



オーディションでは自己PRと課題曲が

——お二人が今作でオスカル役とアンドレ役に決まったのはオーディションだったそうですね。

豊永　そうですね。スタジオで原稿を読むのはいつも通りのオーディションの形ですが、この作品では自己PRタイムもあったのが印象的です。僕はもともと原作を読んだことがなくて、オーディションのお話をいただいてから初めて読んだ新参者なのですが、それを隠してもしょうがないなと思って。「新参者だからこそ、監督が思い描くアンドレ像を一番吸収できると思います」と答えたんですよ。音響監督の長崎行男さんに「とっしーは相変わらず、うまいこと言うな」って言われました（笑）。

沢城　（笑）。確かに、あなたのアンドレにはその思い切りがあった！　もともと作品を知っていたら、こんなふうにはできなかった気がする。

豊永　作品を知っている人ほど感じていたであろうプレッシャーが、僕にはあんまりなかったから、それでアンドレとして抜擢をしていただいたのかもしれないですね。みゆきちは何をしゃべったの？

沢城　私は自己PRのことは全然覚えていないの。それよりも……とっしーはさ、歌が得意でしょ。だから、オーディションに歌があったことを覚えていないんじゃない？

豊永　あ、そうだ、歌唱もあったね！　忘れてた！

沢城　ほら〜！（笑）　私はもう歌のプレッシャーが10割だったから、そっちの印象のほうが強いのよ。（音楽プロデューサーの）澤野弘之さんの過去曲を歌うという課題だったんですが、その曲がとても難しくて。私の記憶はそこまでなんです。自己PRで自分が何をしゃべったかなんて、まったく記憶にないです。私たちそれぞれの得手不得手が、このエピソードから皆さんに伝わったと思います。

豊永　やめてください（笑）。そう言われると思い出したんだけど、アンドレの課題曲がものすごくキーが高くて、「歌えるか〜！」って思いながらがむしゃらに歌ってた。

——お二人はオスカルとアンドレをどういう人物だと感じて、どのように演じていきましたか？

豊永　配役を聞いて、すぐに「みゆきちがオスカルか、納得！」と思えるほど説得力と親和性があって。アンドレとして一緒に演じている時も何の引っかかりもなく、スッと入っていくことができましたよ。

沢城　そうなの？　私、下町の町工場生まれだから、自分では貴族のオスカルが遠い存在だと思っていたけど（笑）。でも、オスカルの「賢くて立派で、間違えたりしなくて、世の真理が見えてそう」みたいなイメージって、ビジュアル的な美しさから香り立ってしまう誤認というか、実はそこが彼女の本質ではないと思うんです。原作だと、意外と蓮っ葉で、「こんちくしょう！」とか言うし、憂さ晴らしで殴り合いのケンカを始めたりする（笑）。全然完璧な人ではないんです。

——そうかもしれません。

沢城　むしろ素直さ、青臭さみたいなところが彼女らしさだったりするんです。今回は「原作のオスカルを描きたい」と吉村愛監督から言われていたこともあって、見た目の麗しさは絵のほうにおまかせし、私としては、立派じゃないオスカルが物事の本質を自分自身に問うて成長していく姿、本当の愛に気づいていく姿という部分に注力しようと思いました。逆にアンドレは、「おれはおまえの影だ」とか言っているけど、今回は全然影じゃなかったよね？　むしろオスカルにアンドレの影が落ちていたのではと思うくらい、光が眩しかった気がする（笑）。

豊永　え、どういうこと!?

沢城　アンドレって「もの分かりのいい献身的な男」みたいなイメージがあったと思うんですが、今回の彼はむしろ、めちゃくちゃ情熱的なんです。でも確かに、台本を純粋に拾い上げていくと、「そのぐらいの熱量があるかも」と思えるんだよね。だから、私、今作はアンドレの革命だと思っているの。

——アンドレの革命。

沢城　今までは日陰者のイメージだったし、実際キービジュアルでも影の中にいるんだけど、とっしーの力で、（ビジュアルで光の中にいる）フェルゼン側に寄ったと思う！

豊永　ありがとうございます（笑）。僕も確かに最初は「従者であり、おとなしめな男」という印象だったんですけど、実はアンドレって、意外と要所要所でぶっ飛んだことをしているんですよね。

沢城　（笑）。

豊永　今回の劇場アニメでは、尺的にも、彼の人生を濃縮して表現しないといけない。だから自然とそうせざるをえないというか、いわば熱量の高さで人物像に説得力を持たせられたらと考えました。アンドレの不器用さが、僕の「一直線に作るしかない！」という不器用さとマッチした結果、みゆきちが感じた光みたいになったのかなと思いますね（笑）。ただ、光と影って表裏一体ですし、シーンによって、オスカルとアンドレが光と影を行ったり来たりする関係値になるのかなとは、漠然と思いながら演じていました。

性別よりも使命感をオスカルの主軸に据えて

——お二人で一緒にアフレコをして、お互いのお芝居から刺激を受けた点はありますか？

沢城　これは別にアフレコ時に意図したことではないんですけど、出来上がった映像を観ると、アンドレと二人で話している時のオスカルの声色がすっごく女性っぽいなと思いました。アフレコ中は「シーンに合わせて年齢を重ねていかなきゃ」とは考えていたけど、そこに関しては意識していなかったので、自分でも少し驚きましたね。それはたぶん、豊永先生のお力で、安心して収録できた結果なのかなと思います！



豊永　いやいや（笑）。でも確かに、僕も映像を観た時にそれは感じたかも。あと、それとは真逆の話になるけど、僕の中でみゆきちのオスカル像がすごく強かったので、そこに影響されすぎないようにというのは考えましたね。みゆきちの持つ引力に引っ張られすぎると、僕が考えるアンドレ像から乖離する可能性があって。軸をしっかり立てた状態で演じていたので、それがもしかしたらみゆきちからは〝強いアンドレ〟に見えたのかもしれない。

沢城　確かに、相手の声を聴きすぎてしまうと自分の芝居が揺らぐというの、すごく分かる。私も今回、そこに苦戦したの。特に、（マリー・アントワネット役の平野）綾ちゃんと一緒に収録したシーンがそう。アントワネットとオスカルの価値観のズレを描くシーンで、長崎さんから「もう少し拮抗してほしい」と言われたんです。でも、私はアントワネットの言葉を聴こうとするあまり受け身になって、自分のキャラクターを表現するタイミングを逸してしまいそうで。その塩梅はすごく難しかったですね。

豊永　この作品って、約20年の物語を2時間にギュッとしているじゃな

人はどう生きるか

物語の後半で、オスカルはフランス衛兵隊へと異動することに。荒くれ者の隊員たちと最初は衝突するが、やりとりの中で徐々に彼らとの心の距離が縮まっていく。オスカルが彼らに向けて発する言葉の数々には、人間が生きるための普遍のテーマともいえるメッセージが込められている。

オスカルが成長していく姿、本当の愛に気づいていく姿を


さわしろ・みゆき✦6月2日生まれ／東京都出身／青二プロダクション所属／『ルパン三世』（峰不二子）、『ゲゲゲの鬼太郎（第6期）』（ゲゲゲの鬼太郎）ほか

撮影＝江藤はんな

Oscar François de Jarjayes



熱量の高さでアンドレの人物像に説得力を持たせせられたらと

とよなが・としゆき✦4月28日生まれ／東京都出身／スーパーエキセントリックシアター所属／『A3!』（有栖川誉）、『魔法つかいプリキュア！！～MIRAI DAYS～』（アイル）ほか

いですか。だからバランスが大変でしたよね。我々の中で、各々の感情や考え方の変化をしっかり整理整頓しながら進めないといけなくて。一つ一つの歌唱シーンが明けると、そこで時間が一気に経過していたりするので、その時間をいかにセリフに乗っけて補完するかという難しさもあるし、それでなくてもこの作品は、流れを繊細に作っていかないとドラマが破綻しかねないので。中でもアンドレは、言葉と思考に開きがある人だと思うんです。細かい感情も頭の片隅に入れながらやらないと、自分の中で納得ができなくなりそうだなと思いながらやっていました。

――沢城さんは先ほど「アンドレの前だとオスカルが女性っぽくなっていた」と言っていましたが、アフレコ時にはオスカルの男性性、女性性のバランスはどのように意識していたのですか？

沢城　実はまったく意識していなかったんです。原作の中でも、オスカルは「女」と言われて怒る時と、「男」と言われて怒る時があるし。男か女かというアイデンティティよりも、使命として〝アントワネット様をお守りするに足る自分〟であるかどうかのほうが大事だと思っていました。男か女かが重要になるのは恋愛くらいだと思うので、基本的にはその問答はあまり必要じゃなく、使命感を真ん中に据える感じでしたね！



――歌唱シーンの収録の思い出も教えてください。

沢城　とっしーはどうせ「あー気持ちよかった！」って、一発で録り終わったんでしょ？（笑）

豊永　いやいや（笑）　確か、歌はアフレコよりもだいぶ前に収録したんだよね。

沢城　そうね、歌の収録とアフレコは、年単位で間が空いていたと思います。

豊永　アフレコ現場でのディレクションがつく前に歌っているので、セリフとの変化がつきすぎてはいけないという難しさはありましたね。だから、レコーディングの時にはある程度自分の中のアンドレ像を固めておかないとなと思って、その曲が使われるであろうシーンを想像して、年齢感などを逆算しながらレコーディングしていきました。

――「このシーンで流れる」というのはあらかじめ知らされていたわけではなく？

沢城　コンテをいただいていたので、大まかには教えてもらえてはいましたが、まだザックリな状態で。

豊永　そうそう。だから、ちょっと広めの捉え方をして、「いつの時代の、いくつぐらいの感情のアンドレか」ということを気にしながらやっていました。

沢城　気持ちの持っていき方も難しかったですね。セリフを助走として歌に入るのか、歌からスタートする形なのか、あるいは気持ちを持っていき終えた後の歌唱なのか。でも、そこを神経質に悩み始めるとキリがないので、そこは吉村監督の管理におまかせして、最大の信頼を持って進んでいきました。
　あと、まだアフレコをしていない分、みんなが共通認識として思える「このへんの声がオスカル」というものが定まっていなかったので、どのキーで歌うかも手探りで。最終的に、「オスカルは上パートも下パートもオクターブで両方歌う」という力業でいくことになりました（笑）。フェルゼンも入れた4人で歌っている曲では、高音域を歌うアントワネットにオスカルも追従しつつ、下の音域でも歌っているので、ぜひ聴いていただきたいです。



アンドレ・グランディエ

オスカルの従者を務める平民の青年。身分は違うものの、オスカルとは幼い頃から対等な友情を築いており、彼女の良き理解者でもある

献身と情熱の狭間で

オスカルに命を救われたことをきっかけに、彼女に対する特別な想いを強く抱くようになるアンドレ。身分という壁に阻まれることで、その想いは彼の胸の中で煮えたぎっていく。オスカルを常にそばで支える献身と、身を焦がすほどの情熱を兼ね備えた愛の行く末に注目だ。

André Grandier

袖中から舞台上へ⁉ 今作の新たなアンドレ像

――そのほか、吉村監督からは作品や役についてのディレクションはありましたか？

沢城　レコーディングの時に、池田理代子プロダクションの方やプロデューサーたちがいる中で、吉村監督からのお話がありまして。一番大きかったのは、先ほども言ったように「〝立派なオスカル〟よりは、原作にある〝等身大のオスカル〟を描きたいです」というところでしたね。

豊永　僕もレコーディングの時にお話がありましたけど、「こうしたい」というよりは、「アンドレは歳を重ねるといろいろ大変なんで、頑張ってください」みたいな（笑）。

沢城　あれ、一人だけ放牧されてる？（笑）　でも確かに、現場の雰囲気からすると、とっしーの声が入ったことで、今作のアンドレ像がみんなの中で確固たるものになったという感があるんだよね。

豊永　え、どういうこと？

沢城　とっしーのレコーディングが終わった後に、私が「とっしーのアンドレ、どうでした？」って嬉々として聞きに行ったら、全員がちょっと下向いて苦笑いしていたの。

豊永　え……？

沢城　そう、「え？」って思うじゃん。私も「え、何、どうしたの？　とっしー、何かやらかした⁉」と戸惑っていたら、「いや、『アンドレ、そういうのと違うだろ！』って思わず突っ込みたくなる仕上がりで……聴きます？」と聴かせてくれたんですよ。で、聴いてみたら、もうめちゃくちゃ上手いから！

――おお～！

沢城　「アンドレ、君、完全に舞台上に出ちゃってるよ！　君の本来の居場所は袖中だよ！」って（笑）。

豊永　なるほどね、脚光を浴びすぎていたんだ、アンドレが（笑）。

沢城　そう、情熱のあまりに。現場の皆さんも「アンドレが壇上に出ていっちゃったな、まったく、やれやれ」みたいな感じで。でも、それがダメだったわけでは決してなくて、むしろ、みんながそれを新たな切り口として、とても好意的に捉えていたんだよね。だから、今回のアンドレがこんなに舞台上に出られたのは、とっしーの声にみんながゴーを出せたからなんだと思う。

豊永　それはよかったです。でも、僕としては台本を見てそう感じたから、そう歌っただけなんだけどね。願わくは、多くの方に「こういうアンドレもアリだね」と思っていただけますように……！

――原作が連載されていたのは約50年前ですが、今の時代にも通じるメッセージを有した作品だと感じます。お二人は、今の時代に『ベルばら』を新たにアニメ化する意義をどのように感じていますか？

沢城　私は昔のTVアニメ版の『ベルばら』も大好きなのですが、技術の革新により、（原作の）池田理代子先生が誌面で描かれたものを惜しみなく映像として動かすことを実現できたのは、今の時代だからこそだと思います。最大の技術をもって、美しいフリルやベルサイユの絨毯、シャンデリアなどを描き込んだことは、まさに今、この作品を新たに作る意義の一つだったな、と。
　また、『ベルばら』が描かれたのは約50年前ですが、オスカルも影響を受けた『社会契約論』が書かれたのは、それよりもさらに200年以上前のこと。その時に問われていたことは、時代を経て、現代の私たちにも問われています。「自由に生きていくとは何か？」「本当の愛とは何か？」「みんなの幸せとは何か？」……。もちろん、少女漫画の枠組みで楽しんでもいただきたいんですけれど、本質的にとても哲学的なことが描かれている作品です。あらゆる層の方々に観ていただき、人生を考えるきっかけにしていただけたらと思います。

豊永　僕もまさに同じことを言おうとしていました。アニメーションの進化、テクノロジーの進化によって原作をとてもグラフィカルに表現しているところに、令和の新しい『ベルサイユのばら』だなと感じ取ることができます。一方で、フランス革命という史実は、歴史書の中に存在するものではありますが、貧富の格差や差別などの問題は、今もなお続いているものなんですよね。それに、愛や恋への悩みや苦しみ、胸の痛み、そして幸福を感じた時の喜びといった人の感情は、人類普遍、どの時代も変わらないものです。結局のところ、〝人である〟ということが、この作品の大きなテーマなのだと僕は思っています。



オスカル・フランソワ・ド・ジャルジェ

由緒正しき将軍家の末娘だが、男性として育てられた。近衛連隊長として「アントワネットを守る」という使命に従事する中で、自らの生き方を見つめ直す

『ベルばら』の魂は変わらない

マリー・アントワネット役
平野 綾



マリー・アントワネット
美しく気高いフランス王妃。本当の恋を知らぬまま、若くしてオーストリアから嫁いできたため、その胸の内には寂しさを抱えている



同じ女性として共感するアントワネットの生き方

——キャストオーディション時の思い出を教えてください。

平野 この作品のオーディションでは、セリフを読むだけじゃなくて、自己PRタイムがあったんです。私は小さい頃から『ベルばら』好きの母に英才教育を受けてきた生粋の『ベルばら』ファンなので(笑)、そのPRの中に、今までどれだけ『ベルばら』にお世話になってきたかをとにかく詰め込みました。「絶対に獲りに行く！」と思ってオーディションに臨んだので、受かったと聞いた時は「おっしゃ〜！」という気持ちでしたね。アントワネットを演じられる機会をいただけたことが、とても嬉しかったです。

——今作のアントワネットの印象を教えてください。

平野 マリー・アントワネットというと、どうしても派手でぜいたくなイメージが強いと思うんです。でも、私が彼女に関する展覧会や、実際にベルサイユ宮殿を訪れた時に感じたのは、そのイメージとはまったく違う印象でした。ベルサイユ宮殿の中に庶民の暮らしを体験するための村があるのを見ると、この方なりに庶民のことを分かろうと努力していたんじゃないかとも思うし。子どもたちの教育にも熱心に取り組んでいたところも含め、大人の女性としての品格を感じられましたね。

今作では、そんなアントワネットの年相応の女性としての喜びや苦しみがしっかりと描かれています。台本を読みながら、さすがスタッフに女性が多い現場だけあって、すごく共感できるなと思いました。「昔の高いフランスの宮廷で生きていた位の高い人」ではなく、「今の私たちとも通じる悩みを抱えていた人」として身近に感じられるような、人間らしさが描かれていると感じます。



王妃としての苦悩

歴史上に残る逸話から「国家の財政を顧みずに贅沢三昧に暮らした、派手好きでわがままな女性」というイメージを持たれがちなアントワネットだが、今作では、その裏に隠された苦悩や王妃としての責任感といった面をクローズアップ。彼女の人柄がより身近に感じられるはず。

——作中ではおよそ20年の月日が流れますが、平野さんはその年齢感の変化をどのように意識して演じたのでしょうか？

平野 今回、アフレコはオスカル役の沢城みゆきさんと一緒に録っていて、「このシーンとこのシーンの間で何年経った？」と原作を確認しつつ、話し合いながらやることができました。みゆきさんとは昔から気心が知れていますし、なんだか二人で一緒に宿題をして答え合わせをしているような感覚でしたね(笑)。シーンごとに「アントワネットはこの間に、史実のあのエピソードを経験しているはずだから、人間として成長しているはず。私はそれを意識して声に乗せるけど、オスカルはどうする？」と相談したり。オスカルとアントワネットを一緒に収録することは最初から決まっていたそうで、とてもありがたい計らいでした。

——吉村愛監督からは、役に対する説明やディレクションはありましたか？

平野 物語をギュッと凝縮している分、年代的にはものすごいスピードで成熟してしまうのですが、「少女らしさは絶対に失わないでほしい」ということは常に言われていました。「アントワネットは14歳の時に心を置き去りにしたまま大人になってしまった人。ある程度の年齢までは、その感覚でやってほしい。そして、それが恋や愛によって変わっていくんです」と。オスカルは、人に言われた言葉をきっかけに変わる人ですけど、逆にアントワネットは、自分の心から生まれた感情によって変わる人なんだと感じました。

——歌唱シーンのレコーディングの思い出も教えてください。

平野 アフレコよりだいぶ前に、まだ絵ができていない状態で収録しました。最初に楽曲が上がってきた時は、とても現代的な楽曲だったので、それにまず衝撃を受けましたが。レコーディングでは、吉村監督や脚本の金春智子さんとも話し合いながら進めました。歌の中で何年も時間が経ったりするので、その表現はすごく難しかったですね。劇中で流れるのは短いバージョンですが、挿入歌集に収録されるフル尺を聴いていただくと、それぞれの心情をより分かっていただけるのではと思います。

現代ならではの表現と普遍のメッセージ

——アントワネットにとって大切な存在である、フェルゼンに対する印象を教えてください。

平野 小さい頃は、大好きなオスカル目線で『ベルばら』を読んでいたんですが、大人になるほどアントワネットに感情移入できる部分が増えて、それに伴って「フェルゼンはなんて素敵な男性なんだろう」と感じるようになりました。自分の立場を分かった上で、支えてはくれるけれども、こちらが求める以上はしてこないという、一歩引いた距離感の取り方。これは、世の男性にはなかなかできないですよね(笑)。フェルゼンは若い頃からいろいろな国を回り、自分の中の価値観を確立していった人なので、だからこそ天真爛漫なアントワネットに惹かれたんだろうという気がします。

(フェルゼン役の)加藤(和樹)さんとは、アフレコ現場ではご一緒できなかったんですが、10年前に初めて共演させていただいた時から、相手役としての信頼が厚いです。その時も、決して結ばれることのない立場の二人を演じていたので、「またハッピーエンドじゃないね」と話していました(笑)。

——では、アントワネットとは表裏一体ともいえる、オスカルについてはいかがですか？

平野 オスカルも子どもの頃から大事なものを一旦横に置いて、使命のために生きてきた人なんですよね。そういう意味で、アントワネットとよく似ていると思います。だからこそ、ようやく見つけた自分の道を貫く姿が、本当にカッコよくて。たぶんアントワネットはオスカルに対して憧れの気持ちがあると思います。「自分とは違って、どこにでも自由に行ける人」みたいな。そういった感覚は、私もオスカルに対してすごく感じました。

——『ベルばら』ではたくさんの愛の形が描かれていますが、特に平野さんの心に残った愛情の形はどれですか？

平野 陛下(ルイ16世)です！ とても印象に残りました。陛下がアントワネットの秘密を知るシーンは、今作で描くかどうか議論になったそうですが、吉村監督が「このシーンは絶対に入れたい！」とこだわられたそうです。この夫婦を語る上では外せないシーンですよね。陛下の愛情深さも、現代の男性にぜひ見習ってほしいなって思います(笑)。

——平野さんは、今の時代に『ベルばら』を再度アニメ化する意義をどのように感じていますか？

平野 アニメや舞台でこれまでたくさんの方々が演じ、積み上げてこられたイメージは大切に受け継ぎつつ、今の時代だからこその表現に挑戦できたらと思い、収録に臨みました。音楽を取り入れた演出ができたのも今の時代ならではだと思いますし、ジェンダーに対する考え方や愛の形、夫婦のあり方といった時代が変わるにつれて変化する価値観は令和版として楽しめると思います。でも、根本にある『ベルばら』の魂は絶対に変わらないものです。その普遍のメッセージも受け取っていただけたらと思います。

——原作連載時は、少女漫画で歴史ものを描くこと自体が画期的で、さらにそこに女性の自立というテーマも重ねられていて。そうして描かれた作品は、令和の時代にも刺さるものがありますよね。

平野 本当に池田先生は、よくぞ先頭を切って、戦う女性を描いてくださったなって思いますね。しかも、そこに歴史を密接に関わらせていて、他にはない作品だと感じます。連載50周年を超えても、色あせることのないこの『ベルサイユのばら』が、これからもいろいろな展開、いろいろな表現で観られることを、いちファンとして楽しみにしています。



今の私たちとも通じる悩みを抱えていた女性として

ひらの・あや✦10月8日生まれ 愛知県出身 「ONE PIECE」(リリス)、「FAIRY TAIL」(ルーシィ・ハートフィリア)ほか

撮影＝荒金大介



四者四様の生き様が美しい

ハンス・アクセル・フォン・フェルゼン役

加藤和樹

胸の中に静かに燃えるアントワネットへの想い

——キャストオーディション時の思い出を教えてください。

加藤　僕は『ベルサイユのばら』という作品について、もちろん名前は存じていましたが、恥ずかしながら詳しくは知らなくて。今回のお話をいただいて、原作を全巻読ませていただいたんです。なので、オーディションでは原作からの印象にプラスして、以前に『1789 –バスティーユの恋人たち–』というフランス革命を題材にしたミュージカル作品に出たことがあったので、その時のフェルゼン像からもイメージを膨らませながら臨みました。変な言い方ですけど、自分の中では限りなくカッコつけつつ（笑）、その中にアントワネットに対する想いを意識して演じました。あと、歌唱のテストもあったのですが、気持ちの持っていき方などは、これまでミュージカルをやってきた経験と感覚を活かせたのではないかと思いますね。まだ役を掴みきれていない状況ではありましたが、自分の中のフェルゼン像を出せた手応えはありました。

——今作のフェルゼンに対する印象を教えてください。

加藤　原作を読んだ時の第一印象は「カッコよすぎて共感できないな」でした（笑）。というのも、『1789』の時は僕は平民側だったので、フェルゼンに対してあまりいい印象を持っていなかったんです。でも、自分がフェルゼンを演じることになり、彼の中のアントワネットに対する譲れない想いや忠誠心、立場の壁に葛藤する姿を紐解くと、彼もまた悲しい運命に翻弄された一人だったんだなと感じました。ただカッコいいだけではなく、胸の中に静かに燃える炎がある男だという印象を受けましたね。



運命の出会いは禁断の愛

自らの気持ちに正直なアントワネットに対して、フェルゼンは思慮深く分別もある人だ。だが、そんな彼でもアントワネットとの禁断の愛に終止符を打てなかったのは、それほど二人の愛が運命的なものだったということだろう。涙を流して互いを求め合う姿に、その想いの強さが表れている。

——吉村愛監督からは、どんな説明やディレクションが？

加藤　これはたぶんみんな共通していたと思うのですが、年齢感を大事にしてほしいと言われました。「アントワネットとの出会いから時間を重ねて、想いの深さが増すにつれて、若い時にはなかった覚悟が出てくることを表現してほしい」と。普段やっている舞台の仕事では、声だけで年齢を表現することがあまりないので、そこは今回特に難しかった部分でした。

——フェルゼンは初登場の時から落ち着きがある分、年齢感の変化をつけるのがより難しそうです。

加藤　そうですね、彼の立ち位置的にも、あまり子どもっぽいところから始めるのは違いますし。そういう部分では、育ちのよさも意識していました。ただ、実は僕、今まで貴族の役を演じたことがあまりなくて、粗野な荒っぽい役をやることのほうが多かったんです。声のお仕事では、クールな役をやらせていただくことも多いのですが、クールと気品もまた違うじゃないですか。第一声でフェルゼンの持つ気品や位の高さを表しつつ、言葉の説得力を持たせるためにはどうしたらいいかも、かなり悩んだところでしたね。

ハンス・アクセル・フォン・フェルゼン

容姿端麗なスウェーデンの伯爵。パリで催された仮面舞踏会でアントワネットと運命的な出会いを果たし、彼女に心惹かれていく



——歌唱シーンの収録の思い出も教えてください。

加藤　歌の収録はアフレコよりも先にやったので、フェルゼンという役がまだ出来上がってない状態ではあったのですが、自分の中で想像するフェルゼン像を作り上げてレコーディングに臨みました。ミュージカルではよく「歌を歌うのではない」と言われるのですが、今回の歌唱シーンの意図としてもあくまでも〝お芝居の一部〟なので、歌になりすぎないよう、セリフとして歌を届けることを意識しました。

愛する人と引き寄せ合うその心には逆らえない

——加藤さんは、フェルゼンとアントワネットの関係性についてはどんな印象を持ちましたか？

加藤　まさに許されざる恋ですよね。フェルゼンはその危険性を分かっていたはずですけど、それでもアントワネットの想いに応えてしまったのは、彼女と同じぐらい、もしくはそれ以上に熱く燃える情熱が彼の中にあったのだと思います。フェルゼンは一度はアントワネットときっぱり離れようとするのですが、それでも抗えない運命のいたずらで、アントワネットの涙を見た瞬間に再び惹かれ合ってしまう……。切なさもあり、美しくもあり、本当に燃えるような恋だと思います。言葉にしなくても、目と目を合わせただけで心と体が引き寄せ合ってしまう引力みたいなものがあって、その心に逆らうことはやっぱりできないんだな、と。たとえ一瞬だったとしても、二人の心が自由になった瞬間はとても尊いものだと思いました。

アントワネット役の平野綾さんとは、以前にも『レディ・ベス』というミュージカルで身分違いの恋を演じたことがあって。舞台となる国は違いますが、その時も平野さんが女王役だったので、今回は当時のことをすごく思い出しました。平野さんはアントワネットの恋が愛に変わるところをすばらしく繊細に表現されています。フェルゼンとの愛を経て、覚悟が決まっていくアントワネットは素敵ですし、一人の女の子が女性、そして王妃へと成長していく様をまざまざと見せられたなと思います。

——加藤さんが特に注目してほしいと思うシーンはどこですか？

加藤　やっぱりオープニングはインパクトがありますね。豪華絢爛な歌が始まって、ぜいたくなアニメーションだなと思ったし、『ベルサイユのばら』という物語の幕開けにふさわしい演出だと感じました。オープニング曲として我々が歌う楽曲も、非常に意味があるな、と。

あとは、オスカル&アンドレも含め4人で歌った「Believe in My Way」という挿入歌も、とても印象的で。4人がそれぞれの想いを歌い合っているので、それがどう混ざり合うのか、最初は想像できなかったのですが、完成したものを聴いたら「すごっ！」って素直に感動しちゃって（笑）。それはやっぱりお三方の歌唱力と、何より役としての想いがちゃんとあったからこそだと思いましたね。

Hans Axel von Fersen

——最後に、今の時代に『ベルばら』を再度アニメ化する意義をどのように感じていますか？

加藤　僕が今作から受け取ったのは、「心は自由である」ということです。まさに、フランス人権宣言にある「人間は生まれながらにして自由である」という言葉の通りで。今は個性が認められる時代になり、フェルゼンたちが生きた時代よりも心を抑圧するものは少なくなってはいますが、そんな現代にも、「好きなものは好きだと言っていい」「定められた運命があっても、それに抗ってもいい」といったメッセージはすごく心に刺さるなと思いました。特に、なんでもかんでも「ダメだ」と抑えつけられていたコロナ禍を経験したことで、自分の心に正直に従うことの大切さをあらためて実感した気がします。

ただ、現代が完全に自由なのかというと決してそうではなく、今の時代には今の時代なりの生きづらさがあって。それは結局、どの時代にも必ずあるものなのだと思うんです。社会を構成する一人として生きるためには、時には我慢も大事だし、どこかで折り合いをつけることも必要になってくる。アントワネットとフェルゼンは、そういうことも見せてくれた気がします。また、その中でも折れない心はアンドレから学べるし、気高く羽ばたいていく力はオスカルが教えてくれる——四者四様の生き様が本当に美しく、そして熱く描かれているこの物語は、今の時代にも大切なことを伝えてくれると思いますね。



二人の心が自由になった瞬間がとても尊い

かとう・かずき✦10月7日生まれ／愛知県出身／アシスト所属／『B-PROJECT』シリーズ（愛染健十）、『怪盗クイーンはサーカスがお好き』（ジョーカー）ほか

撮影＝江藤はんな

歴史に残らぬ英雄譚

約50年前に日本で出版されたJ・R・R・トールキンの『指輪物語』
そこで描かれた仲間たちの絆や、自由や誇りのために戦う意志は
ほぼアニメオリジナルである今作にもしっかりと息づいている！



▶ハリウッド感あふれる海外版のキービジュアル。実写映画『ロード・オブ・ザ・リング』から200年前の世界。ローハンで巻き起こった戦いの裏には、一人の姫の活躍があった――

原作小説『指輪物語』にわずかに出てきた「ローハンのヘルム王の娘」を主人公に据えた、アニメ映画『ロード・オブ・ザ・リング／ローハンの戦い』が上映中だ。後世の記録のどこにも残らなかったという、王女ヘラの知られざる偉業として、物語が描かれている。

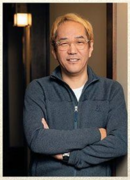
ヘルム王が、褐色国人（ダンレンディング）の長・フレカを殴り殺すという出来事は、二つの部族に決定的な亀裂を生んだ。父の仇を討たんと攻め込んできたウルフを、ヘルム王は真っ向から受けて立つ。ヘラは、旧友であるウルフが反旗を翻したことに胸を痛めながらも、民を守るために奔走する。

長く苦しい戦いの中にあっても、ヘラはくじけない。長い籠城の末に、敵陣を単騎で駆け抜けた彼女は、総大将であるウルフに一騎打ちを挑む。さらに、困難の末に援軍を呼び寄せることに成功し、ウルフ軍を窮地に追い込むのだった――。

自分の運命は自分で決めるという意志と、最後まであきらめない心で戦うヘラ。そして、目的を見失いながらも、怒りと憎悪に自らの身を焼いたウルフ。彼もまた、もう一人の主人公だ。二人の生き様からは、今を生きる我々にも多くの学びがあると言えそうだ。

王女ヘラのあきらめない強さ

監督 神山健治



かみやま・けんじ
1966年生まれ。近年の監督作品に『ULTRAMAN』（荒牧伸志と共同）、『攻殻機動隊 SAC_2045』など

王ではなくあえて王女を主人公にした狙い

――『ロード・オブ・ザ・リング』の新作アニメ映画を手掛けるにあたって、どのような思いで制作に臨んだのでしょう？

神山 初めて実写映画の『ロード・オブ・ザ・リング』三部作を観た時に、「これはすごいものを観てしまった！」という驚きと感動がありました。世界的にも高い人気を誇る作品になったのも納得ですし、僕自身も大好きな映画です。そのアニメ映画で監督をしてほしいとオファーが来た時は、「これは大変なことになるぞ！」という不安もありましたが、自分が『ロード・オブ・ザ・リング』の映画の一編を作らせてもらえるという喜びのほうが勝りました。こんなチャンスを逃したらもう二度と巡ってこないかもしれない。ならばチャレンジするしかない、と覚悟を決めてお引き受けしたんです。

ただ、制作はかなり大変でした。絵コンテを一人で仕上げた後、音声はまずロンドンですべて（英語で）プレスコ収録しました。その後、それをもとに2時間超の全編の芝居をアクターに演じてもらい、モーションキャプチャで動きを収録。そのCGデータをもとにカメラワークを練って、手描きアニメでキャラクターの表情や演出をつけていく。また、日本語吹き替え版の作業もありました。結果、実写、CG、作画、英語、日本語で、3年の制作期間の中で計5回監督した感覚があります（苦笑）。

――それだけ手間のかかる作業だと、つらくはなかったですか？

神山 映画の制作に没頭して、作品世界に入り込むのは、僕にとって映画作りの一番の醍醐味なんです。それを5回も味わわせてもらえたので、大変ではありましたがつらくはなかったし、とても楽しかった。楽しかったからこそ、最後までやりきれたのだと思います。

――CGを元にしつつも、仕上がった画面はすべてアナログ。原動画13万枚、軍勢の奥の豆粒サイズの人物まですべて手描きというのは、すさまじい執念です。

ヘラは父王の愛に支えられ、自由奔放で活発な女性に育った

神山　やはり、手で描いた作品には「すごみ」が宿ります。生々しいエネルギーを、ぜひスクリーンから感じてほしいですね。

――『ローハンの戦い』は、原作では10ページ程度で書かれたヘルム王の逸話がもとになっています。あえてこの部分にフォーカスした狙いについて教えてください。

神山　僕が制作に参加した時点で、200年前のローハン（人間）の物語を描くことは決まっていました。おそらく、原作で描かれている壮大な物語の中で、アニメ映画1作で完結できる題材としてちょうどいいサイズだったのでしょう。そして、ヘルムが原作ファンの間でも認知度の高いキャラクターであることも理由だと思います。「槌手王（ついしゅおう）」の異名通り、彼は素手で多くの敵を殴り倒した逸話があって、とても存在感があるんですよね。そのため、ヘルムの物語を映画にして掘り下げれば、原作ファンの心にも届く面白い作品にできるのでは、という狙いがあったのだと思います。でも、ヘルム一人では、映画として短いのと、物語としては平板になってしまうなとも僕は感じていました。

――それはなぜでしょうか？

神山　原作では「過去の歴史」として客観的な視点でローハンの戦いに触れているだけで、ヘルムがどんな思いを胸に戦っていたのかなどの心情描写がまったくないんです。もし映画でこの物語を描くなら、最初から最後までヘルムのそばで戦いを見届けた人物、語り部が必要になると考えました。そうしないと、彼の人間性も伝わらないですからね。

そして、かなり早い段階で、「ヘルムの娘を主人公にする」というアイディアがスタッフから出てきた。原作冒頭に、「ヘルムの娘にウルフが求婚したがヘルムが断った」という記述があるんですね。その王女の存在を膨らませて主人公にすればいいのではないかと。確かに、そうすることで『指輪物語』の原作者であるトールキンが描いた世界観の補完もできるのではないかと僕も思ったんです。

――「世界観の補完」というと？

神山　映画三部作に出てくるローハン王家のエオウィン姫は、女であることを理由に戦に出ることは許されず、仕方なく男装して軍に紛れ込んで戦うことになる。結果、彼女が女性であることが功を奏するのですが、原作の世界では女性が男性と肩を並べて戦ったり、戦で功績を残したり、王位を継承することが許されなかった時代なのだと。

そこから考えを広げて、ヘルム王の娘はエオウィンと同様にローハンを救うために陰ながら戦ったが、歴史にその活躍や逸話は残されなかった。そんなふうに解釈すれば、原作でヘラの名前も功績も残されていない理由づけになる。それに娘として、父王の側でローハンの戦いの顛末を当事者として見届けた人物としても最適です。また、映画の完全オリジナルではなく、「ローハンの戦いの裏には、実はこんな事実が隠されていた」という、原作を掘り下げることで誕生したキャラクターとして描ける。原作へのリスペクトも盛り込めるのではないか。僕がアイディアに賛成したのは、そういう理由があったからです。

ヘラとヘルムを結ぶ何よりも強い絆

――神山監督が描く女性主人公といえば『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX』の草薙素子や、『精霊の守り人』のバルサなど、心身共に強い女性が思い浮かびます。今作でヘラをどんな主人公として描こうと考えましたか？

神山　ローハンを褐色国人（ダンレンディング）の侵略から守り抜いたヘラは、十分「戦うヒロイン」といえると思います。ただ、今作でヘラを描く際は、よりリアリティを重視しました。ヘラは剣も使えるし馬術も巧みですが、武装した屈強な男たちをバッタバッタとなぎ倒すようなことはさせていません。ヘラの設定身長は174センチと女性の中では長身ですが、斧を振り回す蛮族には力で勝てないし、お姫様なので剣の修行に明け暮れていたわけでもないんです。だから敵と戦うシーンでは、ヘラの体型やバックボーンも踏まえて「これならありえる」という立ち回りをさせることを念頭に置いて絵コンテを切りました。

――確かにプロフェッショナルな感じではないですよね。大勢を相手に無双するような非現実的な活躍はしていないものの、「戦う修練は積んできたんだろうな」くらいの、ほどよいバランスで。

神山　「ファンタジーなんだからなんでもアリでいいじゃないか」「お姫様が蛮族をバタバタ倒せてもいいじゃないか」とはしたくなかった。僕はファンタジーだからこそリアリティを追求しないと面白くないと思っています。映画三部作は、ホビットの村での生活ぶりや、家の内部の構造まで緻密に考え抜いて作られていました。だからこそ、ファンタジーではあるけれど「どこかにこんな世界があるかもしれない」と思わせるリアリティと説得力があったんです。ヘラを描く際も、派手なカッコよさを見せるファンタジックなヒロ



厳しくも愛あふれる王

ヘルムは頑固で短慮なところはあるものの、武勇に優れ、一国を担う王として申し分ない器の持ち主だった。ローハンが周辺の有力な氏族をまとめ上げて繁栄したのは、彼の力あってこそ。その一方で、3人の子どもたちに分け隔てなく愛を注ぐ、一人の父でもあった。

ヘルム
声／市村正親
ローハンの王。戦争とそれによる悲劇で失意に沈む。だが、ヘラのおかげで自分を取り戻し、その偉大な強さと精神で後世の歴史に名を刻む



奔放なおてんば姫

ヘラはローハン王家の姫君ではあるが、その性格は実に奔放。頻繁に一人で城を抜け出しては、愛馬で野山を駆け巡ったりしている。だが、気さくで誰にでも優しい彼女は、領民みんなに慕われている。父王はやれやれとため息をつきながらも、並の騎士以上に巧みに馬を操り、行動力にあふれる娘を誇りに思っている。

大鷲
高山に住む巨大な鷲。ヘラに餌をもらい、心を交わせる。物語の終盤、ヘラの決死の頼みを聞き届け、ある大役を担うことに

ヘラ
声／小芝風花
ローハン王家の娘。女性ゆえに戦場に立つことは許されなかったが、かつての「盾の乙女」に続くようなリーダーの風格を備え、民を鼓舞する





怪物を制するには怪物で

荒野で暴走するムーマク（象に似た巨大な生き物）に遭遇したヘラ。自分が囮となってムーマクを森へと誘導した彼女は、とある沼へたどり着く。おびき出されたムーマクに向かって、沼から伸びた巨大な触手が襲い掛かった。そこは「水中の見張り番」と呼ばれる怪物の棲み処であり、ヘラはムーマクをより巨大な怪物に捕食させることで対処したのだ。

ロード・オブ・ザ・リング
ローハンの戦い

全国公開中
HP http://lotr-movie.jp



インではなく、現実にいてもおかしくない姫様を目指しました。

――その分、彼女が持てる力を精いっぱい使って頑張った、というのが伝わってきました。

神山　これが素子であれば、高性能な義体があるから超人的な活躍も納得できるし、バルサが男顔負けの強さを秘めているのは、それを裏付けるバックグラウンドがあるからです。一方のヘラは、表立った剣の修行はさせてもらえなかっただろうけど、頑固で奔放な彼女のことだから、きっと陰でコツコツ努力を重ねてきたのだろうな、くらいには戦える。そういうところが垣間見える立ち回りをさせました。また直接的な戦闘シーンだけでなく、土壇場での行動力や決断力、どんな困難にも負けない意志の強さや優しさなど、ヘラの内面的な強靭さを前面に押し出しています。そこは男たちには決して真似できない、女性だからこそのあきらめない強さでもあると思います。

――ヘラの良き理解者といえる、侍女のオルウィンと従兄のフレアラフについても教えてください。

神山　オルウィンは、かつて男が全員殺された村で、ヘルム王と共に戦った経歴がある「盾の乙女」。ヘラが戦える理由を補完するキャラクターです。フレアラフは、映画『ロード・オブ・ザ・リング／二つの塔』で活躍するセオデン王の直系の祖先に当たる人物です。ヘルムがローハンの始祖エオルの直系なのに対し、フレアラフはヘルムの妹の子どもでありヘルムの甥っ子。彼が王位を受け継いだことで、エオルの直系がヘルムで途絶えたというところにつながります。

――ヘラの父であるヘルムは、どのような人物として描きましたか？

神山　ヘルムは伝説に残るような勇猛果敢で偉大な王です。粗野で短慮なところがあって、それが原因でローハンを戦いに巻き込む原因を作ってしまうのですが、決して暴君ではなかった。厳しい一面はあるものの、子どもたちに深い愛情を抱く父親でもあった。僕は原作からヘルムの人物像をそんなふうに読み取りました。褐色国人が攻めてきた際に、民が彼の指示に従って最後までついてきたのは、ヘルムを偉大な王として慕っていたからなのだと思います。また、褐色国人の長・フレカの「娘をウルフの嫁に」という申し出を断固拒否する姿やその後の展開などから、子どもたちに対する思いの深さもうかがえました。そこでヘルムを勇猛な王としてだけでなく、父としての側面が伝わるよう描きました。

――原作のヘルムは偉大ではあるけれど、もっと脳筋なイメージでした。でも今作のヘルムはそれだけでない人物として、人となりに深みが出ています。

神山　欠点はあるけれど、人々から愛される王様だったと思うんですよね。だからこそ、後の世にまで名が残された。そこで今作でも、ヘラがたびたび城を抜け出して馬を駆っていたのも容認していたし、「わがまま娘」と言いながらも愛を注いでいた、という形にしました。父の愛に支えられていたからこそ、ヘラは自由奔放で活発な女性に育ったのだと思います。

――我が子のためにヘルムが自分の身を差し出そうとしたのもやや驚きでした。戦乱の世なら、国を守るた



ターグ将軍
声／山寺宏一
ウルフの参謀を務める理知的な武将。血気にはやるウルフをたしなめるが、正論である助言の数々が、時にウルフの心を逆なですることに……

ウルフ
声／津田健次郎
褐色国人の長の座に就いた後、ローハンの全滅を狙って侵攻する。幼い頃からヘラと共に育った幼なじみだが、その人生の歯車が狂っていく

仇討ちか？ 王位簒奪か？

ウルフは突如として軍を率いてローハンへ侵攻を開始した。建前の上では父の仇を討つためだったが、この機に乗じてヘルムを倒し、自らがローハンの王位に就くという野心もあったのだろう。あるいは長年、恋焦がれたヘラをどうにか手に入れたかったのか。そこは彼の中でも明確ではなかったのかもしれない。



ハマ
声／入野自由
ヘルムの次男。兄と違い繊細で心優しい青年。読書を好み、歌を歌い、竪琴を奏でる詩人でもある。ウルフ軍との戦で奮戦

ハレス
声／森川智之
ヘルムの長男。屈強な体格で、勇猛果敢さを父から受け継いだ熱血漢。敵のムーマクに飛び乗って兵を倒す活躍を見せる

ヘルム軍 vs ウルフ軍

百戦錬磨のヘルムは髪もひげもすっかり白くなったが、肉体の衰えはまったく見られない。正面きっての戦いならばどんな相手にも後れを取ることはないだろう。実際、ウルフ軍との戦いはヘルム軍が優勢だった。だが、予想外の事態に陥り、形勢は逆転。ヘルムは城まで撤退指示を出すが、味方は総崩れとなってしまう。



恐るべき ムーマクの軍団

機を見て、切り札であるムーマクの軍団を繰り出したウルフ。武装した戦闘用のムーマクは、以前ヘラを襲った手負いの個体とはわけが違った。ただ走るだけで、あらゆるものを蹴散らしていき、丸太で組んだ防壁など気休めにもならない。ムーマクの一群の突撃は、戦の行方を大きく左右することになる。



王冠をかぶった ものの……

ヘルムの城を占拠したウルフは、王冠を発見。それをもって、彼はヘルムに代わる王の座に就くことを宣言する。だが、ローハンの領主たちは誰もウルフの招集には応じなかった。ヘルムは敗走したとはいえ存命であり、何より領主たちは褐色国人のウルフを自分たちの王として認めていなかったのだ。ウルフの内で昏い炎がふつふつと燃えたぎる。

「槌手王（ついしゅおう）」の異名の理由

山奥の角笛城に立てこもったローハンの民は、長い籠城戦に入った。そのさなか、ウルフ軍の間で「夜な夜なヘルムの亡霊が現れて兵士を襲う」という噂が流れる。その亡霊の正体は、一人で城を抜け出して素手で敵をひねりつぶすヘルム本人だった。彼は敵兵だけでなく、オークやトロルのような巨大な怪物まで殴り倒していく。鬼神のごとき戦いぶりは、のちに「槌手王」と呼ばれ伝説と化すにふさわしいもの。敵軍の士気を大いに下げた。





現代人の精神性を反映しているのは、実はウルフのほう

めに子どもを見捨てるという決断もありえると思います。

神山　王様だろうが一般人だろうが、親の子に対する愛情は一緒だと思うんですよね。ただ、その気持ちを素直に出してしまうのがヘルムの人間性なんです。自分の答え一つで子どもの運命が決まる状態なら、ヘルムは躊躇しない。そういうところで、彼の人間くささを表しました。

ウルフを戦いへと駆り立てたものの正体

——敵役であるウルフは、非常に複雑な内面性のようです。ローハンに戦争を仕掛けた彼の行動原理について教えてください。

神山　ウルフを突き動かしていたものを一言で言うなら、自分の運命や背景に対する漠然とした「怒り」です。最初こそ、父フレカを殺したヘルム王に対して、「父の仇を討つ」という動機から始まりました。でも、ここまで大きな戦いを仕掛けて罪なき民も殺そうとするほど父を愛していたかというと、そういうわけでもないんです。

また、昔から想いを抱いていたヘラに求婚を拒絶されたのは、自分が褐色国人の血を引いているために蔑まれたのだと考えた。それまで氏族全体が不当に低い扱いを受けていたから、そう思うこと自体は仕方ありません。しかし、彼が褐色国人の地位向上のために氏族の代表として挙兵したのかというと、そうともいいきれない。何しろ、真冬の砦攻めのつらさに耐え兼ねた部下たちが故郷へ帰りたがっているのに、ウルフは戦を切り上げず、無益な攻撃を止めませんでしたからね。本当に同胞を思うのなら、そんな選択はしないはずです。

そして、恋焦がれていたヘラが目の前に現れても、彼の「怒り」は消えず、本気で決着をつけようとした。自分とヘラは結ばれないという運命や、自分を形成するバックグラウンドそのものを憎悪し、打ち倒そうと必死にもがいたのです。ウルフを突き動かしていたのは、言葉で言い表せないものに対する、内から吹き上がる憎悪や怒りです。おそらくウルフ自身、自分が何のために戦っているのか分からなくなっていたと思います。

——その姿は愚かしく、とても哀れに見えました。

神山　最後、ヘラは花嫁衣装で一騎打ちに現れます。ウルフに「何と契るのだ」と問われ、彼女は「死よ」と答えました。どうあっても自分とは結婚しないという強い意志を目の当たりにして、ウルフは勝っても負けても何も得られないことを悟ります。ただ、ヘラからすると、国に攻め込んできて民や兵を殺し、負の連鎖を生み出した張本人である男を、受け入れるはずがありませんよね。ある意味、ウルフは戦いでは何も得られないという不毛さを体現したキャラクターといえます。

——どんどん自分を追い込んでいったウルフ。この破れかぶれな思考停止ぶりは、単純な「悪」ではないですよね。

神山　そう、ウルフは決して悪人ではないんです。幼い頃、ヘラと剣術ごっこをしていて誤って顔を切られた時も、ヘラを庇うために、すぐ逃げるようにうながした。かつてはそんな思いやりもありました。ちょっとした運命の掛け違いや置かれた状況が、ウルフを闇に落としてしまった。本当に悲しい男なんですよ。でも、誰もがウルフに通じる部分をどこかに持っていると思うんです。先が見えない状況、どうにもならない境遇に対する、言葉にできない不満や不安。それは僕にもあるし、きっと皆さんの内にもある。ヒロイックなヘラやヘルムよりも、現代人の精神性を反映しているのは、実はウルフのほうかもしれません。二度目に劇場に行く時は、ウルフ視点で観ると、また見方が変わると思います。

——ウルフは時代性のメッセージを背負っているキャラクターと言えそうです。最後に、読者に向けてメッセージをお願いします。

神山　初めて『ロード・オブ・ザ・リング』に触れた時の「すごいものを見た！」という感動を味わえる映画にしたいという思いで作りました。限られたスケジュールの中でスタッフ全員が必死になって取り組んだ、その思いがのったフィルムになっています。ぜひ劇場で触れてみてください。



オルウィン
声／本田貴子
ヘラの侍女で、母親的な存在。怜悧さと包容力を併せ持つ。ウルフ軍の総攻撃に際し、ヘラをはじめとする身近な人々を守るために勇敢に戦う

「盾の乙女」の奮戦

戦える兵士もわずかとなり、もはや風前の灯火となった角笛城。だが、ヘラはみんなが生き残る道を模索し、オルウィンと共にできる限りの策を講じる。このしぶとさは、「槌手王」の娘にふさわしいものだった。



ヘラとウルフ 最後の激突

伝説の花嫁衣装に身を包み、ウルフに一騎打ちを挑むヘラ。自分は誰のものにもならない。結婚相手は「死」のみ。固い意思を告げたヘラは、ウルフと激しく斬り結ぶ。剣の修練を積み続けてきたヘラは、剣戟の果てに、ウルフの喉元に刃を突きつける。

TOPICS

最後は「盾の乙女」の出番

侍女オルウィンは、かつてローハンが危機に陥った際、女性でありながら剣と盾で武装して戦った「盾の乙女」の一人。ヘラがウルフの砦に囚われた際も、単身で侵入して救出に成功した。その度胸はヘラにも受け継がれており、最後まで、共にウルフに立ち向かった。みんなが行き詰まった時、最後になんとかするのは女性たちの力なのだ。



駆けつけた援軍

ヘラとの一騎打ちに敗れたというのに、ウルフは戦うことを止めなかった。彼が角笛城に総攻撃を仕掛けようとしたその時、武装したフレアラフ軍が駆けつけ、奇襲を仕掛ける！ 戦いの行方は如何に!?



フレアラフ
声／中村悠一
ヘルムの甥で、ヘラの良き理解者。戦を止めるよう王に進言したため、一時王都を追われるが、君主とその一族に対して最後まで忠誠を尽くす



Mic rewrites the ending

**言の葉党がついに
ディビジョン・ラップバトルに参戦!
そこにある、東方天乙統女の決意とは——?**





優勝者が得るもの

このバトルをもって、中王区が主催するディビジョン・ラップバトルは最後となる。優勝者は、真正ヒプノシスマイクが授与される。つまり、実質上この国を統べる権利を持つことになる。



彼女たちの言葉

乙統女たちはこのバトルを通じて、新たな正義を言葉の限り伝えるつもりだという。3人のバトルが観られるのは、Final Stage。一皮剥けた彼女たちから、どんなリリックが飛び出すのかに注目したい。



乙統女の思い

投票を通して一人一人の意思を伝えてほしい、皆でこの国の未来を築いていきたいと語った乙統女。政権を譲ることになりうる戦いをなぜ提示したのかは、新譜のドラマトラックで描かれている。

東方天乙統女
OTOME TOHOTEN
H歴元年にヒプノシスマイクを用いてクーデターを図り、政権を掌握した【言の葉党】のトップ。国から武力を廃止し、女性中心社会を築く。ディビジョン・ラップバトル主催

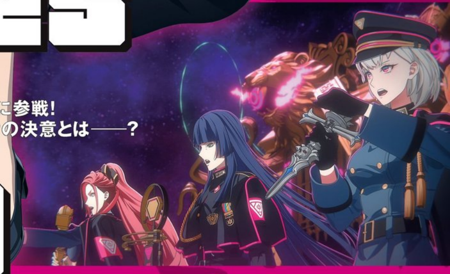


ついに新たなディビジョン・ラップバトルが開幕する。なんと舞台は、映画館のスクリーンだ。日本初となるインタラクティブ映画で、観客たちは手持ちのスマートフォンを使い、リアルタイムで投票した結果が勝敗を決める。つまり、上映回ごとにエンディングが異なるのだ。

そんなファイナルディビジョン・ラップバトルに、中王区がチュウオウ・ディビジョンとして参加する。その理由は、現在発売中の新譜『.言の葉党』で描かれている。

ドラマトラックの中で、中王区の3人は、それぞれ自分なりの答えを見つけている。東方天乙統女の見つけた答えは、一度政権を退くと言って行方をくらませていた間に、世間を見つめ続けたからこそ生まれたもの。劇中の演説シーンは、かつての物語を知る人であれば、胸が熱くなることだろう。

これまでも、彼女たちは強かった。しかし今回は、一味違う。かなりの激戦が予想される。来る2月に向け、心づもりをしておく必要がありそうだ。



乙統女は進み続ける

東方天乙統女役　小林ゆう



▲ファイナルディビジョン・ラップバトルのトーナメント表。栄冠はどのチームに？

いついかなるときも乙統女様に寄り添いたい

――ついに『ヒプノシスマイク』が映画になりますね。

小林　たくさんのファンの皆様の応援のおかげもあり、感謝の気持ちでいっぱいです。しかも映画は、日本で初めての「インタラクティブ映画」。本日（※取材時）、映画の完成報告会が開催され、私も登壇させていただきました。そこで、完成映像の一部を鑑賞して、その最新システムを体験させていただいたんです。

――劇場でバトルを観た観客がアプリを使って投票をし、その結果がリアルタイムでストーリーに反映するのですね。

小林　そうなんです！　この一票が結末に繋がるか大事な意味を持つということを噛み締めて、ドキドキしながら投じさせていただきました。この映画は、48通りのルートと、7つのエンディングが用意されているんです。本日一緒に登壇した監督さんやプロデューサーさんから「最初の企画は2020年頃に持ち上がった」と伺いました。4年以上かけて、ものすごく愛情を込めて作ってくださったんですよね。

――映画で描かれるのは、ファイナルディビジョン・ラップバトル。中王区もチュウオウ・ディビジョンとして参加するそうですね。映像の乙統女たちも、大変美しかったです。

小林　アニメスタッフの皆様が大切にキャラクターの皆様を描いてくださったことに心から感謝しております。皆さんとても表情豊かで、本当にかっこよくて。映画館ですから、繊細な息遣いや音の迫力も伝わってきて、圧倒されました。全ディビジョン合わせて16もの新曲が用意されているんです。ぜひそのすべてを、最高の音響でご体感いただきたいです。

――小林さんが演じる乙統女がドラマトラックに初登場したのが、2019年4月24日にリリースした「Enter the Hypnosis Microphone」でした。アニメや舞台などさまざまな展開をしてきましたが、ここまでの盛り上がりをどのように見ていますか？

小林　私が『ヒプノシスマイク』の存在を初めて知ったのは、渋谷に掲示された広告です。素敵なイラストで、キャストの皆様がラップをされるという内容に心惹かれまして、すぐに映像を拝見しました。そして、唯一無二の世界観、楽曲のあまりのかっこよさと素晴らしさに強い衝撃を受けたんです。「こんな素敵な世界があるんだ」と憧れていたところに、大変ありがたいことに乙統女様とのご縁をいただくことになりました。奇跡が起こったと思いましたし、今でも夢のようです。だからこそ、ここまで乙統女様と歩んでこられたことに、いつも心から感謝しております。

――乙統女は物語のキーパーソンです。これまでを振り返って、印象的だったエピソードはありますか？

小林　本当に、乙統女様にはいろいろな歴史がございます……。壮絶な過去も、言の葉党でやってきたことも、どれもこれも印象に残っています。その中で挙げるとすると、やっぱり息子の有栖川帝統さんとの時間は印象深いものでした。言の葉党から身を隠していた乙統女様が、Block Partyぶりに帝統さんと会話をするシーンがあったんです（『.Fling Posse』収録「Just Friend」）。乙統女様の母親としての素顔が垣間見えましたし、帝統さんの言葉が、新たな気持ちで己を奮い立たせるきっかけとなってくれましたから。

己の失敗を認めて再び立ち上がる強さ

――新譜『.言の葉党』のドラマトラック「Stay Gold」では、帝統の言葉を受けたり、世間の様子を見てきた乙統女の決断が描かれていましたね。

小林　乙統女様は言の葉党の象徴で総理大臣という立場もあり、いろいろな方が支えてくださっています。けれど、孤高で大変孤独な方です。無花果さんや合歓さんが側にいてくださるけれど、お二人にも見せない面を持っている、そんな奥深い方なのです。これまで、もし乙統女様がひとりぼっちになってしまったとしても、たとえどんなことがあっても私だけは乙統女様に寄り添いたいと願い、彼女の気持ちを大事に演じたいと思ってきました。だからこそ、今回のドラマトラックで乙統女様がこれまでの行いを振り返り、失敗を認め、また世の中を良くするために尽力しようと思うに至ったことに、強く胸を打たれたのです。小さなことでも大きなことでも、失敗を認めるというのは、簡単なようで難しいことでもあると思いますし、葛藤を伴うこともあると感じます。どんなことがあっても良き世界を目指していくという、かねてより持つ信念をぶらさずに、過ちを反省し前に進んでいく。そんな乙統女様に、この先も寄り添わせていただけたらと改めて思いました。

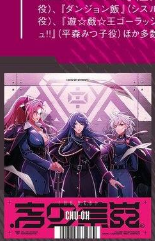
――新曲「Mic rewrites the ending」は、今の乙統女だからこそ歌える楽曲だと感じました。

小林　ありがとうございます。今の想い、葛藤や苦悩、そして顔を上げて進もうとする強さ、さまざまな乙統女様の表情が見られる一曲です。なお、この楽曲を作ってくださったのは、invisible mannersさん。私は本当に、invisible mannersさんの手がける楽曲が大好きで、これまでの曲も何度も聴いてきました。実は今回の楽曲を受け取った際、作曲家さんがどなたなのか知らなかったんです。「なんて素敵な曲なんだろう」と思いながら味わっていたら、レコーディングの直前にinvisible mannersさんだと聞き、感激と感謝の気持ちでマイク前に立たせていただいたのを覚えています。イントロから、乙統女様を音色で表現するならこれだと感じさせてくれるのですよ。美しくて高貴でミステリアスで、妖艶である乙統女様を感じられる音を、ぜひ皆様にも楽しんでいただけると嬉しいです。

――たくさん聴かせていただきます！　このCDで描かれたものの後日談が、映画『ヒプノシスマイク』に当たるわけですね。

小林　そうなのです。ぜひ楽曲とドラマどちらも聴いていただき、映画も楽しんでいただけますと幸いです。乙統女様率いる言の葉党はこれまで、猪突猛進だからこその強さがありました。そこに、自分の弱さや過ちも認めた新たなる乙統女様のパワーが加えられたように感じています。そしてその想いやパワーは、無限に広がっていけるものだと思うんです。映画の楽曲も、チュウオウ・ディビジョンの3人の生き様を感じさせるものとなっていますので、楽しんでいただけますよう願っております。

こばやし・ゆう／2月5日生まれ／東京都出身／ホーリーピーク所属／最近の出演作は『ぷにるはかわいいスライム』（宝代役）、『ダンジョン飯』（シスル役）、『遊☆戯☆王ゴーラッシュ!!』（平森みつ子役）ほか多数



『.言の葉党』
チュウオウ・ディビジョン
発売中
［通常版］¥2,530（税込）
［ELR Store 限定盤］¥6,000（税込）

映画「ヒプノシスマイク Division Rap Battle」

★2月21日（金）より全国の映画館にて公開
HP★https://hypnosismic-movie.com
X（Twitter）★@hyp_mv

STAFF　原作・音楽プロデュース／EVIL LINE RECORDS　キャラクター設定原案・世界観設定／EVIL LINE RECORDS・百瀬祐一郎　監督／辻本貴則　脚本／百瀬祐一郎　キャラクターデザイン／Kazui　アニメーション制作／ポリゴン・ピクチュアズ



撮影＝山本一人

ハニーレモンソーダ

毎週水曜日 深夜0時55分 フジテレビ「+Ultra」ほか
HP https://honeylemon-anime.com/





石森羽花 Uka Ishimori

いつも表情が固まってしまうことから「石」と呼ばれ、中学時代はいじめられていた。自分を変えたい、という強い思いを抱いている



三浦界 Kai Miura

派手な容姿と誰に対しても塩対応なことで、学校内外で有名な存在。しかし、困ったことがあれば自分を頼るよう羽花に言葉をかける

いちのせ かな／12月20日生まれ／北海道出身／シグマ・セブン所属／主な出演作は『メダリスト』（狼嵜 光）、『不遇職【鑑定士】が実は最強だった』（アリス）ほか

やの しょうご／3月19日生まれ／徳島県出身／スーパーエキセントリックシアター所属／主な出演作は『ギヴン』（佐藤真冬）、『Paradox Live』（円山玲央）ほか



自分を変える勇気を

引っ込み思案の石森羽花を変えたのは、クラスの人気者・三浦界。遠い存在だとばかり思っていた界と触れ合うことで、羽花の中に自分を変える勇気が芽生えた。恋愛・友情・家族愛、そして充実した高校生活がほどよく混ざり合う、レモンソーダのような弾ける恋物語を堪能しよう！



羽花のクラスメイト

些細なことがきっかけで、羽花と友達に



1 遠藤あゆみ Ayumi Endou

羽花の隣の席に座る。突然指名された数学問題に苦戦するも、羽花が助け舟を出してくれたことで、居残りを回避

2 高嶺友哉 Tomoya Takamine

常に笑顔を浮かべているが、何を考えているか分からない。界のよき理解者でもあり、一緒に行動することが多い

3 瀬戸 悟 Satoru Seto

あゆみの幼なじみで恋愛に関して"超"がつくほど鈍感。界や友哉とも仲が良く、ムードメーカー的な存在

変えたいのは環境じゃなくて自分自身。そう心に決めて、石森羽花は自由な校風が売りの八美津高校に入学した。しかし、「変わらなきゃ」と気張り過ぎて、逆に自分で呪いをかけてしまっていた。その張り詰めた気持ちを緩めてくれたのが、クラスメイトの三浦界だ。なぜ界が羽花を気に掛けているのかは分からないが、界のおかげで引っ込み思案な羽花にも変化が生まれ、少しずつクラスに溶け込んでいった。

『ハニーレモンソーダ』は、新しい友達と関係を築きながら前向きに頑張る羽花から、たくさんの勇気をもらえる物語。第1話でも、友達に自分から挨拶をするという一見小さな行動が、実は人間関係を築くのに大切なことだと気づかされる。界もさりげなく羽花を励ましつつ、あくまで一歩を踏み出すためには自分の意志が必要だと教えてくれている。

また、羽花と界の恋模様だけでなく、クラスメイトたちとの間で結ばれる絆や過保護すぎる両親とのやり取りが挟まることで、一層物語に深みを増している。少しずつ新しいことに挑戦し、自分の可能性を広げていく羽花から、行動することの大切さを感じてほしい。

羽花を中心に広がる人間関係

石森羽花役 市ノ瀬加那 × 三浦 界役 矢野奨吾







羽花ちゃんを演じているときは、全部が楽しい

羽花は前向きさを出し 界は優しいけど そっけなく

——演じている役の印象を教えてください。

市ノ瀬　羽花ちゃんは、心が折れそうになってもギリギリのところで踏ん張れる強い子だなと思いました。なので、原作漫画を読んでいて、私も羽花ちゃんのようにひた向きに努力できるようになりたいなって。羽花ちゃんが持っている軸をぶらさずに演じ切りたいなと意識しています。

矢野　界はクールな見た目に反して、優しい印象を受けました。彼の口から出てくる言葉は強く、周りに誤解を与えてしまうことが多いんですが、よくよく考えて聞いていると羽花ちゃんを思いやる言葉が散りばめられていて。なんで強い言葉を使うのかというと、自分で殻を破ってほしいから。どこまで踏み込み、どこまで相手に任せるか、相手への優しさの案配が上手。僕にはできない所業ですね。僕だったら好きな子に構ってほしくて、なりふり構わず優しくしちゃいます（笑）。

——矢野さんは公式のコメントで、「これまであまり演じてこなかった役柄に少し戸惑いもあった」と話していましたが。

矢野　コメントで言っている戸惑ったところがまさに、今お話ししたところなんです。何度も何度も、原作漫画を読むことで、自分の中でどこまで手を差し伸べ、どこで一歩引くのか、落としどころを決めていきました。それでも市ノ瀬さんの演じる羽花ちゃんの声を聴くと、どうしても界になり切れずに矢野が出てきて、柔らかい喋りになっちゃって（笑）。そのぐらい、引き込まれるお芝居なんです！

市ノ瀬　ありがとうございます。私は原作漫画を読んでいたとき、界の声が想像できなかったのですが、矢野さんのお芝居を聴いたときに、「あぁ、なるほど」と腑に落ちたことを覚えています。一見冷たい印象を受けるのに、とても優しい人だから案配が難しいはずなのに、矢野さんはとても上手い！

矢野　嬉しいな、ありがとうございます！

——演じるときに意識していることをお聞かせください。

矢野　界の優しさをどう表現するか、を意識しています。最初のころの僕の演技は、羽花ちゃんに寄り添いすぎていたみたいで、錦織（博）監督に「そこまで寄り添わなくていいよ」とディレクションをいただきました。他人と深い関わりを作らず、自分のテリトリーに入れないようにしているからこそ、界はもう少しそっけなくていいと。今思うと、オーディションのときから、僕は界の優しさを全面に出していたかもしれません。

市ノ瀬　ディレクションと言えば、私は「あまり暗くなりすぎないように」と言われましたね。私は物語序盤の羽花ちゃんを、人とどう関わっていいのか分からず、探り探りの状態だと認識していました。でも、羽花ちゃんが自分を変えるために起こした行動の一歩目は八美津高校に入学することで、すでに第1話で描かれたので、そこまで暗くなくていいと。ここから変わるんだという前向きな気持ちを出してほしいと言われ、声を張るようにしています。

——羽花、界を演じていて楽しいと感じたところは？

市ノ瀬　羽花ちゃんを演じているときは、全部が楽しいです。作品によって、プレッシャーを感じることもあるのですが、羽花ちゃんには感じなくて。余計なことも考えることなく、頭に浮かんだ演技プランを素直に演じることができていると思います。アフレコ現場に行くのが、とても楽しいです。

矢野　僕も全部が楽しいんですが、僕と界は全く異なる性格なので、毎話どういう演技をしたら界の魅力が伝わるか、と神経をとがらせて現場に行っていた気がします。トライ＆エラーを繰り返して、一つの作品を作っていると実感できたので、本当に楽しい現場です。

——ほかの共演者とは、現場でどんな話をされましたか？

矢野　役とキャストがぴったりだねという話をよくしています。特に遠藤あゆみ役の根本（京里）さんは、あゆみそのものと感じるくらい、場の空気を明るくしてくれていて。根本さんの話を瀬戸悟役の拓ちゃん（八代拓さんの愛称）はずっとニコニコと聴きながら、時折ツッコミを入れたりもしています。個人的に、悟とあゆみの関係性が好きなので、ずっとやりとりを聴いていられますね。

市ノ瀬　私も、この現場の温度感が気持ち良いと感じています。それに、京里ちゃんの演じるあゆみが私も本当に好きで。彼女の声を聴くと温かい気持ちになるし、背中を押してくれます。

矢野　僕は、拓ちゃんとディスカッションみたいなこともしています。拓ちゃんから「界はもっと、頭が良い感じの話し方をしてもいいんじゃない？　同級生たちと比べて社会的な経験をしているから、精神年齢を上げてみるとか」とアドバイスをいただきました。同じ高校生だけど、界ならきっと相手が同級生なら何を言おうとしているのか、どう行動したいのか、ある程度予測できる。そのぐらい頭を良くしていいと考えたときに、すごく自分の中で腑に落ちました。拓ちゃん、ありがとう。

——放送済みの第1話の中で、印象に残ったシーンを教えてください。

矢野　第1弾PVでも流れていた、羽花ちゃんの泣いているシーンかな。たまらなく愛おしい表情をしていましたよね～。きっとあの短い映像だけでも、羽花ちゃんに心を掴まれた方がいると思っています。

市ノ瀬　私は、界たちが羽花ちゃんのいじめっ子たちに反撃するシーンです。中学時代は誰にも頼らずいじめを堪えていたけど、界に「助けて」と言えるようになって。羽花ちゃん自身で小さな一歩を踏み出したところが観られて、私も嬉しくなりました。

——最後に、これからの注目ポイントを教えてください。

市ノ瀬　これからもどんどん新しいキャラクターが出てきます。その子たちと羽花ちゃんはどんな関係を作るのか。羽花ちゃんを中心に広がっていく人間関係に注目していただければと思います。

矢野　この作品は、自分よりも他人を大切にする羽花ちゃんを観て、応援したくなったり、勇気をもらえたりします。羽花ちゃんが何か行動をするたびに、皆さんもなにかしらのエネルギーを感じると思いますので、最後まで一緒に見届けていただけると嬉しいです。





偶然の出会い

羽花が落とした高校のパンフレットを、界が拾ったことが二人の出会い。界に「こっちが案外似合うんじゃねぇの」と八美津高校を勧められ、自分を変えるため行動するように。



再会は突然

界は外見の派手さが理由で同級生と押し問答しており、炭酸飲料をかけて追い払おうとする。だが、それが羽花にかかり、二人が再会して最初に交わした言葉は謝罪となり……。



助けてと言える友達に

誰かを頼ることができなかった羽花が、初めて「助けて」と言えた相手が界。直接言葉にして伝える大切さを分かってもらうため、羽花が話すまでは何もしないのが界流の助け方。



相手のことを思いやる言葉が散りばめられている



この感情は誰のもの？

「カノジョを作ればパワーアップできる」
研究に行き詰まりを感じていた明は
その言葉通り人造人間のカノジョ「0号」を科学的に作り出す——
クラウドファンディング達成率230％超の話題作がついに劇場公開！

水溜 明
Akira Mizutamari
昔の事故で右腕を失い、義手となった。筆跡トレースなどの機能が仕込まれている



0号
明が作った人造人間。友人やバイトを通じ、「カノジョ」や「人間」の振る舞いを学んでいく

メイクアガール

■2025年1月31日(金)全国ロードショー
HP■http://make-a-girl.com
X(Twitter)■@make_a_girl_pr

STAFF■原作・脚本・監督・絵コンテ・演出・CG監督／安田現象　音響ディレクター／今泉雄一　音響効果／上野 励　音響制作／ソニルード　音楽／末廣健一郎　アニメーション制作／安田現象スタジオ by Xenotoon　配給／角川ANIMATION
CAST■0号／種﨑敦美　水溜 明／堀江 瞬　大林邦人／増田俊樹　幸村 茜／雨宮 天　海中絵里／花澤香菜　高峰庄一／上田燿司　水溜 明（幼少期）／日向未南

日常生活をサポートするロボット「ソルト」と共存する近未来。ソルトを開発、製品化した天才科学者・水溜明は、新開発の研究に行き詰まりを感じていた。そんな時、友人から「カノジョを作ればパワーアップできる」と聞き、「0号」を作り出す。アルバイトや友人たちとの交流を通して、次第に人間らしい存在へと変化していく0号。一方で、明は0号を作ったところで、思うような成果が出ないことに苛立ちを覚えていくのだった。

全編フル3DCGで描かれる本作は、ショートアニメやMVで高い評価を得る安田現象監督の初劇場用長編アニメーション。大胆なカメラワーク、躍動する生命感、そして息を呑むアクションが観る者を圧倒する。安田監督の技術が生む映像表現と、感性が紡いだ物語は、新しい視聴体験を与えるだろう。

0号には、明に恋愛感情を持つようプログラムされている。しかし、彼女はその感情が果たしてプログラムによるものなのか、自身の感情なのか思い悩む。そんな0号に対し、それは感情ではなくプログラムだと明は切り捨てるのだが……。予測不能な物語展開と二人が選ぶ衝撃の結末は、ぜひ劇場で目撃してほしい！

原作・脚本・監督
安田現象 × 0号役 種﨑敦美

できなかったことができた喜び

着想のきっかけは孤独を打ち消すこと

――『メイクアガール』を着想したきっかけからお聞かせください。

安田　僕は制作に集中するために、仕事を辞めてニート生活をしていた時期があるんです。一人で制作に没頭できる環境だったのですが、孤独を強く感じることもあって。そのうち「人と直接関わらずに人間関係を築くこと」を考え始めました。思考を重ねる中で、「科学的に人を作る」というアイデアが浮かび、その着想から短編『メイクラブ』を制作したんです。『メイクアガール』はそれを長編用に再構築したものになります。

――種﨑さんは『メイクアガール』にどのような印象を持ちましたか？

種﨑　「人造人間」や「科学的」と、近未来的な描写が際立っている作品だなと感じたのが最初の印象です。でも、物語が描いているのは「心」なんですよね。台本を読み進めるうちに、「科学」と「心」のアンバランスさがとても魅力的に映るようになりました。

――0号の名前と外見はどのようにして決めたのでしょう？

安田　名前には「試作品」という意味を込めました。0号の後、水溜明が人造人間を本格的に作る必要性を感じた時に1号、2号……と続けていくと。外見は、作られた存在の儚さと、危うい感情のバランスが観客のみなさんに伝わるよう意識しました。

――種﨑さんが0号を演じる上で意識されたことは？

種﨑　データに基づいて感情が組み込まれているけれど、彼女は明に作られた存在です。本編で邦人も言っていたように、生まれたばかりの存在なんですよね。0号が人と触れ合い、観察し、経験して成長していく様子を「まっさらな子供」として捉え演じました。

――0号の「お待たせしました」のセリフ、とても心に残りました。

種﨑　このセリフの前には、0号が階段をスムーズに上がる描写や、ソルトの仕事を先回りしてこなす描写があります。観察と経験を経て成長した彼女の姿を象徴するセリフなので、「成長した喜びや感情を見せなければ！」との思いで演じました。このセリフで、できなかったことができるようになった0号の喜びを感じてもらえたら嬉しいです。

――収録での思い出があればお聞かせください。

種﨑　休憩中に、監督が「アニメ制作の現場はこんなふうになっているんだ」と話していて。「経験したこと全てを自分の作品や創作活動に活かそうとしている……！　貪欲なクリエイターやでえ！」と感動したのを覚えています（笑）。

――監督はこれまで一人で制作することが多かったと思います。今回の現場で得た新たな知見などがあれば教えてください。

安田　一人での制作は自由な反面、体力の限界や制限がありました。その結果、コンテンツをコンスタントに制作・供給するために、多くのアイデアを諦めざるを得ないこともあって。本作はアニメーター4人にモデラー3人と、少人数ではありますが、複数のスタッフで制作しています。僕にはない発想や、一人ではできずに諦めていたクリエイティブを見ることができました。これらの経験は今後の糧になると思います。

制作者と作品に似た明と0号の関係性

――明のイメージはいかがですか？

種﨑　明は優秀だからこそ、お母さんの偉大さを理解し、追いつきたい超えたいと考えながら日々研究に没頭しています。そんな彼を私はなんだか苦しそうだなと感じたんです。でも、堀江瞬さんが明を演じたことで、人間味が加わって。

安田　一言でいえば、明に愛嬌が生まれました。台本だけだと嫌な感じが強かったんですが、堀江さんに明を観客が愛せるようなキャラクターにしていただけました……って、僕が言ってよかったですか？（笑）

種﨑　大丈夫です（笑）。無機質な感じの明にすることもできたはずなのに、明と堀江さんの個性がシンクロして深みが出たというか。

安田　まさに仮アフレコ時は無機質な方向性だったんですが、堀江さんのおかげで明は愛せる男となりました。これが役者さんによるブラッシュアップなんですね。

種﨑　改めて「お芝居って面白いな！」と感じました（笑）。

――明と0号の関係性を描くにあたり、監督が込めた思いは？

安田　0号は明が明確な願いを込めて作った存在です。しかし、彼の思い通りの機能を果たさないし、意思に反した動きもたくさんします。作ったものが自分の意図したことと違う立ち回りを見せる瞬間って、ショートアニメの感想と似ている部分があるんです。みなさんに、制作意図を超えて作品がいろいろな形で受け取られ、キャラクターが一人歩きしていく。その様子が制作者として面白くもあり寂しくもあり……。そんな作品と僕の関係性も重ねました。

――本作ではある仕掛けもあります。

種﨑　第一声を聞いた瞬間に、「仕掛けがバレるかも？」と心配していました。でも、この仕掛けがあることで、「強い想い」がより観客のみなさんに伝わり、物語の深みも増すのではないかと思いました。安田現象監督作品らしい仕掛けだなとも感じました。どんな仕掛けなのか、ぜひ確かめてほしいです。

――最後に読者にメッセージをお願いします。

安田　たくさんの応援のおかげで、無事に商業アニメ一本目を劇場公開することができました。この先も長編2作目、3作目と作っていけるよう、『メイクアガール』の応援をよろしくお願いいたします。

種﨑　安田監督の経験と技術、そして思いが詰まった作品です。これまで監督の作品や監督自身を見守ってこられた方も、今回初めて安田監督の作品に触れる方も、それぞれ違った視点で楽しめると思います。一見複雑かもしれませんが、テーマは実はとてもシンプル。『メイクアガール』は自由な受け取り方、楽しみ方ができる作品です。どうぞよろしくお願いいたします！

たねざき・あつみ　9月27日生まれ／大分県出身／俳協所属／主な出演作は『わんだふるぷりきゅあ！』（犬飼いろは／キュアフレンディ）、『魔神創造伝ワタル』（天部カケル）ほか

やすだ・げんしょう　アニメーション作家、3DCGアニメーター。ゼノトゥーン所属。主な作品に『メイクラブ』、『異世界システム』『0.2秒の物語』、MV『正しくなれない（ずっと真夜中でいいのに。）』など



何を作ったらパワーアップできる？

安田　僕はめちゃめちゃデカいぬいぐるみです。ファーの長さやサイズ感、重みなどをカスタマイズできる、大きなぬいぐるみがあると嬉しいです。デカいぬいぐるみの包容力は、大人にこそ必要なのだと知りました。

種﨑　絶対に作ることはできないんですが……漫才ができる相方（笑）。相方にネタを作ってもらい、私の中のまだ見ぬ「オモロイ」を引き出してほしい。ボケとツッコミとかまでを決めているわけじゃないですけど、そんな相方が作れたら私はパワーアップする気がします（笑）。

ソルトにお願いしたいことは？

安田　作業中の応援と、散歩に付き合ってもらうことですね。気がつけば10時間歩いていることもあるくらい。そこまで付き合ってくれる友達はさすがにいないので（笑）。

種﨑　私の思考をソルトにインプットして、私が今何を言いたいかを正確に言語化してほしいです（笑）。



明の功績と新たな研究

人々の生活に欠かせないロボット「ソルト」を開発した明。それは母親の遺したデータを再構築したにすぎないと彼は語る。母を超える発明を目指し、明は日々研究を続ける。





明のよき理解者たち

明のクラスメイト・幸村茜と大林邦人。茜は0号の世話を焼き、邦人は明に0号を作るきっかけを与えた。大学院生の海中絵里も明を気にかけ、毎日のように彼のラボに顔を出す。



心を学ぶ0号

当初は、明がイニシアチブを取っていたが、茜からカノジョとして振る舞いを学んだ0号は、買い物に連れ出すなど明をリードしていく。0号の表情の変化にも注目しよう。

劇場版プロジェクトセカイ 壊れたセカイと歌えないミク

♪1月17日（金）より全国ロードショー
HP♪https://sh-anime.shochiku.co.jp/pjsekai-movie/
X（Twitter）♪@pjsekai_movie





閉ざされた窓のセカイの初音ミク

“想いの持ち主”たちが“本当の想い”を見つけられるように願い、歌を届けようとしている。しかし、それができず思い悩んでいる









〃想い〃は届く！

大人気『プロセカ』がアニメ化され、間もなく劇場公開される。本記事を読めば、ゲームをプレイしたことがない人でも楽しめること間違いなし！

数多くのボカロ人気曲を楽しめる人気アプリ『プロセカ』は、リズムゲームでありながら、ストーリーも大きな魅力。ミクたちバーチャル・シンガーに支えられつつ、少年少女が抱える“想い”や悩みと向き合い成長していく。中高生を中心にファンが多く、全世界で3900万ダウンロードを記録。このメガヒットコンテンツがアニメ化され、1月17日からいよいよ全国の映画館で公開される。

注目すべき点は、「閉ざされた窓のセカイの初音ミク」という、ゲームにいない新たなミクの登場。「歌を届けたいのに、届けられない」。そんな悩みを抱える彼女を5つのユニットの少年少女がサポートする物語だ。また、作中のOP主題歌「はじまりの未来」はsasakure.UKと40mPが、ED主題歌「Worlders」は、じんが担当。編曲としてTeddyLoidが参加。そして5つのユニットとバーチャル・シンガーたちによる新曲をDECO*27が制作している。完全オリジナルストーリーで人気クリエイターたちの楽曲を楽しめる映画となっている。

ストーリーを楽しむもよし、音楽を楽しむもよし。劇場版ならではの大スクリーンで、ミクたちの物語をあたたかく見守ろう!









花里みのり

アイドルユニット「MORE MORE JUMP!」で活躍中。アイドルは未経験だったが、たくさんの人に希望を届けるために日々奮闘している

MORE MORE JUMP!

アイドルになることを夢見てオーディションに挑んでいたみのりが、さまざまな事情で芸能界をあきらめかけていたメンバーたちと結成したユニット。どの事務所にも所属しておらず、今のところメインは配信活動。







星乃一歌

バンドユニット「Leo/need」のギターボーカル担当。根は優しくて、友達想い。いろいろなクリエイターたちが制作したミクの歌を聴くのが好き

Leo/need

幼馴染み4人によるバンドユニット。さまざまな事情からすれ違い、一時は疎遠となっていたが、療養をしていたメンバーの天馬咲希が復学したことをきっかけに、再び集結。すれ違いを乗り越え、音楽活動に邁進している。



「セカイ」とは

人々の“本当の想い”によって作られた、現実の世界とは異なる場所。セカイは“想い”の数だけ存在し、姿かたちを変えていく。本作では5つの各ユニットがそれぞれ異なるセカイを生み出し、そこでバーチャル・シンガーたちと交流している。

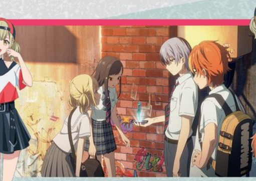




AZUSAWA
KOHANE

小豆沢こはね

ストリートユニット「Vivid BAD SQUAD」のメンバー。白石杏に導かれるように、ストリートの音楽へと足を踏み入れ成長している





Vivid BAD SQUAD

実力派ストリートユニット。白石杏の父親が主宰した伝説のイベント「RAD WEEKEND」を超えたいと結成された。それぞれの“想い”を衝突させながらも、同じ夢に向かっている。

YOISAKI
KANADE

宵崎 奏

音楽サークル「25時、ナイトコードで。」の作曲担当。過去の経験から、「誰かを幸せにする曲」を作りつづけなければと考えている







25時、ナイトコードで。

ボイスチャットツール「ナイトコード」を通じて知り合った4人による音楽サークル。最初はネット上の付き合いだけでお互いの顔も知らなかったが、とある出来事をきっかけに顔を合わせた。





TENMA
TSUKASA

天馬 司

「ワンダーランズ×ショウタイム」の座長。自信過剰な目立ちたがり屋という一面もあるが、世界一のスターを目指して努力している





ワンダーランズ×ショウタイム

テーマパーク「フェニックスワンダーランド」のキャストたちによるショーユニット。パークの一角にあるさびれてしまったショーステージ「ワンダーステージ」を再び盛り上げるため、日々活動を続けている。

初音ミクと少年少女たちの新たな物語



“想いの持ち主”たち

自分の夢——“本当の想い”を抱えながらも、希望を失ったり人間関係で悩んだり……。さまざまな理由で、夢と向き合うことを諦めた人々。彼らには、ミクの声、姿がノイズとなって届かず、邪魔な存在として拒絶してしまう。



バーチャル・シンガー

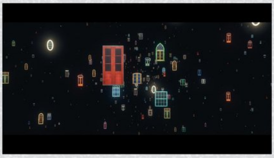
現実世界のバーチャル・シンガーは、世界中のクリエイターが作り上げた歌を表現する存在だ。セカイでは言葉を話し、“想い”の持ち主が“本当の想い”を見つけ出すサポートをしてくれる。彼らの姿はセカイによって異なっている。

STORY

ある日、CDショップに立ち寄った星乃一歌は、聴いたことのない初音ミクの楽曲を耳にした。モニターにはなんだかさみしげな表情の彼女を見つけ、思わず「ミク!?」と口に出してしまった。すると画面のなかのミクは驚き、一歌と目を合わせたもののすぐに姿を消してしまった。

後日、路上ライブを終えた一歌のスマホに、以前見かけたミク——「閉ざされた窓のセカイの初音ミク」が姿を表した。そこで話を聞いてみると、彼女は“想いの持ち主”たちに歌を届けたいが、いくら歌っても、その歌が届かないと言う。そしてライブで多くの人に歌を届ける一歌の姿を見たミクは、一歌のことを知れば歌を届けるヒントになるかもしれないと思い、やってきたのだ。

ミクの願いを聞いた一歌は彼女の願いを叶えるべく、一緒に悩みと向き合うことに。そして「閉ざされた窓のセカイの初音ミク」は、多くの少年少女たちの“想い”と触れ合うことになるのだが……。ミクは“想い”を届けることができるようになるのだろうか。



閉ざされた窓のセカイ

「閉ざされた窓のセカイ」とは、不特定多数の“想いの持ち主”たちの“想い”によって生み出された場所。あきらめの“想い”に侵食されているため、暗く深い絶望感に満ちたセカイとなってしまっている。



『プロセカ』とは？

セガとColorful Paletteとの協業によるiOS/Android用の人気アプリゲーム。動画サイトなどで話題の人気楽曲はもちろん、人気クリエイターたちによる書き下ろしの曲を多数収録。音楽とストーリーを楽しめるボリュームたっぷりのゲームだ。




生徒会と双子

生徒会メンバーで構成された地球征服部、交換留学生として転校して来たVEPPerの姿も。TVシリーズでかつては敵対したこともある彼らと、今作ではどんな関係になるのだろうか?




地球がピンチ!?

地球防衛部のメンバーがバトルラヴァーズに変身したということは、地球に何かの危機が迫っているということ!? 果たして一体どんな敵が現れるのか、彼らのバトルに期待だ!



新たなもふもふ

『美男高校地球防衛部』シリーズに欠かせない、もふもふのマスコットキャラクター(地球外生命体)。本作でも新たなキャラクターとして、猿のようなアイアイが登場する。



騎士団たちも参戦

『美男高校地球防衛部HAPPY KISS!』シリーズから、カルルス騎士団ハッピーキッスとフラヌイ騎士団エーデルシュタインも参戦! シリーズの枠を超えての共演に、期待が高まる!



もふもふ大集合

バトルラヴァーズたちだけでなく、各シリーズに登場した地球外生命体たちも大集合。ウォンバットに加え、ズンダー、ダダチャ、カルルス、フラヌイと、"かわいい"がたくさん♪



鬼怒川熱史
Atsushi Kinugawa

真面目な性格で、地球防衛部のツッコミ兼まとめ役的存在。事なかれ主義だが、一度火がつくとアツくなり、周りが見えなくなることも

愛よ、再び!

『美男高校地球防衛部LOVE!』の放送10周年を記念して、劇場版がオール新作カットで公開! TVシリーズ後のバトルラヴァーズたちの姿が描かれる最新作を要チェック!!

バトルラヴァーズにラブメイキング(変身)し、数多の怪人たちと戦い、地球の平和を守ってきた地球防衛部の有基、煙、熱史、硫黄、立の5人。これまで地球が愛にあふれる世界を築けてこれたのも、彼らのおかげである。地球外生命体のウォンバットが地球を去り、有基たちがバトルラヴァーズを卒業してから10年後、再び物語が動き出す――!

高松信司監督をはじめ、これまでのシリーズを支えてきたお馴染みのスタッフが集結。脚本を横手美智子、キャラクターデザイン原案を宮脇千鶴、キャラクターデザインを宮川知子、音楽をyamazoが担当する。最強の布陣で、10年後の有基たちをどのように描いていくのか。そして、バトルラヴァーズの前にどんな敵が立ちふさがるのか!?

もちろんキャストも続投! 10年前の当時と変わらぬノリで、収録に臨めたそう。10年経って変化したキャラクターたちをどのように演じたのか、キャスト陣の芝居にも注目だ。

Illustrated by Wakana Imura
Supervised by Tomoko Miyakawa
Color coordinated by Kaori Nakahira
Painted by Takayuki Yokose & Yuka Aoki
Special effect by Naoyuki Fukuta

劇場版 美男高校地球防衛部
ETERNAL LOVE!

❤2025年1月24日（金）公開
HP❤https://boueibu.com/movie/



由布院 煙
En Yufuin
熱史とは中学時代からの親友。面倒くさがりな性格だが、やる気になればできる派。10年前は老け顔であることを気にしていたが……

箱根有基
Yumoto Hakone
底抜けの天真爛漫な性格で、地球防衛部のムードメーカー的存在。実家の銭湯「黒玉湯」は、仲間たちのたまり場兼憩いの場でもあった



皆さんとの再会をずっと確信していた

――劇場版の制作が決定したときのお気持ちをお聞かせください。

山本　これだけ年月をかけて企画してくれて、本当にうれしいです。でも、何となくあるような気がしていたんです。最後の『防衛部』のライブのときも、「何年後かにまた集まれたらいいね」という思いを込めて、僕は皆さんに「またね」と挨拶しましたし。

――気持ちとしては準備万全という状態だった？

山本　そうですね。驚きの「うおー!?」というより、待っていたものがようやく来た「よし！」みたいな感覚でした。

――制作決定の話を聞いて、ほかのキャストと連絡を取られましたか？

山本　他の現場で会ったときに話題に上がりはしましたが、僕は『防衛部』の現場で話したかったので、特にメッセージを送ったり、電話したりというのはなかったですね。

――実際に『防衛部』の現場で皆さんと再会していかがでしたか？

山本　西山（宏太朗）さんは本人曰く、不祥事で参加できなくて……もちろん嘘ですけれど（笑）。残念ながら体調不良で、西山さん以外の4人で収録しました。僕が期待していた通り、その場に行くとタイムスリップするとまではいかないけれど、年月を経ても『防衛部』の現場の空気感がすぐ戻ってくる感じがしました。正直、10年経った感覚はなかったです。

――有基を演じるのも、ブランクなくスッと入っていけた感じで？

山本　アフレコに入る前に、いろいろと考えはしていたんです。「どんな感じでいこうかな」とか、「テストをやれば当時を自然と思い出して、意外と口からスッと出るのかな」「とはいえ10年も前だからな」って。でも、それは他のメンバーもそうだと思うので、それも共有しながら……その場で口には出さないけれど、お芝居で合致したらいいな、みたいな感じでした。

――10年後ということで、有基を演じるにあたって意識したことがあれば教えてください。

山本　〝10年後だから〟と意識したことは、あまりなかったです。台本上でも、有基はそこまで変わっていないという設定だったので。一応、これまでの『防衛部』を観て雰囲気を掴んだ上で、僕の中にDNA的に入っている『防衛部』を基準に、今の10年後の自分の感覚を乗せました。

箱根有基役　山本和臣



防衛部は第二の学校生活

Kazutomi Yamamoto
1月3日生まれ／兵庫県出身／アミュレート所属／主な出演作は「月刊モー想科学」（ジロー・田中）、「あんさんぶるスターズ!」（春川 宙）ほか

みんなを引っ張る有基は今や兄貴のように頼もしい

――有基はそこまで変化はありませんでしたが、山本さんは10年前と現在でどんな変化がありましたか？

山本　視野が広くなった！　昔は思ったことをすぐ口に出して言っていたのですが、10秒くらい飲み込めるようになりました（笑）。

――それは意識してそうしようと心がけたのでしょうか。

山本　そうです。一度飲み込んで、噛み砕いて柔らかくしてから吐き出したほうがいいんだなと思って、意識してそうするようにしていました。

――山本さんにとって、『防衛部』という作品と箱根有基というキャラクターはどんな存在でしょうか。

山本　有基って意外とはっきり物事を言うんですよね。今回の劇場版でも思ったのですが、引っ張る力がすごくある。みんなを引っ張っていくような力と、勢いと、雰囲気があるんだろうなと思うし、今や兄貴みたいな感じで頼もしいです。一緒にいてくれると安心できる存在ですね。

『防衛部』は、僕にとって第二の学校生活ですね。「勉強しよう！」という感じじゃなくて、部活というのが一番近いかも。みんなでひとつのものを盛り上げて、力を合わせて活動して……みたいな感覚があります。

――公開を楽しみにしているファンへメッセージをお願いします。

山本　まずは、皆さんお待たせしました！　僕は、皆さんとまた会えることをずっと、何ひとつ疑わずに過ごしていました。新たに劇場版となって、皆さんと一緒に時を過ごせることができるのは、変わらず応援してくださった皆さんのおかげです。布教してくださっている方のおかげで、放送が終わった後も「今、観ています！」という反応もいただいていました。この記念すべき10周年を、皆さんが広げてくれた輪とともに、一緒に劇場でお会いできることを本当にうれしく思っています！　劇場でお待ちしております!!



黒玉湯に何が!?
傷ついた有基を支える強羅、その背景にはボロボロに壊れた銭湯「黒玉湯」の姿が――。有基の身に、そして黒玉湯に一体何があったのか。何者かの襲撃だろうか、それとも……!?



筋肉量UP！
先代のバトルラヴァーズであり、有基の兄である強羅。10年間ほぼ見た目が変わらない有基に比べ、強羅は以前よりも筋肉量が増して、さらにたくましくなったように見える。



変わらない有基
15歳だった有基も、25歳となり大人となったが……見た目は高校生のときからほぼ変わっていない!?　10年という月日を感じさせない有基の年齢の重ね方に、驚きを隠せない！

由布院煙役　梅原裕一郎 × 鬼怒川熱史役　西山宏太朗

キャラクターも一緒に年齢を重ねていて一安心

――劇場版の制作が決定したときのお気持ちをお聞かせください。

梅原　1年くらい前に、「どうやら何か動いているぞ」という噂を聞きました。そのときはTVシリーズなのか、劇場版なのかは定かじゃなかったのですが、とにかく「何かしらやるらしい」という話だったので、久しぶりに由布院 煙を演じられることがうれしかったです。どんな物語になるのか、すごく気になりました。

西山　率直にうれしかった、それに尽きますね。このプロジェクト――劇場版になって『防衛部』が帰ってくることをお知らせして、ファンの方たちが喜んでくれたときの気持ちと同じです。僕も「またやってくれるんだ！」とうれしくなりました。僕にとって『防衛部』は初めての30分もののレギュラーで、すごく思い出深いんです。初めて台本をいただいたときなんて、その台本が愛おしすぎて抱きしめながら帰りました。そのときの初心に帰らせてくれるような感慨深さもありました。

――台本をご覧になっての感想は？

梅原　現実世界だけでなく、キャラ



主題歌

本作を彩る主題歌は、バトルラヴァーズが歌唱を担当。これまでの『美男高校地球防衛部』の楽曲を作ってきた園田健太郎さんによる、“愛を思い知れる”主題歌となっている。



幼馴染

変わらない関係性もあれば、変わる関係性もある。TVシリーズでこじれていた熱史と幼馴染・草津錦史郎の関係は、10年という月日を経て、何か変化はあったのだろうか？



どんな裏切りが!?

キャラクターたちの10年後の姿を描いた本作は、まさに10周年記念にふさわしい企画！しかし、西山さん曰く、『美男高校地球防衛部』らしい裏切りが待っているらしい!?



アドリブ炸裂

TVシリーズの頃からウォンバット役の麦人さんはアドリブが多く、そのアドリブがウォンバットのキャラクターに深みを与えていた。本作でもアドリブが炸裂しているとのこと！

クターたちも10年近く経っていることに、一安心しました（笑）。当時のままのノリの演技を今やってほしいと言われたら、逆に難しい部分ではあったので、彼らも歳を取っていてよかったです。

西山 10年経っていることを知ったときは、「そうそう、そういうのが観たいんだよ！」と思ったんですが、詳しく内容を見てみると「え？」みたいな（笑）。ビックリする点がたくさんありましたが、それは決してネガティブなビックリではなくて、『防衛部』らしいいい意味での裏切りでしたね。『防衛部』に帰ってきたんだなと、改めて実感できるシナリオになっているなと思いました。

――久々のアフレコでしたが、残念ながら西山さんはご一緒できなかったそうですね。

西山 そうなんです。他の4人は一緒に収録できたという話は聞きました。

梅原 久しぶりではありましたが、そんなに気負うこともなく、マイク前に立てば当時の雰囲気のままやれましたね。録っていく最中で、「麦人さん、あんなアドリブしていたな」といった思い出話が出たり、「一人足りないな」「アイツは本当についてないね」みたいな話も出たり（笑）。

西山 ついてないんです、本当に（苦笑）。

梅原 10年経っているというのもあって、「どんな感じで再現できるかな」と思っていたのですが、いざ掛け合ってみたら、本当に当時のノリと空気感が戻ってきた気がしました。

西山 僕はみんなが収録したものを聞きながらの収録でした。一緒に収録できなかったことは本当に申し訳ない気持ちでいっぱいですが、みんなの声をちゃんと感じながら収録できてよかったです。「愛の力を、思い知れ！」といった決めゼリフたちも、みんなの隣で息を感じ合ってやっているかのようにできて、ちょっとエモーショナルな気持ちになりましたね。

――変身の口上は、今回の劇場版用に新規で収録したとか。久しぶりの口上を口にしていかがでしたか？

西山 馴染みがあるもんだなと思いました。昔、いっぱい練習したなぁという記憶も呼び起こされましたし。

梅原 僕は本当に忘却の彼方だったので……（苦笑）。以前の映像を調べて、「こういう感じでやっていたんだな」と自分で自分の真似をするみたいな感覚でしたね。

――印象に残っているディレクションなどはありましたか？

梅原 今回の劇場版に限らず、TVシリーズでもそうだったんですが、基本的にそんなにディレクションがないんです。僕たちにお任せという感じなので、それが逆にプレッシャーではあります（笑）。本当にほぼほぼ何もなく、テストをやって、すぐ「じゃあ、本番いきます」「あ、終わっちゃった」みたいな。収録自体も、かなり早く終わりましたね。

西山 そもそも劇場版を録るキープ時間じゃなかったよね（笑）。30分ものかなと思うキープ時間しかなかったので。

梅原 そうですね。しかも、30分ものアニメより早く収録が終わった（笑）。

――皆さんの中でキャラクターができあがっているから、それだけスムーズなのでしょうね。

梅原 ほぼほぼ録って出しくらいの感じでした。ギャグアニメなので何度も繰り返すよりは、やっぱり生のままがいいですからね。そこの緊張感は、「TVシリーズでもこんな感じだったな」と思いました。

西山 でも、僕の鬼怒川は、「ちょっと歳を重ねすぎ」みたいな指摘がありました（笑）。やっぱり声の出し方やアプローチが、10年前とは変わっているのかもしれないな……なんて感じたのですが、ちょっとでも当時の鬼怒川の雰囲気を出せるように頑張りました。



想いが詰まった新主題歌にも注目！

――お二人は10年前と現在でどんな変化がありましたか？ 相手の変化したと思うところは？

西山 梅原さんは健康的になったかもしれないですね。

梅原 そんなに不健康でした？（笑）

西山 もっと細かった！

――当時の取材でも、「ご飯をあまり食べない」というエピソードが出ていた覚えがあります。

梅原 ああ、そうでしたね。

西山 細いイメージがあったけれど、気がついたら途中で筋肉キャラになっていました。今はしっかりと食を楽しまれていますよね。食好き、おいしいもの好きになったと思うので、一番の変化は「食への興味」ですね。

――梅原さんから見た西山さんはいかがでしょうか？

梅原 10年前は生きづらそうだったので……。

西山 （笑）。

梅原 それに比べたら、今はすごく伸び伸びとやられているなと思います。

西山 でも、今はいいんだよね？

梅原 今はいいです。

西山 今がいいならいいです！ でも、10年前はそう思っても助けてくれなかったってことですよね!?（笑）あの時手を差し伸べてくれていたら、もっと早く楽になれていたかもしれないのに！

梅原 いやいや、そういうのは自分でやらなきゃいけない（笑）。

西山 （笑）。

――公開を楽しみにしているファンへメッセージをお願いします。

梅原 お約束なやり取りもたくさん散りばめられていますし、TVシリーズを観ていただいた方はニヤリとするシーンが多いんじゃないかなと思います。駆け抜けていくスピード感を楽しみつつ、新たな希望を見出せるようなお話にもなっています。引き続き応援していただければ、何かしら展開があるんじゃないかなと思っています。

西山 肩肘張らずに気軽に楽しめるだけでなく、満足度の高いクオリティとボリュームになっている作品です。ぜひたくさんの方に観ていただいて、愛してもらいたいなと思っています。そして、主題歌も今回新しく録りました！これまでの『防衛部』の楽曲を作ってくださった園田健太郎さんが、改めて『防衛部』への想いを込めて作ってくださった曲になります。みんなで楽しく歌ったので、こちらも楽しんでいただければうれしいです！



笑いと希望を見出せる!?

Yuuichirou Umehara

3月8日生まれ／静岡県出身／アーツビジョン所属／主な出演作は、「星降る王国のニナ」（アズール）、「RINGING FATE」（サブロー）ほか

Koutaro Nishiyama

10月11日生まれ／神奈川県出身／81プロデュース所属／主な出演作は「桃源暗鬼」（皇后崎迅）、「Re:ゼロから始める異世界生活 3rd season」（キリタカ・ミューズ）ほか

鳴子硫黄役 白井悠介

♨ 10年のブランクを感じたとあるハプニング!?

——劇場版の制作が決定したときのお気持ちをお聞かせください。

白井 正直、驚きが大きかったです。でも、噂では聞いていたんです、「10周年に何かやるらしいよ」って。ただ、具体的なことは直前になるまでわからなかったので、劇場版をやると言われたときは「マジか！」と。最初に驚きが来て、その後にじわじわとうれしさが……。『防衛部』のあの空気感をもう一度味わえるんだ、また硫黄を演じることができるんだ！ という喜びが湧き上がってきました。

——久しぶりのアフレコはいかがでしたか？

白井 キャラクターたちもTVシリーズから10年経っているという設定だったので、逆にすんなりと入れました。我々声優陣も歳を取って、やはりその当時にしか出せないものもありますからね。キャラクターも一緒に年齢を重ねてくれたことで、やりやすかったですし、当時のピュアさを変に意識することなく演じることができました。

——10年後の硫黄を演じるにあたって意識したことは？

白井 実は、あまりないんです。高松（信司）監督からも、「いつも通りの感じで」というゆるい感じのディレクションしかなくて。そこも、当時のTVシリーズのときから変わらないところでしたね。僕自身も「あれ？硫黄ってどうだったっけ」となることもなく、スムーズに収録が進みました。

——直前にTVシリーズを見直したりも？

白井 いや、しなかったです。ずっと僕の中にいた硫黄を、その場で出したという感じです。でも、あくまでこれは僕の主観なので……。もしかしたら、劇場版を観たファンの皆さんに、「あれ？」「声が全然違う」とか言われちゃったら、それは「すまぬ」としか言えないですね（苦笑）。

——個人的には、10年後の硫黄として違和感なく観られました。

白井 よかったです。キャラクターも歳を取っていますからね……言い訳になっちゃいますが（笑）。でも、やっぱり当時にしか出せなかったものは、絶対にありますから。『防衛部』は僕が初めてオーディションに受かった作品で、当時はセリフもまだ喋り慣れていなかったんですよ。声の響き方や出し方も、今とはきっと違うと思います。逆に、今だからこそ出せるものもあると思うので、そういう面も楽しんでいただければと思います。

——変身の口上も新規で収録したんですよね。

白井 もちろん、全部録り直しました。本当に久しぶりでしたし、ラブレスレットに「チュッ」と口づけるところも、収録しながら「ああ、毎回やっていたな」と懐かしくなりました。でも、収録中にちょっとあり得ないミスをしてしまって！ 一人ずつ名乗り口上をやっていきますよね？ 有基、煙ちゃん、熱史、硫黄、立という順番なんですが、なぜか僕が硫黄の口上じゃなくて、立の口上を言っちゃって。

——順番を間違えたとかではなく、口上そのものを間違えたと（笑）。

白井 無意識に、本当に何の迷いもなく「烈火のイグニート！」と、立の口上を言っていました。で、言った後に「あれ？」となって、みんなも「あれ？」って。これが10年のブランクか……と思いました（笑）。

——ほかにアフレコ現場でのエピソードがあれば教えてください。

白井 とりあえず、西山宏太朗の話題から（笑）。

——（笑）。西山さんは残念ながら体調不良で、一緒に収録できなかったそうですね。

白井 みんな「アイツ～」とは言いつつも、いじられポジションの宏太朗がいないことを残念がっていましたね。でも、4人揃ってのシーンは4人で賑やかに収録できました。

僕は駆け付けで、途中からの参加だったのですが、すでに現場がとてもいい雰囲気で。10年も経っているのに、集まったらその当時の空気に戻っていましたね。別現場でも会うことはありますが、そことは違う『防衛部』ならではの空気感が流れていて、すごく居心地がよかったです。

——スタッフの方とのやり取りも、当時と変わらなかったですか？

白井 『防衛部』後もいろいろな現場で一緒になっていたので、当時よりも和気あいあいとしていました。いい意味で気を使わずに、さまざまな意見を出し合いながらできたと思います。

♨ 温泉に行く気持ちで劇場に足を運んでほしい

——今回の劇場版を通じて、改めてどんなところが『防衛部』らしいと感じましたか？

白井 やっぱり〝ゆるさ〟じゃないですかね。そのゆるさの中にも、いざ戦いになったらカッコいいというギャップもある。それこそ温泉、お風呂につかっているような感覚といいますか……。『防衛部』といえばやっぱり温泉ですから、温泉に入ったときの「はぁ～」という息が出るような作品なんじゃないかなと思います。観たら肩の力が抜けて、ちょっとリラックスできる。それは当時から変わらない、『防衛部』の魅力です。

——大スクリーンでもゆる～く観られそうですよね。

白井 その通りです！ 劇場じゃなくて温泉に行くくらいの気持ちで、劇場に足を運んでいただいたらいいんじゃないですかね。

——ちなみに10年前と現在で、ご自身にどんな変化がありましたか？

白井 生活の変化はかなりありましたね。特に、家庭を持って子どもが産まれたことは、人生の段階で言ったら1段階か2段階ぐらい上がったなと感じています。ただ、年齢的な変化はあまり感じていなくて。太ったなとは思いますが（笑）、体力はまだ衰えを感じていないですね。むしろ、今のほうが元気なんじゃないかというくらい、すごく元気にやっています。心境的にも、あまり当時と大きな変化はないかな。やっぱり結婚して父親になったところが一番大きな変化だと思います。

——お子さんがいると、生活の中心が子どもになりますからね。

白井 そうですね。うちの子にも『防衛部』を見せたいとは思いますが、まだそのレベルには達していないので、ちょっと難しいかなぁ。

——いくつくらいになったら見せたいですか？

白井 5歳くらいになったらでしょうか。でも、子どもでも楽しめる作品ですからね。それこそ某女児アニメを好きな女児の皆さんも、きっと楽しめるでしょうし（笑）。ファンの皆さんも10年、歳を取っているわけですから、僕みたいに家庭を持って、子どもが産まれたという人もいると思います。そういう方が親子で観にきてくださったら、めちゃくちゃうれしいですね。

——素敵ですよね。白井さんから見て、キャストの中で一番変化があったなと感じる人は誰ですか？

白井 みんな変わっていないと思います。一番変わったのは、僕の体型くらい（笑）。他の4人に関しては、みんな変わっていないですね。

——公開を楽しみにしているファンへメッセージをお願いします。

白井 地球防衛部の初代メンバーの10年後ということで、10年の間に彼らがどんな足跡をたどって、どういう姿で、今何をしているのかが、まずひとつの見どころだと思います。そして、彼らがまた集まって、あの衣装をどうやって着る流れになるのかも注目です。

いざアフレコしてみると、台本だけじゃわからないテンポ感や掛け合いがすごくしっくりきたので、ぜひ皆さんも劇場で観て、彼らの会話ややり取りを観て、「ああ、これこれ！」と懐かしい気持ちになっていただけたらうれしいです。

もちろん、10年前から応援してくださっている皆さんには、絶対に観にきてほしいですし、満足いただけると思います。逆に『防衛部』をあまり観たことがない、全く知らないという方も、事前情報なしでも楽しめる内容になっていますので、逆にこの劇場版を観てTVシリーズを見返してみるのも面白いと思います。ぜひいろいろな方に観にきていただきたいです！

Yusuke Shirai
1月18日生まれ／長野県出身／EARLY WING所属／主な出演作は「月刊モー想科学」（サブロー）、「アイドリッシュセブン」（二階堂大和）ほか



今の彼ら

TVシリーズのときと同じように収録に臨んだ白井さん。10年前の当時にしか出せなかったものもあれば、今だから出せるものがきっとあると言う。今の彼らをぜひ楽しもう！



10年越しの初ミス

変身の口上や決めゼリフは、身体に染みついている人もいれば、すっかり忘れていた人もいるなどキャストそれぞれ。ちなみに白井さんは、間違えて立の口上を言ってしまったそう。



緩さが最高

『美男高校地球防衛部』といえば、やはり温泉！ 「黒玉湯」にみんなが集まり、お湯につかっているシーンは、観ているだけでリラックスできる。そのゆるさが魅力のひとつだ。



鳴子硫黄
Io Naruko
物腰が丁寧で常に敬語で話しているが性格はクールで合理主義。親友の立とは性格や考え方も正反対だが、互いを尊重し合っている

蔵王立
Ryu Zao
態度も口調も軽く、軟派な性格で女子からかなりモテるらしい。それでいて面倒見もよく、後輩から「兄貴」と慕われることもあった

富野に訊け!!

人生相談【第267回】





富野由悠季 とみのよしゆき

1941年、神奈川県生まれ。日本大学芸術学部卒。原作、監督を担当した『機動戦士ガンダム』『伝説巨神イデオン』『Gのレコンギスタ』ほか、多くの作品でアニメファンのみならず広い分野に影響を与えている。

Photo●大山雅夫
Illustration●やまむらはじめ

**現代ではハラスメント対策としても
アンガーマネジメントが重要視されています。
怒りで周囲にキツく当たりそうになったとき
どうすれば自分を制御できるのでしょうか?**

アンガーマネジメントを身につけるには?

Question 284

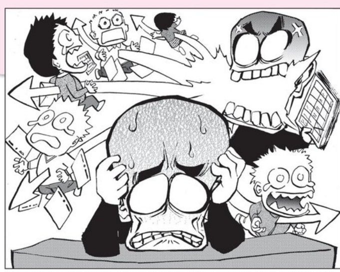
埼玉県/杏(31歳・会社員)

富野監督、こんにちは。私は昔から口達者な子どもだったせいか、腹が立つことがあったときに、つい周りの人にキツい言葉を投げがちな気がします。

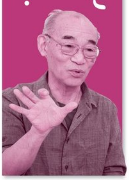
普段はそれほど怒りっぽくないと思うのですが、それだけに、思わず辛辣な言葉を発したときの威力が強いようです。「誰にでも優しいのかと思ってた……」「杏さんでもそんなふうに言うんですね……」などと言われて、「しまった!」となったことも何度かあります。

怒りの感情自体はなくしてはいけないと思うのですが、周囲を委縮させてしまうと、進む話も進まなくなります。より自分をコントロールして、アンガーマネジメントをちゃんと身につけたいところです。「まず6秒間、我慢すればいい」という話も聞きますが(アドレナリンのピークが6秒らしいのですが)、正直6秒だとあまり効果がない気がします。

富野さんは、ご自身をカッとしやすい性格だとおっしゃっていましたが、何か自分を制御するコツや心得などはありますか? また、これまでのキャリアの中で、アンガーマネジメントがうまくいった例や、逆にうまくいかなかった例など、お教えいただければと思います。



対人関係の問題は時代に合わせて対応するしかない。あとは、やがて年齢が最大の武器になる!



僕は20年ぐらい前まで、**スタジオで怒鳴り散らしていた人間**です。大量の本数をこなしている時期に冷静でいられるほうが、むしろ異常だと思っていたくらいでした。でも、その頃のスタジオの人間関係の中では、**「ああ、また富野が怒鳴ってるわ」**くらいの気分で受け止められて、全部周りにスルーされていたと思います。

その頃は、今よりもみんなに対人関係の耐久力があったと思います。コロナ禍でリモートが普及する以前の、**人と人が手の届くところで暮らしていた社会**では、お互いに相手の事情を察知できるような身だしなみが訓練されていたのでしょう。

例えば、大都市のごちゃごちゃした人混みの中で雨傘をさしていても、ぶつからずにうまくすれ違うことのできる対人感覚が醸成されていました。今はみんながスマホを見ながら歩いているし、上手によけることもできない。それが現代なので、**絶対的に時代が違う**のです。

そんな中で、怒りの感情をどうしたらいいかというお尋ねには、「ガマンするしかない」です。方法はあります。**寿限無寿限無五劫のすり切れ**を3回心の中でとなえるのです。怒りの心を、別のところへ投げ出すのです。

別の方法もあります。カッとなったときは面と向かわず、**メールやLINEを使って話す**というのはいかがですか? ワンクッション入ることで怒りが少し鎮静化するかもしれないし、自動的に6秒以上の時間も稼げるので、別の論点を発見する「間」になるかもしれません。

僕自身のアンガーマネジメントですが、僕の場合は怒りを制御する必殺兵器があって、それは31歳の人には絶対にマネができません。何かというと、年齢です。60歳を超えたくらいからはっきりブレーキがかかるようになって、70歳になると頭ごなしに怒鳴ることはしなくなる。で、**80歳を過ぎたら自分の人生にどうケリをつけるかしか考えなくなる**から、他人のことを怒鳴っている暇なんかなくなるんです。31歳の杏さんには不思議に思えるかもしれませんが、それが当たり前なんですよ。



さらなる悩み まだまだ募集中!!

このコーナーではみなさんの悩みを募集中です。どんな些細な内容でもかまいません。詳しい悩みの内容、氏名(本名掲載不可の場合はペンネームも)、年齢、学年(もしくは職業)を明記して、右の住所までお送りください。ご記入いただいた個人情報は上記の目的以外での利用はいたしません。なお、投稿原稿は返却いたしません。掲載の際に原稿の一部を手直しすることがあります。掲載された原稿は書籍化などの複製使用や電子等に使用させていただくことがあるのをご了承ください。困ったときは、富野に訊け!!

郵送の宛先: 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒CS ㈱徳間書店 アニメージュ編集部「富野に訊け!!」係

Web投稿: アニメージュ公式 HP の投稿フォームからも受け付けます。https://animageplus.jp/ から赤い投稿用バナーをクリックして進んでください。

「あたたかい秋が長いなー」と思っていたら一気に極寒。正月休みでなまった体を壊さないようご自愛ください。
そして素敵なアニメ、音楽で心をポカポカに！

Front interview

神聖かまってちゃん Shinsei Kamattechan ｜この作品は自分の30代の集大成という面もあります



インターネット・ポップ・ロックバンドの神聖かまってちゃんが5年ぶりのアルバムをリリース。『進撃の巨人 The Final Season』のOPテーマ曲「僕の戦争」も収録されており、これまでよりも尖って、ダークな作品に。その理由を作詞作曲を手掛けるボーカルの〝の子〟に聞いた。

—5年ぶりのアルバムですね。手ごたえはいかがですか？

の子 ライブやツアーは積極的にやっていたし、楽曲提供とかもしていました。とくに活動を休んでいたわけではないんですが、前のアルバムから5年ぶりなんですよね。その理由としては、これまで毎年アルバムを出していたんですが、コロナ禍を機に、自分を見つめ直す機会もあって。単純に「もうちょっとのんびりやってもいいかな」っていう気持ちになったんです。5年かかっただけあって、いい作品ができました。

—バンドとしては新しいベーシストが入ったりと変化もありましたよね。

の子 新しいベーシストが入って、コロナ禍で無観客ライブをやったこともあります。非常事態宣言以降は不思議な期間ではありました。

—今回のアルバムはコンセプチュアルな印象を受けます。

の子 学生時代から変わらず、教室の隅っこで根暗がニヤニヤしながら作ったようなアルバムで、それが「出来たな」って感じです。自分の30代の集大成という面もあります。

—それはどういう意味ですか？

の子 20代の頃は「有名になりたい」とか、「TVに出たい」とか、そういう想いがありましたが、30代になって、そういうのがなくなりました。喜ばしいことばかりではなく、諦めや絶望が増した部分もあります。でも、これは自分だけじゃなくて、この社会にも同じような人がいるんじゃないかと感じています。

—年齢を重ねることで変化する部分もあるし、変化しない部分もありますよね。

の子 20代の頃はその年代にしかなかったマジックがあって。でも、今そのマジックがないかというとそんなことはない。形は変わってしまいましたが、マジックは今もあるんです。ある意味で純化され、一番自分らしくなれたと思っています。

—今作はこれまでよりも尖ったアルバムになっています。

の子 今のネット社会は、すごく殺伐として見えるんです。自分も20代の頃はもっと社会性があったんです。社会と手を繋ぐような作品を作っていたし。それは今のSNS社会もそうで、みんな手を繋ぎたがる風潮があるような気がします。今回のアルバムは、その手をナイフでぶった切るような、そういう作品になっています。

—今後のバンド活動について教えてください。

の子 武道館でライブをやりたいという夢はあります。アニメや映画とのタイアップもしたい。先ほどの話とは矛盾しているように聞こえるかもしれませんが、その矛盾も含めて「神聖かまってちゃん」なのです。次のアルバムは、早ければ今年出るかもしれないし、また5年後かもしれない。アルバムという形に固執はしていなくて、その時々の気分次第です。

—最後に読者へメッセージをいただけますか。

の子 自分自身、神聖かまってちゃんのファンでもあるんです。ここまでやってきて、自分自身も神聖かまってちゃんに依存しています。このバンドは本当にすごい存在です。これからも魂として、変わらずにあり続けていきたいし、変わることを恐れずにもいたいと考えています。



団地テーゼ
パーフェクトミュージック
CD 3,300円
1月22日発売

※ジャケットには、Vocal の子の希望により、アーティスト〝くらやえみ〟のイラストが起用されている。

TEXT＝花木 洸

TREASURE!
DIALOGUE+ 1月29日発売



ポニーキャニオン
初回限定盤(CD+BD) 3,000円
通常盤(CD) 1,400円

人気声優ユニットによる『いずれ最強の錬金術師？』のOPテーマ。爽やかなピアノロックでありながら、ユーモアのあふれる歌詞がスリリングに展開。OPにピッタリの曲となっている。8人の声をうまく使った仕掛けもハマっていて超GOOD。

トゥインクル・デイズ
harmoe 発売中



ポニーキャニオン
きゃにめ盤(CD+BD+Goods) 3,850円
初回限定盤(CD+BD) 2,750円
通常盤(CD) 1,980円

ダンスポップミュージックとおとぎ話をベースにした世界観がコンセプトの音楽ユニット・harmoe。今作のコンセプトは「ピーター・パンとウェンディ」。壮大な冒険のワクワク感を、ブラスやオーケストラを率いたアップテンポなメロディで丁寧に表現。

Strawberry Prince Forever
すとぷり 発売中



STPR
すとふぁみ限定盤 (4CD+BD)8,800円
初回限定盤 (4CD+BD)6,600円
通常盤 (4CD)4,400円

2016年より活動を開始し、5大ドームツアーや紅白歌合戦への出場など、数々の偉業を成し遂げてきた2.5次元アイドルグループの代表格。すとぷりが、初となるベストアルバムをリリースした。初のオリジナル楽曲であり、デビュー曲「Strawberry Prince Forever」から最新曲まで人気楽曲を完全収録。4枚のCDに約80曲を収録した超ボリューム満点のラインナップとなっている。すとふぁみ限定盤、初回限定盤付属のBlu-rayには、60分を超えるフィルムライブを収録し、未発表曲も収録。どの販売形態にもブックレットが付いていることも特徴だ。6人それぞれの個性や、グループのこれまでの軌跡を網羅する内容となっており、すでにファンの人も、これから入門する人にもピッタリのアルバムとなっている。お年玉でぜひゲットして！

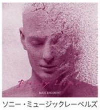
軌跡
りりあ。 1月15日発売



トイズファクトリー
完全生産限定盤 (CD+Goods)5,500円
通常盤(CD)2200円
わたしの幸せな結婚盤 (CD)3,300円

TikTokやYouTubeでの、顔出ししない弾き語り投稿から火がついた次世代のシンガーソングライター。りりあ。がメジャーから初となるフルアルバムをリリースする。『わたしの幸せな結婚』第2期OP主題歌の「幸せな約束。」をはじめとして、声優デビューした映画『バブル』のサウンドトラックのみに収録されていた澤野弘之作編曲の「色彩」、『サマータイムレンダ』の最終回にオンエアされ大反響があり、リリースの要望が最も多かった「失恋ソング沢山聴いて泣いてばかりの私はもう。」のフルサイズなどを収録。初回限定盤は「わたしの幸せな結婚」盤としてアニメ版の描き下ろしジャケット仕様となっており、さらにボーナストラックも付いている。事実上のベストアルバムとも言っても過言ではない豪華な内容に仕上がっている。

Bloody Liar
BLUE ENCOUNT 1月15日発売



ソニー・ミュージックレーベルズ
CD+BD 1,800円

ロックバンドBLUE ENCOUNTの新曲は、BL(ブラッディ・ラブコメ)の期待作『ババンババンバンバンパイア』のOPテーマ。儚い恋の成就をモチーフにした英語詞のロックバラードで、爽やかかつ、熱く訴えかけてくるメッセージ性の強い曲だ。

Yummy Yummy
樋口楓、叶 1月29日発売



ランティス
初回限定盤(CD) 1,980円
通常盤(CD) 1,300円

「にじさんじ」に所属するVtuberの樋口楓と叶による待望のデュエットソング『日本へようこそエルフさん。』のED主題歌が間もなくリリースされる。自然と身体が動き出すポップな音色と、小気味良い掛け合いやハーモニーが癖になる。

※価格は全て税別です

feature

トワイライト・ウォリアーズ 決戦！九龍城砦 九龍城寨之圍城 | “大ホームラン”の香港アクション！

馬越嘉彦×渡辺麻紀





80年代の香港。黒社会に目を付けられた密入国の青年は九龍城に逃げ込む。そこで出会ったのは城の指導者的存在、龍捲風だった。監督はソイ・チェン。龍捲風をルイス・クー。アクション監督は『るろうに剣心』シリーズの谷垣健治。音楽を川井憲次が担当している。（1月17日公開）

渡辺　今回は香港アクション映画が大好きな馬越嘉彦さんに、そのジャンルの『トワイライト・ウォリアーズ 決戦！九龍城砦』をご覧頂きました。いかがでしたか？

馬越　これは僕的に大ホームラン！　とても面白かった。グッとくるシーンも何度もあって、物語の中心になる若い４人組が麻雀やっているシーンですら目頭が熱くなっちゃって（笑）。

渡辺　舞台は80年代の香港の九龍城。そこに迷い込んだ違法移民の青年をきっかけに九龍城で暮らす人たちと黒社会の男たちが衝突する。若い４人組の３人は城の男で、ひとりがその移民青年。

馬越　最初は異分子に対し反発する３人なんですが、徐々に気心を許していって友情が芽生えてくる。『男たちの挽歌』から香港映画に脈々と流れている野郎たちの熱い関係性ですよ。そういう若者たちを束ねる城の指導者的存在、龍捲風もめちゃくちゃかっこいい。こういうおじさんだったら、みんな命をかけるだろうなという説得力がちゃんとある。

渡辺　あのおじさん、ルイス・クーという役者が演じているんですが、とてもいいですよね。

馬越　もうひとり、彼と義兄弟的な契りを結んでいる黒社会の首領、虎兄貴というおじさんも最高。出番は少ないんだけど、すごく印象に残る。僕は、その４人組のひとりが彼に対し「あんたの弟子でよかった」というセリフにまたまたグッときちゃって（笑）。

渡辺　私もです！　というか、ホント野郎どもがかっこいい。アクションもかっこよければ、その生きざまも素敵すぎる。みんなにちゃんと見せ場が用意されている。あ、ひとりだけ……。

馬越　サモ・ハンでしょ？　僕も久々のサモ・ハンだったから「おお！」という感じだったんだけど、あまり見せ場はなかった。後輩たちに譲った感じなのかもしれない。とはいえ、全盛期とはいわないまでも、もう70歳を過ぎているはずなのにちゃんとアクションしているし、目も相変わらずパッチリでルックス的にもあまり老けた感じはしなかった。おそらく、ちゃんと鍛錬していたんでしょうね。

渡辺　アクションはいかがでした？　アクション多いですよね。

馬越　多い！　ずーっとアクションしている（笑）。５分に一度はアクションがあるという感じだけど、まったく退屈しない上にダレもない。九龍城の迷路のような通路を移動しながらのアクションが多く、それがかっこいい。通路に置いている小物を使うあたりも香港アクションならではで、アクションとドラマのバランスも絶妙。気功使いのおっさんだけはマンガみたいで笑いましたが。

渡辺　大絶賛じゃないですか！

馬越　だから、〝大ホームラン〟なんです（笑）。

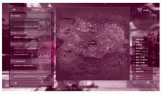
Illustrated by Yoshihiko Umakoshi | うまこし・よしひこ | アニメーター。『僕のヒーローアカデミア』のキャラデザと作監を担当しています。



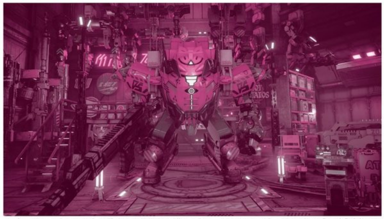
メイガスと共にクレイドルコフィンを駆り、荒野を征け！


▲4タイプの《メイガス》からパートナーを選び、衣装や髪型などをカスタマイズしよう


▲《メイガス》はプレイヤーの行動を学習し、プレイスタイルに合わせて助言をくれる


▲地上は北方地帯と南方地帯があり、南方地帯は環境変化が激しく難易度は高い


▲地上に上がって探索。エネミーを排除して依頼クリアや資源回収を図ろう


▲プレイヤーと《メイガス》が乗る汎天候巡行二脚メカ《クレイドルコフィン》。機体ごとに「HP」「活動可能時間」「積載量」などが異なり、目的にあわせカスタマイズが可能

TVシリーズの20年前を描くTPSが登場

大災害によって世界人口の92%が喪失。残された人々は地上を捨て、地下に都市国家《アメイジア》を建設した。一時は栄華を極めたものの、原因不明の事故により《アメイジア》は崩壊することに。そんななか、必要とされていたのが冒険者《ドリフター》だ。エネルギー資源や物資を得るため、カスタマイズ可能な二足歩行メカ《クレイドルコフィン》に搭乗し、パートナーとなるAI搭載型ヒューマノイド《メイガス》と力をあわせて危険な地上を駆けめぐる。《エンダーズ》と呼ばれる異形の存在や《盗賊団》などのエネミーと戦いながら、資源や物資を持ち帰るのだ。

一昨年の夏と昨冬の分割2クールで放送された人気SF。その前日譚が描かれたゲームが、PS5、Xbox Series X|S、STEAMで間もなく登場。

プレイヤーはパートナーである《メイガス》とともに、ボロボロのガレージから冒険を始める。そこには《クレイドルコフィン》の機体や武装を購入できる「ショップ」、《メイガス》を自由に着せ替えられる「ワードローブ」が設えられてある。さらに、消費アイテムや装備を造る「クラフトライン」などの設備も備わっており、物資を使うことで快適さをめざして改築することもできる。

ゲームのメインモードとなる「ONLINE RAID」では、資源回収や依頼をクリアするために地上へ出撃。探索中のほかのプレイヤーもいるので、協力してプレイをしてもいいし、倒してもいい。ほかのプレイヤーを倒した場合は、相手が持っているアイテムを奪うことができる。いろいろ試して遊んでみよう！



SYNDUALITY Echo of Ada


▲パッケージには《クレイドルコフィン》のボディに座るエイダの姿が

DATA

メーカー／バンダイナムコエンターテインメント　発売予定日／1月16日(木)(PS5パッケージ版全種)、1月23日(木)(PS5、Xbox Series X|Sダウンロード版(スタンダードエディション以外は本編アーリーアクセス権(7日間)付属)、1月24日(金)(STEAM版)※スタンダードエディション以外は本編アーリーアクセス権(7日間)が付属　プラットフォーム／PS5、Xbox Series X|S、STEAM　価格／【パッケージ デラックスエディション超特装版(PS5のみ)】23,980円(税込)、【パッケージ デラックスエディション特装版(PS5のみ)】12,540円(税込)、【パッケージ デラックスエディション(PS5のみ)】7,920円(税込)、【ダウンロード ULTIMATE EDITION(全プラットフォーム共に)】11,990円(税込)、【ダウンロード DLUXE EDITION(全プラットフォーム共に)】7,920円(税込)、【ダウンロード STANDARD EDITION(全プラットフォーム共に)】5,940円(税込)　ジャンル／TPS　CERO：C(15歳以上対象)※【デラックスエディション】はドリフターランクに応じた報酬が受け取れるようになるデラックスドリフターパス バウチャー他付属。【デラックスエディション特装版】はそれに加え、Figure-rise Standard ミステルが付属。【デラックスエディション超特装版】はそれに加え、アルティメットドリフターパス バウチャー、Mystere型メイガス製造チケット、『SYNDUALITY』スペシャルコンテンツ映像Blu-rayディスク他付属。パッケージ版は早期購入特典として、ダウンロード版は全商品に、アニメ登場の《クレイドルコフィン》「デイジーオーガ」パーツセット付属。

公式HP｜https://synduality-ada.bn-ent.net/　※画面は開発中のものです

CAST

アルバ・クゼ／広瀬裕也　エイダ／石川由依　ドーサン・クゼ／関 智一

食玩フィギュアで正義超人&悪魔超人と完璧・無量大数軍が激突！

ブロッケンJr.　ジェロニモ　ペンタゴン　バッファローマン　スプリングマン　グリムリパー




キン肉マン

ネメシス

ダメ超人だったキン肉マンは、戦いのなかで切磋琢磨して成長し、キン肉星の大王に即位した。超人界に平和が訪れたと思われたが、完璧超人の強硬派である無量大数軍が襲来。正義超人に戦いを挑んできた。これに悪魔超人も参戦し、さらに無量大数軍の第二陣も登場。戦いは混迷を極め、さらにヒートアップする！

大人気『キン肉マン』の続編が描かれる『完璧超人始祖編』。その第2期が、1月12日から放送開始。今回は同作の食玩デフォルメフィギュアとチャーム付きのグミを紹介。後者は一世を風靡したキンケシを再現しており、世代によっては懐かしさを感じるはず。

キン肉マン トレフィグコレクション VOL.2

超人たちをデフォルメ体型で立体化した固定フィギュア。それぞれ大胆なアクションポーズで、飾りやすいように台座と支持棒が付属する。キン肉マンと言えば「キンケシ」もデフォルメ体型ではあるが、キンケシとは頭身バランスが異なり、こちらは2頭身半～3頭身くらいになっている。写真の8種＋シークレット2種の全10種、どれが出るかお楽しみのクローズドパッケージ仕様。コンプリートを目指す人は、商品名通り友人知人とのトレーディング(交換)も選択肢に入れておこう／各638円(税込)／各全高約5.5cm(種類により若干異なる)／3月発売予定／発売元：バンダイ キャンディ事業部

『SAKAMOTO DAYS』が早くも食玩カードで登場！


アニメの公式イラストを数多く収録！　発売元はバンダイのキャンディ事業部

かつて最強の殺し屋として恐れられた坂本太郎は、引退して結婚することに。個人商店の店主として平穏に暮らしていた。そんな彼のもとに、不穏な影が忍び寄る！

1月11日から放送が始まる『SAKAMOTO DAYS』。その食玩カードが2月に発売決定。「SAKAMOTO DAYSウエハース-The Animation-」は同作をモチーフにした全25種のプラスチックカード付き。スペシャルレアカードは描き下ろしイラストのホロ箔押し仕様だ。各165円(税込)、2月発売予定。各8.3×5.6cm。

キン肉マングミRound5（キンケシチャーム付き）



1980年代アニメの頃のキンケシをモチーフにしたグミ。当時のキンケシと同型のチャームが付属する。グミは全30種、チャームは全17種(うちシークレット1種)。グミはランダム封入で、ひと回り小さく食べやすいサイズ。チャームはクローズドパッケージ／各385円(税込)／チャーム全高約4.5cm(種類により異なる)／2月発売予定／発売元：バンダイ キャンディ事業部

バンダイお客様相談センターキャンディ ナビダイヤル0570-014-315
(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く10～16時)

今日もアニメ日和☆



第165回 アニメイト店員雑記

岡ノ部亭 真泰
アニメイト本社勤務
好きな竹さんデザインのキャラは、零崎人識。
アニメイト X（Twitter）➡@animateinfo

海外アニメ『スティーブン・ユニバース』が全シーズン配信されたので見始めてみたのですが、キャラクターの掘り下げと、一話10分と思えないエピソード構成の見事さで毎話転げまわっております。こんなアニメを10年観てなかったなんて、と後悔してやまないアニメイトの年末年始です。

ありがとう2024年！ よろしく頼むよ2025年！

今月のお題

謹賀新年

早いもので、アニメ・マンガ界隈も話題の尽きない年だった2024年が終わりを迎えました。個人的には、年明け早々、20年越しのラブに最高のアンサーをくれた『機動戦士ガンダムSEED FREEDOM』が公開されたために大興奮の幕開けとなったわけですが、思い返せば、シーン全体が大きな変化の兆しを見せた年だったという印象です。

例えば、「週刊少年ジャンプ」で『僕のヒーローアカデミア』『呪術廻戦』という大看板が大団円を迎えましたが、この1月からアニメが始まる『SAKAMOTO DAYS』や、様々なランキングで圧倒的な存在感を見せる『カグラバチ』など、「ジャンプ」にはこれからさらに人気大爆発する可能性に満ちた作品がギッチリと詰まっています。



大人気作品の完結は、次のスター作品によるシーンの変化を呼びます。「ジャンプ」系列では他にも『【推しの子】』が最終回を迎えましたが、「ジャンプ+」の『ダンダダン』がアニメ化をきっかけに世界中で大人気になっていたりと、何かと話題作が途切れることなく続いています。

アニメイトでは、原作やアニメが完結しても、グッズの売れ行きが減衰していくどころか、最終回をきっかけにさらにグッズ需要が高まったりするという現象があります。作品やキャラへの愛は、物語のピリオドを越えて続く、というファンの心意気が見えるようです。越える、と言えば、『デリコズ・ナーサリー』といった、舞台（版）の世界をアニメにした作品の存在感もありました。舞台芸術とアニメーション、いわば次元の壁を越え合う作品の存在意義は大きく、今後も増えていってほしいと願っています。

次元の壁と言えば、国産3DCGアニメーションの表現の可能性が広がって見えた年でもありました。『ガールズバンドクライ』は、3DCGでありながら、手描きアニメの表現のウソや誇張を生き生きと表現していましたし、映画『数分間のエールを』では、写実的なタッチやセルルックとも違う、イラストレーションの世界がそのまま動き出したかのような表現に度肝を抜かれました。『スパイダーマン：スパイダーバース』シリーズや『ARCANE』に引けを取らないエネルギーが、国産3DCGアニメの在りようにも大きな変化を生んでほしいと個人的に期待しています。

2025年には、日本では20年ぶりの大阪・関西万博が開催されますが、実物大のガンダムを擁するパビリオンもあり、アニメ・マンガシーンにも関係が深くなりそうです。前回お伝えしたアニメイト梅田のグランドオープンが春に控えており、今年は西から何かが起きそうな予感があります。

依然として世界の動きは目まぐるしく、アニメやマンガなどのエンタメを真剣に鑑賞して、本気で考えたりすることができるこの状況は、幾千もの奇跡の上にあるものだと思わずにはいられません。我々はフィクションを愛しますが、その多くは現実に繋がる願いや祈りの込められた物語です。世界は二色だけで塗られてはいないことや、誰かのために行動することの素晴らしさ、じつは自分は孤独ではないこと。私たちは様々なことをフィクションから受け取ってきました。

2025年も、おそらく決して良いことばかりではなく、世界とどう向き合うべきなのか分からないときもあるでしょう。そんな時に、愛してきた物語たちが、ヒントや勇気をくれるかもしれません。2025年も、そんな風に、人の心をすこし強くしてくれるような作品と出会えることを願ってやみません。

animate information

★TVアニメ「アオのハコ」ウィンターフェア 2025 in アニメイト

1月11日から【TVアニメ「アオのハコ」ウィンターフェア 2025 in アニメイト】を全国アニメイト・アニメイト通販にて開催いたします。期間中、『アオのハコ』関連グッズをご購入・ご予約内金1,100円（税込）毎、または書籍・CD・Blu-ray・DVDをご購入・ご予約（内金1,100円（税込）以上必須）1点毎に、いちご狩りがテーマの描きおろしイラストを使用した「ポストカード(全3種)」を1枚プレゼントいたします。特典と同じ描きおろしイラストを使用したアクリルスタンドやキャラバッジコレクションなどの新グッズも販売いたしますので、こちらもお見逃しなく!!

◎TVアニメ「アオのハコ」ウィンターフェア 2025 in アニメイト
開催期間：2025年1月11日～2025年2月2日
開催場所：全国アニメイト・アニメイト通販

キミのことを、教えて。プロセカ、銀幕へ！

今月のアニメイト発

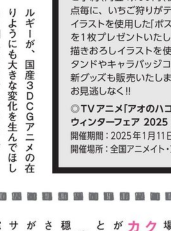
『プロセカ』待望の長尺アニメは劇場版！『劇場版プロジェクトセカイ 壊れたセカイと歌えないミク』が1月17日よりついに公開となります。

意味深なタイトルと、不穏なキービジュアルが発表されてから、ドキドキと不安が入り混じった日々にやっとサヨナラできます。「閉ざされた窓のセカイ」の初音ミクと称される、歌を届けられなくなったミクとは。×印にも見える髪飾りが暗示的でもあります。

そういえば、初音ミクが「初音ミク」としてアニメで活躍するのはかなり珍しく、いろんな意味で見逃せない作品となっています。

全国アニメイトでは、公開を記念したフェアを1月11日より開催します。関連商品ご購入ごとに特典がもらえます。もちろん今回の映画でのミクの絵柄もあります！『プロセカ』、新商品が出るたびにすごい量が発売されるのがもはやアニメイト名物となっておりますが、今回のフェアでも新商品を超大量にご用意しております。





映画を観に行くお供として装備を固めていくも良し、映画を観た後にアニメイトでお買い物していくも良し。売場にたくさんのお客様が集まる可能性がありますので、お時間には余裕をもってお楽しみくださいませ。

オレキニ

俺の気になるアレ

『機動戦士Gundam GQuuuuuuX』

山下いくとさんのガンダムに、竹さんのキャラクター。自分の好きが詰まりすぎていて、初報を見た時はドッキリかと思いました。最先端のその先のような衝撃のビジュアル。スタジオカラーとサンライズの奇跡のタッグ。これはガンダム史どころかアニメ史、いや、日本史に残る大事件の予感！



Illustrated by Shinyasu Okanobetei

バリウタの愛を知りたい!!

#109 絵コンテ終わった！を知りたい!!

荒木哲郎 平尾隆之

平尾監督新作が大きく前進！ どんな映画を観ることができるのか、ますます楽しみになってきました。年明け早々にはトークイベントも開催、バリウタは2025年も盛り上がっていきます!!

平尾監督新作コンテ ついに結末へ到達！

荒木 今回は2024年の最後の収録だよね。毎年のことだけど、「どんな1年でしたか？」って話からいこうか。

平尾 いいですね。荒木くんは2024年、どうでした？。

荒木 そうだねぇ……自分自身のメンテナンスにすごく時間を使うようになった、という感触がある年だったね。前回話した歯医者通いもそうなんだけど、ジムに行っての筋トレやランニングなんかにも結構、時間を使うようになった。それはね、そうしないとちょっとこう、身体がガタつくような感覚があるからで。

平尾 お互いそろそろ「若い」と言い切れない年齢ですからね。

荒木 今までと同じように身体が使えない瞬間を、感じることが増えたから。仕事にしっかり打ち込むためにも、自分の身体をメンテナンスしないといかんなと思ったんだよね。

あと、さらに広い意味でのメンテナンスということでは、「インプットの時間」も多めに作るようになった。2024年は結構、映画館に行きましたよ。

平尾 へえ、いいですね。

荒木 毎週土曜日には1～2本、映画を観るようにしていたから。話題作はあらかた観られたかな。2025年はアウトプットする仕事の割合が増えていくと思うから、そのための「身支度」をたくさんした1年だったかなと思っています――オレはそんな感じ。平尾くんの2024年はどうだった？

平尾 僕は引き続き、新作（タイトル未定「Project Code：WASTED CHEF」）の準備をひたすら続けていた1年でした。そして先日、絵コンテをいったん結末まで描き終えることができたので、目標を達成できた1年にはなったかなと思います。

荒木 ああ、そうだよね！ たまたま昨日、松尾くん（CLAPプロデューサー・松尾亮一郎）に会ったんだけど、平尾くんのコンテがあがったって聞いた。おめでとうございます！

平尾 ありがとうございます！ 本当に、長かった……時間がかかってしまいましたが、少なくとも自分の中では、物語を自分なりの結論へ導けたという手応えはあるし、それを周りのスタッフに見てもらって「ここを目指せばいいんだ」という指標にしてもらえるものができたかなと思っています。

荒木 もちろん映画制作全体を考えると、まだ道の途上ではあるけれど、とはいえ、はぁーっと一回、力は抜けたんじゃない？ 描き終わった日は「今日はちょっとお祝いしちゃおうかな」みたいな。

平尾 まあ、今日はビール飲もうかな、くらいの気分にはなりましたけどね（笑）。でも、次の日がもうプロデューサー陣やクライアントの人たちなどが集まっての、コンテの読み合わせだったから。

荒木 わあ、それは心配じゃなかった？どういう反応が返ってくるか不安になるよね。

平尾 不安ではあるけれど、自分なりに「ここしかないな」という結論に辿り着けてはいたので。実際、みなさんの反応も概ね良好だったので、一安心でした。あとは、ここからどう微調整していくか、という感じですね。

荒木 そうかぁ……まあ、まだ手直しや尺調整は入るとしても、いったんラストまで描ききって「THE END」に辿り着けたというのは大きいよね。結局、どのくらいの期間、描いていたんだっけ？

平尾 1年半くらいかな。

荒木 そんなにかかっていた？ オレは何となく、ぴったり1年くらいかと思っていた。傍目にはそんな印象だったけどね。1年ならまあ、劇場版のコンテ作業期間としては平均的だと思うけど。

平尾 去年（2023年）の夏にはもう描いていた気がしますが……でも「コンテを描き始めるのに、この設定があがっていないと厳しいな」とか、そういう作業も同時進行でやっていたから。実質、どれくらいかかっているかについては、何とも言えないですね。

荒木 絵コンテって描き始める時は、何となくフェードインな感じだよね。初期段階の絵コンテ作業って、パイロットを兼ねたPVとか、とりあえず「仮」のものをつくっていくことが多くて。あとから振り返ると、その部分は本編からなくなっちゃたりすることもある。特に最初の1ヵ月くらいは、「仮にこういうものだとして」という感覚でつくっていくことが多いよね。

平尾 そうですね。でも、僕の場合は「いよいよコンテ作業に入っちゃったな」という感覚は、あるといえばありますけれど。「ここから、長い旅が始まるな……ホントにやるの？」みたいな気持ちで（笑）。

荒木 ああ、確かにそれはそれで、あるにはある。

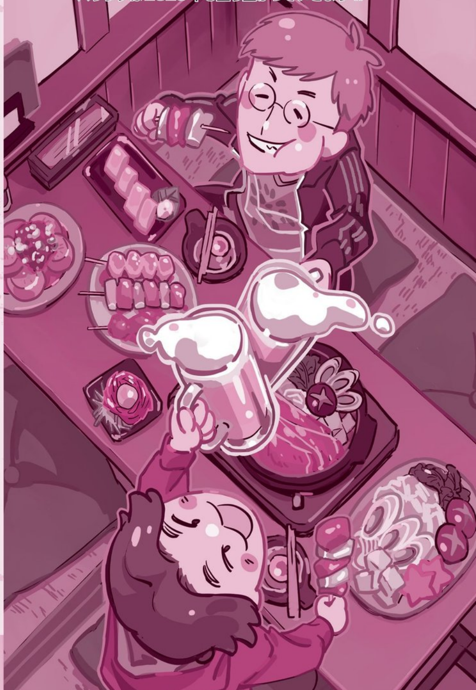
平尾 そこからスタートして、描き出したら作品世界に入っていきますけど、完全に入り込むまでにどうしても少し時間がかかる。特に前半のAパート、Bパートには時間がかかってしまいます。

荒木 わかる。オレもそうだし、絵コンテを描く人ならみんなそうだと思うよね。

平尾 さらに今回は、最後のパートにも相当に時間がかかって、なかなかしんどかったです。後半のコンテを描いているうちに、ほとんどシナリオから外れていって。特に最後のパートは毎日、朝スタジオに入って仕事机に向かい、今日描く予定のカットをどういうセリフにして、どう進めようか……という感じで。描きながらキャラクターの人生とかいろいろ考えました。

作品と向き合った時間 そして現場へ……

平尾 そういう意味では、ストーリーやキャラクターにいちばんしっかり向き合うのも、コンテを描いている時間ですよね。脚本を書いているときもいろいろ考えるけれど、キャラクターが実際にどう行動するか、どんな表情をするかをコンテで描いていくうちに、結果として「このキャラクターはこっち



ひらお・たかゆき／1979年生まれ、フリーの演出家、監督。『劇場版 空の境界 第五章 矛盾螺旋』、『魔女っこ姉妹のヨヨとネネ』、『映画大好きポンポさん』などで監督を務める。

イラスト＝齋藤千尋

に行くべきじゃないな」と変化していくこともありますから。コンテを描き終えると、キャラクターたちと向き合っていた時間が終わったという感覚にもなります。

荒木　わかる。そう言われてみたら『甲鉄城のカバネリ』の時、TVシリーズでも『海門決戦』でもそうだったけれど、コンテを描いているうちに、だんだん「このキャラたちに会いに行っている」という意識になっていった。そして特に『海門決戦』で、「これが終わったらもう、こいつらと会えないのか……」って気持ちに、自分でつくっていながらなった。「こいつらとまたつきあう日々がくるのかな……くるといいなぁ」と思いながら絵コンテを描き終えたのを覚えている。

　もちろん原作ものでも、たとえばキャラクターが物語から退場する時に同じような感覚になるよね。『DEATH NOTE』の時も「あれ、もしかしてLを描くのはこれが最後か？」って、寂しい気持ちになったね。

平尾　自然とそうなりますよね。そしてその気持ちを、お客さんに共有してもらえるかどうか——共有してもらえる映画に辿り着けるかどうかが、絵コンテの先の工程で大事になってくるのかなと思います。

荒木　正直なこと言うと、コンテを描ききって、「この映画におけるオレの答えはこれだな」と定まったら、もう映画はできたと同じって感覚もある。

平尾　ある意味、そうですね。あとはそこに向かってどこまで作り込むか、どこまで諦めるかという「判断」の話になってくるから。

荒木　「行く場所はここ」と決まったら、そこに届いているかいないかを判断したり、現実との折り合いでどこまで行けるかを計っていくフェイズに入る。

平尾　もちろん、具体的なカットには真摯に向き合い続けるし、そこで何かがプラスアルファされることも大いにありますけれど。基本はコンテで描いた感情やキャラクターの指針を、現場レベルに落とし込んでいく作業。今はすでに現場は並行して進んではいますが、本格的にそういう時間がスタートしようとしているところです。

　そうだ、コンテを終えて現場作業が本格化すると、いつも「温度差の調整」に気を付けなければいけないなと思うんですよ。

荒木　温度差って何と何の？

平尾　自分と現場の温度差です。

荒木　ああ、そういうことか。確かに、確かに。

平尾　コンテが描き上がった瞬間っていちばんキャラクターのことを理解していて、自分の中では最高に盛り上がっているんです。けれど、現場はこれから内容に触れるわけだから当然、「ああ、これをやるんですね」くらいの温度感。

荒木　われわれがいつもお見舞いされているやつだよね。この連載でも何度か言ったけど、「こんなすごいものが世に出ようとしているのに、お前らその温度？」という気持ちになる（笑）。

平尾　仕方がないことだけど、盛り上がってるのは自分ひとりだけという状況なんですよね（笑）。そこから現場作業が始まって中盤、後半へと進むにつれてスタッフみんなの熱量もあがっていって、ラッシュを観て「これ、いいですね！」とか「ここ、リテイク頑張ります！」とか前向きに言ってくれるようになりますけれど。それまではずっと温度差が続く。こちらとしては、その温度差を理解しながら周囲と接しないと、ひとりだけテンションが高い人になってみんなから孤立してしまう。

荒木　かといって、こちらが「それほどでもない作品」という温度で接したら、それはそれで現場も嫌だろうから。こちらの温度感を暑苦しいくらいぶつけちゃったほうがいいとも思うけどね。「すごいコンテが描けちゃいました！」って堂々と押し出していけばいいんじゃない……ってまあ、そんなのオレもできないけどさ（笑）。

平尾　そこのバランスですよね。変に焦らず、現場のみんなの熱量が少しずつ上がってくるのを待つのが大事なのかなと思いますね。

　というわけで２０２５年も引き続き、新作の作業が続きます。

荒木　どんな映画が完成するのか、今から楽しみですよ。

いまどき珍しい？無愛想なお医者さん

平尾　ところで、まさにそのコンテがアップする2週間くらい前のことなんですが……「あれ？　ちょっと喉がまずいかも？」って日があったんです。

荒木　風邪ひいたってこと？

平尾　僕は毎年、冬に喉がやられるんですよ。何年も前にひどい喉風邪に罹ったことがあって、それ以来、喉が弱くなったみたいで。で、喉がやられると、そこから風邪だインフルだってつながってしまう。

荒木　へえ、大変だ。

平尾　今回も1週間くらい、ちょっと不自然に喉が乾くなという状態が続いて。とある月曜日、残り2週間でコンテをあげなきゃいけないなってタイミングで「今日何とかしないとこれ、何らかの感染症にかかりそうだな」という予感がした。

荒木　そんな予感がするんだ（笑）。

平尾　何年も喉をやられている身からすると、これはもうヤバイって肌で感じるんですよ（笑）。で、ちょいちょいかかっている耳鼻咽喉科に行ったんです。

荒木　かかりつけのお医者さんってこと？

平尾　そうですね、うちの近所で家族みんなお世話になっています。今回はその病院について話をしたい。

荒木　おお、前回のオレの歯科医話に続くお医者さんトークだ。

平尾　そこはかなり高齢のおじいちゃん先生がやっているんですが、ひとつの治療しかやらないんです。それは「Bスポット治療」といって、喉なり鼻なりの患部に直接、薬品を塗布するという治療法で。

荒木　……それ、痛いの？

平尾　まあ、痛いし「オエッ」となります。喉にぐっと薬を塗りつけられるので。

荒木　ちょっとスマホで調べてみようかな、Bスポット治療……あ、出てきた「Bスポット治療は激痛ですか？」恐いよ（笑）。

平尾　（笑）。

荒木　オレは痛みに弱いから絶対に無理だ。

平尾　でも、確かに痛いけれど、本当に処置が早いから。

荒木　確かに「数十秒で治療が終了する」って書いてある。メリットはあるわけだ。

平尾　それこそ前回の荒木くんの歯医者さんの話じゃないけれど、今は無痛治療であったりとか、患者さんに寄り添った治療を志向している医者が多くて、それはそれでいいんですけれど。実は、痛いのを我慢すれば効果てきめんという治療も意外とあるようで。その先生はBスポット治療がいちばん効果があると考えていて、それ一本に絞ってやっているみたいです。

荒木　なるほどね。

平尾　そして、そのおじいちゃん先生がとにかく無愛想で。

荒木　無愛想？

平尾　というか、先生だけではなくて。まず受付に行っても誰も声をかけてくれない。普通は「どうしました？」とか聞いてくれるじゃないですか。なのに「あの……」って声を掛けてもぶっきらぼうに「保険証、おいといて」くらいの対応で。

荒木　受付の人から何からみんな態度が良くないわけ？　何か今のところ、ひとつも良さそうなところがないけれど（笑）。

平尾　全員、無愛想です（笑）。で、受付して待っていると、先にいらっしゃる患者さんにも何となく〝猛者〟感が漂ってるんです。

荒木　どういうこと？　常連客ならぬ常連患者みたいな？

平尾　常連かどうかわからないですけど、何となくこの無愛想な雰囲気に慣れている感じ？　順番に診察室に呼ばれる時も呼び捨てなんです。おじいちゃんの先生よりさらに年上なくらいのおばあちゃんの患者に向かって「次、山崎！」とか。

荒木　面白いね（笑）、そこまでいくと逆にかっこよく思える。

平尾　そのおばあちゃんも多分、常連でしょうけれど、先生に世間話をしようとするんです。「今日、ここにタクシーできたんだけど……」とか話し始めたら、先生は聞きもせずに「口開けろ」って（笑）。

荒木　ははは、くだらないこと話してないで口開けろ、と。

平尾　で、そのやりとりが聞こえてきた次の瞬間に、「オエッ」って聞こえてくるわけですよ（笑）。

荒木　みんなに同じことやるから。そもそも、どうしてそのお医者さんに行こうと思ったの？

平尾　ネットの口コミサイトを見ると、評価がめっちゃ二分していたんですよ。「態度悪い」「二度と行かない」というのもあれば、「名医です」「毎回通ってます」というのもあって、極端に賛否両論。

荒木　頑固オヤジのラーメン店みたいな感じだ。信者とアンチに二分されているやつ。

平尾　そう、そんな感じで。それで興味を持って、一昨年くらいに喉の調子が悪くなった時に初めて行ったら、本当に態度が悪かった（笑）。初めてなのに「今日はどうした」ってぶっきらぼうに聞かれて。「ちょっと喉が痛くて、1週間くらい続いていて……」「まだ、1週間じゃないかよ、喉っていうのはだいたいそのくらい痛みが続くもんなんだよ」「あ、そうですか……」「まあいいや、口開けろ！」。

荒木　ははは、「いいから口開けろ」が来た（笑）。

平尾　「嫌か？」と聞かれ「まあ、得意じゃないですけどがんばります」と答えたら「すぐ終わっから」って。で、喉にグッとやられて「オエッ」となって。終わったあとは少し優しくなるんですよ。

荒木　ああ、そうならないと嫌だなと思った。

平尾　ニコッと笑って「3日で治るから」って。そしたら、本当に3日で治ったんです。だから、態度は悪いけど名医だよという話をうちの妻と娘に話したら、それ以来、二人も行くようになったんです。

荒木　娘さんも痛いのとか、先生が無愛想なのとか、大丈夫なんだ。

平尾　そうですね、当然、娘も妻も痛いの自体は嫌なんだけれど、なぜかそのおじいちゃん先生に気に入られたらしくて。娘はグリグリっとやられた後に「ああ、痛かった」くらいのことを言う。だいたいそういうことを言うと「もうくるな！」とか言われるらしいけれど、娘の場合は「今日の夜、もう1回こい」と言われたらしいです。「1日で2回やっといたほうが効果あるから」って。

荒木　へえ、そういうこともあるんだねえ。

平尾　それで、今回も行ってきたわけです。「この前の薬、効いたか？」「めっちゃ効きました、本当に3日で治りました」「あの薬、すごく効くけど、最近はあまり手に入らないんだよ」って言いながら「口開けろ」「オエッ」みたいな（笑）。

荒木　（笑）。

平尾　そんな感じで、いまどきなかなかない病院だと思います……という、この耳鼻科の先生の話をスタジオでもよくするんですよ。

荒木　ああ、何かね、そういう話し馴れている感じはあった（笑）。

平尾　そうしたら、広島出身のスタッフが、地元で通っていた歯医者の話をしてくれて。そこの歯医者も同じような方向で、要は麻酔をほとんどしない、と。

荒木　ええっ？　いやいや、あり得ないだろ！

平尾　そのかわり、ものすごく処置が早い。激痛も一瞬だし、治りも早い。本当は麻酔をしないほうがその後の歯にとってもいい、という考え方の歯医者さんらしくて。

荒木　オレはその一瞬の激痛がめちゃめちゃ嫌だ（笑）。

平尾　（笑）。でも逆に、麻酔を使ったほうが痛みが長く持続しちゃうらしいですよ。

荒木　そういうこともあるのかもねぇ……でも、オレは麻酔のほうがいいな。麻酔なしで歯の治療をしている人がいるってことが信じられない。今のような麻酔がなかった頃の人類は、歯の治療を一体どうしていたのだろうか。心配になっちゃう。

平尾　（笑）。お互い、身体は大事にしたいですね。僕も最初に荒木くんが話したのと同じく、そろそろ年齢も考えて、体調を整えられるように心がけたいと思います。実はこの号が発売になる翌日の1月10日が誕生日で、46歳になるんですよ。

荒木　おお、おめでとう！　そして1月11日には、先月お知らせしたイベント開催ですよ。

平尾　ライブ配信もありますから、発売当日にこのページを読んだ人はもしかしたら間に合うかもしれないですね。たくさんの人に観ていただけたら嬉しいです。

荒木　どんなイベントになるかお楽しみに。そして、２０２５年もよろしくお願いします！

バリウタの愛を知りたい!! トークライブ

2025年1月11日（土）
東京・阿佐ヶ谷ロフトA
OPEN 11:30／START 12:30
＊ライブ配信も実施
詳細⇒https://www.loft-prj.co.jp/lofta/

あらき・てつろう／1976年生まれ、フリーの演出家、監督。『DEATH NOTE』、『ギルティクラウン』、『進撃の巨人』、『甲鉄城のカバネリ』、『バブル』などで監督を務める。

Animage
アニメージュ

畠中 祐 連載

タスクのつぶやき

TASUKU no TSUBUYAKI

第20回

音楽と共にある物語

声優やアーティストなど多方面に活躍中の畠中祐さんが、日常やお仕事で感じたことを綴るコラム連載！ 今回はプライベートで交流があるというスキマスイッチの常田真太郎さんに誘われて足を運んだ、槇原敬之さんのLIVE「マキハラボ」の感想を語っています。



はたなか・たすく
8月17日生まれ／神奈川県出身／賢プロダクション所属／代表作に『LUPIN ZERO』（ルパン）、『僕のヒーローアカデミア』（上鳴電気）、特撮ドラマ『ウルトラマンZ』（ウルトラマンゼットの声）など

※夏に開催されたコンサートの際に撮影していただきました

いつも下北沢に来たら入っていたカフェが閉店していた。手作りケーキが美味しい、内装がかわいらしいカフェだった。

大学の友達とここで、芝居の話をしながら駄弁った。チョコレートケーキの味を思い出しながら、もう最後に食べたのが随分前なことに気づく。

忙しかった。それを言い訳に取りこぼしてしまったことに思いを巡らす。**このカフェのように僕は気づかないうちに、いくつお別れをしたんだろう。**

あと少しで24年が終わる。そんな年の瀬に僕は、閉店したカフェの前でしばらく立ち尽くした。

12月にはやっと自分の時間が戻ってきた。

そんなタイミングで、**スキマスイッチの常田真太郎さんから連絡が入る。行きたかった槇原敬之さんのLIVE「マキハラボ」へのお誘いだ。**即答で「行きます」と答えた。

真太郎さんと初めてお会いしたのはラジオ。ゲストで呼んでくださったのだ。

小さい頃からスキマスイッチを聴いて育ったこともあり、もうド緊張でラジオに出演したのだが、そこからプライベートでも大変お世話になっている。

初めて槇原さんのLIVEに連れて行っていただいたのは、24年の夏。母が好きで幼いときから、僕の家には槇原さんの曲が流れていた。

その話を真太郎さんにお話ししたら、なんとずっと槇原さんとつながりがあるということで、LIVEに連れて行ってもらったことがあった。

そこから数ヵ月。

コロナに倒れ、インフルに倒れといろいろあったが、こうしてLIVEの座席に座って開演を待っている。本当に嬉しかった。僕は興奮していた。

LIVEが始まる。

生楽器から紡がれるメロディに胸が躍る。槇原さんの優しい歌声が胸に沁みてくる。

音楽に身を預けながら、幼少期の思い出が頭の中を駆け巡った。

この曲は、母さんも好きでよく一緒に聴いたんだっけか？ この曲は家族で旅行に出る前日の夜に聴いていたなぁ。この曲は喧嘩した友達と仲直りしたときに聴いた。この曲は、なんかおばあちゃんを思い出すな。この曲は初恋したときに聴いた！ あぁこの曲は、みんなでクリスマスを過ごしたときに聴いたなぁ。

一曲一曲に、あのときの思い出が詰まっている。自然と、涙が出ていた。

「LOVE LETTER」という曲が始まる。照明が変化し、客席が照らされる。

ふと、僕の斜め左に座っていた一人の年配のお客さんの表情が見えた。

大好きだ　大好きだって
とうとう言えないまま
君は遠くの街に行ってしまう
何回も　何回も
書き直した手紙は
まだ僕のポケットの中
（「LOVE LETTER」作詞・作曲・編曲・歌唱／槇原敬之）

涙をぼろぼろ流しながらその人は、祈るようにステージを見て、染み入るように曲を聴いていた。

あぁ、この人にも、そんな思い出があるのかもな。見送る側だったのか、見送られる側だったのかはわからない。そんなことはなかったのかもしれない。でもきっと、あるんだろう。届けたかった気持ちが。一緒に過ごしたかった時間が。

こうしてこの曲を共に聴く一人ひとりの中に、たしかにそんな物語があるんだろうな。世代も性別も超えて、そんな想いが一つに集っていることに、たまらない尊さを感じた。

とりこぼしたくない。この表情を。この瞬間を。LIVEを見ている一人ひとりに物語があることを、僕は、とりこぼしたくないなぁ、と思った。





LIVEからの帰り道、改めて「LOVE LETTER」を聴く。この曲を聴いたときに感じるぬくもりは、今も昔も変わらず、とりこぼさず、この胸の中にある。

寒いのか、嬉しいのか、よくわからないまま、僕は帰り道を少し走った。

お便り募集中！

本コーナーではお便りを募集中！　テーマ宛のものだけでなく、感想もお待ちしています。

現在募集中のテーマ
「最近、あなたの気持ちが動いた瞬間は？」

郵送
➡〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒CS
㈱徳間書店 アニメージュ編集部「タスクのつぶやき」係

Web投稿
➡https://animageplus.jp/webform/



灯す炎

発表からわずか3ヵ月で再生数は約3500万回を突破！ TikTokでは一般ユーザーが作った動画の投稿数が6万件を超えるなど、爆発的な人気を誇る『モエチャッカファイア』。Billboard JAPANの Heatseekers Songsでは通算9回の首位を獲得するなど、その勢いはとどまるところを知らない。

弌誠の中毒性のある歌詞とメロディライン。大胆なイントロ、メタルロックとクラシカルなワルツという相反する要素を共存させたnecchiの編曲センス。二人の自由なサウンドメイキングがエレン・ジョーの魅力を鮮やかに際立たせている。弌誠とnecchiが口を揃えて「かわいい」と太鼓判を押したMVは、ハツミノが制作。楽曲の世界観を大きく拡大させ、エレン・ジョー＝モエチャッカファイアというイメージを確立させた。

ムーブメントの中心にいる弌誠とnecchiが本誌に初登場！ 楽曲制作秘話から音楽的ルーツ、そして『モエチャッカファイア』の真の魅力まで――取材日が初対面というお二人の話から、『モエチャッカファイア』の新しい側面が見えてくるはずだ！

ゲーム『ゼンレスゾーンゼロ』とは？

『原神』『崩壊：スターレイル』のHoYoverseが放つアクションRPG。異常災害により異常空間「ホロウ」が発生する世界。ホロウ耐性を持つ主人公は、ホロウに入り込んだ人々を助けることを生業としていた。そして今日もホロウ離脱依頼が舞い込む。

エレン・ジョー

家事代行派遣会社「ヴィクトリア家政」に所属しながら、メイド喫茶でバイトする女子高生。高い身体能力を買われ、同組織の裏の仕事も掛け持つ。サメのシリオン（獣人）で尾ビレが特徴。ドライかつ面倒くさがりで塩対応だが、忖度しない態度が好評で、客からの人気は高い

シンガーソングライター

弌誠（作詞作曲）× necchi（編曲）

いっせい　ねっち



2001年生まれ。YouTubeを中心に楽曲を公開しているシンガーソングライター。2022年6月にリリースした「通リ魔」は映画『きさらぎ駅』の主題歌に。23年には「しあわせレストラン」を映画『リゾートバイト』に書き下ろす。24年にはTVアニメ『多数欠』エンディングテーマも担当。

SNS
YouTube ▶https://www.youtube.com/@tyih
X（Twitter）▶twitter.com/tyih_1950
Instagram ▶instagram.com/tyih.art
Tiktok ▶tiktok.com/@issey_hello



作詞・作曲・編曲・トラックメイクまでを全て一人でこなすシンガーソングライター。2020年に「シンシア」をYouTubeに公開。21年には「ネメシア」、23年に「アリス」「ケロイド」「カラー」をリリース。24年にはゲーム『太鼓の達人』に提供した「ヘイラ」をセルフカバーし、話題となった。

SNS
YouTube ▶www.youtube.com/@_necchi
X（Twitter）▶twitter.com/necchl
Instagram ▶instagram.com/_necchi

エレンと弌誠が重なって生まれたトラックメイク

──『モエチャッカファイア』制作に至った経緯からお聞かせください。

弌誠　HoYoverseのゲームが元々好きで、エレン・ジョーに一目惚れして、勢いのまま作りました。一般的なメイドのイメージとは真逆にいる、職務怠慢なキャラクターというのが第一印象でした。でも、めんどくさがりながらも、仕事はちゃんとこなす。冷めているけど熱い部分を、イラストから感じ取りました。

──エレンは、ゲームでは氷属性のキャラクターです。タイトルが「火」を連想させるのは、彼女の熱い部分を反映させたからですか？

弌誠　最初は「氷」をテーマにしようとしたのですが、氷を溶かすような熱さを連想させることで、より氷属性が引き立つかなと思ったんです。エレンちゃんのひねくれた性格を表すため、メロディやワードも裏をかくことを意識しました。でも、できたのはエレンちゃんのイメージ通りダウナーな曲調で、全然ファイアしていないんですが……（笑）。

──公式キャラクターソング『BITE!ガブッとね』も参考にしたのでしょうか？

弌誠　いい曲ですよね、『BITE!ガブッとね』。ギターもかっこよくて。この曲は学生のエレンちゃんをテーマとしていたので、『モエチャッカファイア』は思いっきりメイドに振り切りました。

──necchiさんにアレンジ依頼をした経緯は？

弌誠　necchiさんの曲が好きで、ずっと聴いていたんです。ダメ元というか、まあ無理だろうなって思って依頼してみたら、二つ返事で引き受けてくださって（笑）。

──アレンジの際にリクエストはありましたか？

necchi（以下、n）　弌誠くんのことは以前より知っていて、曲も聴いていたので「これはやりてぇ」と即答しました。アレンジだけをするのは今作が初めてだったので、何かリクエストがあるのかなと思っていたのですが、「好きにやっちゃってください」と特に何もなく（笑）。それならばということで、弌誠くんのコードと歌詞がない、鼻歌とアコギの弾き語りのデモ音源を、いかに「かけ離すか」を意識して、アレンジを始めました。

サメた視線が

モエチャッカファイア

HP https://www.youtube.com/@tyih
original music：弌誠　illustration & movie：ハツミノ

『モエチャッカファイア』が各種チャートを席巻中だ。これは『ゼンレスゾーンゼロ』に登場するエレン・ジョーをモチーフとしたキャラクターソング。作詞作曲をした弌誠、編曲を手掛けたnecchiにインタビューを敢行、その魅力に迫る！



エレン・ジョーを紡ぐ声と詞と音

—necchiさんのアレンジを聴いた時の感想は？

弌誠　クオリティが高すぎて「僕、いらないかな」と思ったほどです（笑）。同時に、好きな人が自分のために作ってくださったという事実が頭の中を駆け巡っていました。5時間ほど聴いて、ようやく落ち着いて「めっちゃエレンちゃんのテンションだな」と。きちんとキャラクターに寄り添っていただいているし。OKというのもおこがましいくらい、感謝しかありませんでした（笑）。それからnecchiさんからいただいた音に、歌詞をハメていきました。

—エレンに対する解像度の高さもすごいですね。

n　エレンのダウナーさ、弌誠くんの歌声や曲調から、僕の中でエレンと弌誠くんが被ったんですよね。弌誠くんの曲をアレンジしていたら、自然とエレンの曲になっていきました。

—弌誠さんは、ご自身とエレンとの親和性をどのように感じていましたか？

弌誠　確かに僕は低音ボーカルですし、エレンちゃんもダウナー。その意味では、親和性はあるかもしれません。曲を作り始める前から、『ゼンレスゾーンゼロ』の中では一目惚れするほど好きなキャラクターだったので、そう捉えてくれるのは嬉しいですね。

—気に入っているフレーズはありますか？

弌誠　〈隣に座ってせーの　萌萌萌萌〉ですかね。当初〈萌萌萌萌〉と入れようとは思っていなかったんです。「ぱみゅぱみゅぱみゅぱみゅ」みたいな、スキャットやボイパのような、言葉ではない音を想定していました。でも、necchiさんのアレンジのオケがめちゃめちゃインパクトがあったので、このままスキャットにした場合、埋もれちゃうなと思って。もっと強い言葉にしようと考えたところ、〈萌萌萌萌〉が浮かんだんです。音じゃなくて、言葉にすることでしっくりきたので、閃くことができてよかったなと……。

n　僕もほぼ同じですが、〈ようこそお越しなさったご主人様　隣に座ってせーの　萌萌萌萌〉ですね。前情報がない状態で聴いても、「メイドさんの歌なんだ」と分かる。同時にエレンのキャラクター性も見えてくる。曲の入り口としては、最適なフレーズだと思います。

—LOVEをLUVにした意図は何でしょうか？

弌誠　日本でいう「笑」を「w」にするような、軽めの表現で。エレンちゃんだと、普通のLOVEだとちょっと重い。彼女の適当さを表す場合には、Luvのほうが合っているだろうとこの表記にしました。

—左右のチャンネルから、萌萌、Luv、Luvが聴こえるのも特徴的です。

弌誠　エレンちゃんが耳元で、〈隣に座って〉と囁いているイメージですね。声優さんが耳元で囁いている



好きなアニメ作品とキャラクター

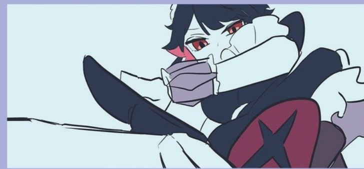
n　アニメは断然『僕のヒーローアカデミア』ですね。大好きで、3話に1回ぐらい泣いています。『ヒロアカ』で好きなキャラクターは……選べないです。みんな好きすぎて（笑）。あとは、親の影響で『はじめの一歩』も好きですね。最近、サブスクでも配信されていて見直しているんですが、3周目に入ったところです。『ヒロアカ』もそうですが、か弱い主人公が上を目指していく王道展開が好きなんだな、と自覚できました。

弌誠　僕は『ヒロアカ』のトガヒミコと、『ドラゴンボール』の孫悟空が好きです。トガちゃんは初めて見た時から恋していました。それこそ、エレンちゃんもダウナーという部分で共通項がありますよね。僕はどこか冷めている子が好きなので、曲もテンションが低い感じになるのかなと思うことがあります。一方、『ドラゴンボール』の悟空はちゃらんぽらんだけど、キメるところはキメてカッコいい。基本、おバカをやっているようなそのギャップがいいんです。僕の曲も、そんなギャップを大切にしたいと思っています。例えば、曲名はかわいかったり抜けていたりするような、入り口としては「なんだこれは？」とリスナーが思っても、聴き終わると「カッコいい」と思わせたい。悟空と同じように『モエチャッカファイア』も、聴くと強くなれそうな、戦闘力が高い曲だと思っているんです。それはnecchiさんのパワーのおかげですね。



n　確かに戦闘力はあるかもしれない（笑）。

弌誠　5億くらいありますよ（笑）。



動画を観て、僕もそれをやりたくなったのもあり、ミックスの時に左右に振るようお願いしました（笑）。ASMRのようだと、リスナーにも好評でよかったです。今後も積極的に振っていこうかな（笑）。

n 結構みんな気にするんだね。僕も使おう（笑）。

無茶振りしてもカッコよくなる！

―イントロがロシアンハードベースです。

n 「ロシアンハードベース」というジャンルの名前を知らなかったんです。ただ、音自体は以前から聴いていて、いつか作りたいなと思っていました。僕はいろいろなジャンルを聴くたび、自分の曲に取り入れたいと思い、常にストックしているんです。その中にロシアンハードベースもあったんですね。その使いどころを探していた時に、この曲のアレンジの話が来て。僕は弌誠くんのように低い声が出せないので、このイントロは『モエチャッカファイア』



に活きると思ったんです。いざ作ってみたら、弌誠くんの声とロシアンハードベースの相性は想像以上にバッチリでしたね。

―作曲においてこだわったポイントをお聞かせください。

弌誠 ポイントは後半の三拍子です。『モエチャッカファイア』は流れるように四拍子から三拍子に行くので、従来の三拍子より四拍子に近い独特のリズムなんです。

n アレンジではコードを変えさせていただきました。デモだともっととっつきやすいコード進行だったんですが、僕の色に変えたかったので。三拍子で思い出したけど、最初のデモって1番だけだったよね？

弌誠 そうですね。デモは1番だけです。2番は追加で作りました。

n OKが出た1番のアレンジを元に、弌誠くんが続きをアコギで作ってきたんです。弌誠くんの言う三拍子の部分は、その時に彼がいきなり突っ込んできたものですね。「お、やってきたな……！」と思ったんですけど（笑）、「そっちがそうくるなら、こっちもやってやるわ」と、思いっきりクラシカルにしました。そういう意味では、僕が色付けしたとはいえ、弌誠くんがぶっ込んでこなかったら、ワルツのパートは入っていなかっただろうなと思います。

―弌誠さんの中でワルツを入れることは、最初から想定していたのですか？

弌誠 いえ、necchiさんの1番のアレンジを聴いてから、「ハードベースから急にワルツになったら面白いだろうな」と思って入れました。

n ワルツさせられました（笑）。

弌誠 義務ワルツです……。

n 義務ワルツ（笑）。necchiさんは、いろいろなジャンルの音だと分かるように、曲調や曲の中で表現していることが多いんです。necchiさんなら、ワルツを入れても絶対カッコよくなるんだろうなという信頼感があって。だからこそめちゃくちゃにできたのかもしれないですね。

―お二人はどのように曲を作ることが多いのですか？

弌誠 アコギと、ボイスメモでの鼻歌が多いです。

n 僕はDTMの打ち込みで、思いついたところから作るようにしています。ベースラインを思いついたらベースラインから打ち込むし、メロディが思い浮かんだらまずは打ち込んで、それに対してコードを付けていくところから始めます。先に楽器を弾くということはないですね。トラックメイクから始めていく感じに近いと思います。

―『モエチャッカファイア』のアレンジはどのパートから？

n サビです。今回に限らず、僕はサビから作ることが多いんです。サビは「曲の顔」じゃないですか。サビがいいとテンションが上がるんですよ。だから早い段階でサビを作り、曲を完成させるモチベーションにするんです。『モエチャッカファイア』は、僕が満足できるサビが早めにできたので、全体を通してモチベーションを高く維持でき、楽しくアレンジさせてもらいました。

―弌誠さんはどこから作り始めたのでしょう？

弌誠 Aメロ、Bメロ、サビと順番通りに作りました。『THE FIRST TAKE』のようにそのまま行こうという心持ちですね。曲が短い理由は、一気に作ったこともあるかと思います。

―コーラスには森田くみこさんが参加しています。

弌誠 森田さんは僕のボイストレーナーで、歌の師匠です。そんな方がコーラスを入れてくれました。当初から、女性の1オクターブ上の声は入れたいなとは思っていたんです。というのも僕、necchiさんの曲全てが好きなんですが、特に『シンシア』が好きで。

n ありがとうございます。

弌誠 『シンシア』では、オク上でSuchさんの声が入っていて。僕も女性コーラスはいつか絶対やりたいと思っていたので、今回森田さんにお願いしました。

―森田さんの声も一瞬、弌誠さんかなと思うほど、お二人の声が融合していました。

n リリースされるまで、僕も森田さんの声も弌誠くんだと思ってた（笑）。デモ音源でも、サビでオク上の高い声が重なっていたんですよね。デモの時も森田さんだったの？

弌誠 デモの時は両方とも僕です。簡易的に入れていました。

n 僕が知らないうちに森田さんと入れ替わっていたのか……（笑）。

曲の代名詞となったエレン・ジョー

―MVについて伺います。ハツミノさんとはどのようなやり取りをしたのでしょうか？

弌誠 僕がハツミノさんの作品が好きで、一緒にやりたいというところから始まっています。necchiさんと同じく、ダメ元でお願いしてみたら引き受けてくださって。曲をお渡しした後は、全てハツミノさんにお任せしました。ヴィクトリア家政の3人も、ハツミノさんが入れてくれましたね。

―歌詞の中には、ヴィクトリア家政の3人を表現しているのでは、という考察もありますよね。

弌誠 ありますね。メンバーのカリンちゃんがチェンソーを使っているのと、エレンちゃんがノコギリ歯というのもあり、〈ソー〉の言葉を歌詞に入れました。サビの歌詞でメンバーを表現しよう、という意図は最初からありました。

―MVを見た感想は？

n かわいいですよね。ゲームを知らなくても、一目見ただけでエレンの人となりが分かる。ポーズはかわいいのに、冷めている表情なのもポイントが高いです。

弌誠 ハツミノさんが描くエレンちゃんの個性が、ゲームイラストと二重になっている感じがとても好きです。エレンちゃんを見て「モエチャッカファイアの人だ」と言う声もちらほらあって（笑）。僕なんかは、原作に対して失礼だなと思ってしまうんですが（笑）、それくらい曲を象徴するキャラクターとして確立したのは、ひとえにハツミノさんの力量だと思います。特徴的な振付もハツミノさんの発案ですし。

―弌誠さんのXでは、ゆるい感じの『もえちゃっかふぁいあ』も公開しています。こちらのアレンジは？

弌誠 これは僕のアレンジです。アマゾンで8000円くらいのウクレレを買いました（笑）。ピーピー鳴っているのが「アンデス」という鍵盤ハーモニカのような楽器で、これが結構音が外れて、全然上手く弾けないうえに2万円もしました（笑）。

―アンデスを知ったきっかけは何でしょうか？

弌誠 『ピタゴラスイッチ』などで活躍されている、栗コーダーカルテットさんが『やる気のないダースベイダーのテーマ』をアンデスで演奏していて、そこから着想を得ました。アンデスで演奏すると、necchiさんの壮大なアレンジをこんなにもやる気をなくさせるのかと（笑）。僕がアレンジしていたら、こうなっていたかもしれませんね。

n 対比がいいよね（笑）。

―『もえちゃっかふぁいあ』のイラストは？



ヴィクトリア家政

家事から裏の仕事まで、あらゆる依頼に対応し成果を挙げる家事代行派遣会社。依頼料も高価で、利用者は富裕層やその筋の関係者に限られている。主人公も依頼を受けるまで彼らを知らなかった









弌誠　知人が描いてくれましたかったそうです。完成するのに、朝5時までかかったそうです。やる気のない曲調とイラストですが、実は結構気合が入っているんですよ（笑）。

――まだファンが気付いていない歌詞や曲調があればぜひ。

弌誠　「チャッカ」は「着火」と言われているんですけど、実は銃を意味する「チャカ」の意味を持たせています。エレンちゃんたちはメイドや執事でありながら、物騒な武器を持っているので関連付けました。

n　これは気付かれていなさそう。

弌誠　〈up pull pull（あっぷっぷ）〉も、平仮名ではなく英語にしたのは、ヒップホップの治安の悪さを想起させるフレーズ「Pull up（プルアップ）」というスラングから来ています。またチャカの語源として、引き金を引く時の「カチャ」の音を反対にしたとも言われていて。それで「Pull up」の語順を反対にして、〈up pull pull〉としたら、スラングなのにかわいらしさが出るかなと思った次第です。

n　深みすごいじゃん（笑）。これも気付かれてないんじゃない？

弌誠　〈up pull pull〉の巻き舌も、銃の発砲音を意識したものです。これもヒップホップでよく使われている手法ですね。

――アレンジの面ではいかがでしょうか？

n　僕のアレンジではないのですが、2番のサビに入る前のポンッという破裂音。そこだけ弌誠くんが加えたところなんです。元々は1番と同じスネアドラムの音にしていたんですけど、弌誠くんの破裂音とブレイクが入って、より面白い構成になったと思います。

――お二人が影響を受けたミュージシャンやクリエイターを教えてください。

n　トラックメイクについては、ゲーム音楽の影響が大きいです。分かりやすく転調する曲が僕は好きで、そういう手法って特にゲーム音楽に多いんですよ。好きなのは『東方Project』や『星のカービィ』の音楽。他にもあるんですが、パッと出てこないな（笑）。歌のメロディや歌心は、DREAMS COME TRUEからもらいました。親がドリカム大好きだったので、小さいころからずっと聴いていました。今でもカラオケで毎回歌うほど好きです。他には広瀬香美さんも好きですね。90年代の歌謡曲がメロディの基礎となっていると思います。ボカロ曲も小学生のころから聴いていました。ボカロ曲の歌詞の多さ、歌謡曲のメロディ、ゲーム音楽のトラックメイク――3つのいいとこ取りを、僕の中で実現させたいと思っています。

弌誠　僕は、漫画家の藤本タツキさんです。『モエチャッカファイア』『しあわせレストラン』『さよならバースデー』など曲名を決める時に、藤本先生だったらどうするかと考えるんですよね。『さよなら絵梨』のようなタイトルには、幼稚園児でも口にしやすい音の響きや心地よさがあって、とても印象的です。それに、どこか絵本のタイトルのような柔らかさも感じます。『モエチャッカファイア』と口にした時に、少し違和感を覚えるというか。不思議な感覚は残しておきたいと思っています。また、米津玄師さんの影響も大きいです。音楽面では一番影響を受けたかもしれません。今でも米津さんの『アイネクライネ』を聴いた時の感動が忘れられなくて。必死に米津さんの音楽を僕の音楽で再現しようとしています。米津さんからボカロ曲を知り、そこからさらに幅広い音楽を能動的に聴くようになりました。

――今後どんな曲を作っていきたいですか？

n　さらにいろいろなジャンルを吸収して、僕にしか作れない曲をどんどん量産していきたいです。誰が聴いても「これはnecchiの曲だ」だと分かるような、唯一無二の個性を生み出したい。そうなれるように日々頑張りたいです。

弌誠　僕も、自分にしか作れない曲を作っていくのが目標です。ただ、最近はnecchiさんやハツミノさんと、人と関わる機会が増えてきたことで、少し考え方が変わってきました。僕と関わってくださった人の魅力を、最大限引き出せる曲を作りたいなと思うようになってきたんです。僕が個性を押し付けるということではなくて、「弌誠というアーティストと一緒に作れてよかったな」という曲を目指したい、という気持ちです。でも、僕は根が少しワガママなので、個性が漏れちゃっているかもしれません（笑）。最終的には、僕の曲を聴いてくださるリスナーにも素敵な視聴経験を届けたい。そして、その先には全米チャート1位も目指していきたいです（笑）。

n　弌誠とやれてよかったなあ。『モエチャッカファイア』のアレンジやれてよかったなあ。

弌誠　あ……なんだか無理矢理言わせちゃいましたね（笑）。

n　（笑）。













銃士たちの輝きを

銃の化身である“貴銃士”たちの成長を描く『千銃士:Rhodoknight』が、Switchになって返ってくる！
メインストーリー完結に向けて、鋭意制作中のプロデューサー陣に話を訊いてみた!!

千銃士Rの世界とは？

前作『千銃士』で世界帝軍を倒してから7年後。イギリス女王が呼び覚ましたブラウン・ベスをきっかけに、各国は自国の象徴として貴銃士たちを次々に目覚めさせていく。連合軍士官学校に所属するあなたは、貴銃士たちと共に謎の組織トルレ・シャフとの戦いに身を投じていく。

銃の化身である貴銃士たちの活躍を描くスマートフォンゲーム『千銃士:Rhodoknight』（以下：『千銃士R』）。昨年4月にサービスを終了したのちもファンから熱い支持を受け、ついにNintendo Switch版の制作が決定した！

『千銃士R』の魅力といえば、ほどよいダークさを秘めたメインストーリーや、銃の化身である貴銃士それぞれを深く知ることができる貴銃士ストーリーなど、さまざまな物語を楽しめるという点だ。同じ国出身の貴銃士たちが繰り広げるお国柄の話、使用された戦場では敵同士だった貴銃士たちによるやりとり、そして、後継銃に対する思いの違いなどが描かれている。

さらに、貴銃士たちの「銃ならではの不完全さ」も注目ポイント。貴銃士たちはいわば人間1年生。主人公であるプレイヤーとしては、彼らは見守ってあげたい相手でありつつ、戦いの場では頼れる存在でもある。日常のほっこりした部分と、命をかけて戦うという二面性が、多くのファンを魅了していたのだ。

これから発売されるSwitch版には、未完だったストーリーの新規制作&キャラクターボイスの追加を予定している。発売に向けて、今から『千銃士』&『千銃士R』の世界をのぞいてみるのもいいかもしれない。

長く残るものを作りたい

F 株式会社マーベラス／プロデューサー × **黒田達夫** 株式会社ジー・モード／プロデューサー

Switch版でも違和感なくストーリーを楽しめる

—改めてにはなりますが、『千銃士R』の簡単な説明をお願いします。

F 千銃士プロジェクトは、銃の化身である貴銃士の活躍を描くスマートフォンゲーム『千銃士』を2018年にリリースし、スタートいたしました。前作『千銃士』は2019年にサービス終了しましたが、『千銃士R』はそんな『千銃士』の7年後の世界を描く新作の貴銃士育成RPGとして、2021年にリリース。2024年4月にサービスを終了しましたが、この度Nintendo Switchソフトとして2025年の発売を告知いたしました。

—今もなお、多くのファンに支持されていますが、お二人が考える『千銃士』の魅力とは？

F 個人的な意見にはなりますが、貴銃士たちのキャラクター性でしょうか。デザイン原案やイラストレーター、命を吹き込んでくださったキャストなど、いろいろな方の力による相乗効果で、より魅力的なキャラクターになったと思っています。さらにこの作品がきっかけで、ドイツビールを飲んでみたり、歴史の勉強に熱が入ったりという声もよく聞きます。アプリ版のサービスが終了した今でも、貴銃士たちとの繋がりを持ち続けていただけて、とても嬉しいです。

黒田 ジー・モードとしては、マーベラスから作品を預かっている立場なので、客観的な分析になりますが、ストーリー構成の絶妙なバランスが魅力的だと感じています。ユーザーに継続的に見てもらうためにも、マンネリ化しないよう緩急をつけたり、続きが気になるような各話の区切り方に気をつけたり。とても繊細な部分だと思うのですが、『千銃士R』は上手い案配で作られていて。読み応えがあるのに重くないストーリーに、個人的にも惹かれています。

—『千銃士R』Switch版の制作経緯を教えてください。

F アプリ版のサービス終了時に、メインストーリーをどうしようかというところで、取ってつけたような終章で終わりにはしたくない、そしてお客様の手になるべく長く残るものを作りたいと考えたことがスタートです。ドラマCDなのか、書籍なのかなど、お届け方法はずっと模索していました。

—なぜオフライン版ではなく、Switch版を選んだのですか？

F オフライン版は、プラットフォーム側の規約も変化しますし、新しいOSが出るたびに調整しなくてはなりません。調整が難しい状況も多く、実は前作のオフライン版も一部の方はダウンロードができない状態となっています。そんな状態で『千銃士R』もオフライン版を出してしまうと、早くて2〜3年くらいで遊べなくなってしまうんじゃないかという懸念点がありました。Switch版も候補には上がりましたが、いろいろとクリアしなくてはいけないことが多く……。悩んでいたときに、ジー・モードから「ぜひうちでSwitch版を作らせてほしい」と打診をもらったんです。

黒田 そうでしたね。『千銃士R』のサービス終了のニュースを知り、「これから『千銃士R』はどうなるんだろう」と個人的に気になっていて。実際にマーベラスに話を聞いたところ、どう展開していくか迷っていると。私自身がジー・モード入社前、女性向けゲームに携わっていたことや知見もあったことから、手を挙げさせていただきました。

—現時点では、メインストーリー完結に向けて制作を進めていると聞きました。そのほかの面で、新しい要素を取り入れる予定などはあるのでしょうか？

F 新しい要素というより、どうしてもそのまま移植することは難しいので、変更が出る箇所は多くあると思います。容量の制限などもありますし、ストーリーやイラスト、ボイスなど貴銃士の存在を感じていただける箇所を優先してお届けできるよう調整してもらっています。

黒田 ソーシャルゲームからコンシューマになると、どうしてもガチャや課金要素は変えざるを得ません。ゲーム部分についてはマーベラスに監修をもらいながら、開発会社と検討しています。アプリ版を楽しんでくださったお客様が、Switch版になっても違和感なくストーリーを楽しめるようにという方針で進めています。

—最後に、ファンへ向けてメッセージをお願いします。

F メインストーリーはもちろんのこと、プレイアブルではなかった貴銃士が登場予定ですので、既存の貴銃士たちとどんなやり取りを繰り広げるのかを楽しみにしていただきたいです。例えば、第4章で少しだけ登場したベイカーは、ブラウン・ベスの後輩でエンフィールドの先輩という立場です。スナイパーのため、ケンタッキーやマークスとのやり取りも気になると思いますし、楽しみにしていただければと思います。

黒田 Switch版を発表したときの皆さんの反響があまりにも大きくて、とても驚きました。これだけファンの期待値が高い作品なのだと実感したので、この期待を裏切らないよう、精一杯作らせていただきます!!



バサラの魂を創った男



K.INOJO

けい・いのじょー ｜ 作詞家・ベーシスト・映像作家・音楽プロデューサー。FIRE BOMBER（『マクロス7』）、大沢誉志幸、沢田研二、尾崎南などに詞を提供する

昨年TV放送30周年を迎えた『マクロス7』。それを記念して主人公・熱気バサラが所属するロックバンドFIRE BOMBERの12年ぶりのニューシングル「BURN! BURN! BURN!」が発売され、大いに盛り上がっている。

FIRE BOMBERの歴代ナンバーの作詞を数多く手掛けてきたのがK.INOJO。作詞作業は『マクロス7』の企画段階からスタートし、歌詞の内容は、バサラのキャラクター設定にもフィードバックされることに。原作／スーパーバイザー・河森正治（スタジオぬえ）、監督・アミノテツロらメインスタッフとともに、バサラの魂を作り上げたと言っても過言ではない、作品にとってのキーパーソンのひとりだ。

今年2月には、13年ぶりの単独ライブ開催が決定しているFIRE BOMBER。そのタイミングに合わせ、K.INOJOに名曲の数々の制作秘話を聞いた！

バサラは歌で生き様を見せる男です

あえてラブソングを書いていきました

――FIRE BOMBERの12年振りの新曲「BURN! BURN! BURN!」が、昨年10月にリリースされました。作詞の依頼がきたとき、どのように思いましたか？

K.INOJO（以下K） 30年前に生まれたバンドが今になって新曲を出すなんて信じられなくて、連絡を受けたときは思わず「マジですか？」と（笑）。やっぱり「マクロス」シリーズが今も続いているというのが肝で、『マクロスF』や『マクロスΔ』のアーティストたちががんばってくれたおかげだと思います。それに河森（正治）さんがFIRE BOMBERを気に入って、後の作品の中でもいろいろなところで名前を出してくれたんですよ。

――たとえば、『マクロスF』のシェリル・ノームの決めゼリフがバサラのオマージュである「私の歌を聴け！」だったり、スカル小隊の隊長オズマ・リーがFIRE BOMBERのファンだったりしました。

K 現実でも、『マクロス7』のライブが何度も開催されてきて、FIRE BOMBERの楽曲が演奏され続けている。今でもガチなファンの方がいてくれるというのは、ありがたいですね。

――「BURN! BURN! BURN!」は、どのような思いをこめて作詞したのでしょうか？

K それが一瞬で書けちゃったんですよね。バサラが今、歌いたいことがすぐにわかって。

――変わらないバサラの姿が感じられて、FIRE BOMBERと長年つき合ってきたINOJOさんだからこその歌詞だなと思いました。『マクロス7』の放送が始まったのは1994年10月で、翌月にはオープニングテーマ「SEVENTH MOON」のシングルがリリースされました。INOJOさんは最初、どのように作品に関わっていったのでしょうか？

K 今、僕の隣に座っている佐々木さん（佐々木史朗／『マクロス7』音楽プロデューサー、現・フライングドッグ社長）から声をかけられたのが最初ですね。男のロックの詞を書ける人を探している中で、僕の名前が出たということで、当時所属していた事務所に連絡が来たんです。それで事務所から「INOJOくん、アニメの作詞の話が来たんだけど、やる？」と言われて「やるやる」と。その後、佐々木さんに会いにいって、「これで1曲書いてみてください」と、設定資料とともに渡されたのが「SEVENTH MOON」の音源でした。

――最初は設定資料のみで、映像はでき上がっていなかったんですね。

K そうですね。この曲の歌詞が採用されないと今後の仕事はないなと思って、ストレートにかっこいい詞を書いたんです。宇宙を舞台にしたアニメらしいワードを使いながら、現実のロックバンドとしても通用する歌詞にしたんですけど、それが気に入られてよかった。振り返ると、「SEVENTH MOON」だけ世界を俯瞰で見ているような歌詞になっていて、バサラの曲の中では異質なんですよね。

――それはオープニングテーマであることを念頭に書いたからではないのでしょうか？

K いや、「とりあえず1曲書いて」と言われただけで、どんな使われ方をするかは知らなかった。僕がFIRE BOMBERに書いた歌詞は全部そうで、ストーリーにどう絡むのか、わからないままに書いていたんです。

――アニメの中では、バサラが新曲ができたと言って次々に披露していきますが、曲の内容がストーリーにもハマっていたので、今の発言が信じられないくらいです。

K そこは河森さんやアミノさんの手腕ですね。当時からよく、「あのシーンで使われたあの曲は、どういう気持ちで書いたんですか」と聞かれるんですけど、「そんなこと言われても知らないよ」としか答えられなかったんです（笑）。

佐々木 「SEVENTH MOON」ができた後、アミノさんが劇中で使うためにもう10曲くらい作ってほしいと言ったんです。しかも、インストのBGMはいらないから歌だけ作ってと。いやいや、インストなしはさすがに怖いと僕らは思って、BGMも5曲くらい作りつつ、ボーカル曲のデモを集めていって。それをどんどんINOJOさんに送って、歌詞を書いてもらいました。

K FIRE BOMBERは銀河で一番売れているロックバンドになっていくというのが『マクロス7』のストーリーなんですよね。銀河一になるバンドはどんな歌詞を歌うんだって、よく考えればハードルが高いじゃないですか。でも、そこは逆に、普通のバンドっぽい歌詞のほうが面白いかなと思って、ラブソングばかりにしていったんです。移民宇宙船に乗っているヤツらは、どういう恋愛をどこでしているんだろうなって思いながらも、結局、今の俺たちと変わらないんだろうなと。歌詞のリテイクはほとんどなかったので、ノリよく書いていけましたね。

――バサラはバルキリーに乗って宇宙空間の戦場でも歌いますが、それが普遍的なラブソングなのがいいんですよね。どんな状況でも愛を歌い上げるというのが魅力的でしたし、説得力がありました。

K 戦場で歌うのも、僕はわかっていなかったんですけどね（笑）。

佐々木　でき上がった第1話を観たとき、音楽チームはみんな驚いたんです。戦闘が終わった後、バサラがいきなりアカペラで歌い出して、こんな使われ方もするんだって。福山くん（熱気バサラの歌担当・福山芳樹）なんかは、「やめてー!」って叫んでた（笑）。

――「突撃ラブハート」でしたね。バサラは戦闘中に演奏付きで歌って、戦闘終了後にアカペラでもう一度、歌いました。それを映像で見ていたミレーヌが歌に合わせてベースを弾く演出に、ああ、バンドだなあと思わされました。

K　「突撃ラブハート」は最初期に作った4、5曲のうちの一つなんですが、タイトルにインパクトがありすぎて、みんなにドン引きされたんです。「だったら、熱気バサラって名前はどうなんだよ」って思ったんだけど（笑）。ただ、佐々木さんだけが「これで勝てるかも」みたいなことを言って。

佐々木　『マクロス7』はOVAの『マクロスプラス』と同時期に制作されていて、向こうは洋画志向の大人っぽい世界観だったんです。だからこっちは漫画っぽくいこうと。傍目から見たらバカバカしいことを大真面目にやることが、『マクロス7』では大事かなと思っていました。

K　その考えに「突撃ラブハート」はぴったりハマった。

佐々木　「突撃ラブハート」の歌詞はかっこいいんですよ、タイトルがバカバカしいだけで（笑）。バサラ曲の歌詞は福山くんの奥さん（福山恭子）も書くので、差別化するためにもINOJOさんには突き抜けたものをお願いしたんです。

バサラが歌うのは自分の思いだけです

――歌バサラが福山さんだということは、最初からご存知だったのでしょうか?

K　それは分かっていました。レコーディングにもずっと立ち会って、その場で福山くんの歌に合わせて歌詞を直したりしていたし。

――福山さんのボーカルについては、当時、どう感じましたか?

K　ロックボーカリストだなと。どんな歌詞でもうまくメロディに乗せて歌ってくれるので、ありがたかったです。歌がうまい人は、作詞家をいい気分にさせてくれるんですよね。いい歌詞書けたなって思わせてくれる。

――INOJOさんが考えるバサララしさとは、どういうものですか?

K　言葉ではうまく説明できないんだけど、言うことに一貫性があるのがバサラですね。こういうことは言うけど、こういうことは絶対に言わないというのがある。それを掴んでからは、まったく悩まずに歌詞を書けるようになりました。

佐々木　アミノさんや脚本の富田（祐弘）さんといったメインスタッフとともに、INOJOさんもバサラというキャラクターを作ったひとりなんです。INOJOさんの歌詞の哲学がバサラの生き方の哲学であって、その逆でもあり。

K　僕からすると、河森さんでありアミノさんであり佐々木さんであり、みんなの力で作り上げていったのがバサラだと思っています。僕とバサラは全部が一緒というわけではないけど、めちゃくちゃいい加減なところとか中央突破が大好きなところは合致していて。自分の思いのままに書いてもバサラの歌になるという感覚がありました。

佐々木　INOJOさんが書いたものが正解だから、僕らも「バサラがこう言っているんだから、そうだよね」と歌詞を見て納得していましたね。

K　1年通して放送される作品だったから、みんなで試行錯誤しながら、じっくりキャラクターを練り上げることができた。おおらかな時代でした。こういう作り方は、今の1クールで終わるTVアニメでは絶対に不可能だと思います。

佐々木　アミノさんの懐の深さというのもありましたね。実は1年分の音楽の予算を半年で使い切っちゃったんです。最初のシングル2枚が売れたから、曲を作り続けることができた。当時は綱渡りでした。

K　どんどん曲の発注が来て、歌詞を書いて送ると、全部、生バンドで録音されて音源になっていく。あれはすごいことだったと思います。

――結果的にINOJOさんは最新曲「BURN! BURN! BURN!」も含めて、30曲近く作詞を手掛けることになりました。

K　バサラだって悩むことはあるだろうと思って、内省的な歌詞を書いた曲もあったんですけど、ファンにはウケがよくなかった（笑）。やっぱりバサラはバサラなんだなと思いました。絶対にめげない、へこたれない男で、人に対して頑張れと言うのではなく、歌うことで生き様を見せる男なんです。宇宙の平和を願うみたいなメッセージソングは絶対に歌わない。そこに一番、僕自身の思いが反映されているんじゃないかな。「俺の歌を聞け!」で貫き通すのがバサラで、だからこそ多くの人の共感を得たんだと思います。

――30周年を迎えて盛り上がる中、INOJOさんも『マクロス7』関連の音楽作品を、自らのユニットでリリースされたんですよね。

K　Doubtmen（ダウトメン）というユニットを青木庸和くんとやっていて、『ダウトメン feat マクロス7』というアルバムを去年1月にリリースしました。福山芳樹くんや、『超時空要塞マクロスII』で歌巫女イシュタルを演じた笠原弘子さんなど多彩なゲストを招いて、FIRE BOMBERの曲をカバーしたアルバムです。それから8月にM-CARDという媒体でリリースした『ダウトメン サウンドブック（vol.1）』でも、EARTHSHAKERのMARCYや奥土居美可ちゃんと一緒にFIRE BOMBERの曲をカバーしました。どちらも『マクロス7』のファンの方に、ぜひ聴いてほしいと思います。



熱気バサラ

FIRE BOMBERのボーカル・ギター担当。可変戦闘機VF-19改ファイヤーバルキリーに乗り戦場でも歌う



購入▼

アルバム
Doubtmen feat MACROSS 7
K.INOJOと青木庸和の2人によるサウンドプロデュース&テクノユニットDoubtmenが、『マクロス7』の名曲たちを30年ぶりに新アレンジ。全14曲、16pブックレット付きデジパック仕様



収録曲
M1. BURN! BURN! BURN!
（作詞：K.INOJO／作・編曲：今村良太）
M2. I am a ROCK
（作詞：福山恭子／作・編曲：福山芳樹）
M3. レゴリス
（作詞：Chie kajiura／作・編曲：Eric Zay and Chie Kajiura）

配信
各音楽ストリーミングサービスおよび主要ダウンロードサービスにて配信中

ニューシングル
BURN! BURN! BURN!
FlyingDog／発売中／1540円（税込）
※『マクロス7』キャラクター原案・美樹本晴彦描きおろしジャケット
※初回生産分のみ特殊パッケージ仕様

マクロス
公式ホームページ
©https://macross.jp/

ジュエリー

ユートレジャー
U-TREASURE

HP✦http://u-treasure.jp/
✦直営店のU-TREASUREコンセプトストア池袋ほか、全国6ヵ所に正規販売店あり。オンライン注文も受付中。
※商品は全て発売中。価格は税込みです。

TVアニメ『カードキャプターさくら』放送開始25周年を記念したジュエリーが登場。世界観を濃縮したジュエリー、どれも遊び心をくすぐるデザインだ。



時代に合わせて日々進化するアニメグッズ。特にジュエリーは、作品の世界観を損なわず、普段のお出かけにはもちろんだが、勝負服にも合わせたくなるほどのクオリティを放つものも増えている。

モチーフを巧みに織り交ぜたデザインで目を引くのが、キャラクタージュエリーブランドのU-TREASURE（ユートレジャー）。国内に工房を持ち、150人もの職人たちが心を込めて生み出す技術とこだわりの精神は、キャラクタージュエリーにも息づいている。

今回紹介するのは、『カードキャプターさくら』から着想を得た新作アイテムたち。デザインコンセプトは「大人でも身に着けられる、上品で気品のあるパールをメインに世界観を表現すること」。フィット感の良いジュエリー、どの角度から見ても美しく仕上げられた装飾に心奪われる。2月24日（月）まで予約受付中のこちらのジュエリーは、7月より順次お届け予定。華やかな桜色に気分も上げていこう！

★星の鍵モチーフ（さくらカード編）カメオネックレス



さくらが新たに手にした「星の鍵」を元にデザイン。

←K10ピンクゴールド／55,000円

←↓シルバー925（ピンクゴールドコーティング）／33,000円



カメオネックレス



淡水パールを贅沢に使用し、カジュアルから華やかなシーンまで幅広いスタイルに活躍。優しい色合いで肌なじみの良いK10ピンクゴールドとシルバー925（ピンクゴールドコーティング）の2つの素材から選べる。

from 開発スタッフ

「オーバルの形がどの鍵ともバランスがよく見える形になるように微調整。パールをセットした時に、鍵モチーフが埋もれてしまわないような形状にしています」

★夢の鍵モチーフ（クリアカード編）カメオネックレス



不思議な夢を見た際に手にした「夢の鍵」があしらわれている。

←K10ピンクゴールド／55,000円

←↓シルバー925（ピンクゴールドコーティング）／33,000円



★封印の鍵モチーフ（クロウカード編）カメオネックレス



クロウカード編で、さくらがケロちゃんから与えられた「封印の鍵」がモチーフ。

←K10ピンクゴールド／55,000円

←↓シルバー925（ピンクゴールドコーティング）／33,000円





『さくら』色に煌めく

★パールリング



やわらかく艶のある一粒の淡水パールが、上品な印象を与えてくれる。

←K10ピンクゴールド／淡水パール 8～8.5mm×1p／55,000円





←↓シルバー925（ピンクゴールドコーティング）／淡水パール8～8.5mm×1p／22,000円

パールリング

パールを支える台座部分には羽の意匠がみられる。優しい色合いで肌になじむピンクゴールドで、手元を華やかに。ジュエリー職人が細部までこだわった逸品だ。

from 開発スタッフ

「大振りのパールでもかわいらしい印象になるように、サイドの羽モチーフや石座にある桜の大きさ、腕の厚みの調整を細かく行いました」



エタニティリング

★フライトモチーフ（クリアカード編）ハーフエタニティリング



さくらをずっと支えてきてくれた優しいフライトが、あなたの傍でも優しく寄り添ってくれるはず！

←K10ピンクゴールド／石：QZ 1.2φ×15p／55,000円





←↓シルバー925（ロジウムコーティング）／石：QZ 1.2φ×15p／29,700円

クリアカード編のフライトをモチーフにした華やかなハーフエタニティリング。正面は透明石が輝き、側面は繊細なフライトモチーフをデザイン。

from 開発スタッフ

「フライトのモチーフをしっかりと表現しつつ、正面から見た時はすっきりと身に着けやすい形・軽さを両立させることに注力したリングです」

★魔法陣（さくらカード編）ネックレス



さくらカード編の魔法陣ネックレスが登場。その輝きは星の鍵の封印解除シーンを連想させる美しさがある。

←K10ピンクゴールド／55,000円





←↓シルバー925（ロジウムコーティング）／29,700円

魔法陣ネックレス



魔法陣モチーフのネックレス。繊細に表現された魔法陣の背面に、見る角度によって美しく表情を変えるマザーオブパールを採用。ミステリアスで神秘的な雰囲気も味わえる。

from 開発スタッフ

「魔法陣の繊細で美しいデザインを表現するため、線や各モチーフの重なり、凹凸感にこだわりました。ぜひ楽しんでください」

★魔法陣（クリアカード編）ネックレス



クリアカード編の魔法陣がデザインされたネックレス。そのシルエットと輝きは、夢の鍵の封印解除を彷彿とさせる。

←K10ピンクゴールド／55,000円





←↓シルバー925（ロジウムコーティング）／29,700円

★魔法陣（クロウカード編）ネックレス



クロウカード編の魔法陣がモチーフ。封印の鍵の封印解除シーンを連想させるような、神秘的な輝きを見せてくれる。

←K10ピンクゴールド／55,000円





←↓シルバー925（ロジウムコーティング）／29,700円

スーパーヒーロー異世界に現る!!

悪の組織との決戦で命を落としたはずの真っ赤なヒーローは、気づいたら別の世界にいた！
戦隊ヒーロー・ミーツ・異世界ファンタジーな、絆を結ぶ英雄の物語が幕を開ける!!

原作 中吉虎吉（なかよし こよし） × シリーズ構成 冨岡淳広（とみおか あつひろ）



浅垣灯悟（あさがき とうご） キズナレッド
何よりも絆と仲間を大切にしている暑苦しいほど熱血な冒険者。絆装甲（バンソウプレート）をキズナブレスにセットし、キズナレッドに絆装（ばんそう）チェンジする

イドラ・アーヴォルン
大魔導士の一族であるアーヴォルン家の当主を務める少女。魔法の力で世界中の人々を笑顔にするため、日々魔法の研究に励んでいる

戦隊レッド 異世界で冒険者になる

★1月12日より放送開始★毎週日曜日★深夜0時30分
★AT-X、BS11、TOKYO MX、テレビ愛知ほか
HP★https://isekai-red-anime.com/
X（Twitter）★@KizunaFive

STAFF★原作／中吉虎吉（掲載 月刊「少年ガンガン」スクウェア・エニックス刊） 監督／川口敬一郎 シリーズ構成／冨岡淳広 メインキャラクターデザイン、総作画監督／丸山修二 音楽／亀山耕一郎 音楽制作／日本コロムビア アニメーション制作／サテライト 製作／異世界レッド製作委員会

CAST★浅垣灯悟 / キズナレッド／井藤智哉 イドラ・アーヴォルン／稲垣 好 テルティナ・リズ・ワーグレイ・アヴァルロスト／田中美海 ロゥジー・ミスト／大野智敬 ラーニヤ／白石晴香 アジール・アヌマ・ククジャ／古川 慎 シャウハ・シェムハザール／白石涼子 アブダビ／吉野裕行 ヴィダン／鈴村健一

絆創戦隊キズナファイブの一員として、世界征服を企む秘密結社ゼツエンダーとの激闘の日々を過ごしていた浅垣灯悟。彼は4人の仲間の想いを背負って絶縁王に最後の戦いを挑み、相討ちとなってしまう。だが、気がつくと灯悟の目の前には、これまで命懸けで守っていた世界とは異なる、未知の世界が広がっていた！

原作は、戦隊ヒーローのレッドが異世界に行くという斬新な設定と、特撮ヒーロー作品への造詣の深さがうかがえる描写の数々が話題となった人気マンガだ。アニメには特撮ヒーローを愛するクリエイターが集結しただけでなく、〝本家〟戦隊のスタッフ・キャストも参加。戦隊愛、ヒーロー愛あふれる原作に対して、これ以上ないほどに盤石の布陣と言えるだろう。

異世界でも困った人を救うために戦う灯悟をはじめ、それぞれに信念や思惑を持った登場人物が時にぶつかり合い、時に友情を育むドラマも今作の魅力であり、原作が好評を博した理由の一つ。彼らが繰り広げる笑えて熱くなる冒険物語は、特撮ヒーロー作品ファンでなくとも楽しめるはずだ！

特撮あるあるに正面から向き合う

――まず中吉さんに、アニメ化の話を聞いた際の心境を伺えればと思います。

中吉 もちろん嬉しかったし驚きましたけど、何より不安が大きかったです。自分なりに頑張って作っていますが、まだまだ未熟な作品だし、結構客層を選ぶ作品だと思っていたので、どんな反応が来るのか不安で。Twitter（X）などを見たら、アニメ化に対して好意的な反応が多くて、ようやく安心できました。

――冨岡さんが原作の魅力だと感じたところはどこですか？

冨岡 やっぱりニチアサ、特撮ヒーローの要素ですよ（笑）。玩具や児童向けの雑誌といった現行ヒーローのあるあるネタが網羅されていて、私自身も特撮ヒーローが好きなこともあり、日曜朝のヒーローたちに愛を持っていることがマンガから伝わってきました。近年の特撮ヒーローと昨今の異世界もののブームが巧みに融合した、いろいろなジャンルのファンを取り込める作品だとも感じました。ファンタジックな異世界に変身ヒーローが絡んでいくのは、アニメとしての動きがついたら楽しいだろうし、イドラが〝特撮あるある〟に一つ一つツッコんでいくところは面白い部分だろうなと。アイテムの数々をはじめとした特撮ネタをアニメでどう表現するのかは、今回のアニメ化で期待されているところだと感じたので、そこに真っ当に向き合わなければつまらなくなると思いました。

――お互いの印象を聞かせてください。

中吉 実際にお会いする前は、『ポケットモンスター』シリーズに長く携わっていた大ベテランの脚本家、というイメージでした。自分にとってサトシは画面の向こうの幼なじみみたいな存在で、友達の親と仕事をするような、妙な緊張感がありましたね（笑）。

冨岡 まあ、緊張はしますよね（笑）。

中吉 お話ししたらとても気さくな方で、シナリオ会議を重ねて現場にいらっしゃると、安心感を覚えるようになりました。

冨岡 特撮ネタを真摯に扱っているマンガから受けた印象そのままの作者さんだな、と感じました。シナリオにするとき、マンガの吹き出しだと違和感がなくても音声として発すると言いづらい、意味が通りづらいセリフが出てくるんです。先生はそういう場面で、「こういう言い回しならどうですか？」とアドバイスしてくださるなど、一つ一つの物事にとても真面目に対応していただき、とてもお仕事がしやすかったです。

――ちなみに、お二人の思い出の特撮ヒー

ロー作品はなんですか？
中吉　自分が一番記憶に残っているのは、『仮面ライダークウガ』と『未来戦隊タイムレンジャー』です。五代雄介と滝沢直人に脳を焼かれました（笑）。それまでも特撮作品は観ていたのですが、アクションばかりに目が行っていて、ストーリーは理解していなかったと思うんです。物語の内容を理解できる年頃になったときに、飛び込んできたのが『クウガ』と『タイムレンジャー』で、まさにガツンとやられた！　という感じでした。
冨岡　私は『ウルトラマン』『ウルトラセブン』『仮面ライダー』が原体験で、ベルトが喋るようになる前、玩具の売り文句が光る、回るだった頃の世代です。『超人機メタルダー』も大好きでした。第1話で大量に敵キャラクターが揃っている様が壮観なのと、敵が経済面から世界を牛耳っている設定がとにかく好きで、今でもその影響は大きいです。

エスカレートした制作現場の熱量

――原作は当初、戦隊ヒーローを題材にした作品で考えていて、異世界ものアイデアは後から出てきたと聞きました。
中吉　そうですね。ずっとヒーローものが好きで、たくさんのヒーローを描きたいと思っていて、戦隊ヒーローを題材にしたかったんです。最初はいろいろなヒーローがいたけど滅亡した世界みたいな、全く別のプロットで考えていて。それを担当編集の福本さんに見せたら、「これを異世界ものにしてみませんか？」と言われて、現在の形になりました。
――キズナレッドの人物像やキズナファイブの設定など、劇中の戦隊描写は先ほど話題に上がった『タイムレンジャー』と異なり、いわゆる王道の戦隊に近いですよね。
中吉　異世界ものと交わることを考えると、複雑にしすぎるとノイズになる気がしまして。「戦隊作品のレッドといえば」というイメージをわかりやすく、要は王道っぽくしたのが、今の浅垣灯悟なんです。絆への執着といった根幹の部分の設定はありましたが、最初は取っかかりやすくして、知れば知るほど「こいつは……」となるようなキャラづくりを意識していました。
――冨岡さんがシリーズ構成で手応えを感じたこと、苦労したことはありますか？
冨岡　今回は原作をストレートに、そのまま映像化することが自分のミッションと定めていたので、大きな苦労などはありません。脚本の作業としては、原作のどこをアニメの各話の引きにして、どこを掴みにするのかと、特撮ヒーロー大好きな川口（敬一郎）監督のリクエストにどう応えるのかを考えたくらいで。むしろ私がこだわっていたのは、特撮ヒーロー的な部分の〝本物っぽさ〟と、いかに真摯に向き合うのかということです。なので、アニメ化の話をいただいてコミックスを読んだ後の最初の打ち合わせで、「変身ポーズをちゃんとやりたいから、『忍者戦隊カクレンジャー』でニンジャレッドを演じた小川輝晃さんを呼びたい」と提案しました。
――小川さんの変身モーション監修での参加は、冨岡さんの発案だったんですね。
冨岡　はい。小川さんとはプライベートでお付き合いがあって、モーションキャプチャーのお仕事もされているので、変身ポーズを再現してもらい、なおかつモーションアクターさんとしても演じてもらえれば話題になるのでは、と考えたんです。さっきも話した〝本物っぽさ〟を、まさしく本当にヒーローを演じた方にやってもらえたら注目されるんじゃないかって。そんな話をしたら、KADOKAWAさんとサテライトさんは「まさかお声がけできるツテをお持ちだなんて……！」とビックリしていました（笑）。小川さんにお願いしたら快諾していただき、さらに小川さんが変身シーンのコンテ割り（変身モーションディレクター）で、ニチアサを撮っていた鈴村展弘監督を呼んでくださったんです。そこから原作の読者さん、ニチアサファンが「えっ!?」となるような仕掛けづくりが本格的に始まりました。
――スタッフが発表されたときは、冨岡さんの参加に一番驚いたんですよね。メインライターを担当されている『爆上戦隊ブンブンジャー』と放送時期が重なっていて、「そんなことがあるのか」と（笑）。
冨岡　今作の脚本作業が終わった矢先に『ブンブンジャー』のオファーをいただきました。最近のアニメのお仕事は、脚本を上げても放送までは時間があるので被らないだろうと思っていたら……ちょっとだけ、被っちゃいましたね。双方には状況を話しましたが、中吉先生も驚かれていました。
中吉　はい、そうでしたね（笑）。
冨岡　とはいえ、小川さんの件と同様に、自分の参加が一種の話題作りになればという気持ちもありました。数多く放送されるアニメ作品の中で「ああ、戦隊のパロディね」と流されずに、「コイツら本気だ！」と注意を向けてほしかった。アニメから原作を手に取って、「面白いじゃん」「続きをもっと読みたい」と思っていただくことも、我々のミッションの一つなので、「何とか掴みはクリアしたかな」と感じています。
――狙い通り、アニメ化の発表で原作への注目度もより高まったと思います。
冨岡　特撮が好きな人は役者さんだけでなく、スタッフにも思い入れを持ってくれるんですよね。だから、特撮ヒーローに関わった人間がこの作品を盛り立てている、これもある種の特撮ヒーローだと思ってほしい気持ちがありました。そこに乗っかってくれた、悪ノリではなく本気で取り組んで遊んでくれる方々がドンドン増えていくのが、とても楽しかった。手応えを感じたのは、そこかもしれません。なんだか裏のプロデューサーみたいですね（笑）。
――（笑）。中吉さんは特撮ヒーローゆかりの方が集まっていく状況を、どう感じていましたか？
中吉　いやあ、すごかったです……。自分としては、モノマネをしていたら後ろから本物がドンドンやってくる感じで（笑）。大変光栄に思いつつ、それ以上にプレッシャーを感じたというか、いろいろな人と会うたびにずっと緊張していました。
冨岡　打ち合わせが始まってからずっと、私が「本物」を連呼するので、音楽をはじめとして、さまざまなところで特撮ヒーローゆかりの方が関わってくれています。私も、お名前を聞くたびに驚いていました。ですのでこのアニメ、放送が始まったらクレジットにも注目してほしいです。
――映像の印象も伺いたいのですが、中吉さんは声優としても参加されているとか。
中吉　はい。川口監督からも「せっかくなので」とおっしゃっていただき、ガヤとかゼツエンダーのザコ戦闘員の声をやらせていただきました。第1話は冨岡先生も声を当てていましたよね？
冨岡　うん、戦闘員とかゼツエンダーから必死に逃げる人の声をやってた（笑）。
中吉　第2話のアフレコに立ち会ったときにも、「何かやりましょう」という流れになりまして、監督から「じゃあもう、全話に出てもらいましょうか」と言われました（笑）。
――すごい無茶ぶりな気が（笑）。
中吉　まあでも楽しそうだと思いましたし、「じゃあ、出るか」と。エルフをやらせていただいたときは、「耳を尖らせて喋って」と言われました（笑）。
冨岡　映像を観た印象としては、変身シーンがしっかり再現されていて、最終回までオンエアを観るのが楽しみになりました。
中吉　自分は大画面で（マキシマム・）キズナカイザーが動いて合体するところを拝見したときに、泣きそうになりました。「早い早い！」と言われましたが（笑）。自分の作品とはいえ、人の手が加わって動いている、いろいろな人がこれを作ってくれたということが、なんだかすごくジワっときて。その後もアフレコでお芝居を聞いたり、作品が送られてきたりするたびに、涙腺を刺激されていました。
冨岡　川口監督もヒーロー好きであると同時に玩具が好きで、キズナカイザーは5体合体が実際に玩具で再現できるように、原作のデザインからアレンジされています。監督はキズナカイザーだけでなく、キズナファイブにも熱い思いを持っていて。第1話冒頭のキズナファイブの描写は、監督が「視聴者の度肝を抜きたい」とこだわって、原作の展開にひと味加えています。中吉先生にも設定面などでご協力いただきました。監督はキズナファイブ編をやりたいと本気で思っているので（笑）、いつか実現させたいですね。

いつの世も普遍的なヒーローへの憧れ

――中吉さんは今回のアニメ化を経て、原作に影響を受けたことなどありますか。
中吉　先ほどおっしゃっていたキズナカイザーのデザインは、アニメでブラッシュアップしていただいたものにマンガの作画も合わせています。一番大きな変化は、キャラのセリフが声優さんの声で再生されるようになったことですね。「あの方だったらこういうお芝居になるのかな」と自然に脳内再生されて、ネームを描くのが楽しくなりました。
冨岡　その気持ちはすごくわかります。我々脚本家も声優さんの声が定まってくると、その方の演技をイメージしながらセリフを書くようになりますから。
――特撮ヒーローの魅力は、どこにあると考えていますか？
中吉　日本人が持っている当たり前の正義感を育んでくれる、メッセージ性みたいなところですね。幼い頃はただカッコよくて見ているだけですが、ヒーローへの憧れから、「こういう悪いことをしちゃいけない」という気持ちが自然に生まれる。そういう部分があるんじゃないかなと。大人になって見返すと「子どもの頃はあんなこと考えていたな」と思い出すし、さまざまな創意工夫がなされていることに気づけて、いろいろな角度から楽しめる。そこも魅力だと思います。
冨岡　先生がおっしゃった通り、憧れですよね。子どもにとってはある種の教育番組的な側面があるからこそ、スタッフはとても真摯に向き合って作っていて。実際に本家戦隊の現場に入ってわかったんですが、あの枠に関わっている人たちって、本当にずーっと顔ぶれが変わらない。スタッフの呼吸もわかり合っている者同士という感じ。その分、作り手側がキャラクターや物語に込めた「こういうものを子どもたちに見せたい」という想い、カッコつけた言い方をすると、作家性みたいなものがダイレクトに伝わる。作り手としてはそれがすごく楽しいし、自分が関わった番組の玩具で遊んでいるお子さんを見ると、もっと買ってあげたくなります（笑）。子どものときに出会った番組って、物語は覚えていなくてもマスクのデザインなどは覚えているものです。しっかり記憶に残る。この「残る」ということが、作り手としては非常に魅力的な存在です。
――改めて、注目してほしいポイントをお願いします。
冨岡　まずは変身やロボといった、キズナファイブに関する描写の再現性の高さを見ていただいて、その次はキャラクターやストーリーを楽しんでもらいたいなと。たくさんの謎が散りばめられていて、「この先どうなっていくんだろう」というワクワク感が強い作品だと思うので、物語の深みにハマってほしいですね。
中吉　そうですね……全部でしょうか（笑）。
冨岡　先生、それ100点満点の答えだと思いますよ！（笑）
中吉　声優さんの演技、キズナカイザーの躍動、楽曲のクオリティなど、あらゆる部分にこだわりが詰まっているので、本当に全てのパートに注目してください！



炎の絆戦士

変身ポーズや名乗り、アイテムのギミック、巨大ロボットの描写など、原作の特徴である戦隊のお約束へのこだわりはアニメでも再現。変身モーション監修、変身モーションディレクターとして“本家”戦隊の関係者を招いたことからも、その本気度が伝わるだろう。



絆創戦隊が止まらない

我々の世界では当たり前な戦隊のお約束も、イドラたち異世界の住人にとっては未知のもの。名乗ったキズナレッドの背後で起こる爆発に驚愕し、彼が召喚した合体ロボットのマキシマム・キズナカイザーの大きさに呆気に取られるなど、新鮮なリアクションを見せる。



絆だらけ大逆転

灯悟とイドラたちは生まれた世界の違い（と灯悟の真っ直ぐすぎる熱血漢ぶり）から、かみ合わないことや衝突することも少なくない。そんな彼らが次第に心を通わせて、一緒に戦う仲間となっていく姿には、爽やかさや胸が熱くなるような思いが感じられるはずだ。

★読者投稿コーナー「フリースペース」にて、応援イラストを大募集！　詳細はP.155へ

行くぜ!!

ブンドリオ・ブンデラスの声だけでなく、変身アイテムの音声やEDの歌唱を担当した松本梨香さん。メインライターとして、シリーズ全体の構成や重要なエピソードの脚本を手がけた冨岡淳広さん。人気キッズアニメでもタッグを組んだ二人が、バクアゲで楽しんだ一年を語る！

一年経っても書き足りない&演じ足りない!

スーパーマシンのブンブンカー、ブンブンジャーが使う武器の数々を範道大也とともに開発し、届け屋の仕事やハシリヤンとの戦いを支える、機械生命体型宇宙人のブンドリオ・ブンデラス。大也と一緒に宇宙で開催されているカーレース、BBG（ビッグバングランプリ）出場の夢を持つ彼の背景には、壮絶な過去があった。

ブンドリオはBBGのレーサーだったが、ワルイド・スピンドーが企てた事件でライセンスを剥奪され、スピンドーが牛耳るハシリヤンのメカニックとして悪事に加担させられていた。レース仲間のビュン・ディーゼルを巻き込まないために一人苦しんでいた優しさ、真実を知ってハシリヤンと戦う勇気を持つからこそ、ブンドリオは地球でも友や理解者に恵まれたのだろう。

鳴田射士郎が離反し、大也の資産が奪われる急転直下の展開を見せたブンブンジャーとハシリヤンの戦い。ブンドリオとスピンドーの長き因縁に、決着の時が近づいている!

ブンドリオ・ブンデラス役
松本梨香（まつもと りか）
×
脚本
冨岡淳広（とみおか あつひろ）



ブンドリオ・ブンデラス

天才的なメカニックスキルの持ち主。巨大な敵が現れたら自身も巨大変形して、ブンブンカーと爆上合体し、ブンブンジャーロボとなって立ち向かう。よくカレーを作っている

ブンブンチェンジャーとEDで元気を届ける

松本　ブンブンチェンジャーの声を録ったときは、手元にあると元気になる、ビタミン栄養剤みたいなものにしたいと思っていました。しょげているときでも、鳴らしたらブーン！　と背筋が伸びる、子どもたちを応援できるおもちゃにしたいなと。ちょうど26年間主役をやっていた『ポケットモンスター』を卒業した後にお話をいただいて、ロスになっている子どもたちもいると聞いていたので、「これで癒して！」という気持ちもありました。EDの「コツコツ-PON-PON」を歌ってほしいと言っていただいたことも、本当にありがたくて。子どもたちを笑顔にする、寄り添えるものを一つもらえたというか、みんなに恩返ししていかなきゃ、という気持ちで向き合っていました。なので、『ブンブンジャー』は特別な思い入れのある作品になりましたね。

役者の芝居を反映して成長するキャラクター

——最終回の脚本を執筆して『ブンブンジャー』のお仕事は一区切りかと思うのですが、現在の心境はいかがですか?

冨岡　書き足りなかった（笑）。考えていたエピソードがまだまだあって、それらがやりきれなかったことが少々心残りです。

松本　まさにアーティスト。なかなか納得しないで、同じキャンバスに延々と絵を描いているような。

冨岡　そうですね。脚本を書き終わったときは「ああ、最終回まで来ちゃったな」という感慨はあったんです。ただ、終わったら終わったで悪者サイドのことを表現しきれていないな、もっとブンブンカーを活躍させたかった、そこには制作上の問題や表現上の問題もいろいろあるけど、それでももっと見せ方の工夫はできたんじゃないか、という気持ちが湧いてきて。普段やっているキッズアニメのお仕事は二年、三年放送されることが多いので、久しぶりの一年ものは長いようで短かったですね。この一年をどうバランスよく構成するかの経験が、なにか次につながっていけばいいなと思っています。

松本　私も同じですね、やり足りない（笑）。いろいろな人たちの「こういうことをやりたい!」がぎゅっと詰まっていたから、私も「もっと演じていたいな」と思っています。あっという間の一年でした。作品を広めていくためにも、「コツコツ-PON-PON」をこれからも歌い続けて、子どもたちと笑顔のパスをしていきたいと思います。

——バクアゲ34・35では、ブンドリオとスピンドーの関係が明らかになりました。

松本　台本をもらうまでは全然知らなかったんですよね。

冨岡　予想はついていました?　ハシリヤンと関わっているのかな、とか。

松本　いや、全く。謎めいたものがあると聞いていて、過去に何かあったとは感じていたんです。だけど、ブンドリオはちょっとがらっぱちで、自分の道を行く子だと思って演じていたので、知ったときは驚きつつも受け止めたところがありました。

冨岡　玄蕃の正体は相馬（理）さんに伝わっていたと聞いたんですが、松本さんはご存知ではなかったんですね。ブンドリオとスピンドーの話は、久慈（麗人）プロデューサーからこの企画のお話をいただいた後、「こういうことをやりたい」と最初に提案した設定の中に存在していたんです。そのときはスピンドーとブンちゃん（ブンドリオ）が、たった二人でハシリヤンを立ち上げたという設定でした。そのときはまだレーサーの設定はなかったんですよ。

松本　へぇー!!　なんだか、ゾクゾクする感じですね（笑）。

冨岡　スラム街で「いつかテッペン取ろうぜ」と語り合っていた二人が分裂し、ブンちゃんはブンブンジャーに拾われて……というお話でした。おもちゃの音声が松本さんだと聞いて、ロボットを子どもたちにもっと親しんでもらえるようにするには、つまりはおもちゃを手にとってほしいわけですが、自分の経験上でもできるだけ出番を作りたい。それなら大也の横に置こうという話になったときに、ロボットの声も松本さんにお願いしようと……。

松本　すっごい大人な話（一同笑）。

冨岡　最初は男性の声優さんが演じるイメージで、戦隊で言えば『電撃戦隊チェンジマン』の長官みたいな、過去を秘めた司令官として考えていたんです。でも、声が松本さんになった時点で、当初より年齢感を下げて大也と同世代の、一緒に夢を追う元レーサーの若者になりました。二人でハシリヤンを作ったというのもやめて、創立初期にスピンドーにスカウトされた設定に切り替えました。さらに声が入って、「あぁ、ダジャレを言うんだこの子」と（笑）。

松本　ハハハ!　ダジャレは遊び心ですが大好きで（笑）。

冨岡　それを脚本にフィードバックして、ブンちゃんはドンドン元気のいい子、あたたかみのある子に成長していきました。仲間がケガをしたら手当てしたり、ミシンを使ってチャンピオンジャケットを作ったり。

松本　お母さんみたいですね。カレーを作っているのもそうですけど。

冨岡　最初の頃は、大也がブンちゃんのことを隠しているという描き方をしていたんですが、だんだん基地の中に閉じ込めているのがかわいそうになってきちゃって。べろーらーの回（バクアゲ7）で、外に出そうと切り替えました。

松本　そうだったんですね。

冨岡　過去に傷を持っていて暗い、ではなく、仲間の一人だけど言いたくないことは誰にでもあるよね、という方向にキャラクターが転がっていきました。松本さんが私のブンドリオ像に影響を与えたというか、松本さんじゃなかったら、今のブンドリオ・ブンデラスにはなっていないです。

松本　いやぁ、嬉しいです。ありがとうございます。

冨岡　あと古巣が古巣なので（笑）、いろいろとネタを入れたくなりましたが、自制しま

爆上戦隊ブンブンジャー

毎週日曜日 朝9時30分 テレビ朝日系
HP https://www.tv-asahi.co.jp/boonboom/
X(Twitter) @BoonBoom_toei

バクアゲで



念願のカメオ出演！ バクアゲ41撮影裏話

松本 アルフレッド・ヒッチコック監督が自分の映画にちょっと出てくるみたいな感じで、私も出演したいと冗談交じりで言っていたんです。
冨岡 じゃあ、念願が叶ったわけですね。
松本 ええ、うちの犬と一緒に出ました。セリフが全然なかったので、無理やりダジャレを入れたんですよ（笑）。あと、ビュンディーが私に「いつも応援しています」と言って帰ってビックリしました……（笑）。
冨岡 あぁ、言ってた！
松本 「前から知ってた設定？ ん？」となりましたが、『ブンブンジャー』スタッフがシャレのわかる皆さんで良かったです。
冨岡 そうですよね、「ありなんだ」って思いました（笑）。
松本 みんなが真剣にやっている現場に参加させていただけて嬉しかったし、暑い日の撮影だったので、帰り際にアイスの差し入れをしました。確か40～50本くらいかな？
冨岡 えぇー!?
松本 皆さんにアイスをね。「りかを愛す」って（笑）。
冨岡 スマートにダジャレが入りましたね（笑）。
松本 でも、現場のみんながノリノリでやってくれて、私も楽しかったです。それは観ている人たちにも伝わっているんですよね。『ブンブンジャー』、みんなやりたい放題楽しくやってるな」って。だから、予告が流れた後に「松本梨香」がトレンドになるくらい、ワーッと盛り上がったんだろうし（笑）。みんなの元気につながっていると感じられて、毎回声からして頑張った甲斐があったと思っています。ずっと爆上げだったぜ♪

した。「『10万ボルト』って言わせてみようかな」とか……。
松本 それはすごい試みだと思いますが……（汗）。
——本当に松本さんありきのキャラクターだったんですね、ブンドリオは。
冨岡 これがニチアサというか、実写ならではだと思っていて。アニメーションは脚本作業からオンエアまで、ものすごく時間がかかるんですが、『ブンブンジャー』は脚本を上げてから撮影、アフレコが短いスパンで行われるんです。役者さんたちのイメージや彼らが作ったお芝居を受けて、我々シナリオチームがキャラクターにフィードバックするというのは、アニメではあまりない経験でした。ブンちゃんの動きを見て「もっと遊んであげよう」と考えたり、井内（悠陽）くんの趣味がギターと聞いて、ギターを弾きながら歌う回（バクアゲ24）を作ったり、相馬さんと宮澤（佑）さんの特技を知ってサッカー回（バクアゲ41）をやったり（笑）。松本さんもアフレコ終了後に、「スーツアクターさんがブンドリオにいろいろ細かくお芝居をつけてくれている」と話していましたよね。
松本 ですです。一緒に作ってる。二人三脚です。
冨岡 まさにそうです。アニメは完全に分業ですから。なので、今回みたいに声優さんと脚本家が対談するってケースは、少なくとも私は聞いたことがないです。それもこの枠ならではの気がします。

誰よりも人間味のある ブンドリオに込めた想い

——ブンドリオを語るうえで外せないのが、毎話のように言っているダジャレかなと。
松本 謎が多いキャラだったので、「なんか怪しいぞ」と思われないために明るくしたかったし、ブンドリオがずっとぼければずっとぼけるほど、周りのみんなが立つだろうと感じて、人間味のある、愛されるキャラにしたかったんです。あと、私、ダジャレは世界を救うと思っていて。言ったことで「寒い」とかリアクションがあって、コミュニケーションがすごく柔らかくなるというか、人と人をつないでくれる気がするんです。
——それでダジャレキャラが生まれたわけですね。
松本 最初のアフレコで「なんかアドリブお願いします」と言われたときに、ダジャレっぽいことを喋ったんですよ。そこから画を何度か観させてもらった後に、アドリブを入れる流れが始まったんです。ブンドリオのセリフをほかの人が言うとか、そもそもセリフがカットされていたこともあって、余計に面白いダジャレを入れなきゃ、という気持ちにもなりました。ただ、自分だけで考えるのは限界もあり、「脚本にも何個か書いてくれたりしないかな？」と、アフレコ現場で言っていて。
冨岡 みんなダジャレがそんなに得意じゃなくて、松本さんにアドリブで足していただいたんですよね。若手チームは脚本でも入れようと頑張っていました（一同笑）。
松本 スタジオのみんなが、お芝居とかアドリブを「いいよ、いいよ！」と笑ってくれたのが本当に嬉しくて。番組が終わりだと思うと、自分の楽しみがなくなった感じがして、とても寂しいです。
冨岡 本当にスーツアクターさんの動きと松本さんの声で、ブンドリオが子どもたちに馴染みのあるキャラクターになったと思います。そのおかげで、おもちゃを手に取って遊びたいと感じてくれただろうし、ブンブンジャーごっこの中にブンドリオも入ったんじゃないかなって。子どもたちの戦いごっこに変身ヒーローと怪人だけでなく、パートナーのロボがいたら面白いんじゃないか、って思いがあったんですよね。
松本 外見はロボットだから表情は変わらないけど、スーツアクターの藤田（洋平）さんが心を表現しているのが、見ていてすごくわかるんですよ。私も感情の部分は気をつけて演じていたし、誰よりも人間くさくやろうと思っていました。
冨岡 確かに、『ブンブンジャー』はひたすら〝カッコよさ〟を見せていく作品で、松本さんが言ってくれたように、一番人間くさいのがブンドリオなのは正しい気がします。
松本 顔はタイヤですけど（一同笑）。
冨岡 サブライターとして参加している森地夏美さんが、「大也くんたちが、TVを観ている子どもたちの初恋の人であってほしい」と言っていたことが、すごく印象に残っていて。その言葉を聞いて、大也たちが何をしていたら子どもたちにとって憧れのお兄さん、お姉さんに見えるのか考えるようになりました。それにブンブンジャーは未来と錠で明るさを保っていますが、ほかのみんなはどこか後ろ暗いから、ブンちゃんが番組のスパイスになっていたなと。やっぱりもっと出番を作ってあげるべきだったなぁ……。
松本 私もセリフ少ないって、現場で言っていましたからね（一同笑）。
冨岡 わかります、すごくわかります（笑）。ビュンディー（ビュン・ディーゼル）が先斗と一緒に外で始末屋をやっているので、どうやってブンちゃんも表に出そうか考えていたんです。ただ、自分がブンちゃんを書いてもスピンドーとの過去話で（笑）。ほかのライター陣には明るく楽しい、毎週子どもたちが「カッコいい！」と感じながら観てくれる話にしてくれと言っていました。『ブンブンジャー』は基本は口当たりのいい、難しいことを考えなくていい、一話完結のスカッとしたお話であることを心がけてはいるのですが、物語の幅を出したくて、たまに少しハードなことをやることで、お父さん、お母さんたちが「なんだこのシリーズ」「怖いことやってるぞ」って思えばいいな、と（笑）。
——ブンドリオは、ブンブンジャーロボに合体した後の巨大戦での活躍も印象的です。
松本 「巨大化してからのアクションも私がやるの!?」とビックリしました。最初に聞いたときは「ここはブンブンジャーの皆さんにバトンを渡します」って言いました（笑）。
冨岡 ブンドリオもヒーローにしたかったんですよ。実際に脚本を書いて気づいたんですが、等身大戦で一回盛り上がった後の巨大戦って、「オマケになっていないかな？」と考えてしまって。だから、合体後も声優さんがガンガン喋って、敵ともちゃんと掛け合うし必殺技も叫びます、ということにして。アニメだとどういうポーズで電気を撃つ、とか全部書くんですけど（笑）、実写はお芝居に関わるところ以外は細かく書かないんです。アタリがつくように「この辺でブンドリオと怪人の掛け合いがある」みたいなアクションの段取りを考えるくらいで、あとは「現場によろしく」と（笑）。
松本 はい、「現場によろしく」でした（笑）。そのときの衝動に任せて、「こう言ったら絶対に面白いだろうな！」と感じたものを、一生懸命にアドリブで入れていきました。みんなのテンションやカット割りでも、脚本の印象から随分変わりますし。事前に用意したものって、つまらなかったりしません？
冨岡 そうですね。
松本 私はテストが一番いい演技をしているとよく言われるんです。なので、アフレコではテストも録っておいてほしいと頼んでいました。テスト一回しかやらないときも、かなり多かったです。自分も小さい頃にウルトラマンとか観ていたから、「これが面白い！」というポイントがわかったのは良かったなって。そういうものを、今の子どもたちにもつないでいきたいという気持ちで演じていました。観ていて楽しいものは、自分たちが楽しいと思って作らなきゃ伝わらないってことを、この作品は証明しているんじゃないかな。

松本さんを錠の●●に!? 幻のエピソード案続々

——話を伺っていると、ブンドリオが基地から出かけるエピソードはもっと観たかったなと改めて思います。
冨岡 そうなんですよ!! そこは本当に心残りです。はじめてのおつかいは基本だし、特にやっておけばよかったと後悔しているのが、範道大也邸24時みたいな回。大也たちは正体を隠していないから、TVの取材クルーが来るだろうと考えていて、それをブンドリオが引っかき回したらどうだろう、と。ブンドリオがゲストと絡むことで、いろいろ面白いことができるだろうと思っていたんですが、なかなか入れるタイミングがなかった。サブライターのみんなもそれぞれやりたいことがあるわけで、「これやって」とは言えない（笑）。悪い大人たちも描きたいし、しょうがない……と諦めました。
松本 面白いキャラクターがたくさんいるから、いくらでもできますよね。
冨岡 はい。特に錠はみんな書きたがっていました。町のいいお巡りさんという設定を活かした、もっと小さな事件の話を書いてみたかったです。コソ泥を捕まえたらサンシーターでした、とか（笑）。
松本 道を聞かれたらそいつが悪いやつだった、とかね。
冨岡 あと、錠の母ちゃんが田舎から出てきてお見合いさせる回。
松本 ああ、そういうのもいいですね～。
冨岡 実際にバクアゲ40で父親を「父ちゃん」と呼んでいましたが、いつだったか、錠は両親のことを「父ちゃん」「母ちゃん」呼びするよね、とライターチームで盛り上がったんです。そこから母親が心配して、「こんな危険なことやめて見合いしな」と言うんじゃないかと。で、「錠の母ちゃん役は松本さんがいいんじゃない？」って話に。
松本 その役、ぜひやりたかった！
冨岡 お見合いの写真を持ってきて……。
松本 「この子どう？」って。私にピッタリじゃん!!（一同笑）
冨岡 未来を見て「あなた、もしかして錠の!?」って勘違いしたり、大也たちに田舎の名産品をいっぱい持ってきたり。
松本 「あなたはこれ！」「持ってって！」って、野菜とかを早回しで渡してね。
冨岡 玄蕃には「飴ちゃん食べる？」とか言って。錠が「自分はブンブンジャーで頑張りたいんです！」と宣言して、最後は「頑張んな、あんた」って感じで帰るんだけど、オチにひと騒動があって……。
松本 それはいいですね。ふくらむふくらむ。目に浮かぶ。
冨岡 ただ、絶対この話にシャーシロ（射士郎）は絡まない気がする（笑）。「俺は関係ない」っていなくなっちゃうから。
松本 でも、ラストシーンにはいるんじゃない？ そこで「あんたにピッタリな子がいるのよぉ！」と錠の母りか登場、みたいな（笑）。
冨岡 ああ、オチ要員か！（笑）
松本 そうそう！ 最後に「いい子がいるのよ！」「どう!?」って、まんまる笑顔で終わるの。本当にやりたかったなぁ……。
冨岡 どこかでぶっ込めないかなぁと思っていたんですが、最終回が近づいてきて……。この記事を読んでファンが「観たい！」と言ってくれたら、東映特撮ファンクラブで実現するかもしれない（一同笑）。



その男、ヴラム

仮面ライダーガヴ

毎週日曜日 朝9時 テレビ朝日系
HP https://www.tv-asahi.co.jp/gavv/
X (Twitter) @GavvToei

撮影／山本一人

グラニュート・ラーゲ9／仮面ライダーヴラム役

庄司(しょうじ)浩平(こうへい)

ショウマ／ガヴ、絆斗／ヴァレンの前に現れた第3の戦士、仮面ライダーヴラム変身するのは、ストマック社のバイトとして働いているグラニュートのラーゲ9かつて戦隊ヒーローを好演した庄司浩平さんが演じる、謎多き新ライダーに迫る！



グラニュート・ラーゲ9

クラゲのような姿のグラニュート。幸福度を一時的に引き上げる毒を持つ。ニエルブが開発したベルトとゴチゾウでヴラムに変身し、ガヴとヴァレンの前に立ちはだかる

ショウマと絆斗がお互い仮面ライダーに変身していると知り、ショウマたちの最大の敵であるストマック家の次女・シータが退場するなど、毎週スリリングな展開を繰り広げている『仮面ライダーガヴ』に、新たな仮面ライダーが参戦した。その名はヴラム。ストマック社に雇われたグラニュート・ラーゲ9が変身する仮面ライダーだ。

人間とグラニュートの間に生まれたショウマが変身するガヴ、人間の絆斗が変身するヴァレンと来て、3号ライダーの変身者はグラニュートと予想していたファンは多いだろう。だが、単なる敵役にとどまらないのがラーゲ9という男。報酬の闇菓子に関心がないような素振りを見せ、社長であるランゴの目を盗んで秘密の仕事を持ちかけてきたニエルブに交渉すると、独自の目的を持っていることがうかがえるが、その真意とは？

グラニュート・ラーゲ9役は、『魔進戦隊キラメイジャー』でクリスタリア宝路／キラメイシルバーを熱演した庄司浩平さん。パワフルな快男児から一転、気だるげでとらえどころのない怪人物をどう演じるのか注目！



二人三脚で表現するヴラムの"強者"感

—スーパー戦隊シリーズでヒーローを演じた方が、仮面ライダー役で出演するというのはあまり例がないケースで、最初に知ったときは驚きました。

庄司 こういう巡り合わせがあるんだ、と驚きましたね。『魔進戦隊キラメイジャー』で共演した工藤美桜は、『仮面ライダーゴースト』に出演した後にキラメイピンクをやっていましたけど、変身ヒーローを演じてまた変身するキャラクターを演じる、しかもゲストではなくレギュラーで、というシチュエーションがあるなんて、夢にも思っていませんでした。

—しかも『キラメイジャー』のキラメイシルバーと同じく、作品の途中から登場する役というのも面白いなと。

庄司 そうですね、そういう星の下にいるのかもしれません。

—仮面ライダーシリーズにはどんなイメージを持っていましたか。

庄司 戦隊と比べると、よりシリアスに人間ドラマが繰り広げられている印象があります。『ガヴ』も「日曜朝9時でここまでやるのか！」と感じながら、これまでの放送を観ていました。

—ラーゲ9は大量のヒトプレスを集めるなど、いかにも敵役らしい行動を取っていて、とても仮面ライダーに変身するキャラクターとは思えなかったです。

庄司 そこは僕もちょっと驚きました（笑）。最初にいただいた資料では、このキャラクターはどういう目的で生きているのかという、今後明らかになる大まかなバックボーンしかわからなかったんです。悪事をする場面は、悪く見えたほうが子どもたちにとってわかりやすいですし、なぜそれをやっていたのかという部分が際立つと思い、できるだけ悪い目をして演じようと考えていました。

—第12話で初登場してしばらくはグラニュート姿での出番で、庄司さんは声のみの出演でした。

庄司 人間の姿として出るまでは、ずっとストマック社に対して芝居を打っていたから、弱そうに見えていればいいなと思っていました。そこからも第17話のラストで仮面ライダーに変身するまでは、できるだけ自然な感じで演じて、戦っている姿との高低差を出せればなと。

—第18話からはいよいよ仮面ライダーヴラムとして活躍していきます。

庄司 強いキャラクターと言ってもいろいろパターンがあると思うんですが、ヴラムはスーツアクターの永徳さんや演出陣と一緒に、オン・オフを切り替えるタイプの表現をしています。永徳さんがギリギリまで構えずにいきなり動き出す、あえて大げさな動きやヒロイックなポーズを取らない芝居をされているので、アフレコでも力が入っているとき、そうでないときの差を作ることを意識しています。

—プリンがモチーフのヴラムのビジュアルを見た印象は？

庄司 想像以上にポップでした（笑）。ビビッドイエローが目を引く、敵方として出てくるにはあまりにも派手でかわいらしいカラーリングで、プリン要素が耳や肩、腰回りといった、いろいろなパーツにあしらわれているのも良いなと。ガヴとヴァレンもそうですが、『ガヴ』は重厚なストーリーが走る一方で、仮面ライダーが色とりどりでポップなのが素敵なところだと思います。

—永徳さんとは、どのようにコミュニケーションを取っていますか？

庄司 今は同じベクトルを向いている実感があって、会っても日常会話ばかりしていますが（笑）、最初の頃はお互いにどうアプローチしているのかわからなくて、逐一確認やすり合わせをしていました。「ここの場面ってどうしましたか？」とか、「あそこはこういう感情の流れだと思います」とか。永徳さんとはヴラムが登場する前のグラニュートの姿から、ラーゲ9を一緒に演じているんです。上手くいけば相乗効果で、素敵な役を一人で演じるより何倍も膨らませることができるんですが、逆にお互い別々の方向を見ていると、視聴者に違和感を持たせてしまう。今後もお互いのことを信頼して、どう気持ちを持っていくのかなど、一緒に考えながらお芝居していきたいです。

ライダーと戦隊の物語づくりの違い

—庄司さんから見たショウマ役の知念英和さん、絆斗役の日野友輔さんの印象を聞かせてください。

庄司 知念はスポンジみたいな子。照明を当てなくても目がキラキラしていて、4年前の僕やほかの5人も、外側から見たらああいう感じだったのかなって（笑）。日野は芸能界にいるキャリアが僕よりも長くて、自分の力で手に入れた仮面ライダーという大役を何倍も膨らませたい、現場全体を良くしていきたいという気持ちを感じます。本人には言わないですけど、彼は優しい人なんです。僕らの仕事はいい芝居をする、いいシーンを作るだけでなく、いいアガリ（※完成した映像）を作ることなんですよね。知念や幸果役の宮部のぞみはまだ芝居のキャリアを積み重ねていない分、現場で苦戦することもあって。僕は助言したいなと思いつつ、自分自身で考える部分でもあるので、少し引いた位置で見ているんです。そこで日野は相手によって絶妙に塩梅を変えながらアドバイスをすることで、知念たちや現場全体にいい影響を与えている気がします……ちょっと褒めすぎたかもしれない（笑）。

—（笑）。『ガヴ』はいい雰囲気の現場だと感じているわけですね。

庄司 そうですね。俳優5年目の僕がメインキャスト、特に仮面ライダー側だとベテランに入るような若い現場で、みんながこの作品から役者として大きくステップアップしたい、という向上心を持っているんです。僕もキャリアのターニングポイントとして成長できればと思いますし、これまでの経験を現場にどう還元していこうか考えながらやっています。

—スーパー戦隊シリーズと仮面ライダーシリーズの現場で、同じだと思うところや違いを感じるところはありますか？

庄司 共通しているのは、我々の芝居やアガリを見て同時並行的に脚本を作っていくことと、役者もキャラクターと一緒に成長させてもらえることです。知念たちが最初に会ったときより、今のほうが魅力的に見えるのが、関わっている側としても楽しいし、長年愛してくださっている特撮ファンにとっても、一番見たいところなのかなと。違う点は、スーパー戦隊はキャラクターごとのストーリーもありつつ、グループで行動したり縦軸の話が動いたりするのに対して、仮面ライダーは一人ひとりに縦軸の話があることかなと思います。キラメイジャーのメンバーとはね、もう四六時中一緒にいたんですよ（笑）。『ガヴ』で言えば、協力して戦っているガヴとヴァレンが、敵対者のヴラムをどう対処していくのか、そのなかで関係性がどのように変化していくのかが面白い部分で、僕もワクワクしながら演じています。

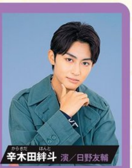
—『キラメイジャー』の経験で、『ガヴ』に活きていることはなんですか？

庄司 アフレコと撮影現場での振る舞いに活かせている気がします。『キラメイジャー』で最初にアフレコしたときは苦戦し倒して、何時間もかけてようやく一話分が録れた、みたいな感じだったんです。僕らが良かったのは、水瀬いのりさんや杉田智和さん、中村悠一さんといった、最前線で活躍されている声優の方々に囲まれながらアフレコができたこと。それこそ鈴村健一さんは、今でもたまに連絡を取らせていただきますし、稲田徹さんは呼べば来るというくらい（笑）、すごく仲良くさせていただいています。声だけの芝居のアプローチをたくさん学べたので、一つの財産になっているのかなと。普通のドラマは2～3ヵ月くらいで撮って終わりなんですが、スーパー戦隊や仮面ライダーはスタッフの出入りがありつつも、ずっと同じ作品に携わるから、少し特殊な現場なんですよね。主演である知念がどうしたいのかを大前提に、彼の背中を押してあげるのか、それとも一緒に走ってあげるのかを考えながら、現場の雰囲気を良くしたいと思ってやっています。

—今後のエピソードで、注目してほしいポイントをお願いします。

庄司 まずは仮面ライダーヴラムのアクション。藤田慧アクション監督が知恵をしぼった戦闘シーンは、僕もいち視聴者としてすごく楽しんでいるんですが、ガヴとヴァレンにヴラムが加わって、三者三様の戦い方を見せていきます。ビジュアルの面白さや、武器をどう使うのかを楽しんでもらいたいです。そして、次第にラーゲ9がどんな宿命を背負っているのかが明らかになり、キャラクターが厚みを増していくので、そこも期待して毎週の放送を追っていただければと思います。


ショウマ 演／知念英和


辛木田絆斗（からきだ はんと） 演／日野友輔

3号ライダーから見たダブルライダー

「ラーゲ9視点では、どちらも自分の目的を果たすのに邪魔な存在で、それ以上でも以下でもないんです。たまたま自分と似たような格好をしているけど、上からの命令なので消します、というスタンス。庄司浩平としては、二人ともヒロイックでありつつ、ショウマの絆斗への負い目といった、お互いの抱えているものが交差する様子が面白いですね。陰の要素があるからこそ、『この人はどんな人物なんだろう』『もしかしたら別の面があるのかもしれない』と、知りたくなると思うんです。なので、物語のなかで魅力的に感じられるのかなと」（庄司）



新房昭之の本棚の奥から

第62回「花のズボラ飯」

ゲスト　山田尚子



「花のズボラ飯」作者は原作＝久住昌之、作画＝水沢悦子。2009年～2015年に「Eleganceイブ」（秋田書店）にて連載。単行本は、現在秋田書店より全3巻が発売中。電子版も配信中。文庫版『花のズボラ飯 久住昌之セレクション』やレシピ本『花のズボラ飯 うんま～いレシピ』も発売されている。

主人公は東京に住む30歳の主婦・駒沢花。夫の「ゴロさん」が単身赴任となってしまい、現在は自宅から三駅先の書店でパートで働きながら、留守を守ってひとり暮らし中。もともとルーズな性格なので、夫がいない家ではやや自堕落な生活を送っており、手間いらずで美味しい「ズボラ飯」を作って食べるのが大好き。そんな花の日常がときにユーモラスに、ときに赤裸々に描かれる。

緩くて鋭い観察眼と不思議なノスタルジー

――本日はスペシャルゲストとして、山田尚子監督においでいただきました。お二人は初対面ですよね。

新房　はい。でしたよね？

山田　もちろんです！　新房さんはあまり人前に現れないとお聞きしていたので、何となく〝実体がない〟というイメージでした。

新房　確かに、初対面の人に第一声で「ああ、本当にいたんですね」って言われたことが何度かあります（笑）。たくさん作品をやっているからか、共同ペンネームだと思われている節もあるようで。まあ、それならそれでもいいかなって。

――監督としての新房さんにはどんな印象を持っていましたか？

新房　そんなこと、聞かなくていいですよ（苦笑）。

山田　いえいえ（笑）。作品として衝撃的だったのは『魔法少女まどか☆マギカ』です。それと、私は石黒正数さん原作の『それでも町は廻っている』が大好きなんです。

新房　ああ、そうなんですね。

山田　アニメ化されると聞いたときは、真っ先にスタッフを調べました。そうして出てきた情報が「総監督＝新房昭之」……。「うらやましいなぁ」という気持ちと、「『それ町』をよろしくお願いします！」という気持ちが混ざり合って、とても楽しみにしていたことを思い出しました（笑）。

新房　（笑）。

――今回は、そんな新房さんと山田さんで漫画のお話を語っていただきます。山田さんからテーマに挙げていただいた作品がいくつかあるのですが、メインで取り上げるのは？

山田　はい、久住昌之さん原作の『花のズボラ飯』です。

新房　作画担当の水沢悦子さんと仕事を一緒にされていましたよね。去年の12月号のアニメージュに載っていたのを見ました。

山田　はい。水沢さんに『Garden of Remembrance』というショートフィルムで、キャラクター原案をやっていただきました。もともと久住さんが関わられている作品が大好きで、学生時代から読み漁っていたんです。今回も推薦する中に久住作品を入れたいと思い、せっかくなので水沢さんの『花のズボラ飯』にさせていただきました。

――久住さんは『孤独のグルメ』（※1）でメジャーになりましたが、もともとはマイナーな世界で活躍していた人ですね。

山田　今まで読んできた彼の作品は、渋いオジサンが主人公の漫画ばかりだったので、『花のズボラ飯』はかわいらしい女の子が主人公だと知って、とても興味が湧きました。もう数ページ読んだだけで、完全に〝久住節の女性〟が描かれていたので、すぐにがっつり掴まれて。

新房　僕はやはり、主人公の花ちゃんがズボラ飯を美味そうに食べている姿がいいなって思いました。食べているときの表情とかリアクションが印象的なんでしょうね。絵の力はこの漫画の大きな魅力だと思います。

山田　そう思います。久住さんの世界と水沢さんの絵がめちゃくちゃ合ってますよね。

――『孤独のグルメ』と『花のズボラ飯』は絵柄も作品のテイストも違いますが、同時にどこか共通する空気感もありますよね。

山田　本当に。私はその以前、泉昌之名義（※2）の作品をバイブルのように読んできたので、『孤独のグルメ』でも谷口ジローさんの絵が本当に綺麗で驚いたんです。ちゃんと久住節のよさも出ているし、絵を描かれる方のよさも出ているし、両方の組み合わせの妙で何ともおかしげな空気も漂ってくる。

新房　作画担当との組み合わせは、誰が考えているんだろう？

山田　そう、そこがすごく気になります！

――『花のズボラ飯』で、特に好きなエピソードはありますか？

山田　初期のエピソード、単行本だと第1～2巻の頃が特に好きですね。ゴロさんの帰りを待っている花ちゃんの、あのだらしなさがよくて。第1巻の、花ちゃんが風邪をひく話は特に好きです。風邪を引いた花ちゃんが実家に電話をして、お母さんが「これを作ればいいよ」ってズボラ飯のつくり方を教えてくれるんですが、そのときに電話の向こうのお父さんが「花助、風邪ひいたってか」と言うんです。その「花助」ってあだ名とか、何でもないところに「ああ、花ちゃんはこう呼ばれて育ったんだな」みたいに、〝カケラ〟がちょっと差し込まれるのがとても好きですね。

――男性である久住さんが生々しい女性像を描いているのも、この作品の特徴ですよね。

山田　目の付けどころが鋭いなって感じるし、何となく許された気になったりもするけれど、「いやいや、これは男性の久住さんが描いてるんだぞ」と思うと……何というか、温泉に入って水風呂を浴びるような気持ちというか（笑）。

新房　心地いいけれど、同時に冷や水を浴びせられているような感覚ですかね（笑）。

山田　めちゃくちゃ人間観察されているんだろう……とは言ったものの、それだけに収まらない気もするなぁ。表現するのが難しいですね（笑）。

――そもそも、山田さんと久住作品との出会いはどういうものだったのでしょうか。

山田　本当の最初は『かっこいいスキヤキ』（※3）です。高校生の頃だったか、友達の家の本棚にあったのを盗み読みして衝撃を受けてから、自分で集めるようになりました。

新房　『かっこいいスキヤキ』に入っているお話では、どれが一番好きですか？

山田　まず、冒頭に入っている「夜行」から、しっかりやられました！　駅弁を食べるお話です。

新房　駅弁のおかずがちょっと期待外れで、最後にカツで巻き返しをはかったら……というやつ（笑）。あれは何度読んでも面白いですね。僕もいまだに読み返します。

山田　久住節がたまらないです。言葉の使い方、分析の視点、そして最後にしっかりオチをつけてくる。お肉のカツだと思っていたのがタマネギフライだった、というのに心をわしづかみにされて……その瞬間、入信しました（笑）。

新房　確かに共感できるし、なるほどなと思いながら読みました。

山田　ちょっと緩いけれど鋭い分析みたいな目線が大好きです。

新房　僕も初めて読んだのは『かっこいいスキヤキ』でした。正確な時期は覚えていないけれど、その頃はまだ久住作品は『かっこいいスキヤキ』しか出ていなかったんじゃないかな。友達に借りて読みました。

山田　やはり友達の本棚からの出会いですね（笑）。

新房　そうですね、「面白いから読め」みたいな感じで貸してもらったら、当時つるんでいた他の友達とみんなで「これは面白いな」って話題になりました。みんな「ロボット」という話で笑っていましたね。トイレに行きたくなった男の話。

山田　はいはい！「ズーッコッ、ズーッコッ」って、ロボットっぽく歩く擬音がおかしい（笑）。

――新房さんはその頃、久住作品のどんな点が、特に面白いと感じましたか？

新房　何だろう……やっぱり作風が独特だったからですね。特にセリフ回しかな。

山田　私も久住さんのセリフ回しは好きです。それと、ダジャレが久住節だと感じます（笑）。どの作品にも出てくる。

新房　「ゴージャスの人」という話も好きだったな。四畳半のアパートだけど窓がステンドグラスとか、虎の敷物とか。ああいうのが妙にツボでした。

――では、山田さんが思う久住作品の魅力は？

山田　何で久住さんの漫画が好きなんだろうと自分なりに考えたんですが……有り体にいうと〝ノスタルジックな感覚〟というか。何となく石油ストーブの香りがするような感じがあるんです。それは、めっちゃ個人的な感覚なんですが。あるいは、熱燗をつけているような感じというか。読んでいて、流れている空気がとても気持ちいい気がします。

――過去の時代を描いているわけではないけれど、どこか懐かしい感覚がある。

山田　それが久住節なのかな、と。『花のズボラ飯』はそんなノスタルジックな世界観と、水沢さんのかわいくて魅力的な絵が不思議とマッチしているんですよね。

新房　ノスタルジックというのは確かにわかる気がします。他作品のときにも言ったことがあるけれど、久住作品も学校をずる休みしたときに読みたい漫画だなって思います。

山田　ああ……そうですね！　何か悪いことをしているときに、あの漫画があると最高かもしれません。久住作品の好きなところって、本当にそこかもしれない。ずる休みした日に読みたい漫画、一緒にちょっと悪いことをしている共犯感――少し大人の世界を覗き見しているようでもあるし、大人って完璧じゃないんだなって思えるし。ものすごく贅沢なものを読んでいる気がしますよね。

新房　僕は『花のズボラ飯』を読んでいると、花ちゃんみたいな生活をしたいなと思っちゃいますね。花ちゃんと入れ替わって、あんなぐうたらな毎日を過ごしたい。

山田　……花ちゃんはちゃんと本屋さんでバイトしてますよ（笑）。

BONUS TRACK

ドラえもん大好き！



新房　久住作品以外に、『ドラえもん』もお好きだそうですね。

山田　はい、どんとこいです！　私は『ドラえもん』は本編派です。

新房　本編派……？

山田　大長編じゃなくて、普段の1話完結のエピソード＝本編が好きなんです。

新房　そういう意味ですか（笑）。僕も同じですよ。

山田　やったぁ！（笑）

新房　しかも自分の年齢的に、初期のお話のほうが好きです。

山田　それもどんとこいです！　私も初期のエピソードが好きで、てんとう虫コミックスの単行本だと第1～8巻くらいが特に好きです。

新房　何しろ僕が小学校2年生のときに、連載が始まりましたから。

山田　まさに、もともと新房さんたち世代に向けて描かれた作品だったんですね。第1話をリアルタイムで読まれていらっしゃるんですね。

新房　そのはずなんだけど……残念ながら何の記憶もないんです（笑）。連載で読んで特に覚えている話だと、ドラえもんがタイムマシンでたくさん集まってきて、みんなでのび太の宿題を手伝うっていう話がありますよね（「ドラえもんだらけ」）。

山田　「やろう、ぶっころしてやる」ですね、大好きです！（笑）

新房　そうそう（笑）。あれが読んだのが小学校4年生くらいで、最初はなかなか理解できなかったんです。雑誌のハシラにも「この回は難しいから、よく読もう」とか書いてあったんですが。

山田　そんなのが書いてあったんですね。

新房　「難しいのかぁ……」と思って読んでみたら、本当に難しかった（笑）。それが子供の頃に読んだ思い出です。山田さんの世代だと『ドラえもん』を読んだ頃はもう、アニメも放送されていましたよね？

山田　はい。でも、アニメも好きですが、漫画の『ドラえもん』とはまた別物として楽しんでいた気がします。とにかく漫画の『ドラえもん』が好きでした。アニメのドラえもんはのび太の保護者的、「のび太くん、よしよし」みたいなおばあちゃん的存在に見えるけれど、漫画はドラえもんものび太も、どっちも悪ガキですよね（笑）。

新房　そうですね、漫画のドラえもんはダメなロボットです（笑）。

山田　あれが好きなんです。ダメな感じがドラえもんの面白いところだと思う。ネズミ一匹退治するために「地球破壊爆弾」を出すとか（「ネズミと爆弾」）。言葉遣いも意外と乱暴だし。

――わりと荒っぽいエピソードがお好きなんですか？

山田　いえいえ（笑）。たまたまお話が出ただけで、いろいろほかにも好きなお話はあります。『ドラえもん』に関しては多角的にお話ができますよ。

新房　かなり大きな影響を受けていらっしゃるんですね。

山田　仕事の打ち合わせでも、よく例に出します。『けいおん！』で「このときのあずにゃんは『さようなら、ドラえもん』のときののび太で」とか、いろいろなことに代入します。『ドラえもん』の話がわかる人がいないとできないのですが、時にはわからない人を相手に「あの回ののび太の感じです」とか強行突破することもあります（笑）。

新房　僕は子供の頃、のび太になりたかったな。ドラえもんがほしかったから。

――友達としてドラえもんが？

新房　いや、ひみつ道具があれば楽だろうなって。

山田　（笑）。

――のび太になりたくて、花ちゃんになりたくて。

新房　そう、基本的にぐうたら系になりたいんですよ（笑）。

山田　ぐうたら、いいですよね。ぐうたら感謝の日（笑）。

※1　**『孤独のグルメ』**
原作＝久住昌之、作画＝谷口ジロー。94～97年に『月刊PANJA』（扶桑社）に連載後、08～15年に『SPA!』に読み切り掲載。12年よりドラマ化され人気を博す。

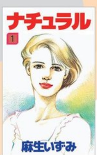
※2　**泉 昌之**
久住昌之と漫画家・泉晴紀の共同ペンネーム。81年『ガロ』（青林堂）掲載の「夜行」でデビューし、以降『かっこいいスキヤキ』『ダンドリくん』『食の軍師』などを発表。

※3　**『かっこいいスキヤキ』**
泉昌之名義で83年に発表された最初の単行本。「夜行」「ロボット」などの短編作品が収録されている。

【山田尚子の好きな漫画】



『それでも町は廻っている』
石黒正数
「単行本の第１巻を読んだときに『出会っちゃった！』と思いました。大人になってからこんなに好きな漫画に出会えるなんて、何て幸せなんだろうって。何もかもが好きです」（山田）



『ナチュラル』
麻生いずみ
「89～91年の漫画ですが、最近また読み返しました。これも絵がめちゃくちゃ上手くて見惚れてしまいます」（山田）



『アイドルを探せ』
吉田まゆみ
「最近、久々に読んだらめっちゃ面白かったです。絵がおそろしくスタイリッシュで、時代の匂いもして。作者の方の“好きなもの”の芯も通っている気がします」（山田）



『私の肌に呪いの顔が』
古賀新一
「幼稚園か小学校１年くらいのときにおばあちゃんにお小遣いをもらって、初めて本屋さんに足を踏み入れて、『この絵が好き！　かわいい！』とジャケ買いしました。自分の中で大事なルーツのひとつです」（山田）

Akiyuki Shinbo
アニメーション演出家／代表的な監督作品に『化物語』『魔法少女まどか☆マギカ』『3月のライオン』ほか

Naoko Yamada
アニメーション監督／代表的な監督作品に『けいおん！』『映画 聲の形』『リズと青い鳥』『平家物語』『きみの色』ほか

information

◆『きみの色』Blu-ray&DVDが2月26日発売
◆『Garden of Remembrance』Hulu・Leminoほかにて配信中



イラスト：川村敏江

おおつか・たかし
アニメ監督・アニメ演出家／1981年2月23日生まれ／大阪府出身／業界歴24年目／代表作は『映画プリキュアオールスターズDX 1～3』（監督）、『スマイルプリキュア！』（シリーズディレクター）、『ONE PIECE STAMPEDE』（監督・脚本）ほか。アニメの仕事をわかりやすく解説した書籍『アニメができるまで』発売中

大塚隆史 メライフ！

第19回

声優のお仕事 女性声優編
福圓美里の山あり谷あり声優人生（後編）＋マネージャーのお仕事

自ら掴みに行ったキュアハッピー役

大塚・小松田・福圓　皆さん、あけましておめでとうございます！

小松田　今回も先月号から引き続き、福圓美里さんに声優という仕事に関するお話を伺っていきます。

福圓　今月もよろしくお願いします！

大塚　先月号では、福圓さんが声優を志したきっかけや、オーディションに受かって高校生でアイドル声優として活動をした話、新たな事務所で再デビューしたことなんかを伺っていきました。その中で、**「声優は30歳、35歳、40歳でふるいにかけられる」**とおっしゃっていましたが、そのあたりのことも詳しく教えていただけますか？

福圓　昔、先輩から「**年齢と共に役幅も変えて当てていかないと**、印象が薄れちゃうよ。いくら10代の役がうまくても、結局10代の役は10代の子がやったほうがいいに決まっているんだから、それをずっとやろうと思っても難しいよ」って言われたんですけど、まさにそういうことなんですよね。常に新しい役に挑戦していかないと、いずれ求められなくなってしまう、という。

その中でも、30歳は一つの区切りとして大きい気がします。やっぱり若さと勢いが陰ってくる時期だから。でもその代わり**30代は芝居の奥行きが広がって、より深い表現を求められる役**を回していただけることが増えてくる時期でもあるんです。私としては、30歳頃からのほうがより仕事が楽しくなりました。

小松田　それでいうと、大塚さんの**『スマイルプリキュア！』で福圓さんがキュアハッピーをやられたのも30歳の**ときですよね。

福圓　そうですね、私にとっての転機になった作品の一つです。

大塚　これは前にもお話したことがありましたけど、『スマプリ』のオーディションでは、福圓さんには**最初キュアピース役を受けてもらった**んですよね。そのとき僕は、芝居ももちろん、主人公たち5人で声色が似ないようにしたいと思っていて。まず主人公が決まらないと周りも決まらないという中で、福圓さんに「キュアハッピーをやってみてください」とお願いしてみたら、それがすごくハマったんです。僕だけじゃなく、ほかのスタッフも「いいんじゃない？」ということになって。

基本的には声優さんって、自分で仕事を選ぶことが難しい職業

それで**福圓さんをキュアハッピーに決め、そこから福圓さんに声質が似ない人をパズルのように選んでいった**、というのが『スマプリ』のキャスティングでした。

福圓　知らなかった！　改めて、選んでいただいてありがとうございました。……でも、今だから言えることなんですけど……実は『スマプリ』のオーディションでは、私は最初からキュアハッピーを狙っていたんですよ。

大塚　え、どういうこと？

福圓　私、『スマプリ』より以前にも『プリキュア』のオーディションは5～6回受けていたんですけど、**毎回、白か黄色のキャラクターで受けて落ち続けていたんですね。**どの役を受けるかはマネージャーさんが決めるのですが、これまでと同じ方向性ではまた落ちてしまうと思って。キャラクター表を見てピンクのハッピーに挑戦したいなと思ったんですが、黄色のキュアピースでオーディションを受けることは決まっていたし、自分から現場で「ハッピーをやらせてください！」と言う勇気もなく。だから、**ピースのセリフを最大限ハッピーに寄せて読んで（笑）。**



「ハッピーのセリフも読んでみてください」と言われるために、全力を尽くしました。

小松田　すごい!!

大塚　そうなんだ！　確かに僕は「ピースよりハッピーかも」とは思いましたけど、そうは思わない選者もいるかもしれないのに。策士というか、不合格になるリスクもあったけど、見事な作戦勝ちでしたね！

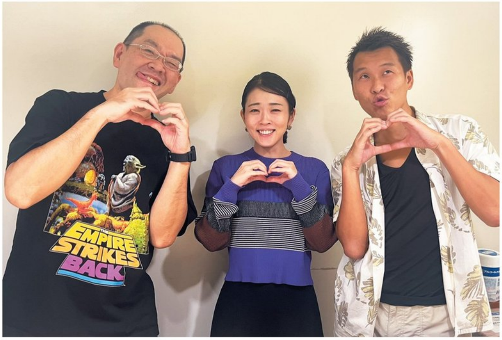
福圓　こんなにうまく作戦が成功したこともあまりないですけどね（笑）。

大塚　戦略を立てて、自ら役を掴みにいったってことですね。

ゲスト
福圓美里

30歳頃からのほうがより仕事が楽しくなりました

ふくえん・みさと
声優／1982年1月10日生まれ／東京都出身／StarCrew所属／芸歴26年目／主な出演作は『スマイルプリキュア！』（星空みゆき／キュアハッピー）、『僕のヒーローアカデミア』（トガヒミコ）、『仮面ライダーガッチャード』（ホッパー1／クロスホッパー）ほか



今月は３人でハッピーシャワーをお届け。福圓さんを囲んで、ハイチーズでスマイル♥

幅広い役柄に臨む楽しさと苦悩

大塚　ただ、基本的には**声優さんって、自分で仕事を選ぶことが難しい職業**じゃないですか。オーディションでの役も自分で自由に選べないとなると、自分のキャリアを形成していくとき、「こういう役に挑戦したい」という目



こまつだ・だいぜん
アニメーター・アニメーション監督・演出家／1973年3月13日生まれ／埼玉県出身／業界歴26年目／代表作は『ブブキ・ブランキ』（監督）、『ヱヴァンゲリヲン新劇場版』シリーズ（副監督）ほか。現在、映画『アイゼンフリューゲル』（監督）を鋭意制作中

小松田大全 ハッピーアニ

～“好き”を進路にしてみたら～

新年初のハピアニは、先月号から引き続き声優の福圓美里さんがゲストに登場。時に悩みながらも、「芝居がしたい」という思いを貫き続けた福圓さんの声優人生に、大塚＆小松田が迫る！　さらに、話題は声優のマネージャーへと発展。意外と知らないそのお仕事内容を教えてもらった。

標を立てて達成していくって、そもそもできるものなんですか?

福圓　例外もあるかもですが、基本的には選べないと思いますね。でも不思議なことに、**「こっちの方向の役をやりたい」と思っていると、そういう話が来たりする**こともあるんです。「こんな仕事をやってみたいな」とポロッとこぼしたら、それを聞いていた方が声をかけてくださったり。逆に、合わない仕事は当たり前ですが、結果が出ないことが多いと思うので減っていったり。そうやって、直接選んでいるわけじゃないけど、やりたいと思っている方向性に、自然と寄っていくというのはあるのかなと思います。

あとは、私は昔から純朴なかわいいヒロインよりも、ちょっと**変わった役をやりたいな**と思っていて。そういう役のオーディションに受かることができたら、**代表作が一個できる**じゃないですか。するとその後、それに似た役のオファーが来やすくなるので、そうやってコントロールすることもできるかもしれません。

小松田　そういう意味で、福圓さんの代表作になった役というと、何ですか?

福圓　**『ときめきメモリアル4』**という作品で、大倉都子というヤンデレな女の子の役をやったんですが、その後、多面性があるキャラクターが増えました。あとは、**『僕は友達が少ない』**の志熊理科というキャラクターも、個性がかなり強め。最近だと**『僕のヒーローアカデミア』**のトガヒミコも、他者から見ると理解しづらい女の子です。

小松田　変わったキャラクターをたくさん演じて、そういった引き出しを広げてきたわけですね。その一方で、キュアハッピーのような、前向きな王道タイプの主人公の引き出しも持っているところが、福圓さんのすごいところだと思います。

福圓　ありがとうございます。たぶん私って、**他の声優さんより声の印象が薄い**んですよね。「あの役をやってたんだ、気づかなかった」と驚かれることもよくあるんですよ。

大塚　確かに声優さんには、声を聴いてすぐに「あ、あの人!」ってなる人もいれば、福圓さんみたいに変幻自在な人もいますよね。どっちにも違う良さがあるなって思います。

福圓　私の場合、「この役は絶対に福圓さんで!」みたいにパッと名前を挙げていただくことは少ないと思います。その反面、印象がないぶん、何でもできるところはいいところかなと思っています。



色がつきすぎてないがゆえの自由度で幅広くいろんな役柄ができる

小松田　なるほど、**色がつきすぎてないが故の自由度で幅広くいろんな役柄ができる**、と。今のお話は僕ら演出家にも通じるものがあるなと思いました。

福圓　ただ、それに悩んだこともありました。これは私の長所でもあり、短所でもあるのですが、**監督さんたちから求められたら、自分をねじまげてでも全力でそこに合わせにいこうとする**ところがあって。声優って表に立つことが多い立場ではありますが、アニメーションを作る過程で言うと、声優が作品に関わる瞬間って本当にごくわずか。実際は監督さんたちのほうがとても長い時間、作品と向き合っているんですね。だからこそ、なるべくその方たちが望んでいるほうに持っていきたい、と。でも、**自分の喉の限界を超えても求められた音を出そうとし続けた**結果、30代半ばには声帯がボロボロになってしまいました。

小松田　ええ……!?

福圓　喉にタコができてしまって、音が出なくなっちゃったんですよ。それでもしばらくごまかしながらやっていたんです。こういうふうに声を出せば、このあたりの声はなんとか出るな、とか……（※いろいろと実演）。でももう、さすがに音にならなくなり、**35歳のときに手術をしました**。そこからは「もう少し音を下げてください」って言われても、「自然にお芝居できるのはここが限界なので、ならばこんな感じでどうでしょう?」と、現場で相談するようになりましたね。でも本当、**今まで医療費にいくら使ったんだろうって思います（苦笑）**。

声優は自分一人ではできない仕事

大塚　いやぁ、すごいお話ですね……。僕ら監督・演出業やアニメーター業とはまた違った職人の精神や技巧、苦労を垣間見ました。声優さんのお仕事って、文字通り体が資本だから、長く続けるのってめちゃくちゃ大変そうだなと思っちゃいました。

福圓　あと、健康面だけじゃなく、**私たちは誰かから求めていただかないと仕事がない**ので、そういう意味でも自分の意志だけでは続けられない職業だなと感じますね。

声優って自分一人では何もできないんですよ。例えば、自分で歌を作って歌うアーティストさんなら、急に何もないところに放り出されても一人で活動できるかもしれないけど、声優はキャラクターありきじゃないですか。母体となるアニメーションやゲーム作品がなかったら何もできない。だから、**人との繋がりを大切にできる人じゃないと、続けるのは難しい**と思います。

大塚　それは演出家である僕も感じますね。**エンターテインメントって不要不急**のものだから、有事のときには真っ先になくなるものだし、そうなると自分は即無職だよなって。

福圓　そうなんですよね。東日本大震災のときは特にそれを痛感して、すごく悩みましたね。自分一人では何もできないし、誰も助けられないし、声優って意味のない存在なのかも……って。でも、**まさに東日本大震災の2011年に『スマプリ』のオーディション**に受かることができて。「運動会ができない福島の子どもたちに向けて、体育館で体を動かすイベントをするので、そこで流す映像に声を入れてほしい」というお仕事もいただいたんです。それをきっかけに、少し迷いを晴らすことができました。きっと**悩んでいた私の気持ちがキュアハッピーに出会わせたくれた**んだと思うし、『スマプリ』は今でも大切な作品ですね。って、選んでくれた人を目の前にして言うのも気恥ずかしいですけど（笑）。

大塚　いやー、それを導いたのは神様だと思いますよ!

福圓　いやいや、選んだのはあなたでしょ!（笑）　とにかく、人との縁が大切な仕事なので、これから声優を目指す人には、もし売れても調子に乗ってしまわないようにしてほしいです。声優って表に出る仕事だから、過剰にチヤホヤされてしまいがちなんですけど、皆さんのお力があって、初めて成り立つお仕事だから。

小松田　逆に、チヤホヤされないパターン、**お金が稼げなくて生活が立ち行かなくなるというパターン**もあるんじゃないかと想像しますけど、そういう意味での声優という職業の難易度についてはどう感じますか?

福圓　様々です。事務所ごとに外画だったりナレーションだったりCMだったり、それぞれ得意ジャンルみたいなものがあるんですけど、ジャンルによるギャランティ（報酬）の差も結構大きくて。でも、今は仕事の幅が広がっているので、チャンスはいろいろなところにあるかもしれない。

　声優の仕事って、実はアニメやゲーム以外にもいっぱいあるんですよ。企業のプレゼン映像に声を入れる仕事とか、再現VTRのボイスオーバー（海外の原語映像に翻訳した日本語音声を被せるなど）とか。老舗の事務所だと、新人声優が現場に慣れるために多種多様な現場に行かせてくれたりするので、堅実にステップアップしていきたいタイプの人は、大手事務所に所属したほうが幅広い仕事で活躍できる可能性もあると思います。逆に、所属人数が少ない事務所は、マネージャーさんと細かいことまで話し合えたり、社内競争がなかったり、声以外の活動もサポートしていただけたりと、それぞれの良さがあると思います。自分に合った事務所に出会えるといいですね。

声優を目指す人への福圓流アドバイス

大塚　あと、やっぱり心配なのが「若い女性は何かと危険が伴うんじゃないか？」みたいなところですよね。例えばセクハラ問題とかは、業種を問わず社会全体で考えないといけない課題ですけど、声優業界ってどうなのかな、と。

福圓　今はそういったものはだいぶ取り締まられていますし、おそらく目立ったセクハラはないと思います。ないと信じたい。あってはならない。でも、若い時は私も嫌な思いをすることも多少はありました。

大塚　その時はどのように対処したんですか？

福圓　私の場合は、はっきりと断ることで、すぐ引いていただけたので、幸い大ごとにはなりませんでした。でも、セクハラに限らず、フリーで活動していた頃はいろいろなトラブルに巻き込まれたりもしました。

　その経験から、業界のこともろくに知らない十代の私には、守ってくれる人が必要だと考えました。いろいろな考え方があると思うけど、私の場合は一刻も早く事務所に入ったほうがいいだろう、と。所属が決まってからは、会社という組織がついていてくれる安心感の中で仕事をすることができて、ありがたみを噛み締めました。事務所が決まるまでは、両親が支えてくれていました。トラブルに遭ったときも、最初は芸能活動に反対していた親たちが「最後まで君の味方だよ。だから、一緒に考えよう」と言ってくれて、とても救われましたね。

小松田　僕も子育てしながら、娘に警戒心を養わせるために親としてどんなことができるのかって日々考えてしまいます。最初から人を疑うように教えるのは違う気がするけど、でも現実には危険もある……。その中で、福圓さんは危険なことに少しかすりつつも、保護者の方に相談して大きな事故を回避して、自分の判断基準を育ててきた。それってすごく大事なことだなと思います。

大塚　あと、聞きたいのが、読者の方で声優に憧れている人には、職人としての声優よりもアイドル的な意味で声優になりたい子もいると思うんです。そういう子へのアドバイスってありますか？

福圓　うーん、コロナ禍の前後で状況も大きく変わっているので、なかなか最新の情報はわかりませんが……やっぱりアイドルを目指すなら、個人の魅力が重要になってくると思います。厳しい話ですけど、人気者として売れるにはやっぱり天性の声と魅力がないと難しいんですよね。

　でも、それが自分にあるかどうかって、自分ではわからないじゃないですか。なので、まずはオーディションを受けてみたらどうかなって思います。

　1回受けて落ちただけだと運による要素も大きいので、ひとまず10本受けてみたらどうかな、と。そうしたら、自分のことがだいたいわかるから、自分に何が足りないか、それを補う努力をしてでもその道に本当に進みたいのかを考えていったらいいんじゃないかなと思います。各事務所が実施している特待オーディションなども、最近多いですしね。オーディションでもう一歩進めないという場合は、養成所に入って自分に足りない要素を埋めるというのも方法の一つかなと思います。

小松田　なるほど、才能だけで評価される場もあれば、積み重ねによってたどり着ける道もあるってことなんですね。そういう、足場を固めた人が自分の声質に合った役柄にたどり着けるルートも見えていると、仕事としての堅実性を感じられます。

福圓　そうですね。だから、今多く求められるタイプの声質ではないからって、諦めることはないと思います。むしろ、今の主流に寄せていくことのほうが恐ろしいなと私は思いますね。自分の個性をちゃんと育てて、それをどう提示できるかというのが大事な気がしています。

大塚　それを見極めるためにも、自分で考えてトライアンドエラーを繰り返すというのが大切ですね。

自分なりに考えて前に進んで、自分の居場所を自らの手で切り開いてきた



声優を裏側で支えるマネージャーという存在

大塚　福圓さん、めちゃくちゃ濃密なお話をありがとうございました！　お話を聞いていて、声優さんのお仕事内容はもちろんのこと、声優さんが働くうえで事務所やマネージャーの存在ってすごく大きいんだなということも知りました。それで、僕、一個思いついたことがあって……。

福圓　？　なんですか？

小松田　あ！　わかった！

大塚　今日は福圓さんのマネージャーの熊木さんもこの鼎談の場に同席してくれているので、もしよかったら、アニメに関わる仕事として「マネージャーの仕事」についてもお話を聞けないかな、と。

熊木　え!?　私ですか!?

福圓　わぁ、いいですね。確かに、マネージャーというお仕事がクローズアップされることって普段なかなかないから、面白そう！

熊木　えー!?　私で大丈夫……ですかね……？

小松田　もちろんです！　アニメに関わる仕事としてマネージャーという選択肢があるということを知らせたいというのもありますし、声優という仕事に憧れている読者の方にも、さっき福圓さんが言っていたようなリスクから守ってくれる存在が、ちゃんと社会にはいてくれるんだよということをぜひ伝えたいです。

熊木　うーん……わかりました！　私でお力になれることがあれば！

小松田　やったー！　ありがとうございます！

　ちなみに、熊木さんは今おいくつで、マネージャー歴はどれくらいなんですか？

熊木　今32歳で、マネージャーとして7年になりますね。

大塚　若すぎずベテランすぎず、この「ハピアニ」の連載的にちょうどいい年齢感ですね！　じゃあさっそく、まずは熊木さんがマネージャーになった理由から聞いていきましょう。熊木さんはもともとマネージャーになりたいと思っていたんですか？

熊木　いや、全然思ってなかったです。もともとは実写映画のカメラマンになりたかったんですよ。父親の影響で、子どもの頃から映画を観ていて、小・中学生くらいの頃にカメラマンという職業に憧れるようになりまして。大学では映像の勉強をしていました。卒業後は撮影現場でカメラアシスタントとして働いていたんですけど、続けるうちに、自分の切る絵が面白くないということに気づいて。25歳でその道は諦めて、就職活動をすることにしたんです。

　でも、映画が好きだから、何かしら映画に関わる仕事をしたい。そこで、「そうだ！　俳優さんのマネージャーになったら撮影現場にいられるじゃん！」と。それがマネージャーを目指したきっかけですね。今考えると、なんて浅い考えなんだって感じですけど（笑）。

大塚　いやいや、人生は勢いです。どんな考えだろうと行動力が大事ですね！

熊木　それで俳優事務所に応募したのですが、なかなかご縁がなく。そこで、次は「そうだ、外画も好きだ！　吹き替え声優さんのマネージャーになったら、アフレコ現場で最新作を観られるじゃん！」と考えて、声の事務所に応募してみたんです。実は外画ってセキュリティが厳しいので、公開前の作品を観るなんてことは、マネージャーではできないんです。でも、当時の自分はそれを知らなかったので、とにかく浅ーい考えで（笑）。26歳のときに、事務所のマネージャーに採用されたというのがこの仕事を始めた経緯ですね。

意外と知らない!? マネージャーの仕事内容

小松田　声優のマネージャーさんって、具体的にはどういう仕事をしているんですか？

熊木　基本的には、スケジュール調整や出演条件の交渉、営業が主な仕事ですね。例えばアニメの場合、「こういうアニメがあるので、出演者を探しています」というご連絡をいただいたら、事務所の中からそのキャラクターに合う候補を探します。で、テープオーディション用のボイスを収録したり、「スタジオオーディションに来てください」と言われたら、声優さんにオーディションへ行っていただき、受かったら収録のスケジュールを調整していく……というような。私個人のイメージとしては、「声優さんが働きやすいように道を整える裏方作業」であると思っています。

大塚　テープオーディション用のボイスは、マネージャーさんがディレクションしたりするんですか？

熊木　そうですね。ただ、本格的な演技指導をすることはあまりなくて、どちらかというと、客観的に聴いた感想や意見をセカンドオピニオン的に伝えるという感じです。そのほか、事務所に所属する声優を選ぶ所属オーディションも、マネージャーの仕事の一つです。

小松田　そういうのはどういう基準で選ぶものなんですか？

熊木　いろいろな基準があると思いますけど、やっぱり似たような声質の声優が事務所にいるとチャンスが分散してしまう可能性があるので、違う声質の人を選ぶことが多いと思います。それから、自分の武器みたいなものを持っている人。自分の向かいたい方向が大雑把にでもわかっている人。あとは、世知辛いんですけど、事務所って所属声優のギャランティの一部をマージンでいただく形で成り立っているところが多いので、「戦っていける人」を探すというのが大きいところですね。

大塚　なるほどなぁ。単純に巧い上位を選ぶみたいなことではないんですね。例えば、野沢雅子さんは声優界の第一線をずっと走っている方だけど、だからといって野沢さんみたいな声の人を3人採ってもよくない、みたいな。

熊木　そうですね。それこそ、さっき福圓も言っていたように、声の仕事っ

役者さんがお芝居に専念できるようにするのが我々マネージャーの仕事



熊木さんが持ち歩くポーチ。携帯扇風機、ストロー、ゴミ袋、虫刺されスプレー、ウェットティッシュなど、現場でのお役立ち道具がぎっしり

ゲスト 熊木

くまき
マネージャー／1992年12月生まれ／東京都出身／業界7年目／26歳から声優マネージャーのキャリアをスタート。現在は、StarCrewの社員として、福圓さんをはじめとする所属声優のマネジメント業務にあたっている

てアニメやゲームだけでなく、ナレーションやボイスオーバーなど多岐に渡ります。そういった仕事に取り組んでくださる人も、我々にとっては大切な存在なので。アニメやゲームでよくお声を聴くような人、**有名で声を聴いたらわかる人以外はいらない、みたいなことはまったくありません**。

大塚 ちなみに、人のお世話をするってなったとき、中にはめんどくさい人も当然いると思うんですけど、そういう大変さはあったりしますか？

熊木 うーん、私は別に気にならないです。というか、そこは普通の人間関係と一緒だと思いますよ。友達だって何の気なしに「今日遊べる？」と連絡して「いいよー」で済む人もいれば、事前に「いつ、どこに行こうよ」としっかり決めておかないと嫌だという人もいるじゃないですか。要は、**その人との寄り添い方の違い**なので、「この人はこういうふうにやってもらうのが一番楽」という形にアジャストするだけかなと思います。

声優のマネージャーの適性とやりがい

小松田 熊木さんはもともと映画の道を志していたということですが、声優さんについては最初から詳しかったりしたんですか？

熊木 いえ、まったく。外画はよく観ていたので、声を聴いたら「あの作品のあのキャラクターの声の人だ」くらいは少しわかりましたが、お名前はほとんど存じていなかったです。今となってはおかしな話ですけど、**この仕事を始めた当初は「本当に一人もわからない……」という状態**でしたから（笑）。だから、最初の頃は少しでも自分の引き出しを広げるために、必死でしたね。**所属声優さんのボイスサンプルを全部ダウンロードして、通勤中に聴いていたり**。

小松田 すごい！ 英語のリスニングの勉強みたいですね！

熊木 まさにそんな感じでした。マネージャーって職業になったら、**たとえ1年目だろうと声優さんからしてみれば「マネージャー」**じゃないですか。頼っていただけることもあるので、そのときにちゃんと説得力を持ってお答えできるための準備はしておかないと……といった感じでした。

大塚 自分でどうやったらいいかを考えて、実際にしっかりと努力されていて、素晴らしいですね。熊木さんは、マネージャーという職業はどんな人が向いていると思いますか？

熊木 マネージャーにもいろんなタイプ、いろんな性格の人がいるので一概に言うのは難しいですが……やっぱり**熱意がないと難しい**と思います。相手は「人」なので、出来上がった電化製品を売る仕事とは違って、臨機応変に調整することが必要です。さっき申しました通り、人によってベストな寄り添い方は違いますから。そういうときに、熱意があったほうが頑張れる活力にはなると思いますね。

あとは、誰かを支えるのが好きな人。**ゲームでヒーラー（補助・回復系）を選ぶ人とかは向いているかもしれません**。あ、でも、中には勇者タイプのマネージャーもいたりはしますので、勇者を選ぶ人が向いていないというわけではないと思います。

小松田 お給料的にはどういう感じなんですか？

熊木 **一般的なサラリーマンと同じ感じ**ですね。もしかしたら相場よりは少し安いかもしれませんが、食べていくには困らないくらいはもらえると思います。とはいえ、業務時間は長いし、土日にイベントがあったりもするぶん、休みも不規則です。「9時ー17時で土日休み」という働き方を望む人には合わない仕事かもしれません。

大塚 マネージャーって出世とかってあるんですか？ 熊木さん的に、「今後、こうステップアップしていきたい」みたいな夢はあったりしますか？

熊木 そもそもマネージャーに出世と言われるものがあるのかどうか……。現場マネージャーを統括する立場はありますが……。人によってはその後、独立して自分の事務所を作る方もいらっしゃいますけど、私はそうなろうとは思っていないです。今の会社が好きですし、何より自分は社長の器ではないので。だから、将来の夢はないですね。**事務所所属の役者がみんな幸せにお仕事してくれればそれでいいな**と思っています。

大塚 なるほどなぁ。自分で聞いておいてあれですけど、今の時代って、「将来どうすんの？」「何か夢とかあるの？」みたいに問われることが多いじゃないですか。そこでバッサリと「夢はない」と言い切って、むしろ今の状態がありたい自分であるとはっきり言えることって、素晴らしいなと思います。**それも一つのハッピーアニメライフだな**、って。

熊木 もちろん人によっては「世界になる！」みたいな志を持っている人もいると思います。でも私は、成り上がりたいという気持ちはなく……。**そもそもマネージャーって、エンドクレジットにも名前が載らない職業**ですし。

大塚 確かに……！

熊木 声優さんがいいお芝居をしてくれたらそれで十分だな、って。それにプラスして、その声優さんがファンの皆さんに応援していただく姿を見たり、出演した作品が多くの方に愛されていたりするとやっぱりうれしいですね。**自分自身も間接的にいいアニメを作るための力になれたのかな**と思えて、グッときたりします。

小松田 そういうところがやりがいに繋がっているんですね。ちなみに、福圓さんから見て、マネージャーに向いている人や、マネージャーに必要な要素はなんだと思いますか？

いい仕事をするには、積み重ねてきたものが前提



福圓 うーん……難しいですね。でもやっぱり、**人として信頼できるかどうか**は大事だなって思います。クライアントさんとのやりとりを、全てお任せするわけですから。**「失礼なく、かつ、しっかりと自分の意見を主張できる人」**というところを私は重視したいと思います。

声優が好きな気持ちを作品への興味に変えて

小松田 マネージャーになりたいと思っている人の中には、たぶん「声優さんが好きだからマネージャーになりたい！」という動機が一番多い気がするんですよね。そういう人が、**声優を好きな気持ちと、仕事としてマネージャーになることをどう結びつけられるのかな？**と思うのですが。

熊木 声優さんが好きだということは、そのぶん作品もいっぱい観ているということですよね。それはマネージャーにとって必要なことなので、すごいアドバンテージだと思いますよ。私自身も子どもの頃から映画をたくさん観て、いろんな人のお芝居に触れてきた経験が活きているなと感じます。**いろんな作品を観てきたという蓄積は、マネージャーとしての一つの武器になる**と思います。

小松田 なるほど。熊木さんが作品をたくさん観てきたことや、カメラアシスタントをやってきたことって、「作品作り」に対して興味があったということで。それが今、演者のマネージャーをする際の下地になっているわけですね。

大塚 でも、実際、「作品作りにはそれほど興味ないけど、とにかく声優さんに興味がある」という読者も多そうですよね。例えば、**「声優と結婚したい！」みたいなモチベーションでマネージャーを目指す人**とか。下世話な話ですけど、マネージャーと声優さんが男女交際みたいな例とかあったりするんですか？

熊木 いや、ないと思いますよ。少なくとも私は聞いたことはありません。もちろん、そういう動機を持った人が応募をしてくる確率もゼロじゃないと思いますけど、**基本的にそういう人は採用されない**と思います。やっぱり下心ってバレますからね。万が一、マネージャーになれたとしても、マネージャーって基本的に声優個人につくのではなく、**会社ごと、案件ごとなどにつく場合がほとんど**なんです。だから、「あの声優さんのファンなので、あの人とずっと一緒にいるマネージャーになりたい！」と思っても、仕組み的に叶わないでしょう。たぶん「思ったのと違う」と辞めていくことになる気がします。そもそも、役者さんがお芝居に専念できるようにするのが我々の仕事だと思うので、そんなところで足を引っ張っちゃったら元も子もないですしね。

大塚 まっとうな意見！ そうやってマネージャーさんが守り支えることで声優さんは輝くことができる、ということですね。

小松田 福圓さんのお話も、熊木さんのお話も、**いい仕事をするには、積み重ねてきたものが前提**なんだということを感じましたね。福圓さんが代表作といわれる作品に巡り合えたのには、それまでのトライアンドエラーがあってこそで、決してラッキーパンチでチャンスを掴んだわけではない。熊木さんも、カメラマンになりたいと思ってやってきたことが、違う道でちゃんと活かされて、今に繋がっているんだな、と。

大塚 本当にその通りですね。お二人とも、自分なりに考えて前に進んで、**自分の居場所を自らの手で切り開いてきた**。とても前向きなお話が聞くことができてよかったです。お二人とも、今回はありがとうございました！

小松田 次回は、僕と大塚さんの二人回です。**「先輩・後輩からもらった金言」**というテーマでゆるくお話していこうと思います。次号もどうぞお楽しみに！

アニメージュ
Animage

新番組＆新作映画・OVA情報

TV　MOVIE　OVA　WEB　ANIME　ETC　NEWS

ANIMAGE NEXT RECOMMEND

ANIMAGE NEXT RECOMMEND

気持ちが引き締まる新春。新しい一年が始まりました！　今年も素敵なアニメとの出会いを期待して、続々と入ってきている新作情報をチェックしていきましょう！

複雑な事情を抱える少女 ハッピー星人との交流の結末は!?

ANIME 未定



©タイザン5／集英社・「タコピーの原罪」製作委員会

ハッピーを広めるべく地球にやってきたタコピー。窮地を救ってくれたしずかの笑顔を取り戻すべく奔走する。しかし、彼女は複雑な事情を抱えており……。ハッピー星人と少女の交流を描くヒューマンドラマ。タイザン5の話題作がアニメ化される。到着したティザービジュアルで仲良く寄り添って眠る姿は一見平和そう。だが、散らかり放題の部屋をよく見ると……。タコピーはしずかを笑顔にできるのだろうか？

タコピーの原罪
▶アニメ化決定
STAFF 原作／タイザン5『タコピーの原罪』（集英社ジャンプ コミックス刊） 監督・シリーズ構成／飯野慎也 キャラクターデザイン／長原圭太 制作／ENISHIYA **CAST** タコピー／間宮くるみ しずか／上田麗奈 ほか

編集部推薦！ 今月の PICK UP

長野の雪山をめぐる事件 緊迫感の漂う特報映像が公開

MOVIE 4月



雪山事故で隻眼となった、長野県警・大和敢助。見えなくなった左眼が疼きだす。その理由とは!?『名探偵コナン』劇場版シリーズの最新作。その公開日が決定した。シリアスな最新ビジュアルが到着し、緊迫感満載の特報映像も公開！

名探偵コナン 隻眼の残像（せきがんのフラッシュバック）
▶4月18日（金）より全国ロードショー
STAFF 原作／青山剛昌 監督／重原克也 脚本／櫻井武晴 音楽／菅野祐悟
CAST 江戸川コナン／高山みなみ 毛利 蘭／山崎和佳奈 毛利小五郎／小山力也 大和敢助／高田裕司 諸伏高明／速水 奨 上原由衣／小清水亜美 ほか

©2025 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会

アニメ10周年＆第3期放送 平熱系最強ヒーローにまた会える

TV 2025年



数々の怪人をワンパンで倒してきたサイタマに新たな試練が立ちはだかる！　TVシリーズ第1期の放送から10周年を迎え、オールスターが描かれた記念ビジュアルが到着した。そして今年、アニメ第3期が放送予定！　さらにYouTubeでは、10周年記念PVなども公開。放送が楽しみだ。

ワンパンマン 第3期
▶2025年放送予定
STAFF 原作／ONE・村田雄介『ワンパンマン』（集英社『となりのヤングジャンプ』連載） シリーズ構成／鈴木智尋 キャラクターデザイン／久保田誓、黒田新次郎、白川亮介 制作／J.C.STAFF **CAST** サイタマ／古川 慎 ガロウ／緑川 光 ジーナス博士／浪川大輔 ほか

©ONE・村田雄介／集英社・ヒーロー協会本部　※画像はアニメ『ワンパンマン』10周年記念ビジュアルです。

令嬢刑事の〝迷〟推理を一刀両断 毒舌執事が華麗に謎を解き開かす

TV 2025年



©東川篤哉／小学館／「謎解きはディナーのあとで」製作委員会

難解な事件に立ち向かう警視庁国立署の新米刑事・宝生麗子。その正体は、世界的企業「宝生グループ」の社長令嬢で、財力も知力も潤沢だ。どんなトリックも鮮やかに謎を解き明かす……のかと思いきや、さにあらず。様子を見守る執事兼運転手の影山が「お嬢様の目は節穴でございますか？」と、彼女の推理を一刀両断するのだった！　東川篤哉の本格ミステリーがアニメ化決定。橘オレコによる描き下ろしのティザービジュアルが到着した。麗子と「風祭モータース」の御曹司・風祭警部を見つめている影山。笑みの裏にあるのは、どんな想いなのか!?

謎解きは ディナーのあとで
▶アニメ化決定
STAFF 原作／東川篤哉『謎解きはディナーのあとで』（小学館刊）
CAST 未定

MORE INFO

その着せ替え人形は恋をする 続編
コスプレ願望がある喜多川海夢と出会ったことで、雛人形の頭師を目指し、日々奮闘してきた五条新菜の青春が徐々ににぎやかになってきた。そして、コスプレ用の衣装制作や撮影会などを経て、二人の距離も近くなってきた……!?　人気ラブコメの続編が今年放送決定！

ジャンプフェスタ2025
12月21日、22日に開催された「ジャンプフェスタ2025」で、多くのアニメ情報が解禁された。『呪術廻戦』の続編『死滅回游』のスーパーティザービジュアルをはじめとして、劇場版『チェンソーマン レゼ篇』が今年公開されることや、昨年末の最終回で発表された『ダンダダン』第２期のティザーPVなどがお披露目された。詳細や続報は次号本欄で紹介予定！

魔法がまったく使えない公女を指導 規格外の先生による魔法ファンタジー

TV 2025年



王宮魔法士の試験に落ちたアレンに、公女殿下の家庭教師という話が舞い込んできた。胡散臭いと思いながらも引き受けたところ……!?

魔法が使えず落ち込む公女を導く、魔法革命ファンタジー。そのアニメ化が決定した。到着したティザービジュアルには満面の笑みを浮かべた公女・ティナが描かれている。どんな魔法が使えるようになるのか、早く本編が観たい！

公女殿下の家庭教師

▶アニメ化決定

STAFF 原作／七野りく『公女殿下の家庭教師』（KADOKAWA/ファンタジア文庫刊） キャラクター原案／cura 監督／長山延好 助監督／石栗和弥 シリーズ構成／清水恵 キャラクターデザイン／豊田暁子 サブキャラクターデザイン／竹本早耶香 制作／スタジオブラン **CAST** アレン／上村祐翔 ティナ・ハワード／澤田姫 エリー・ウォーカー／守屋亨香 リディヤ・リンスター／長谷川育美 ほか

平凡な日常が超エキサイティングに 宇宙ヒーローとのはちゃめちゃラブコメ

TV 4月



刺激のない日々を送っていた平凡なOLのモカ。ある時、エイリアンたちの戦いに巻き込まれてしまい、スーパー宇宙人のヤーセンに助けてもらった。その際、「退屈すると死んでしまう」という謎の虫に寄生されてしまい……!?

中国発の人気ラブコメ。その日本語吹き替え版が発表された。放送は4月。ドキドキな物語が幕を開ける！

この恋で鼻血を止めて

▶4月よりフジテレビ「B8station」にて放送開始

STAFF 非公開
CAST 【日本語吹き替え版】モカ／潘めぐみ ヤーセン／花江夏樹 ほか

魔獣を食べる令嬢×魔獣を駆除する公爵 腹ペコ胸キュンファンタジー

TV 4月



魔草などを好んで食べるため、メルフィエラはほかの貴族から距離をおかれていた。そんななか、婚約者を探すべく参加した遊宴会でも一人で料理を堪能していたところ、会場に魔獣がやってきて襲撃を受けることに。「狂血公爵」という不名誉な二つ名を持つガルブレイスが討伐し、似た者同士の二人は魔獣の食べ方を研究することに。

「悪食令嬢」が奮闘する、恋ありバトルありグルメありの新感覚恋愛ファンタジー。そのアニメ化が決まり、今年放送されることが発表された。メルフィエラは中村カンナが、ガルブレイスは坂泰斗が演じる。二人の声を聞ける最新PVも公開中だ！

悪食令嬢と狂血公爵

▶4月より放送開始

STAFF 原作／星彼方『悪食令嬢と狂血公爵』（講談社） キャラクター原案／ぺペロン 漫画／水辺チカ
CAST メルフィエラ／中村カンナ アリスティード／坂 泰斗 ほか

ゲームセンターでの出会いから始まる イギリス少女とのドタバタコメディ

TV 7月



草壁蓮司は、バレンタインデーにも関わらずゲームセンターでアルバイト中。そんな折、何度挑戦しても景品を手にできず、涙目になっているリリーを見かけ、思わず手を貸すことに。なんとかぬいぐるみを手にした彼女から後日渡されたのはメッセージカード。そこには〝Be My Valentine!〟（私の恋人になって！）と書かれてあった！

『ドラドラしゃーぷ#』にて連載中の勘違いから始まるゲーセンでの異文化交流ストーリー。そのアニメ化が決定し、ティザービジュアルが到着した。意気揚々とクレーンゲームに挑むリリーを、蓮司が心配そうに見守っている。二人の関係性はどう変化する!?

ゲーセン少女と異文化交流

▶7月より放送開始

STAFF 原作／安原宏和『ゲーセン少女と異文化交流』（KADOKAWA『ドラドラしゃーぷ#』連載） 監督／菊池聡延 シリーズ構成／山田靖智 キャラクターデザイン／岡野力也 制作／ノーマッド
CAST 未定

MORE INFO

スキップとローファー 第2期

地方の小さな中学校から、東京の進学校に首席入学した岩倉美津未。ちょっとズレているのだが、その人柄は周囲をやわらかく感化し、十人十色の個性はいつしか重なっていく。2023年にアニメ化されて人気を博した高松美咲の青春ストーリー。その第２期が制作決定！

炎が導く灼熱のダークファンタジー 最終決戦がいよいよ始まる！

TV 4月








大久保篤の大人気ダークファンタジー。その最新シリーズ放送開始が4月に決まった。世界の大いなる秘密が明らかになり、原作完結までしっかり描かれる。

新PVでは、第8特殊消防隊のメンバーたちに加えて伝導者一派、ジョーカーなど、前シリーズで激戦を繰り広げたキャラクターが描かれており、熱気ムンムン。最新のキービジュアルには、最終決戦に向けて挑もうとするシンラたちの姿がカッコよく描かれている。

スケールアップした戦いは目前だ！

炎炎ノ消防隊 参ノ章

▶2025年4月よりMBS、TBS、BS-TBS「アニメイズム」枠ほかにて放送開始

STAFF 原作／大久保篤『炎炎ノ消防隊』（講談社『週刊少年マガジン』所載） 監督／南川達馬 シリーズ構成・脚本／亜田井 キャラクターデザイン／守岡英行 サブキャラクターデザイン／山本美佳 総作画監督／徳田夢之介、吉岡佳広、久保茉莉子 制作／david production **CAST** 森羅日下部／梶原岳人 アーサー・ボイル／小林裕介 秋樽桜備／中井和哉 武久火縄／鈴村健一 茉希尾瀬／上條沙恵子 アイリス／M・A・O 環 古達／悠木 碧 ほか

正反対の性格をしている高校生たちの 共感MAXな青春ラブコメが開幕

TV 2026年



いつも周囲の空気を読んで行動するタイプの鈴木が惹かれたのは、物静かだが自分の意見をはっきり言うことができる谷。正反対な性格の二人は、互いに意識しているものの、あと一歩を踏み出すことができずにいた……。

阿賀沢紅茶による人気ラブコメがアニメ化決定。来年放送されることも発表された。さらに、ドレッシーな鈴木と谷がお祝いに駆けつけてくれたアニメ化記念イラストも到着！

正反対な 君と僕

▶2026年1月より放送開始

STAFF 原作／阿賀沢紅茶「正反対な君と僕」（集英社 ジャンプ コミックス刊） 制作／ラパントラック
CAST 未定

あがり症の新米教師をサポートするのは 庇護欲を掻き立てられた男子高校生!?

TV 未定



阿比倉章人の担任・鴉村ひよりは、授業初日に額から血を流したり、小声でボソボソとつぶやくことから「こわこわ先生」と呼ばれていた。しかし、じつはドジで引っ込み思案なだけだった。その事実を偶然知った阿比倉は、庇護欲を掻き立てられ、彼女をサポートすることにした。

福地カミオの人気ラブコメ。そのアニメ化が決定した。さらに、投票企画も実施中。詳細は公式HPをチェック！

よわよわ先生

▶アニメ化決定

STAFF◆未定
CAST◆未定

増田こうすけワールド全開のあいつらが 令和の時代でも大暴れ！

TV 4月



聖徳太子や松尾芭蕉などの歴史的偉人から奇想天外すぎる動物まで、ユニークキャラが数多く登場する増田こうすけの人気ギャグ漫画。これまで4期にわたってTVアニメ化されてきた同作が、新たにショートアニメとして4月から放送されることが発表された！

到着したキービジュアルには、二人並んでどこかへ駆け出す聖徳太子と小野妹子が大きく描かれており、その周りには松尾芭蕉やうさみちゃんらおなじみの主要メンバーが集結。にぎやかな雰囲気に期待大！

15年ぶりに帰ってくるシュールなギャグが楽しみだ。ワクワクしながら放送を待とう！

増田こうすけ劇場 ギャグマンガ日和GO

▶4月より放送開始

STAFF 原作／増田こうすけ 監督／大地丙太郎 制作／スタジオディーン
CAST うえだゆうじ 前田 剛 名塚佳織 竹本英史 矢部雅史 内藤 玲 佐藤なる美 小野賢章 ほか

動物の神から加護を受けた伯爵令嬢は力を求める騎士たちにスカウトされる!?

TV 4月



気弱な令嬢・ソフィアは、戦闘系最強のゴリラ神の加護を受けることに。圧倒的な力は従騎士のスカウトとともに、恋も引き寄せてくれた……？　4月より放送される

ゴリ・ラブコメのティザービジュアルが到着。花びら舞うなか、二人を見守るように描かれたゴリラの横顔がとても凛々しく描かれている。可憐でパワフルな青春ストーリーに期待。

ゴリラの神から加護された令嬢は王立騎士団で可愛がられる

▶4月より放送開始

STAFF 原作／シロヒ　漫画／神栖みか『ゴリラの神から加護された令嬢は王立騎士団で可愛がられる』（FLOS COMIC/KADOKAWA刊）　監督／追崎史敏　シリーズ構成・脚本／雨宮ひとみ　キャラクターデザイン／渋谷 秀　制作／鵲（カチガラス）　**CAST** ソフィア・リーラー／中村カンナ　ルイ・スカーレル／大塚剛央　アイザック・シーアン／川島零士　エディ・フェレス／永塚拓馬　ほか

自分で書いた小説世界の悪女に転生　迫りくる死亡フラグを自ら折っていけ！

TV 2025年



自分が描いた物語世界の悪女・イアナに転生した佐藤コノハ。ヒロインの恋路を邪魔する存在であり、これから死ぬ運命が待っているのだが……。

月刊『LaLa』で連載中の人気ラブコメがアニメ化決定。物語を改変したことで、新たな死亡フラグが次々と立っていく!?　イアナの新たな物語に注目！

転生悪女の黒歴史

▶アニメ化決定

STAFF 原作／冬夏アキハル『転生悪女の黒歴史』（白泉社『LaLa』連載）
CAST イアナ・マグノリア／青山吉能　コノハ・マグノリア／M・A・O　ソル・ネモフィラ／小松昌平　ギノフォード・ダンデライオン／古川 慎　ほか

〝ナニカ〟が放つ強烈な違和感　ひと夏の青春ホラーストーリーが開幕

TV 夏







佳紀にとって、同い年の光は、他愛もないことで笑いあえる友人だった。しかし半年前、山で一週間ほど行方不明になり、戻ってきてから様子がなんだか変だ。目の前にいるのはいったい誰なのか？　すでにアニメ化が発表されて

いるモクモクれんの人気青春ホラー。その放送が今夏に決定した。公開されたティザーPVでは、佳紀が光に対して抱いている疑念を問いかける姿が描かれており、なんだか不穏。声も姿も光に見える〝ナニカ〟。強烈な違和感の正体は……。

光が死んだ夏

▶今夏放送開始

STAFF 原作／モクモクれん『光が死んだ夏』（KADOKAWA「ヤングエースUP」連載）　監督・シリーズ構成／竹下良平　キャラクターデザイン・総作画監督／高橋裕一　ドロドロアニメーター／平岡政展　制作／CygamesPictures
CAST 辻中佳紀／小林千晃　ヒカル／梅田修一朗　ほか

猫型異星人が家電を学びに地球へ！　人と同居しながら科学技術を身に付ける

TV 2025年



遠い宇宙から地球にやってきた猫型異星人のムームー。内戦で失ったテクノロジーを取り戻すため、地球で家電の技術を学ぶことにした。そこで目をつけたのが、平凡な大学生活を送る梅屋敷桜子だった。

宮下裕樹のスーパースペクタクル×家電あれこれ×にゃんコメディがアニメ化決定。今年TV放送されることが発表された。到着したキービジュアルには、宇宙船が突き刺さった自室を見上げてへたりこむ桜子とムームーの後ろ姿が描かれており、なんだか不思議なムード。桜子との同居生活は、ムームーにとっても予想外のことばかりで、次々と起こる騒動に二人はたじたじ!?

宇宙人ムームー

▶アニメ化決定

STAFF 原作／宮下裕樹『宇宙人ムームー』（少年画報社『ヤングキングアワーズ』連載）
CAST ムームー／小桜エツコ　梅屋敷桜子／春海百乃　ほか

証明してみせよ。その使命と運命を――　期待の本格ハイ・ファンタジー

TV 2025年



©Yuji Iwahara/LDF/クレバテス製作委員会

伝説の剣を携えた13人の勇者たちの行動は蛮勇に終わった。世界に唯一残された希望は、魔獣王に託された赤子だった……。

今年TV放送される本格ファンタジー。そのメインキャラとなるアリシア、ルナ、クレンの姿が描かれたキービジュアルが到着した。曇天から差し込む光が印象的な一枚だ。

クレバテス-魔獣の王と赤子と屍の勇者-

▶今年放送決定

STAFF 原作／岩原裕二『クレバテス-魔獣の王と赤子と屍の勇者-』（『LINEマンガ』連載） 監督／田口清隆 シリーズ構成／小柳啓伍 キャラクターデザイン／佐古宗一郎 音楽／信澤宣明 制作／Lay-duce
CAST アリシア／白石晴香 クレン／田村睦心 クレバテス／中村悠一 ルナ／会沢紗弥 ほか

現代へ続く鬼と桃太郎の血脈のバトル　新世代ダークヒーロー鬼譚

TV 7月



©漆原侑来（秋田書店）／桃源暗鬼製作委員会

桃太郎と鬼の血は、脈々と受け継がれてきた。それぞれが桃太郎機関と鬼機関を設立し、現代に至ってもなお暗闘を繰り広げている。そんななか、一ノ瀬四季は突然の桃太郎の襲撃を受け、自らが鬼の血筋であったことを知り……。

すでにアニメ化が発表されている新世代ダークヒーロー鬼譚。その放送が7月に決定した。到着した最新ビジュアルには四季と、彼を指導する無陀野無人などの姿が描かれており、不穏なムードが漂っている。銃口の先には何がいるのだろうか。

四季は鬼機関の養成学校「羅刹学園」に入学し、桃太郎機関との戦いに身を投じることに。どんな物語が描かれるのだろうか。

桃源暗鬼

▶7月より日本テレビ系にて放送開始

STAFF 原作／漆原侑来『桃源暗鬼』（秋田書店『週刊少年チャンピオン』連載） 監督／野中阿斗 監督補佐／橋本裕之 シリーズ構成・脚本／菅原雪絵 キャラクターデザイン／網サキ涼子 制作／スタジオ雲雀
CAST 一ノ瀬四季／浦 和希 無陀野無人／神谷浩史 皇后崎迅／西山宏太朗 屏風ヶ浦帆稀／石見舞菜香 矢颪 碇／坂田将吾 遊摺部従児／花江夏樹 手術岾ロクロ／三浦 魁 漣 水鶏／愛美 ほか

最高難易度を選んで異世界に転生　「召喚士」のスキルでクリアを目指す

TV 未定



タイトルのない謎のネットゲームに偶然たどり着いた青年は、最高難易度の「ヘルモード」を選択。すると、異世界の農奴・アレンとしてゲーム内の世界に転生してしまった！

2020年に「小説家になろう」総合ランキングで年間第1位を獲得した転生ファンタジー。そのアニメ化が決定した。原作者のハム男から「出版社様、イラストレーター様、コミカライズの作家先生、アニメの制作に尽力いただいた方々のお陰です」と感謝のコメントが到着。

アレンは、謎の多い職業「召喚士」のスキルを使い、攻略本もネット掲示板もないなか、冒険を始める！

ヘルモード　～やり込み好きのゲーマーは廃設定の異世界で無双する～

▶アニメ化決定

STAFF 原作／ハム男・藻『ヘルモード ～やり込み好きのゲーマーは廃設定の異世界で無双する～』（コミック アース・スター） 漫画／鉄田猿児 **CAST** 未定

狂っちゃうほど楽しいっ！　カラフルでビビッドな青春ストーリー

TV 2025年



中学校を卒業し、憧れのライバー（＝配信者）として活動を始めた「ネクロノミ子」こと黒廼ミコ。幼馴染みの舞夢坂舞由や、ライバルの神楽坂カンナと充実した日々を過ごすなかで、ある日新作ゲームの"案件"が舞い込んできた。これが、彼女たちの青春を劇的に変えていく！

VRゲームの世界を舞台に、ライバー（配信者）たちが織りなすカラフルでビビッドな物語。期待が高まるオリジナルアニメが発表された。キャッチコピーは「この世界（ゲーム）、狂っちゃうほど楽しいっ！」。

ポップで楽しいムードが満載のPVもぜひチェックして！

ネクロノミ子のコズミックホラーショウ

▶2025年放送決定

STAFF 原作／TOKYO邪神学園 監督／松根マサト ストーリー原案・シリーズ構成／上江洲誠 キャラクター原案／鈴木次郎 音楽／Evan Call 制作／Studio五組
CAST 黒廼ミコ／杉山里穂 神楽坂カンナ／羽澄なな 舞夢坂舞由／石見舞菜香 ほか

©2025 メガロックス社広報宣伝部

ガンダムシリーズ最新作は スタジオカラー×サンライズの初タッグ

MOVIE 1月



©創通・サンライズ

スペース・コロニーに暮らす女子高生アマテ・ユズリハは、難民の少女ニャアンとの出会ったことで、非合法なモビルスーツ決闘競技「クランバトル」へ巻き込まれることに。

ガンダムシリーズ最新作はスタジオカラーとサンライズによる初タッグで制作。TVシリーズの放送に先駆け、一部話数を劇場上映用に再構築した劇場先行版が上映される。

機動戦士Gundam GQuuuuuuX -Beginning-

▶1月17日（金）より全国公開

STAFF 制作／スタジオカラー、サンライズ　原作／矢立 肇、富野由悠季　監督／鶴巻和哉　シリーズ構成／榎戸洋司　脚本／榎戸洋司、庵野秀明　キャラクターデザイン／竹　メカニカルデザイン／山下いくと　アニメーションキャラクターデザイン・キャラクター総作画監督／池田由美、小堀史絵　アニメーションメカニカルデザイン・メカニカル総作画監督／金 世俊　**CAST** アマテ・ユズリハ（マチュ）／黒沢ともよ　ニャアン／石川由依　シュウジ・イトウ／土屋神葉　ほか

壊れたカーニバル用の蒸気オルガン トーマスたちに訪れる最大のピンチ

MOVIE 3月



©2024 Gullane (Thomas) Limited.

機関車のトーマスが働くソドー島では「ピカピカまつり」や「お菓子作り大会」など楽しいイベントがたくさん開催されている。腕の見せどころと張り切るトーマスたちだったが、次々とトラブルが発生!?

実写のモデルアニメーションから3DCG、2Dアニメへと変化してきた大人気シリーズ。その映画版が間もなく上映される。公開日は、原作絵本の誕生から80周年を迎える3月に決定。キービジュアルではトーマスとその一番の親友パーシーを中心に仲間たちが勢ぞろい！

カーニバルで使う蒸気オルガンが壊れてしまうのだが、トーマスたちはこのピンチをいつものチームワークで乗り越えていく。

映画 きかんしゃトーマス ぼくのたいせつなともだち

▶3月28日（金）より全国ロードショー

STAFF 原 作／「汽車のえほん」ウィルバート・オードリー　監 督／ジェイソン・グロー、ショーン・ジェフリー、キャンベル・ブライヤー　脚本／ニキ・リットン、ブレント・ピアスコスキ、ピーター・ガフニー、クレイグ・カーライル、サラ・アイゼンバーグ、ベッキー・ワンバーグ　**CAST** 田中美海　越乃 奏　大久保瑠美　古賀英里奈　山藤桃子　山下七海　土師亜文　武内駿輔　伊東健人　神尾晋一郎　岡本幸輔

不可解な死亡事件の真相を探るため セバスチャンとシエルはドイツへ！

TV 4月



19世紀の英国。名門貴族の少年シエルは、執事のセバスチャンとともに裏社会の汚れ仕事を請け負う「女王の番犬」を務めていた。これまで数々の難事件を手掛けてきた二人は、不可解な死亡事件の真相を探るため、ドイツへと赴く。そこに待ち受けているのは……？

枢やな原作の人気シリーズ。そのティザービジュアルが到着した。不穏なムードが漂っているが、どんな物語が紡がれるのだろうか。また、新たに登場するサリヴァン役を演じる釘宮理恵は「少女なのに大人びてしまわざるを得なかった複雑な背景に向き合って演じたい」と意気込み十分。

黒執事 -緑の魔女編-

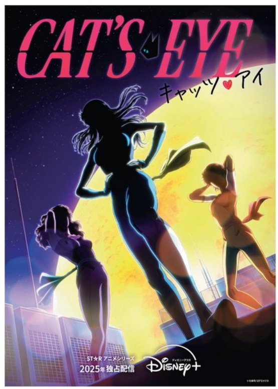
▶4月より放送開始

STAFF 原作／枢やな『黒執事 -緑の魔女編-』（掲載 月刊「Gファンタジー」スクウェア・エニックス刊）　監督／岡田堅二朗　シリーズ構成／吉野弘幸　キャラクターデザイン／清水祐実　制作／CloverWorks　**CAST** セバスチャン・ミカエリス／小野大輔　シエル・ファントムハイヴ／坂本真綾　ジークリンデ・サリヴァン／釘宮理恵　ヴォルフラム／小林親弘　ほか

© Yana Toboso/SQUARE ENIX,Project Black Butler

美人怪盗三姉妹が夜を駆ける！ ビジュアルとAdoが歌う動画が公開

WEB 2025年



美人三姉妹の瞳、泪、愛。普段は喫茶「キャッツアイ」のオーナーだが、じつはクールに夜を駆け世間を騒がす怪盗でもあり……。

北条司の名作が新たにアニメ化され、ディズニープラス「スター」で2025年に独占配信されることが発表された。大きな月を背にした3人が描かれたティザービジュアルも到着。さらに、杏里のヒット曲で、同作おなじみのテーマソング「CAT'S EYE」をAdoがカバー。その歌声が楽しめるSpecial Music Clipも公開された。

北条司から「今回、新たにアニメ化していただけるという話を聞いた時は驚きました」と喜びのコメントが到着。

キャッツ・アイ

▶ディズニープラス「スター」で配信予定

STAFF 原作／北条 司『キャッツ・アイ』（コアミックス刊）
CAST 未定

©北条司/コアミックス

BD's LABO

NEW RELEASE BD INFORMATION

PICK UP!① TV ダンダダン1 Blu-ray（完全生産限定版）

1/29 発売



ギャル女子高生とオカルトマニアの同級生男子。怪異に宇宙人に、二人を取り巻く騒動の行方は？

幽霊は信じるが宇宙人否定派のモモ〈綾瀬桃〉と、宇宙人は信じるが幽霊否定派のオカルン〈高倉健〉は、互いに否定するものの存在を信じさせるため、片やUFOスポット／片や心霊スポットへ向かうことに。そこで二人は圧倒的な怪奇と出会うが……。第01～03話収録の1（完全生産限定版）は、本編ディスク＋特典CDの2枚組。サイエンスSARU描き下ろしジャケット仕様他。



◀心霊スポットの廃トンネルで、ターボババアと遭遇するオカルン



◀オカルン（右）をクラスメイトのイジリからかばうモモ（左）

DATA ■原作／龍 幸伸（集英社「少年ジャンプ＋」連載） 監督／山代風我 シリーズ構成・脚本／瀬古浩司 音楽／牛尾憲輔 キャラクターデザイン／恩田尚之 宇宙人・妖怪デザイン／亀田祥倫 色彩設計／橋本 賢、近藤牧穂 美術監督／東 潤一 撮影監督／出水田和人 編集／廣瀬清志 音響監督／木村絵理子 アニメーション制作／サイエンスSARU 他■モモ〈綾瀬 桃〉／若山詩音 オカルン〈高倉 健〉／花江夏樹 星子／水樹奈々 ターボババア／田中真弓 セルポ星人／中井和哉 他■アニプレックス／8,800円（税込）（DVD（完全生産限定版）は7,700円（税込）で同時発売）

PICK UP!② TV ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうかV 上巻〈初回仕様版〉Blu-ray2枚＋特典CD1枚

1/29 発売



ダンジョン深層という死地から生還を果たしたベル・クラネル。だが、とある少女の決意が、少年と迷宮都市を狂わせていく

異常事態が折り重なり、死地と化したダンジョン深層から生還を果たした、ベル・クラネルと【ヘスティア・ファミリア】の面々。この出来事でエルフのリュー・リオンと距離が縮まったベルだが、酒場「豊穣の女主人」の看板娘シル・フローヴァから恋文が届き――。第1～9話収録の上巻〈初回仕様版〉は、原作者・大森藤ノ書き下ろし短編小説等の特典が付属している。



◀ベルを慕う少女・シル。彼女の決意が引き起こすものは？



◀シルから女神祭でのデートに誘われ、おめかしをしたベル

DATA ■原作／大森藤ノ（GA文庫/SBクリエイティブ刊） キャラクター原案／ヤスダスズヒト 監督／橘 秀樹 シリーズ構成／大森藤ノ、白根秀樹 キャラクターデザイン／木本茂樹 美術監督／小林悠喜 美術設定／鈴木 朗/金 廷連 色彩設計／安藤智美 撮影監督／福世晋吾 編集／坪根健太郎（REAL-T） 音響監督／明田川 仁 音楽／井内啓二 プロデュース／EGG FIRM アニメーション制作／J.C.STAFF■ベル・クラネル／松岡禎丞 シル・フローヴァ／石上静香 ヘスティア／水瀬いのり リリルカ・アーデ／内田真礼 ヴェルフ・クロッゾ／細谷佳正 ヤマト・命／赤﨑千夏 サンジョウノ・春姫／千菅春香 リュー・リオン／早見沙織 フレイヤ／日笠陽子 他■ワーナー・ブラザース・ホームエンターテイメント、NBCユニバーサル・エンターテイメント／26,400円（税込）

TV「甘神さんちの縁結び」 Blu-ray Vol.1【期間限定版】



京大医学部を目指す上終瓜生は、甘神神社で居候することに。そこで待っていたのは、夜重、夕奈、朝姫の巫女三姉妹だった！　第1～3話収録のVol.1【期間限定版】は、５月18日開催のパッケージ発売記念イベント先行販売申込券他封入。

1/22 発売 ■原作／内藤マーシー（講談社「週刊少年マガジン」連載） 監督／安部祐二郎 副監督／わたなべひろし シリーズ構成／蒼樹靖子 キャラクターデザイン／飯塚晴子 他■上終瓜生／鈴木崚汰 甘神夜重／上坂すみれ 甘神夕奈／本渡 楓 甘神朝姫／若山詩音 他■キングレコード／8,800円（税込）

TV メカウデ Vol.1 Blu-ray



謎の“ウデ”型機械生命体アルマと出会った、中学生のアマツガ・ヒカル。アルマは彼と結合を試みるも失敗し、ヒカルのパーカーに結合してしまう。#01～03収録のVol.1は、オカモト監督描き下ろしイラストケース他、多数特典が付属する。

1/22 発売 ■原案・監督／オカモト シリーズ構成／中西やすひろ、TriF キャラクターデザイン／西位輝実、内田陽子 他■ヒカル／豊永利行 アルマ／杉田智和 アキ／嶋村 侑 シニス&デキス／石川界人 カガミ／朴 璐美 トウドウ／天月 エルジス／東地宏樹 フィスト／中村悠一 フブキ／悠木 碧 アマリリス／日笠陽子 ヤクモ／山口勝平 ツキヒト／??? 他■ポニーキャニオン／9,900円（税込）

TV 株式会社マジルミエ Blu-ray 第1巻（特装限定版）



“怪異”と呼ばれる自然災害に巻き込まれ、魔法少女に助けられた就活生の桜木カナ。魔法少女の才を見出された彼女は、株式会社マジルミエに入社するが――。第1～4話収録の第1巻（特装限定版）は、アニメ描き下ろし収納ケース仕様他。

1/29 発売 ■原作／岩田雪花・青木 裕（集英社「少年ジャンプ＋」連載） 監督／平岡正浩（萌） シリーズ構成・脚本／永井真吾 キャラクターデザイン／藤井昌宏、浅間英裕 副監督／小坂春女 他■桜木カナ／ファイルーズあい 越谷仁美／花守ゆみり 重本浩司／小山力也 他■バンダイナムコフィルムワークス／9,350円（税込）

TV 魔王2099 第2巻 Blu-ray&DVD 完全生産限定版



職探しの末、信仰力回復の意図もありゲーム実況配信を生業にする伝説の魔王ベルトール。ある日、友人かつハッカーの高橋に用心棒を頼まれた彼は……？　#04～05収録の第2巻 完全生産限定版は、オリジナルサウンドトラックvol.1等付属。

1/29 発売 ■原作／紫 大悟(KADOKAWA/ファンタジア文庫刊) キャラクター原案／クレタ 監督／安藤 良 シリーズ構成・脚本／百瀬祐一郎 キャラクターデザイン／谷川亮介、諏訪壮大 アニメーション制作／J.C.STAFF■ベルトール=ベルベット・ベールシュバルト／日野聡 マキナ=ソレージュ／伊藤美来 高橋／菱川花菜 他■アニプレックス／7,700円(税込)(DVD 完全生産限定版は6,600円(税込)で同時発売)

TV VTuberなんだが配信切り忘れたら伝説になってた Blu-ray Vol.3



酒カスがバレて、シュワちゃんのあだ名を貰ったVTuber・心音淡雪。開催された大型コラボで、シュワちゃんはライブオン二期生の宇月聖と即興劇を披露する。第九～十二話収録のVol.3は、初回特典にエンディングテーマCD Vol.3等が付属。

1/24 発売 ■原作／七斗七（株式会社KADOKAWA ファンタジア文庫刊） 原作イラスト／塩かずのこ 監督／朝岡卓矢 シリーズ構成／赤尾でこ キャラクターデザイン・総作画監督／岩崎令奈 他■心音淡雪/シュワちゃん／佐倉綾音 彩 ましろ／水野 朔 祭屋光／Machico 柳瀬ちゃみ／菊池紗矢香 宇月 聖／小林ゆう 神成シオン／諸星すみれ 昼寝ネコマ／大橋彩香 朝霧 晴／日笠陽子 相馬有素／田所あずさ 苑風エーライ／M・A・O 山谷 還／茅野愛衣 他■KADOKAWA／14,300円（税込）（DVDは12,100円（税込）で同時発売）

TV TVアニメ「アオのハコ」 Blu-ray Vol.1 初回生産限定版



スポーツ強豪校・栄明高校に入学した、男子バドミントン部の一年生・猪股大喜。彼は朝練で顔を合わせる一学年上の先輩・鹿野千夏に恋をするが――。#01～04収録のVol.1 初回生産限定版は、特製ステッカー等封入。音声＆映像特典を収録。

1/22 発売 ■原作／三浦糀（集英社「週刊少年ジャンプ」連載） 監督／矢野雄一郎 キャラクターデザイン・総作画監督／谷野美穂 シリーズ構成・脚本／柿原優子 他■猪股大喜／千葉翔也 鹿野千夏／上田麗奈 蝶野雛／鬼頭明里 笠原 匡／小林千晃 他■東宝／10,780円（税込）（DVD 初回生産限定版は9,680円（税込）で同時発売）

TV アクロトリップ Blu-ray BOX vol.1



街を守る魔法少女・ベリーブロッサムと出会い、夢中になった伊達地図子。だが肝心の悪の組織との戦いは見応えゼロ。もっとベリーの活躍を愛でたいと思う地図子は……。#1～6収録のBlu-ray BOX vol.1は、原画アートカード等の特典封入。

2/5 発売 ■原作／「アクロトリップ」佐和田 米（集英社 りぼんマスコットコミックス刊） 監督／小竹 歩 シリーズ構成／猪爪慎一 キャラクターデザイン／川村敏江 他■伊達地図子／伊藤美来 クロマ／島﨑信長 ベリーブロッサム＝乃苺佳寿／水瀬いのり マシロウ／河西健吾 他■ハピネットファントム・スタジオ／19,800円（税込）

TV 星降る王国のニナ Blu-ray Vol.1



事故で亡くなったフォルトナ国王女アリシャと同じ、瑠璃色の瞳を持つ孤児のニナ。その瞳ゆえに、彼女は王女への成り代わりを求められる。第一～四夜収録のVol.1は、4月27日開催のイベントチケット優先販売申込券（昼の部）他の特典を封入。

1/29 発売 ■原作／リカチ（講談社「BE・LOVE」連載） 監督／駒屋健一郎 シリーズ構成・脚本／山田由香 キャラクターデザイン／竹谷今日子 他■ニナ／田中美海 アズール／梅原裕一郎 セト／内山昂輝 ムフルム／東山奈央 ダイタス／冨沢竜也 ヨル／山下誠一郎 ビドー／石川界人 トート／堀江 瞬 ヒカミ／斎賀みつき アン／田澤茉純 他■DMM.com／14,300円（税込）

TV TVアニメ『モブから始まる探索英雄譚』 Blu-ray BOX



日本に出現したダンジョンでスライムを狩る高校生・高木海斗は、ステータスが低いモブ。だがある日、彼の前に見たこともない金色のスライムがあらわれ……。全12話収録のBlu-ray BOXは、原作者・海翔描き下ろし小説（70p程度）他の特典が。

1/29 発売 ■原作／海翔『モブから始まる探索英雄譚』（HJ文庫/ホビージャパン） キャラクター原案／あるみっく 監督／小林智樹 シリーズ構成／筆安一幸 キャラクターデザイン／安田祥子 他■高木海斗／保住有哉 葛城春香／和氣あず未 シルフィー／花澤香菜 ルシェリア／相良茉優 他■サイバーエージェント、東映ビデオ／35,200円（税込）

TV 嘆きの亡霊は引退したい Blu-ray第1巻



才能ある幼馴染とパーティを組む無才の青年クライ・アンドリヒ。最強パーティのリーダーである彼の言動は、常に勘違いされていく。第1～6話収録の第1巻は原作者・槻影先生書き下ろしショートストーリー入りブックレット等の初回特典が付属している。

1/29 発売 ■原作／槻影（GCノベルズ/マイクロマガジン社刊） キャラクター原案／チーコ 監督／たかたまさひろ シリーズ構成／白根秀樹 キャラクターデザイン／五十内裕輔、藤崎真吾 他■クライ・アンドリヒ／小野賢章 ティノ・シェイド／久保田未夢 リィズ・スマート／ファイルーズあい シトリー・スマート／小原好美 アンセム・スマート／杉田智和 ルシア・ロジェ／古賀 葵 エヴァ・レンフィード／大地 葉 他■エイベックス・ピクチャーズ／16,500円（税込）

Blu-ray はみ出し情報！

こんにちは巳年の25年。復活と再生の象徴の巳にならい、今月はシリーズものの新作をオススメしたい。まずは24日の『Re:ゼロから始める異世界生活 3rd season 1』に、29日発売の『青の祓魔師 雪ノ果篇 上巻』&『るろうに剣心 ―明治剣客浪漫譚― 京都動乱 1』。1本目は王選候補者のひとり・アナスタシアから、水門都市プリステラに招待されたエミリア陣営に起きる出来事を描く3rd season1巻目。2本目は青森・永久蛇湖へ向かった奥村燐＆雪男兄弟が見る、霧隠シュラの運命を描いた新シリーズ1巻目。3本目は志々雄真実と緋村剣心が激突する「京都動乱篇」の1巻目だ。少し先の2月12日には『劇場総集編ぼっち・ざ・ろっく！ Re:/Re:Re:』、2月26日には『重戦機エルガイム ドリーマーズ Blu-ray BOX』が登場。前者はTVアニメを再編集した劇場版2作品。後者は84年放送のTVアニメ全54話＋TV編集版2話＋OVA3話を収録した豪華なタイトルだ。

Blu-ray
Blu-rayクロスレビュー
CROSS REVIEW

イラスト：古川ふみ

ゼーガペインSTA

●バンダイナムコフィルムワークス　●発売中

量子コンピューターを実用化した科学者・ナーガにより滅亡に導かれ、量子サーバー内の幻体となって生き延びた人類。世界の矛盾に気づき覚醒した幻体・セレブラントは、ナーガ率いるガルズオルムと最終決戦――プロジェクト・リザレクション――を完遂し、世界各地の残存部隊との戦いを続けていた。

冬の舞浜で目覚めたセレブラントのソゴル・キョウは、自身が記憶喪失であることに気づく。そんな彼の前に出現したのは、新たな脅威・オルタモーダだった！


▲オルタモーダの操る未知の能力サブスタンスシェイドに対し、AI「ルーパ」の助けを借りたキョウは光対装備を展開。幻体に光装甲（ホロニックアーマー）をまとい立ち向かう


▲オルタモーダがコピーしたホロニックローダーと交戦するゼーガペイン アルティール


▲自らをヒカリタツモノと名乗る、オルタモーダの中心人物とおぼしきハル・ヴェルト

DATA メーカー／バンダイナムコフィルムワークス　発売日／24年12月25日（発売中）　価格／【Blu-ray［特装限定版］】16,500円（税込）、【Blu-ray［通常版］】7,700円（税込）　商品番号／【Blu-ray［特装限定版］】BCXA-1945、【Blu-ray［通常版］】BCXA-1944　その他／24年8月16日に特別上映されたOVA。【Blu-ray［特装限定版］】は、監督・下田正美自らが再構成したTVシリーズの編集版映像（初出／サンライズフェスティバル2016）他収録の特典ディスク1、『ゼーガペインSTA』オルタモーダ編 ビジュアルコメンタリー（出演／浅沼晋太郎、花澤香菜、川澄綾子、下田正美）収録の特典ディスク２等付属。【公式HP：https://zegapain.net/sta/】



STAFF 企画・制作／サンライズ　原作／矢立 肇、伊東岳彦　脚本／高山カツヒコ　キャラクターデザイン／山下明彦、鈴木竜也、田頭真理恵　デザインディレクター／ハタイケヒロユキ　メカニックデザイン／中原れい、神宮司訓之、やまだたかひろ、福島秀機、石渡マコト（ニトロプラス）、柳瀬敬之　オルタモーダデザイン原案／菊［kicdoc］　音響監督／濱野高年　音楽／大塚彩子　監督／下田正美　制作・配給／バンダイナムコフィルムワークス　他

CAST ソゴル・キョウ／浅沼晋太郎　カミナギ・リョーコ／花澤香菜　ミサキ・シズノ／川澄綾子　マオ・ルーシェン／朴 璐美　ルーパ／久野美咲　メイウー／牧野由依　メイイェン／渡辺明乃　クリス／家中 宏　ミナト／井上麻里奈　ハル・ヴェルト／河西健吾　ギテン／寺島拓篤　セフト／寺崎裕香　ミルヒ／黒沢ともよ　バスフォータ／石川由依　シド／花江夏樹　トーヤ／杉田智和　ツクルナ／島袋美由利　他

大仏三郎

前半はTVシリーズの再編集……かと思いきや、「オルタモーダ編」まで見ると、前半の構成の意図も分かるすごい作品。右腕に光対装備のガントレットを装着して行うオルタモーダ戦序盤も、超能力バトルもののノリで激アツい!!

★★★★★

あさりよしとお

本作は独特な世界設定が作品のキモであり、それが前提となるため、劇場版のような短期決戦には正直向かない。結果的に説明セリフが多く、タメもなく美味しいシーンが連続する忙しい展開になったが、それでも一応面白い。

★★★★

むっちりむうにい

前半の総集編は内容が難しく、初見ではついていくのが少し大変。でもおさらいができるので、今作から観るのがオススメです。話もキャラも複雑で、またそこが気になり沼ります。作画も綺麗でダブルキョウの会話が萌えます！

★★★★

ぶるマほげろー

綺麗に完結した作品の続編につきまとう不安など吹き飛ぶ傑作。『ゼーガペイン』らしくない要素と1本の映画に収まらない情報の洪水。それらが見事に『ゼーガペイン』らしく収まっていく快感。新キャラも魅力的でオススメ。

★★★★★

タカハシヒョウリ

1本の映画としてはかなりイビツな作品だ。前半は過去作（名作！）のダイジェストだが、そもそも難解な話で、これだけ見ても理解不明だろう。ただ、見せたいことをはみ出すほど詰め込んだ作り手の熱量、決して嫌いになれない。

★★★

トロールズ バンド・トゥゲザー

●NBCユニバーサル・エンターテイメント　●発売中

ポップ・トロールの女王ポピーと共に苦難を乗り越え、カップルとなったブランチ。だが、彼にはポピーにも隠している過去があった。幼い頃ブランチは、ポピーの大好きなボーイバンド「ブロゾーン」のメンバーだったのだ。

ジョン・ドリー、フロイド、スプルース、クレイ、そしてブランチの5兄弟で編成していたブロゾーン。だが彼らは完璧なハーモニーに失敗して解散。兄弟も離散してしまう。

それから年月を経たある日、ブランチの元にジョン・ドリーがやってきたのだが――。

DATA メーカー／NBCユニバーサル・エンターテイメント　発売日／24年12月4日（発売中）　価格／【ブルーレイ＋DVD】5,280円（税込）　商品番号／DRBX-1055　その他／23年11月17日にアメリカで公開されたアニメ映画。【ブルーレイ＋DVD】は本編音声解説ほか、ストーリー主任／コリン・ジャックによるイントロダクションつき未公開シーン他、映像特典を収録。【公式HP：https://db2.nbcuni.co.jp/contents/hp0002/list.php?CNo=2&AgentProCon=57024】



STAFF 監督／ウォルト・ドーン　共同監督／ティム・ハイツ　製作／ジーナ・シェイ　製作総指揮／ダニー・フェスタ、ジョナサン・エイベル、グレン・バーガー　脚本／エリザベス・ティペット、トーマス・ダム

CAST ポピー／アナ・ケンドリック（吹替／清水理沙）　ブランチ／ジャスティン・ティンバーレイク（吹替／KENN）　ビバ／カミラ・カベロ（吹替／種市桃子）　ジョン・ドリー／エリック・アンドレ（吹替／竹内良太）　プリンスD／アンダーソン・パーク（吹替／吉野裕行）　タイニー・ダイヤモンド／キーナン・トンプソン（吹替／木村 昴）　クーパー／ロン・ファンチズ（吹替／濱野大輝）　ガイ・ダイヤモンド／クナル・ネイヤー（吹替／佐藤せつじ）　シェニール／キャロライン・ヒェルト（吹替／堀井千砂）　サテン／アイノ・ジャウォ（吹替／堀井千砂）


▲ブランチ（中央）とスプルース（右端）、フロイド（右から2番目）、ジョン・ドリー（左端）、クレイ（左から2番目）。そしてポピー（中央左）と彼女の姉・ビバ（中央右）


▶幾度かの冒険を経て、正式にカップルになったポピー（左）とブランチ（右）


◀ブランチが幼い頃、５人兄弟で結成していたボーイバンド「ブロゾーン」

大仏三郎

終盤までポップなノリと勢いで展開する本作だが、終盤に入ると幼い頃に家族が離れてしまったブランチの悲痛が表現されて、物語にぐっと厚みが出てくる。クレイのロボットダンスをはじめ、トロールズのキレの良いダンスも◎

★★★★★

あさりよしとお

構成はよく練られていて、そつがなく、いろいろ盛り込んだ設定が全てかみ合う大団円。その満足度は高い。しかし盛りだくさんな内容が並列で進行してゆく分、誰の何の話だったのかのポイントが、ぼけてしまった印象がある。

★★★★

むっちりむうにい

兄弟姉妹の愛と絆が詰まった優しい物語。冒頭からの音楽、演出もまた良いです。ライブは楽しいしワクワクしますね。私はブリジットがなんともかわいくて好き。派手な演出はないけれど心温まる作品。前作、前々作も観よう！

★★★★

ぶるマほげろー

いかにもカートゥーンな的なキャラのクセの強さが楽曲のカッコよさと相まって、観ているうちに気持ちよくなってくる。かなり都合のいい展開も、それが実にエンターテインメント。日本のアニメでは味わえない刺激がたまらない。

★★★★★

タカハシヒョウリ

クオリティの高い音楽、ハッピーなビジュアルは問答無用の素晴らしさ！　ダンスナンバー満載の陽気さは、日本のアニメにはないなぁ。兄弟（バンド）をテーマにした物語は手堅く、総じて子供も大人もスッゲー楽しいヤツ。

★★★★


ミュージシャン
多才を奏でる音楽人
タカハシヒョウリ

あけましておめでとうございます！　24年はソロアルバムの制作がはじまったり、いろいろ走り出した年でした。この走りが短距離走でなく長距離走になるように頑張っていきたいと思います。そして、今年もどんなアニメに出会えるのか楽しみ。よろしくどうぞ！


マンガ家
作画に向ける鋭い視線
ぶるマほげろー

TVアニメ『機動戦士Zガンダム』の登場メカ、ボリノーク・サマーンのガンプラを発売日に購入。久々にガンプラの新製品をお店で買えたのもうれしかったのですが、放送から39年経ってはじめてプラモデル化という、あらためて考えるとスゴい事実にも感動！


マンガ家
耽美と萌えにキラリ輝くその瞳
むっちりむうにい

今年は巳年。ヘビのキャラというと、TVアニメ『NG騎士ラムネ&40』のヘビメタコが、演じられたTARAKOさんボイスを伴い脳内で駆け回ります。メタコかわいいよね。25年も好きな作品がたくさんアニメ化されるので楽しみ。今年もよろしくお願いいたします。


マンガ家
厳しい評価は愛ゆえに
あさりよしとお

映像作品を配信で観るのが主流になったせいか、ディスクが販売されないものも目立つようになってきた。配信での購入は、いつ改変が入るかわからず、オリジナルを保持できなくなる可能性が高い。多少割高でも、ディスクが入手できる方法があればいいのだが。


フリーライター
萌える心のへちライター
大仏三郎

昨年12月頭に発表されたTVアニメ『機動戦士Gundam GQuuuuuuX（ジークアクス）』の制作発表が突然すぎて嬉しい悲鳴。しかもまさか『シン・エヴァンゲリオン劇場版』を手掛けたスタジオカラーとの共同制作とは。読めなかった、この私の目をもってしても!!

本文中にある★は、各コメンテーターのオススメ度を表しています。最高点は★★★★★。

★★★★★：レンタルとかじゃダメ! 個人的には購入したい!
★★★★：文句なしにオススメ。とにかく観て!
★★★：一見の価値はあります。
★★：ヒマ潰しにどうぞ。
★：宿題の方が重要です。

以上、意見と共に参考にして下さい。



▲福岡県／本田由美子
タツマキさん、羽根つきでは超能力を使わないでね☆



▲福岡県／ぶっとび恵理子 (32)
2025 年は巳年。つまりジャローダは干支ポケモンになるのかな



▶秋田県／カタバミ
魘夢と累も、お正月くらいはのんびりと。秋田のきりたんぽ鍋だね◎



▲神奈川県／るん
3人の願いはきっと、人間も幽霊族も平和に暮らせますように……



◀神奈川県／miマカロン (28)
ツタージャたちからの年賀状。縁起物も入ってめでたい!



▶神奈川県／織人 (52)
マリーとジャンとヤダモンが、仲良く凧揚げ。誰の凧が一番高く揚がるかな?

アニメ歳時記 今月のテーマ 新春2025

明けましておめでとう!　注目の新作アニメや人気作の続編など、放映予定が目白押しの2025年。充実した素敵な年になりそう☆



▶山梨県／米山一樹 (59)
2期が待ち遠しいね。フリーレンにとっては何度目の正月かな



▶広島県／ドタバッタン
かすみの新年の舞いに、女らんまやあかねたちもびっくり☆



▶神奈川県／U
無一郎くんが引き当てたおみくじが、大吉だったらいいな!



▶千葉県／伯ミシェル (19)
新年ならではの、美夕の装い。まるで幻想のように麗しい♥



▶福島県／三浦大亮
猫猫、干支のヘビを薬の材料にするのはちょっと待ってね!?



▶神奈川県／黒蝶妃 (30)
スヤ姫からのお誘いで、みんなでお雑煮パーティをしよう!



NOVEL ▶滋賀県／MAX SLEUTE
巳年にあやかり、ハリーもバジリスクを操れるようになるかも?



▶山梨県／とうや
名前に巳が入っている巳波。今年は大活躍で間違いナシ!



▲福島県／アオハネイビー(32)

夏目と田沼、二人で何を話しているのか気になっちゃう……



▲大阪府／なまず48号

笑顔がかわいいぼっちちゃん。ストリートコーデで、みんなとステージに出るのかな♪



▲徳島県／七福猫(30)

小手指野球部のメンバーなら、第2期も目覚ましい活躍を見せてくれるはず!



▲千葉県／絵描きの冒険者KATOSAN

真っ青な空の下で、歩夢たちの歌が響き渡る♪



GAME ▲神奈川県／愛坂ななか

『ハロー・レディー』の朔は、まさに正統派のヒロイン◎



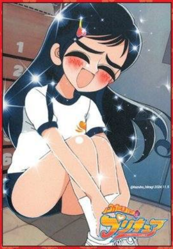
▲神奈川県／ヒロカ

マルチちゃんの決めポーズ、かわいい☆



▲神奈川県／熱田 蘭(46)

シャンプーの言動には乱馬もタジタジ!?



▲福岡県／ひいらぎ一帆

ほのかはレトロな体操着もよく似合うね



▲北海道／橘マコト(48)

いつも元気なジオたち。今年も絶対にサバイバルしてみせる!



ほんわかした『あんスタ』メンバーに癒やされる♥

▲神奈川県／のにのー(30)



▲長野県／山塚ユリ

ガウリイの背中は安心できるよね♪



▲静岡県／孤空 琥石騎(34)

今年はジャローダの年。カッコいい☆



▲千葉県／つなマヨ=クレープ

男の子も華やかに装っていいじゃない◎



▲東京都／じばづけ(46)

2025年も、デクの活躍が楽しみだね♪



▲栃木県／キャンベール(44)

ミツキなら、ヘビ文字を作るのも余裕!?



▲長野県／イチナ(14)

二人仲良く初詣。伊黒さん、蜜璃ちゃんばかり見ていないで、ちゃんとお参りしなくちゃ



▲山口県／IMAGE(45)

夏目たちがそろって参拝。お願いは「アニメ8期が制作されますように」だったりして!?



▲宮城県／りあん(16)

あどけないチィちゃんに買ってもらったお守り、大切にしようね◎

今月のイラストコンテスト！

フリースペース
Free Space

選者（寸評） 小竹 歩さん（監督）

『アクロトリップ』

フリースペースのページを支配下に収めようと、クロマや地図子などフォッサマグナが勢揃い!?今こそベリーブロッサムが活躍する時だ!!

1等賞

富山県／ありんた（25）



◀ストーリー性が感じられる一枚です。キャラがみんな表情豊かでかわいいし、構図もばっちり決まっていて、とてもお上手ですね。色、パーツ、キャラバランス、状況など、どれをとっても完璧です！

2等賞



静岡県／鈴

▶絵柄に華やかさがあって、ぱっと目を引きました。目の描き方はアニメ準拠なのに、目ヂカラが強くて印象的で、なんか日蝕を連想しました。カッコいい！

山口県／IMAGE（45）



◀掲載号に合わせて、お正月の晴れ着を着た佳寿。マシロウもしめ縄をつけていて、おめでたい感じですね。お雑煮を食べているクロマがいい味を出しています

3等賞

静岡県／NRヨ（17）



▶主線が色トレスで、鮮やかな彩色が活きています。髪の毛や服のふわっとした感じが出ていて、全体としてきれいな絵だなと感じました

神奈川県／かにざ（17）



◀クロマとダンテの表情が意味深です。もの言いたげなダンテにクロマが微笑んでいますが、何をしゃべっているのかこっそり聞いてみたい！

東京都／すずめが（23）



◀クロマと真撃郎。「もしかしたらこんなシーンがあったかも」という願望が込められているようで、これぞファンアートの真髄だなと思います！

佳作

茨城県／ココア



◀地図子とマシロウという新鮮な組み合わせ。マシロウが奥からジャンプしているようでかわいいですね

東京都／Rio (26)



▲アニメは全12話でしたが、もし13話目があったらこんな感じかも？ 騒がしくも平和な日常がいいですね

福島県／瑞佳 (33)



▲ジュエリーのような繊細で上品なきらめきがあります。色鉛筆でここまで描けるとは！

香川県／菜々瀬 (20)



▲重さのある渋い色遣いなのに、かわいさが表現できていてすばらしい。作品理解の深さを感じます

神奈川県／野狐



◀色の違う紙を4枚重ねて切ったのでしょうか。切り絵ならではのデコボコした輪郭がいい味になっています

静岡県／せいんとせーちゃん



◀日向ぼっこでもしているのでしょうか。こんなマシロウが隣にいたら、仕事中も癒やされそうな気がします

北海道／炭酸水 (22)



▲原作漫画に近い雰囲気を感じます。それぞれのキャラクターにストーリー性があって、見ていて楽しいですね

福島県／エーリク



◀デフォルメされているのに、めちゃくちゃ正宗感がありますね。ペンの彩色方法も個性的で、独特の味があります

秋田県／ユーキ



◀クマ怪人がちゃんと悪の戦闘員に見える！ クロマもカッコいいし、これなら正義と悪の対決ができそう

千葉県／前川 泉



▲漫画みたいで楽しいイラストですね。確かにクロマは、生き餌にはさわれないような気がします(笑)

神奈川県／森川萌子 (27)



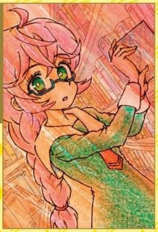
▲ベリーブロッサムも地図子も、すごくいい笑顔です。色遣いがダイナミックで、目を引きました

栃木県／竹ちょ (48)



◀二人のかわいさを究極まで突き詰めると、こんな感じになるのかも。丸っこい輪郭もキュートです

兵庫県／ニック・Q (56)



▲夕暮れの図書室を表現したそうで、色合いがとても美しいですね。光と影のバランスがいいなと思いました

東京都／羽空凛 (16)



▲人間姿に驚くベリーブロッサム、いい表情です。色遣いがとても鮮やかで、少女漫画らしい華やかさがあります

神奈川県／のにのー (30)



▲タッチも色遣いも柔らかで、完璧な美少女二人といった雰囲気。ペアのアリスコーデもかわいいですね

埼玉県／テルン



▲デフォルメのきいた芭隆さん。絶妙なバランスで、芭隆さんの穏やかさと怪しさが表現されています

北海道／橘マコト (48)



◀最初に選んだ1枚。マット感のある彩色で、毛並みの滑らかさと重量感が出ています。思わずお腹に触れたくなる！

福島県／そら豆Q



▲配色バランスが絶妙！ 主線はソフトフォーカスなのに、手前の二人など、全体的な印象はハッキリしていてすごい

神奈川県／ヒロカ



▲爽やかなかわいさのあるベリーブロッサム。これぞ魔法少女といった感じで、見ていると癒やされます

東京都／越後のちりめん問屋 (21)



▲なんと、ステッキの羽根の接合部分が、設定通りに描かれている！ これは、分かっている人が描いたな!?(笑)

神奈川県／スパイス (19)



▼つい、後ろのトマトマンに目が行ってしまいます。ちゃんと頭から腕が生えているところがポイントですね！

ワンポイント
レッスン
One point Lesson!

『アクロトリップ』





小竹さんの自画像

小竹 歩さん

（監督）

こたけあゆむ／1982年生まれ。ガイナックスを経てフリー。主な参加作品は、『pet』（監督補佐）、『とある魔術の禁書目録 II』『屍姫 赫／玄』（いずれも絵コンテ・演出・原画）ほか。

3月号 『きのこいぬ』
選者：**遠藤大輔**さん（キャラクターデザイン）
募集終了

4月号 『らんま 1/2』
選者：**宇田鋼之介**さん（監督）
1月31日(金)消印有効

5月号 『戦隊レッド 異世界で冒険者になる』
選者：**丸山修二**さん
（メインキャラクターデザイン）
2月28日(金)消印有効

【募集作品】 4月号のフリースペースは『らんま 1/2』。応募締切は1月31日(消印有効)。続く5月号は『戦隊レッド 異世界で冒険者になる』の登場です。応募締切は2月28日(消印有効)。

【応募要項】 ●ハガキ、またはハガキ大のサイズに描いて送ってください。●イラストの裏には、住所・氏名(本名)・ペンネーム(必要な場合)・年齢・月号と作品名(例えば【4月号：『らんま 1/2』】など)を忘れずに書いてください。●イラストの簡単な説明もあると嬉しいです。WEB投稿も受け付けます。●投稿イラストは選者に譲渡する場合もあります。

取材日記
Today's Diary

今月お邪魔したのは制作会社のVoil。設立から2年ということで、新しくきれいなお仕事場です。代表の大髙健生さんも同席して、楽しくセレクションしました。では小竹監督、寄せられたハガキの総評をお願いします。

「作品の色鮮やかな世界をそのまま表現したような、華やかなイラストが多かったですね。目移りしてしまい、選ぶのに時間がかかってしまいました(笑)」

年末に最終話を迎えた『アクロトリップ』ですが、夏頃にはもう全話納品されていたとのこと。制作中はどんな感じでしたか？

「正義と悪の戦いと言いつつ、悲惨な事件など起こらない理想的な世界を描いた物語です。そのおかげか制作現場も和やかでした。登場人物は全員がどこかヘンテコなのに、悪意のあるキャラがいないので、世界に歪みが起こらない。気楽に観られる作品って素敵だなと実感しましたね」

川村敏江さんのキャラクターデザインもかわいかったですよね。

「絵としてきれいなだけでなく、原作の要素をうまく取り入れつつ、誰が描いてもそのキャラになるようデザインされていて、川村さんの技術力に驚きました。僕としても非常に勉強になったと共に、真似しようと思ってもすぐに身につくものではないと痛感しました」

イラストを描くファンに向けて一言アドバイスをお願いします。

「まずは『こんな感じかな？』程度のノリで描いてみてください。何度も繰り返すうちに、頭の中にある理想の絵に近づいてくると思います。とにかく描き続けてください」



◀「絵を見ていると、作品のどこに惹かれたのかが伝わってくるので、非常に興味深いです」と、一枚ずつハガキをじっくり見ていく小竹監督でした



12月号アンケートハガキ

★『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』の絵コンテが見られて嬉しかったです（私は将来アニメを制作する仕事に関わりたいのでワクワクしたし、細かいところまで描き込んでいるのだなと思いました）。『チ。―地球の運動について―』特集では、キャラクター名の枠が、地球が回っているようなデザインになっているのですね。アニメによってフォントも変えていて見やすくて飽きないし、ほとんどの特集が2ページずつで読み切りやすいです。実写映画のキャストのインタビューが多いように感じたので、もう少しアニメのページに充ててほしいです。

兵庫県／M（14）

★『ゲ謎』の表紙、とても目を引きました。二人の関係性がしっかりと伝わってきて、楽しく明るい雰囲気のとてもすばらしい絵だと思います。作品のファンとして、嬉しいです。

神奈川県／Y（21）

子ども時代のハチャメチャぶりもいいもんだよ。ヘルメット姿のチチさんもかわいかった♪

ふとしたことでハマった『キングゲイナー』

先日『ガンダム Gのレコンギスタ』の主役機G-セルフ（パーフェクトパック装備型）が、ガンダムベース限定キットとしてリニューアル販売されました。あいにく私自身は手に入れられませんでしたが、告知画像を見てそのデザインに一目惚れ！『G-レコ』は富野由悠季御大の肝入り作品ですから、アニメージュ読者としてはチェックしていてしかるべきところを、私はいまだに履修できていないのですよ。なので、G-セルフくんに惚れたこの機会に視聴を開始しよう！　と思っていたのに……見始めてしまいました、『OVERMANキングゲイナー』を（YouTube無料公開がキッカケ）。

富野監督、メカニックデザインの安田朗さん、キャラクターデザインの吉田健一さん……と『G-レコ』スタッフが勢揃い。『BRIGADOON まりんとメラン』のファンのため、「00年代初頭のWOWOW放送作」という点にも激しく惹かれました。

感想はというと、「10代のうちに出会いたかった！」と悔しくなる面白さです。「ドームポリス（に暮らすピープル）」と「シベリア鉄道」の関係は、どこかスペースノイドとアースノイドの確執を思い起こさせますし、人々が自然を侵さずに住めるよりよい土地を求めて行う民族大移動「エクソダス」の設定も興味深い。お祭り騒ぎに紛れて都市ユニットを動かす『サウンド・オブ・ミュージック』のような展開と、土偶めいたマスクが下りて起動するオーバーマン「キングゲイナー」の姿にはとてもワクワクしました！

また私は日頃から、年代の違う裏主人公が存在する作品がとても好きなので、エクソダスに巻き込まれた少年ゲイナーと、エクソダスに請負人として参加する青年ゲイン、それぞれの視点で描かれている本作は非常に「刺さる」のです。もちろん、ゲイナーくんのもどかしい恋模様も、青春アニメって感じでいいと思います。「シベリア鉄道が！」「受けてみィィ！」などキャッチーなセリフ回しも、OPのモンキーダンス（通称ゲイナーダンス）も中毒性があります♪　アニメ視聴と同時にゲーム『スーパーロボット大戦』もプレイしているので、少し先の展開を知ってしまい、アスハム・ブーン特務大尉がとてつもなく気になっている今日この頃です。子安武人声でシスコンの美形ライバルキャラ……とあれば、興味をそそられないハズがない（笑）。早く見進めなきゃ……！　ああでも自分、いつになったら肝心の『G-レコ』を観るのよ？（汗）

愛知県／月辺流琉（24）

『キングゲイナー』を押さえてから『G-レコ』を観ると、より楽しめる気がするよ。アニメは逃げないので、じっくり観て存分に味わってくださいね。『G-レコ』の感想も待ってます。

悟空といえば想像するのは大人の姿？

最近、アニマックスで平日に『ドラゴンボール』を2話ずつ放送しているので、観ています。しかも、なりゆきで1話目から……。

弟が『ドラゴンボール』といったら悟空を思い浮かべるけど、それは大人の姿で、最初は悟空は子どもの設定だったんだ～。大人の悟空のほうが有名じゃね？」と言うので、「いや、子どもの悟空も有名だよ」と答えたんですが、弟の言うことも最もかもしれないと思ったんですよ。僕にしても、『ドラゴンボール』の悟空と言われたら、最初に頭に浮かぶのはやっぱり大人の姿です。『ドラゴンボール』って、誰でも知っているアニメのようでいて、悟空が子どもだった頃の話は全然知らないという若者も結構いるのではないでしょうか。

今は、子どもの悟空がレッドリボン軍と闘っていて、カリン様のところに行って「超聖水」を飲んで、桃白白とリベンジマッチするあたりを放送しています。僕も妹も弟も、『ドラゴンボール』をずっと観ていなかったので、今頃になって3人で観ています。たぶん『ドラゴンボールDAIMA』の関係なんでしょうが、昔のアニメをこんな風に観ることができて、アニマックスさんに感謝です。

岡山県／吟獅子丸

悟空が大人になってからの物語のほうが、子ども時代より長く続いているからというのはありますよね。



▶**山形県／ソバ（18）**
今から放映開始が待ち遠しいね。動くモグラの姿を早く観たい！



▶**千葉県／伯ミシェル（19）**
SNSでも、いろいろな人と楽しく交流できるよう祈っているよ♪



▶**兵庫県／㊊**
新シリーズの発表とか、あったらいいな♪

今月のテーマ

アニメ歳時記

新春2025

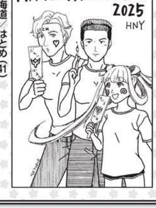


蛇神の姿である神撫子。わがままぶりも愛おしい♥

▲**千葉県／みこ**

▼**愛知県／いとうあつし**
今年こそ新作アニメが完成!?





▶**北海道／はとめ（41）**
イサミも審判だけでなく、羽根つきに参加しよう！



▶**神奈川県／織人（52）**
暗い光を放つビシャスの目。まさにヘビのよう……



▶**鳥取県／采雨**
懐かしアニメもどんどん布教しておくれ☆



←つづく

私、困ってるんです～

回答編【12月号】 好きなアニメが多すぎるのは浮気性？

涼鈴ミヤさんへ

★前にも似たような投稿があったな。ほかのキャラを好きになったら、浮気と言われたと。んなもん気にするな！ 好きな作品もキャラも無限に増えるもんじゃい！

生身の人間じゃないんだから、浮気じゃないし、生身の人間であっても、芸能人のような単なる憧れなら、何人好きになってもいい。同担拒否とか、複数キャラを好きになったら浮気とか、昭和のオタクはそんなことで騒がなかったのに……。ただ、問題はグッズ。この作品は集合絵のもの1点で我慢するとか、優先順位を決めねば。好きな作品が増えるのは普通だけど、グッズ購入は本当に欲しいのか熟考しないとね！ **兵庫県／まーし(61)**

★好きなアニメに多すぎるということはありません。極端な話、世に出たアニメ作品すべてのファンになったとしても、浮気ではありません。好きという気持ちに制限はないのです。私の場合、日常系やラブコメなど、よく観る分野は確かにありますが、好きをそこに留めてはいないです。異世界系や転生系、「プリキュア」「プリティーシリーズ」など、好きな分野は年を追うごとに増えております。それにつれて楽しみの幅も広がっていると実感しています。浮気性などと悩んだりせず、好きになったアニメはいつまでも、何作品でも、好きでいてほしいと思います。 **宮城県／仙台四郎(56)**

★「好き」をたくさん持てることは、自身の視野が広がる素敵なことでもあるので、私は変なことではないと思います。かくいう私も、ふだん二次創作するのは1～2作品ですが、好きで追っている作品は10作品くらいあります。しかし、ネットといった不特定多数の人と関わる場所では、人柄で惹かれあうのではなく、その作品のファンとしてつながる前提のため、いろいろな作品が好きだと受け入れてもらえない場面に行き合うことが多くあると思われます。ただ、人の意見に左右されて好きを制限するのは何よりも悲しいことなので、これからも涼鈴ミヤ様の好きを変わらず持ち続けてほしいと思います。私も好きが多いほうの人間ですので、自分に合ったスタイルが見つかるよう応援しております！ **神奈川県／どすこいタロウ**

★たくさんのアニメを好きになる気持ちは否定しませんが、同じアニメのファンとしては寂しく感じることもあると思います。たとえば、これまでAという一つのアニメの話題でずっと盛り上がっていたのに、Bというアニメも好きな人が出てくると、Aについて語り合う時間が減ってしまいますよね。さらにその人がCやDというアニメにまで夢中になると、もうついていけない仲間も出てきたり……。そういった残念な気持ちが、「浮気性」という言葉につながったのかもしれません。それぞれの「好き」を認められたら一番なんですけどね。 **東京都／食べ切り八宝斎**

「愛は分けるものではなく、増えていくもの」というし、やっぱり好きなアニメはいくつあってもいいよね。

もちろん一つのアニメだけを愛し続けるのもいいですし、それぞれ違った愛情の形がありますよね。

みんな違って、みんないい。お互いが気持ちよく過ごせるような気づかいをしつつ、遠慮なくアニメを愛し続けていこう！

お悩み編 受験する高校の選び方を知りたい

★春になったら中3で受験生になります。私のクラスでは、すでに受験する高校を決めている人も多いですが、私はまだ決まっていません。両親からは「自分の進路だから、真面目に考えて決めなさい」と言われますが、どうやって決めたらいいのかよく分かりません。アニメ関係に進みたいと思っていますが、絵はへたくそです。ここの先輩たちに聞きたいのですが、受験する高校をどうやって決めましたか？ 自分なりの決め方があったら教えてください。 **広島県／チルル(14)**

とりあえず、学年順位や偏差値に見合った学校を選ぶのがスタンダードですよね。

たまに「家から近いから」「制服が気に入ったから」とかで選んで、結果的にそれが大成功だったって人もいたり。

皆さんが学校を選んだ決め手や、実際に入ってみてどうだったかなど、人生の先輩としてのアドバイスを聞かせてください。



続編も含めて、あらためてアニメ化してくれたらいいのにな☆

▲滋賀県／MAX SLEUTE



いつもセクシーなフブキ。1/7ねんどろいども発売中だね♥

▲福岡県／本田由美子



ミカサには、穏やかな世界で生きてほしいと思ってしまう……

▲岡山県／ストロベリー(16)



ちょうちょと戯れるのこたん。すでに暖かな春になったよう◎

▲神奈川県／のにのー(30)



健康にも役立つアニメージュ。歩けば体もポカポカになるよ！

▲新潟県／色



トトロにオリゼーにネオバタ……。みんな揃って楽しい世界♪

▲福島県／栖章



▶宮城県／りあん(16)

つむぎちゃんのプリンセスver.は衝撃の美しさだったよね！

そこまで言っちゃっていいい!?

➡『ダンダダン』のラジオで、田中真弓さんがババアを演じると他人に話したら、「きれいなババア（星子さん）を演じるの？」と聞かれたと語っていた。「汚いほう」と答えたそうだが、田中さん演じる星子さんも観てみたかった。 **兵庫県／坂戸孝允(30)**

★12月号は『ゲ謎』目当てで購入しましたが、もっと世間に広まってほしいとずっと思っていた『ちびゴジラの逆襲』の特集があってとても嬉しかったです！ もちろん『ゲ謎』特集も読み応えがあって最高でした！ 表紙も！ **千葉県／U（21）**

★今回の『ゲ謎』の表紙、ポスター、クリアファイル。どれも最高でした。『ドラゴンボール』もアニメ放送で再ブームが来てほしいので、今までのシリーズのまとめのような企画があると嬉しいです。ポスターやクリアファイルが少ないアニメなので、オマケもあると嬉しいです……!! **神奈川県／S（19）**

★『ゲ謎』の表紙・特集ありがとうございました。ポストウィズの試み、色彩設計や撮影などの制作の裏話が興味深かったです。応募者全員サービスのアクスタが届くのを楽しみにしています。 **山口県／M（28）**

★『チ。 ―地球の運動について―』は第1回放送ですごく衝撃を受けました。原作は読んでいましたが、予想以上に素晴らしい再現度で、アニメージュに記事が載っていてよかったです。大満足の内容でした！ **広島県／O（21）**

意外なところに登場する群馬県の存在感

ものすごく私ごとでありますが、本年の筆名は「風土」で行こうとしていましたが、ニコニコ動画に群馬関連の旅行動画を上げている「風土」様が居られましたので、改名させていただきます。何の関係もないっちゃないんですけどね、まぁどうやら同じ群馬人ですので名前被りは避けたい。

ということで、「群馬県」。数々の分野で大体ベストテンに入ってくるという実力県ながら、全国知名度では下位低迷で逆に有名な県である。伊香保や草津は万葉集の昔からの名観光地なのだが、どうもそこが「群馬」だと知られていない（笑）。そのせいか（どんなせいだ）、割とあちこちのアニメ作品には「群馬要素」が見受けられるという珍事態にもなっているわけだが……。

いやほんと、結構あるんだわ。「そのものズバリ」なご当地アニメのみならず、「関係ないけど見切れ芸」で出現する建築物とか、他県人がこっそり訪れたりする観光地とか、登場人物の名前が地名だったりな……。

ということで『前橋ウィッチーズ』（2025年4月放送予定）。魔女になりたいと願う少女たちが、さまざまな悩みと向き合いながら成長していく物語である。というのもあろうに天下のサンライズの企画とはびっくりだが、どんなモンになるのか現時点ではさっぱり分からないのが不安も誘う。とはいえ、前橋市の禄を食む者としては「成功してくれー」と願うばかりではあること

よのう……。

ちなみに2024年夏アニメで、チアリーディングを題材にしたアニメの舞台も群馬だったが、これは実在のチアの全国大会で「群馬チームと、それ以外」というレベルで無双を重ねているからであると思われる。「人知れず実力者」すぎるな、群馬県……。 以上

群馬県／人生、それはつまり果てしなきミネバ様航路♡（57）

んで、名前は結局「航路」になったと。年と共にリニューアルしているわけね。

『前橋ウィッチーズ』、衣装替えがめちゃめちゃかわいいですよね。これは推せそう！

追悼 楳図かずおさん

楳図かずおさんの漫画に初めて接したのは、小学生の時、同じクラスの女子から借りた『へび少女』だったと思う。幼い頃は特に怖いものが苦手だった私にとって、その絵柄も含めて目をそむけたくなったにもかかわらず、ページをめくる手を止められなかった。怖いという以上に面白かったからだろう。

楳図さんが生み出した数多くの名作の中で、個人的に印象的だったのは、じいさんが若返って騒動を起こす『アゲイン』だ。主人公の元太郎は仕事一筋のまじめな男で、病弱な息子のためにひたすら働いてきたが、気が付けば65歳、家族からは厄介者扱いされる。このシリアスな老人問題を扱った冒頭から、薬によって若返った元太郎が孫の「まことちゃん」を伴って大暴れするギャグ漫画へと転じる。クライマックスでは残り少なくなった若返りの薬を巡るタイムリミットサスペンスになり、最後は感傷的な余韻を残して幕を閉じる。さまざまな要素が凝縮された作品だった。

脚本家・作家の辻真先さんは、大学で脚本づくりを教える際に、楳図さんの短編『きずな』をよく教材にしたそうだ。事故で意識が戻らない妻を介護する夫のドラマがラストで逆転する展開に、辻さんは「右だと思わせておいて左。物語づくりは天才的だった」と語る。「ラスト1秒でひっくり返る」という惹句で知られるアニメ映画をご覧になった方ならば、得心していただけることだろう。

多才な楳図さんは、実に多彩な作品を送り出してきたが、その本質は「人を楽しませること」なのだと思う。恐怖であれ、驚きであれ、笑いであれ、感動であれ、緊迫感であれ、人を楽しませる手段にすぎないのだ。希代のエンターテイナーのご逝去を悼み、心からご冥福をお祈りいたします。

東京都／ダーザイン

赤と白の縞模様の家を建てたりと、楳図さんの生き方そのものがエンターテイメントのようだった印象もあります。

まだまだお元気で活躍してほしかった。どうか天国でも楽しく過ごしてください……！



▲秋田県／カタバミ
アニメになって、動く糸師兄弟のかわいさを満喫♥

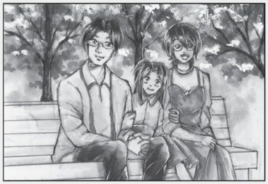
▼鹿児島県／城弥
ダラさんのぬいぐるみ、グッズ化してくれないかな?





▲千葉県／紫雲寺 零
『新テニ』でも、みんなどんどん活躍してほしいな！

▶千葉県／みこ
圭介たち3人の笑顔がぐっと染み入る！



▼佐賀県／的野秀紀（52）
メイが優しいことは、みんな知っているよ♪





▲神奈川県／どすこいタロウ
おやっさんの渋い大人の魅力にハマるファン急増中!?



▲栃木県／水都
スコーピウスとアルバスが、いい子に育って本当によかった◎

そこまで言っちゃっていい!?

➡『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』『はたらく細胞』『聖☆おにいさん』『【推しの子】』……。漫画の実写映画化にはもう驚きませんが、これらがお正月映画って、映画界はどうなってるの!? **福島県／ねんころりん**

➡『名探偵コナン』の「女子会ミステリー3」で、何度目かの強盗に襲われた金子宝石店。金子さん……ドローンやロボット、最新式の防犯カメラもいいけど、一番の防犯対策は米花町から引っ越すことですよ？（笑） **埼玉県／PG**

マイアニ御殿

今月のテーマ

オタク部屋のマイルール

年末の大掃除を終えて、新年は快適空間で迎えられたかな？　部屋を片付ける時にも、自分なりのルールがあるはず。みんなのマイルール、ちょっと覗いてみよう♪

★私は部屋の中を本気で聖地化しようと取り組んでいます。好きなキャラの等身大タペストリーや激レアグッズなどを飾り、どこにも負けない愛にあふれた部屋を完成させています。こだわりは、現在は入手困難な2006年製のクロミスーパーDXぬいぐるみや、『ポケットモンスター』の「白い明日だ！ロケット団」や「前向きロケット団！」のCDです。とても重宝しています。　**宮城県／黒魔♡(20)**

★キーホルダーは、利用する物と保管する物の2種類に分けて収納しています！　たまに保管しているキーホルダーを見ると、「このグッズ、懐かしいな」と思ってしまいます。　**島根県／クルミ(30)**

★俺は部屋を掃除するのがめんどくさい、ズボラでガサツでグータラなオタクです。なので、特別なルールはなく、本を本棚にしまったり、壁にポスターをきっちり貼ったり、棚にフィギュアを置いたり、カードはデッキケースやファイルに入れたりしているくらいです。マグネットは貼り付け、絵を描く道具やメイク道具は箱に入れて棚にしまい、グッズは種類別に片付けるなど、ごく普通です。まぁ、部屋はきれいにしておきたいですね。　**滋賀県／属性勇者カズト**

★アニメのクリアファイルは百均で買ったケースに入れて、ポスターや下敷きは少し小さめのケースにたくさん入れています。だから部屋の中がケースだらけです。一昨年からアニメのカードも集めているし、塗り絵もたくさん。小物は引き出しにしまっていますが、グッズだらけです！　掃除の時は、フィギュアをどけてテレビ台を拭き、掃除機をかけ、テーブルにある物を、いる物といらない物に分けて、いらない物は捨てます。掃除のついでに、細々とチェックするのがマイルールです。　**福岡県／みあ松(29)**

★その日その日のラッキーカラーに合わせて、推しキャラを目の前に飾っています。例えばラッキーカラーが赤なら、名前に赤が入っているキャラや、赤い髪のキャラ、といった感じです。その推しキャラたちが、イヤなことから守ってくれるお守り代わりになっていますね。　**栃木県／キャンベール(44)**

★棚に並べたDVDなどのコンテンツを、定期的にシャッフルしております。いつも同じ位置にあると、どうしても目につくところにある作品ばかりを鑑賞してしまい、奥に収納した分は二の次になってしまいがちです。それを防ぐため、配置の入れ替えは欠かせません。今までしまい込んでいたコレクションが表に出てくると、宝物を掘り当てたような気になる上に、部屋の雰囲気も一新されるのでお勧めです。　**宮城県／仙台四郎(56)**

★録画したディスクには番号を付け、収録作品を手書きの50音別インデックスファイルで整理しています。観たい作品の第何話がどのディスクに収録されているか、すぐに分かって便利！　習慣化すると面倒ではないですよ！　**東京都／さかえはるお(56)**

掃除の仕方からコレクション整理まで、いろいろなマイルールを教えてくれてありがとう。

これらを参考に、編集部の棚もきれいに片付けなくちゃ〜。

耳の痛い話は無視して、4月号のテーマ発表！　3月27日の「世界演劇の日」にちなんで、「観劇LOVE」でいってみよう！

アニメファン心をくすぐる舞台、ミュージカル、人形劇などについて、皆さんの心に残っている思い出エピソードを教えてください。オススメ作品もぜひご紹介を！

アニメージュとしては、やっぱり『新作歌舞伎　風の谷のナウシカ』かな。本水あり、宙吊りありの大迫力でびっくりしたよ。

締切は1月31日消印有効。今年も投稿お待ちしてま〜す！



▲栃木県／竹ちょ(48)
いつまでも、のこたん&こしたんを愛し続けよう♥

なんでも おしゃべり箱

➡なんと!?『ケロロ軍曹』のラジオ番組『ケロロ軍曹のケロッ！とラジオ』配信決定。『ケロロ軍曹』のラジオといえば、アニメ放送当時に『ケロロとギロロのペコポン侵略ラヂオ』という番組があったそうです。令和のラジオ復活の初回放送は、ケロロの誕生日の12月9日。出演はケロロ役の渡辺久美子さん、推しのタママ役の小桜エツコさん。絶対リアルタイムで聴きたいです。

大分県／のんのん（18）

➡『科学×冒険サバイバル!』を楽しく観ています。主人公のジオくんとダイヤちゃんたちが、異常気象や昆虫などいろいろなテーマに取り組むアニメで、いい勉強になります。私はジオくん役の松田颯水さんとダイヤちゃん役の小松未可子さんが大好きなので、始まってとても嬉しいです。また、ケイさん役が石田彰さんと知ってビックリしました。カッコよくて面白いです（笑）。

鹿児島県／上下チエ(37)

➡武内駿輔さんらが司会の『おねだり!声優フェス』に、声優界最年長で現役の羽佐間道夫さんが出ていらした。レジェンドの声優裏話はとても面白く、ためになる内容だった。声優（俳優）に大切なのは、〝歯並び・雑学・間（ま）〟の〝ハザマ〟であると。91歳というご高齢にもかかわらず、とても肌ツヤがよくお元気だった。声優の訃報が続く昨今、まだまだお元気でいてほしい。YouTubeの公式動画でも視聴可能♪　**兵庫県／まーし(61)**



▲大阪府／ミンミン(47)
トランクスはキャラの違いが面白いよね



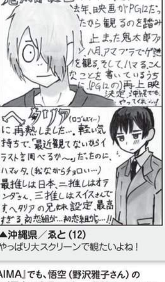
▲東京都／なっちゃん(40)
ミクの可能性は無限大。楽しんでね♪



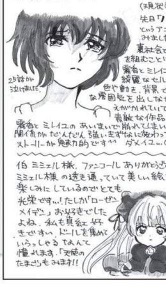
▶大阪府／プリン
今年も大好きな作品に囲まれて充実した日々になりますよう◎



▲大阪府／おーかゆかり
こんなスッキリした笑顔はレアかも◎



▲沖縄県／ゑと(12)
やっぱり大スクリーンで観たいよね！



▶京都府／みみたん(14)
霧香とミレイユには、二人で平和な日々を送ってほしい……



←つづく

そこまで言っちゃっていい!?

➡昨今のアニメでは、出演キャラが説明する形の次回予告が減った。『ドラゴンボールDAIMA』でも、悟空（野沢雅子さん）の「オッス、オラ悟空!」という挨拶から始まるいつもの予告がないので、何だか物足りないなぁ（個人の意見です）。　**長野県／ふじまる**

パロステ
Paru & Maru Parody Stage
パル　マル

アニメコラボ



▶富山県／カツヒサ(36)
そこは間違えちゃダメ～！ かわいい魔法動物と仲良くしたいなら、いっそレットラン魔法学校へ!?



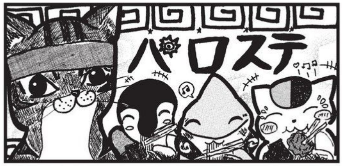
▶東京都／飛剣 祐
じゃあ、ドラルクもぷにると一緒に「かわいいぼく」に変身しよう。ロナルドも褒めてくれないかな!?



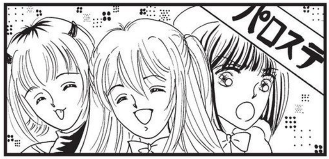
▲福岡県／ひいらぎ一帆
日曜アニメコラボ。いつもクールなユキもノリノリ。動物たちみんなで腰フリフリしてほしい♥

4コマ、ダジャレ、擬人化、ちびキャラ、カン違い……笑えてハッピーになれるパロディハガキはこちらに集合！

今月のタイトル看板



▲福島県／アオハネイビー(32)
ちとせ&子ザメ&ニャンコ先生がラーメン赤猫に♪ 新年からのラーメンもオツなもんです！



▲兵庫県／月
動画配信中らしきB小町。ルビー&MEMちょが、かなにたしなめられている!?



▲福岡県／ぷっとぴ恵理子(32)
10月号の華恋ちゃんと対になる絵だとは！



♥カット♥ただのかずみ



▶茨城県／Re(36)
ほたるちゃんの誕生日、セーラー戦士全員で祝ってほしい♥



▶宮城県／細貝パスコ(50)
人付き合いが不器用な玄弥。でも、心は優しいんだよね♪



▶千葉県／絵描きの冒険者KATOSAN
誕生日を迎えて、かすみちゃんの笑顔もますます輝く☆



▶神奈川県／U
物語が進めば、またQの活躍が見られる日が来るはず!?



▲山形県／pakugyu(46)
現実でも、二人でお祝いしているかも？

声ネタ



◀福島県／三浦大亮
衝撃!? 仮想空間でキュアベリーコスをするイナ姉さん。なんだか声も似ている気がする……？

12月号 アンケートハガキ

★『やり直し令嬢は竜帝陛下を攻略中』のインタビューがあるとのことで購入しました!! 戸谷菊之介さんとラーヴェのツーショットがとてもかわいらしくて、幸せな気持ちになりました。また特集お待ちしてます。 **埼玉県／K(27)**

★『忘却バッテリー』の2期が放送開始したら、特集してほしいです！ よろしくお願いします。 **福岡県／U(14)**

★「キャラクターベスト10」で、『勇気爆発バーンブレイバーン』の二人がこんなに根強いとは知らなかったです。『キン肉マン』が入っているのも面白いと思います。 **鳥取県／M(28)**

★今回初めてアニメージュを購入したのですが、知らなかったアニメの情報や映画などを新しく知ることができて、よかったです。特に『侍タイムスリッパー』が気になったので、映画館に観に行こうと思いました。インタビューは文字数が多く、内容にボリュームがあり、付録も付いていて、満足感の得られる雑誌だなと感じました。 **群馬県／N(20)**

★山田尚子監督の作品が好きなのですが、『Garden of Remembrance』の詳しいインタビューはまだ読んだことがなかったので嬉しいです。ますますこれからの作品が楽しみになりました。 **岡山県／K(41)**

そこまで言っちゃっていい!?
➡ヒンメル一行もそうでしたが、『葬送のフリーレン』の登場人物たちは、長旅のわりに、かなり少ない荷物です。もしかすると『フリーレン』の世界には、登場シーンが描かれていないだけで、代わりに荷物を運んでくれる"二足歩行をするクロネコ"が存在するのでしょうか？(笑)　**北海道／TAiYAKi (63)**



END

まとめて募集告知

月替わりテーマ投稿

4月号のテーマ

★アニメ歳時記★

「花の季節」

バラや桜、スミレにチューリップ。お花見や花コーデなど、春の花にちなんだイラストをよろしく。

★ハッピーバースデー★

「3月生まれのあなたへ」

アニメキャラや声優、俳優、クリエイターのお誕生日祝いに、イラストやお手紙をお願いします!

★マイアニ御殿★

「観劇LOVE」

アニメファンでも楽しめる、舞台作品やミュージカル作品をたくさん紹介してね。イラスト付きも歓迎!

★締切:1月31日(金)消印有効

フリースペースのテーマ

4月号『らんま 1/2』

選者:宇田鋼之介さん(監督)

★締切:1月31日(金)消印有効

5月号『戦隊レッド 異世界で冒険者になる』

選者:丸山修二さん(メインキャラクターデザイン)

★締切:2月28日(金)消印有効

※選者に向けたイラストの説明もあると嬉しいです。

レギュラー投稿

★アートギャラリー★ あなたの好きなアニメの絵をカラーで。アニメ作品の新旧は問いません。マンガ・小説・特撮・ゲームなどの絵でもOK。

★レタールーム★ 文章投稿では、アニメの感想や身近な出来事について語ってね。イラスト投稿では、アートギャラリー同様、オールジャンルOK。白黒でヨロシク。

★合作にトライ☆★ 投稿仲間や友達、家族と一緒に一枚のイラストを完成させてね。住所・氏名(ペンネーム)・年齢は全員分お忘れなく。なるべく白黒でお願いします。

★私、困ってるんです〜★ 人には言えないお悩みやギモンをお寄せください。読者のみんなが答えてくれます。

★そこまで言っちゃっていい!?★ そんな、まさかと思ったことへのツッコミはこちらへ。

★アニメ川柳★ 五・七・五のリズムに乗せて、感じたことを表現しよう。

★なんでも おしゃべり箱★ アニメについて何でも叫んでください。

★パロステ★ あなたの笑いのネタ、待ってます。

★ファンコールプリーズ★ マイアニ投稿者の交流の場。熱いメッセージをお願いします。

【投稿のパクリはダメ絶対!】

投稿する作品は、自分が制作した著作物および二次的著作物に限ります。トレスやネタのパクリ、他の著作物をもとに自動生成されたものなど、他人の作品を無断で投稿する行為はNGです。マイ・アニメージュは読者の善意で支えられているページです。好きなアニメを応援したいという気持ちを大切にして、あなた自身のセンスをそのまま投稿作品にぶつけてください。他のファンの方に不快な思いをさせないよう、どうかご協力よろしくお願いします!

応募の宛先ときまり

★ウェブ投稿はこちらへ★

https://animageplus.jp/ から赤いバナーをクリックして進んでください。イラスト画像も投稿できます。

★郵送はこちらへ★

〒141-8202
東京都品川区上大崎 3-1-1 目黒 CS
㈱徳間書店 アニメージュ編集部
マイ・アニメージュ「○○○(コーナー名)」係

★応募のきまり★

①イラストは必ずハガキサイズで。イラストの裏面には、あなたの住所・氏名(本名)・ペンネーム(必要な場合)・年齢・送りたいコーナー名・アニメ作品名とキャラ名をはっきり書いてね。イラストの簡単な説明もあると嬉しいです。②文章投稿は、1枚の紙には1コーナーごとのネタをお願いします。同じ紙にまとめて書くと、他のコーナーにまぎれてしまいます。③投稿物を複数作成された時は、まとめて封筒に入れて送っても大丈夫です。封筒には裏面に住所・氏名(本名)、表面には送りたいコーナー名をはっきり書いてお送りください。その際、中のハガキ1枚1枚にも、住所・氏名(本名)・ペンネーム(必要な場合)・年齢・送りたいコーナー名を忘れずにご記入くださいね。

※皆様の個人情報は運営上、誌面に掲載されます。ご了承の上お送りください。※ご記入頂いた個人情報は、上記の目的以外での利用はいたしません。※文章投稿は誌面のスペースの都合で全文掲載できない場合がありますのでご了承ください。

「レギュラー投稿」は
「月替わりテーマ投稿」の締切に準じて送ってね!

いろいろ驚くようなことが起こりつつ、ヨッ!未来に歩みこんでるな!と向き合い、くじけず元気にゆきたいです。(ナガノ)

➡http://naganoare.wordpress.com/

読者交流の広場 ファンコール プリーズ



F.C Thanks 千葉県/伯ミシェル(19)



F.C Thanks 兵庫県/月



FAN CALL 北海道/橘マコト(48)

のにの一様 FAN CALL

まず一言いいですか? 「かわいい……がすぎる……」 とにかくかわいらしいイラストに、ハートを撃ち抜かれました! 12月号フリースペース『しかのこのこのここしたんたん』のイラストも、とってもステキだなと思いました。これからも応援しています♪ よろしければですが、『魔法少女リリカルなのは』のなのはちゃんとフェイトちゃんの二人を描いていただければ幸いです。

神奈川県/べべ

アニメ 川柳

朝ドラと ライダーのヒロイン ギャルになる
兵庫県/坂戸孝允(30)

NHKの朝ドラまでギャルモチーフって、新しいよね。寅ちゃんからの落差が大きくて。次作は『アンパンマン』ですね。

投稿者 マイアニで何人 いるんだよ?(笑)
千葉県◎ナヲコ(43)

これは多いと感じているのか、少ないと感じているのか、どっちですかね? 正確な集計はしたことがないけど、結構いっぱい届くよ。どれも楽しく読んでます♪

1月の ハッピーバースデー



▲大阪府/おーかゆかり
エースの魅力は永久に不滅だよね◎



▲神奈川県/愛坂ななか
『ハロー・レディ!』の美鳥はお嬢様な誕生日を満喫!?

Happy Birthday



▲千葉県/荒井 孟(41)
いつまでもお元気で、新たな創造の世界を見せてほしい◎



▲栃木県/キャンベール(44)
焦凍くんの誕生日をみんなで祝福☆



▲山梨県/とうや
今年も変わらぬ活躍を期待したい♪

パル&マルからのお願い ハガキか紙に、黒のインクやサインペンで、縮小印刷でも読みやすいように大きめにハッキリ描いてね。マニアックなネタは、宛名側に解説を付けておいてくれると助かります(笑)。「パロステ」のタイトル看板は6センチ×13センチのワク内で。切らなくても大丈夫だよ。

STAFF

Editor-in-Chief
川井久恵

Contributing Editors
久保田志乃
近藤　瞳
西俣　斉

Advertising
岩水洋子
久保田純平
谷川浩史

Marketing Analyzer
片山伸之
柳楽公三

Public Relations
松本留衣子

Writers
徳木吉春
原口正宏
渡辺麻紀
渡辺由美子
石井　大
中野克己
浜田望生
ぽろり春草
新庄　圭
ぬのまる
川畑　剛
スタイル
許士明香
鈴木雅展
高円寺工房
後藤悠里奈
福西輝明
橋本夏希
佐久間翔大
合田夏子

EDITORS VOICE

母が入院してしまい、週末は極力帰省して、病院にお見舞いに行ってました。コロナ禍を経て、面会のルールも厳しくなったんですかね？　日・祝は面会不可。事前に予約必須で面会時間は15分。病室にも入れず、会えるのは共用スペースのみ。荷物の受け渡しは看護師を通す。え、いつからこんなにうるさくなったの!?　この病院だけ？　衛生面を考えると仕方ないのか？（久）

昨年末、個人的に衝撃だったのは、アパレルのジル・スチュアートとレッセ・パッセ全店閉店のニュース。私はこれからどこで服を買えばいいんだ!?　ずっとそこにあると思っていたものも、いつかはなくなる……。『ラジオアニメージュ』も、昨年末で最終回を迎えました。さみしいですが、きっと新たな出会いもあるはず。2025年もどうぞよろしくお願いします！（志）

年々イベントの規模が大きくなっていくコンパスフェスに、今年も圧倒されました。イベント前に解禁されている出演者の名前を見るだけでも豪華すぎると思うのに、今回はほぼすべてのコーナーにゲストが登場。特にボカロPとしても有名なすりぃさんとコスプレイヤーさんには、驚きのあまり声が全く出ませんでした。改めて、8周年おめでとう！（近）

今さらながら『サイコ・ゴアマン』を鑑賞。トンデモ展開と独特のユーモアで最後まで飽きずに楽しめました。サイコ・ゴアマンたちのスーツの完成度と特撮的な演出が印象的。そして、主人公ミミの絶妙な破天荒ぶりもクセになりました。2024年もさまざまな作品に触れて、新しい感動や驚きを味わえました。2025年も素敵な作品との出会いが楽しみです！（二）

NEXT Animage アニメージュ 2025年3月号

2025年2月10日発売

※内容に変更があったらごめんなさい。

銀魂 表紙&巻頭特集
オンシアター 2D 真選組動乱篇 かぶき町四天王篇



ふろく AM オリジナルグッズ

白上フブキ 歴代衣装解説

魔法使いの約束／薬屋のひとりごと／メダリスト／SAKAMOTO DAYS／想星のアクエリオン Myth of Emotions／戦隊レッド 異世界で冒険者になる／花は咲く、修羅の如く／天久鷹央の推理カルテ／ババンババンバンバンパイア／わんだふるぷりきゅあ！／魔法つかいプリキュア!!～MIRAI DAYS～／映画 ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-／劇場アニメ ベルサイユのばら／劇場版 美男高校地球防衛部ETERNAL LOVE! etc.

アニメージュ2月号アンケート用作品リスト

下記の作品リストから該当するものの番号を、ハガキ表面（宛名面）の解答欄に記入してください。

①0歳児スタート　②100秒でわかる名作劇場　③「1分間だけ触れてもいいよ…」シェアハウスの秘密ルール。　④ARK　⑤BanG Dream! Ave Mujica　⑥BEASTARS　⑦BLEACH　⑧Duel Masters LOST　⑨FAIRY TAIL　⑩GO! GO! チャギントン　⑪KUROMI'S PRETTY JOURNEY　⑫MFゴースト　⑬ONE PIECE　⑭RINGING FATE　⑮SHIBUYA♡HACHI　⑯Tokyo Override　⑰Unnamed Memory Act.2　⑱アイマス　⑲青エク　⑳アオのハコ　㉑青のミブロ　㉒アクロトリップ　㉓アサティール2　㉔甘神さんち　㉕天久鷹央　㉖あり職　㉗アンパンマン　㉘異修羅　㉙いずれ最強　㉚オーイ！とんぼ　㉛お買いものパンダ！　㉜沖ツラ　㉝おさるのジョージ　㉞おじゃる丸　㉟おしりたんてい　㊱おはよう！うんこ先生　㊲監禁区域レベルX　㊳科学×冒険サバイバル！　㊴株式会社マジルミエ　㊵カミエラビ　㊶神之塔　㊷鴨ロン　㊸がんばれ！くろーむ　㊹妃教育から逃げたい私　㊺きのこいぬ　㊻木の実　㊼君は冥土様。　㊽ギャビーのドールハウス　㊾クマーバ　㊿クラ結　(51)グリザイア　(52)クレしん　(53)結婚するって、本当ですか　(54)ケンガンアシュラ　(55)合コンに行ったら女がいなかった話　(56)この会社に好きな人がいます　(57)最強王図鑑　(58)最凶の支援職　(59)サザエさん　(60)さようなら竜生、こんにちは人生　(61)サラリーマン四天王　(62)サラリーマン山崎シゲル　(63)しまじろう　(64)シルバニア　(65)シャンフロ　(66)シンカリオン　(67)新テニ　(68)精霊幻想記　(69)全修。　(70)銭天堂　(71)戦国妖狐　(72)大正偽りブラヰダル　(73)多数欠　(74)誰ソ彼ホテル　(75)ダンダダン　(76)ダンまち　(77)ちいかわ　(78)チキップダンサーズ　(79)チ。　(80)ちびまる子ちゃん　(81)妻、小学生になる。　(82)転生貴族　(83)逃走中　(84)凍牌　(85)殿と犬　(86)トミカヒーローズ　(87)ドラえもん　(88)ドラゴンボールDAIMA　(89)トリリオンゲーム　(90)嘆きの亡霊は引退したい　(91)夏目　(92)ななたい　(93)忍たま　(94)ネガポジアングラー　(95)ねこに転生したおじさん　(96)パーティーから追放された　(97)ハイガクラ　(98)パウ・パトロール　(99)はじめました、山猫医院　(100)パズドラ　(101)はなかっぱ　(102)花は咲く、修羅の如く　(103)ばなにゃ あらうんど ざ わーるど　(104)ハニレモ　(105)ハミダシクリエイティブ　(106)パンの赤ちゃん　(107)ひとり異世界　(108)ひみつのアイプリ　(109)ぷにるはかわいいスライム　(110)ぷにるんず　(111)ブルーロック　(112)ベヒ猫　(113)ポケモン　(114)星降る王国のニナ　(115)ぽちゃーズ　(116)ぼのぼの　(117)マダミス　(118)魔王2099　(119)魔王様、リトライ！R　(120)マジック・メイカー　(121)まほなれ　(122)まほやく　(123)未来の黒幕系　(124)名探偵コナン　(125)メカウデ　(126)女神降臨　(127)メダかわ　(128)メダリスト　(129)もめんたりー・リリィ　(130)やり竜　(131)闇芝居　(132)妖怪学校の先生はじめました！　(133)夜は猫といっしょ　(134)齢5000年の草食ドラゴン　(135)来世は他人がいい　(136)らんま1/2　(137)ラブライブ！　(138)るろうに剣心　(139)歴史に残る悪女になるぞ　(140)ロクロー　(141)わた婚　(142)わんぷり！

新連載

LAH!

Love
Anime
Happiness!

第1回

アニメ・漫画ファンが多いことでも知られるLDH JAPANのアーティストたち。
そんな彼らを毎号フィーチャーしていく連載が今号からスタート！
記念すべき第1回は『魔神創造伝ワタル』のエンディング曲を歌うFANTASTICSより、
声優の経験もある世界＆中島颯太が登場！

Sekai

2月21日生まれ／神奈川県出身／LDH JAPAN所属／FANTASTICSのパフォーマー。主な出演作は『とあるおっさんのVRMMO活動記』（グリーン）、『劇場版シティーハンター 天使の涙』（モヒカンの容疑者）ほか

Sota Nakajima

8月18日生まれ／大阪府出身／LDH JAPAN所属／FANTASTICSのボーカル。主な出演作は「マクドナルド」TVCM、『おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか！』（五十嵐大地）ほか

photo by Junichiro Noumi

世界 中島颯太

FANTASTICS




19
13
NEW YORK CITY
SINCE 1913
American brand with pride


19
13
NEW YORK CITY
SINCE 1913


19
13
NEW YORK CITY
SINCE 1913
American brand with pride

Sekai

『ワタル』世界を彩るジョイナスな一曲

―FANTASTICSの楽曲「ポケット」が『魔神創造伝ワタル』（以下、『創造伝』）のED曲に起用されました。

颯太　楽曲起用自体は1年ぐらい前から言われていたものなので、早く発表したい、この嬉しさを誰かに伝えたいという気持ちでいました。

世界　『魔神英雄伝ワタル』（以下、『英雄伝』）の主題歌はどれもキャッチーで、当時のキッズたちも曲を聴くだけでワクワクしただろうし、その『ワタル』シリーズにこうした形で参加できたことはとても光栄です。『英雄伝』は僕の親世代にファンが多い作品ですが、今の時代に『創造伝』として世に出る意味はとても大きいと思います。

―「ポケット」の曲や歌詞にどんな感想を持ちましたか？

颯太　仮歌を聴いた瞬間、「これは『ワタル』の世界観にハマりそうだな」と思いました。サビの前にラップでもなく、単なる歌とも違う、言葉遊びがたくさんのパートがあって、そこが『創造伝』の世界とうまくマッチするなと。歌詞も前向きでわかりやすいし、多くの方に口ずさんでもらえる曲だと思います。

世界　「七色ストーリー」とか『ワタル』を感じられる歌詞があちこちにあって、壮大さや広がりが感じられるところにも注目してほしいです。あと、サビがめちゃくちゃキャッチーで、「ワクワクするならジョイナス」「醍醐味あるアドベンチャー」とか、耳に残るフレーズが多い。個人的には「シュビドゥバ」という歌詞にシビれました（笑）。

颯太　ここは僕が歌っているのですが、何回か録り直しているんです。ハッキリ発音しすぎてもいけないし、あまり歌っぽくなりすぎてもいけないし。口が回らなくてよく噛みました（笑）。

―歌う際のポイントは？

颯太　AメロとBメロではリズム感がちょっと違っていて、Aメロは進みながら歌うようなリズミカルさがあるんです。そこからBメロで一回落ちて、サビで一気に解放される感じ。その変化を楽しみながら歌いました。カラオケでは、サビはとにかく明るく元気に。恥ずかしがらず、「ジョイナス」のところで何もかもが吹っ切れる感じで歌うのがいいと思います。僕たちのライブでも一緒に「ジョイナス」と盛り上がってもらえたら嬉しいですね。

―お二人は『英雄伝』をご覧になりましたか。

颯太　楽曲のお話をいただいてから観て、子どものころに持っていたヒーローへ憧れる気持ちを思い出しました。冒険心を刺激されたり、笑えるところがあったり、確実にあれが元ネタだろうなと思えるところもあり……と、楽しめるポイントがいっぱいでしたね。

世界　僕は小学生のころ再放送や配信などで『英雄伝』に触れたんですが、僕の友達もシバラク先生のテレホンカードを欲しがっていましたね。あれで戦神丸を呼べるんだって。そういう「なんでもアリ」で、遊び心いっぱいなところが面白かったです。さっき颯太もパロディネタが楽しいって言っていたけど、シュワルビネガーというキャラクターがいて。これ完全にシュワルツェネッガーが元ネタで、当時の子どもたちが世界観にスッと入り込めるようにという工夫なんだと思います。『ワタル』は子どもの流行にすごく敏感な作品で、『英雄伝』ではローラースケート、テレホンカード、デフォルメされたロボットとか。当時の流行りや文化をいち早く作品に取り入れていて、その精神は『創造伝』にも受け継がれているなと感じました。

颯太　『創造伝』も、現代ならではの要素がしっかり入っていますよね。現実にあるものを少し捻ったりはしていますが、今の子どもたちなら全部元ネタがわかると思います。「チャンネル登録」とか、すでに知っているものだとスムーズに世界観に入り込めるし、子どもの想像力があればもっと作品に没入できるんじゃないかと。

世界　敵が「炎上」したり、ブロックを使うのも夢があって面白かったな。『英雄伝』のときは粘土細工で、令和ではブロック。時代を感じましたね。

声優としても活躍 初のレギュラー出演

―『Aランクパーティを離脱した俺は、元教え子たちと迷宮深部を目指す。』（以下、『エパリダ』）で、バリー役を世界さんが演じています。声優の経験はありますが、レギュラーとして関わるのは本作が初めてですね。

世界　毎回ついていくのに必死です。もちろん気合いも気負いもあるんですが、「力が入りすぎないように」とアドバイスをいただいていたので、まずは現場に馴染むことを考えました。バリーはイヤな奴なので演じがいがありますが、僕とは性格がかけ離れていて寄せるのが大変でしたね。僕、ものすごくいい奴なんで……。

颯太　なんですか、そのツッコミ待ちは（笑）。

世界　少なくともバリーよりはいい奴だよ（笑）。

―『エパリダ』の台本を読んだ感想は？

世界　いわゆる迷宮もので……その中でもちょっと新感覚というか。アクションや魔法のシーンもめっちゃかっこいいし、人間関係が密に描かれているところに惹かれました。主人公のユークが元教え子たちと一緒に成長していく姿が、すごくすがすがしいんですよね。その一方で、ユークは元いたパーティ「サンダーパイク」で雑に扱われた経験があって……と、実際の人間関係にありそうなエピソードもある。バリーが所属する「サンダーパイク」のメンバーはそれぞれ内面もドロドロしていて、チームワークにも疑問があるんだけど、対するユークたちのパーティ「クローバー」は本当にさわやか。双方のあり方が物語の明暗を象徴していると思うので、そのギャップにも注目してください。

―バリーを演じるポイントを教えてください。

世界　バリーは、ある意味とても人間味がある奴なんです。身勝手で目先のことしか見えていないけど、「サンダーパイク」にいるからこうなってしまっただけで、根っから悪い奴じゃない。たぶん、何かきっかけがあればもっとまともになって、いい方向に行くと思うんですね。どこかかわいげがあって、あまり悪人に寄りすぎないように意識して演じました。

―颯太さんも、4月放送予定のアニメ『かいじゅうせかいせいふく』にて「となりのぬし」役で出演されますね。

颯太　以前『ヴァンパイア男子寮』という作品にスポット出演させてもらった経験はあるんですが、僕もレギュラーで声優を務めるのは今回が初めてなんです。僕が演じる「となりのぬし」は優しくて生き物が好きな男性で、日々かいじゅうに癒されている、そんな人です。僕自身もかいじゅうを見ているとほのぼのとした気持ちになるので、あまり気負いすぎず、その気持ちを素直に表現できたらなと思います。

―今後、声のお仕事も増えていくと思うのですが、やってみたい役はありますか？

颯太　僕はごくごく普通の人をやってみたいです。壮大な世界観の中で、そのキャラクターだけがめっちゃ平凡とか。プロの声優さんはキャラづけも素晴らしいし、そのレベルには及ばないけれど、普通の人であれば等身大の僕を出していけばいいので、演じる取っかかりが掴みやすいかなと思いました。

世界　僕はギャグが好きなので、三枚目の役をやってみたいです。それか、めっちゃ悪い奴。極端に振り切れたキャラクターは、面白いですよね。性格面のこと以外でいうと、やっぱりロボットのパイロット。僕は『（機動武闘伝）Gガンダム』が好きなので、ゴッドガンダムやマスターガンダムに乗ってみたいし、50代くらいになったら東方不敗のようなキャラクターも演じてみたいです。声の仕事はダンスと同じく長く、地道に続けていきたいので、秋元羊介さんや飯塚昭三さんのような貫禄が出るように精進したいですね。

いつ観ているの!? 芸能界随一のアニメ通

―今ハマっているアニメは何ですか？

颯太　『チ。―地球の運動について―』です。好奇心をテーマにしたストーリーで、すごく影響を受けました。地球暦を作っている方とお会いしたことがあって、その方からお勧めしていただいた作品なんです。早速観たら、「これは観ているのと観ていないのとでは、世界の見え方に違いが出るな」と思うくらいの衝撃でした。

僕が尊敬する方々は、アニメや漫画でインプットを得ている人が多いんです。インプットの質や量が圧倒的なので、そうした方々からお勧めされた作品はやっぱり気になりますね。人間は普通、自分の人生を生きるこ


Sota Nakajima





としかできないけど、物語を通じて違う人生を体験したり、経験値をためることもできる。アニメや漫画に触れることで感じることがたくさんあるんだなと思うと、すごく興味が湧きます。

――お仕事柄、インプットに積極的なんですね。

颯太　アーティストとして表現していきたいことがたくさんあるけれど、知らないことはアウトプットできないんですよね。やりたいことをするためにも経験とか知識、発想力が必要なんだと痛感しています。もちろん、単に知ること自体が楽しいということもありますが。

それと、スポーツものも好きで、『アイシールド21』は今でも何かを始めようというときに、勇気をもらえる作品です。ただ、アメフト自体は自分ではやろうと思わなかったですね。僕が通っていた高校はアメフトの強豪校で、部員がみんなゴツすぎました（笑）。

――颯太さんはサッカー部だったとか。

颯太　はい、なので『ブルーロック』も大好きです。サッカーをやったことがなくてももちろん楽しめますが、経験者は絶対ハマるはず！　展開が早いのに、キャラクターにもちゃんと感情移入できる。推しキャラは……うわぁ、悩む！（笑）　そうですね……やっぱり絵心さんかな。神谷浩史さんの声もこれ以上ないというくらいハマっていると思います。

あと、勇気がもらえるといえば『僕のヒーローアカデミア』もそうで、キャラクターたちが一丸となって進むところに感動します。続きを早く知りたくなったり、応援したくなるところも。僕はたぶん、みんなで助け合いながら前進するストーリーが好きなんだと思います。だから『ヒロアカ』の推しはひとりに絞れないですね……あえていうなら箱推しです。

――世界さんに事前に好きなアニメを教えていただきましたが、その数実に400タイトル以上！　年代を問わず多数の作品を観ているアニメ通ですが、現在ハマっている作品は？

世界　最近のタイトルだと、『メカウデ』がめっちゃ面白くてお勧めです。原作付きではないから、先の展開がわからないところも毎回楽しみですし。オリジナル作品には頑張ってほしいと思っているので、『（勇気爆発バーン）ブレイバーン』がヒットしたときも嬉しかったですね。

――子どものころ好きだったアニメは何ですか？

世界　すごく好きだったのは『NARUTO』です。リアルタイムで観ていて、僕自身もちょうどナルトと同年代でした。よくシカマルの口調を真似たりしていましたね。そこから『ケロロ軍曹』『忍空』『ドラゴンボール』『デビルマン』に行って。ギャグか、泥臭いか、徹底的に戦うか――そういう男くさい作品が好きなんだと思います。

颯太　僕は『Dr.スランプ アラレちゃん』で育ちました。挨拶は「んちゃ！」だし、走るときは「キーン」（笑）。あとは『ホイッスル！』や『テニスの王子様』も好きでした。特に越前リョーマの右手でも強いのに、左手に変えたらもっと強いところにシビれて、一時はサッカーで同じことをしていました。最初は左足で蹴って、後半になったら利き足である右を使って本領発揮！　みたいな。

世界　僕も『テニプリ』は好きで、体育の授業でテニスをやったとき「ブーメランスネイクできねーな」とか思ってた（笑）。僕は海堂薫と桃城武が好きで……やっぱり男くさいキャラに目が行くんですよね。

颯太　僕はリョーマが好きだなあ。主人公に思い入れがあるのは、やっぱり自分が主人公になりたかったからかもしれないけど。

――世界さんは男くさいアニメがお好きとのことですが、お勧めタイトルはありますか。

世界　『ドリフターズ』『北斗の拳』もシリアスありギャグありで観て損はないし、『シティーハンター』もおしゃれなようでいて実は男くさいところがある。

結局、神谷明さんが演じるキャラは強くて魅力的、ということに尽きますね。神谷さんか古川登志夫さんが出演されている作品を観れば、もう間違いないと思います！

――最後に読者へのメッセージをお願いします。

颯太　「ポケット」はワタルくんの冒険とともにある楽曲です。でも、みなさんの側にある曲でもあるので、夢や勇気を届けることができたら嬉しいです。

世界　『創造伝』は、『英雄伝』の面白さそのままに令和によみがえった作品です。「ポケット」で作品に華を添えることができたら僕らも嬉しいし、『ワタル』のオモシロかっこいい世界はきっとみなさんのポケットも夢でいっぱいにしてくれると思います。『エパリダ』とともどもぜひ観てください！





タミヤ役
岐洲 匠

きず たくみ
1997年4月13日生まれ／愛知県出身／フォスター所属／主な出演作は『宇宙戦隊キュウレンジャー』（ラッキー、シシレッド）、『佐原先生と土岐くん』（佐原一狼）ほか

ダフ役
原嶋元久

はらしま もとひさ
1993年1月1日生まれ／東京都出身／スタジオオーデュボン所属／主な出演作は舞台『鋼の錬金術師』-それぞれの戦場-（デニー・ブロッシュ）、劇団『ハイキュー!!』旗揚げ公演（武田一鉄）ほか

演劇『ライチ☆光クラブ』2025

美しく儚い少年たちによるグランギニョル『ライチ☆光クラブ』。
4度目の舞台化となる本作では、リアルな感情をえぐり出し、"会話"で紡いでいく。



SCHEDULE
★1月10日～26日（東京・IMM THEATER）
HP★ https://theater-litchi.com/

★ 引っ張る人と楽しめる人 相性のいいタミヤとダフ

――お二人は今作が初共演ですよね。あらためてお互いの印象を教えてください。

原嶋 きずっちは、稽古始まって2日目からもうオープンマインドな感じでした。ものすごく爽やかで自由で、僕はわりと壁を作るタイプなんですけど、ものともせず来てくれて。壁があったはずなのに、気がついたら突き破って後ろまで来ていましたね（笑）。

岐洲 （原嶋さんは）もうね、趣味が「ストイック」なんですよ。

原嶋 （笑）。

岐洲 ストイックに一生考え続けている人です。稽古場を出てからも、ずっとダフのことを考えていますからね。その集中力、没入力がすごい。僕だったらすぐに煮詰まっちゃうので、僕にないものをたくさん持っているなという印象です。

――そんな熟考タイプの原嶋さんですが、今回のオーディションの自己PRでは全裸になるつもりだったとか。

原嶋 オーディションを受ける前に「性的な描写がありますが、大丈夫ですか？」と確認されたのですが、僕は「芝居においてできないことなんて何もない」という、いつものスタンスで臨もうと思っていまして。そうすると、それを自己PRの時間で表現するしかないかな、と！ でも、実際は自己PRの時間がなかったので、会場にいた女性の方たちの心に傷を作る結果にならなくてよかったです（笑）。

岐洲 いきなり全裸は怖がられそう（笑）。

――岐洲さんはオーディションで印象に残っていることはありますか？

岐洲 ちょうど喉の調子が悪くて、セリフを言えば言うほど、脚本・演出の谷（碧仁）さんと喋れば喋るほど、声がカスカスになっていったんです。声が届けられないから、その分、気持ちを届ける……本当に気持ちで勝負したオーディションでしたね。

――役の印象や、どのようなところを大事に演じていきたいかをお聞かせください。まずは岐洲さん演じるタミヤから。

岐洲 タミヤは光クラブ（少年たちの秘密基地）のリーダーですが、自分からリーダーになるというより、いつの間にか頼られるタイプなのかなと。そこは、僕も似ているところがあるなと思いました。

原嶋 リーダーに推薦されやすそうなタイプだもんね。

岐洲 僕はみんなに平等であることを大事にしています。ゲームの話になっちゃうんですけど、僕はゲーム内でギルドを作って、そのギルドマスターをやっているんです。二人から始めて、現在は47人が所属していて。

原嶋 すごいよね～。

――MMO（※多人数のプレイヤーが同時にアクセスできるオンラインゲーム）ですか？

岐洲 そうです、『THRONE AND LIBERTY』というゲームで。知ってますか!? 今日何本か取材を受けて、初めて知っている人に出会いました！

原嶋 一番刺さってる、今（笑）。

（以下、ギルドマスターの苦労を切々と語る岐洲さん）

――別のギルドマスターの配信を観ていますが、運営は本当に大変そうですものね。

岐洲 そうなんです。自分はギルドを運営するにあたって、やっぱり自由と平等であることが一番大事だと思っていて。レアドロップのアイテムもちゃんとみんなで分けているので、自分は一個ももらっていないんですよ。そういう自由と平等はタミ





ダフ

光クラブの初期メンバー。いつも右目に眼帯をしている。メンバーの中では目立たず平凡で、ややおっとりとした性格の持ち主である



タミヤ

光クラブの初期リーダー。硬派な性格でモテるタイプ。ゼラ加入後の光クラブの在り方を疑問視しており、やがて彼と対立することに



ヤにも共通しているところなので、活かせたらいいなと思っています！

原嶋　お、ようやく戻ってこれた！（笑）

岐洲　話がそれてすみません（笑）。

原嶋　いやいや、これまできずっちが語っていたことがどれだけすごいことなのか、インタビュアーさんの反応を見て、ようやく実感できました。

――原嶋さんから見たタミヤの印象もお聞かせください。

原嶋　きずっちが言っていた通り、僕から見たタミヤも「リーダー誰にする？」「タミヤがいいんじゃない？」と言わせる、「この人がリーダーになったら平和になるだろうな」みたいな説得力を持っている人という印象です。楽しいことをみんなでシェアしようとしてくれるし、優しいし、本当に素敵な男の子だなと思います。それと勇気を持っていますよね。集団で一つの思考・価値観に囚われている中でも、自分というものに気づいて、それを言葉に出せるのは勇気がないとできないことだと思います。

――続いて、原嶋さん演じるダフについて。

原嶋　第一印象では、正直あまりよく分からない部分も多かったです。「夢見る眼帯」というキャッチコピーも、「何をどう夢見ているのかな？」「そもそもなぜ眼帯しているんだろう？」という感じで。

岐洲　確かに、なんでなんだろう？

原嶋　でも、いざダフとして、きずっち演じるタミヤと対峙した時に「こういうところ、優しいな」「カッコいいな」と思うと、「あ、ダフってこういうふうにタミヤくんを見ていたのかな」と気づいてきたんです。ダフの見ている景色を見ることによって、解釈を広げて役作りしていきたいなと考えています。

岐洲　ダフは誰か引っ張ってくれる人がそばにいたら、その人と一緒に楽しむ人だと思います。だから、冒険とかもきっと好きでしょうし、タミヤとの相性もいいのかなと。タミヤ自身は、引っ張っている気はないと思いますが。

光クラブの変化に気がつけなかった

――タミヤとダフは光クラブの初期メンバーですが、彼らにとって光クラブはどういう存在だったと思いますか？

原嶋　最初に作った光クラブは、単に「楽しい」の延長というか。

岐洲　いわゆる、みんなのたまり場だよね。

原嶋　そうそう、「僕らだけの国」みたいな。そんな明るくて楽しい印象だったんですけど。

岐洲　ゼラが入ってきて、仲間が増えたことに対しては、きっと嬉しかったと思うんですよ。だからこそ、そこからこうなるとは……。タミヤとしてもすごく悔しいと思います。

原嶋　タミヤも変わっていくことを止められなかったからね。でも、その変わっていったことに対して、タミヤもダフもそこにいたから気づけなかったのかなとも思うんです。

岐洲　ああ、そっか。

原嶋　知らないうちにこうなっていって、いざタミヤが一歩引いて冷静になった時に、「これ、おかしくないか？」となったのかなと。

岐洲　気づけなかったのも、ずっと楽しかったからで。変わっていくことって、刺激的じゃないですか。特にタミヤみたいな人は、新しいものとか大好きだと思うので、刺激的な日々をずっと楽しく思っていたのかなと。

――光クラブが変わっていった原因でもある、中心メンバーのゼラの印象いかがですか？

原嶋　今回の演劇『ライチ☆光クラブ』2025のゼラは、ある意味、被害者なんだなと感じました。「かわいそう」は違うのかもしれないですが、「なるほど、こういう方向へ突き進んでしまったのだな」といいますか……。悲しいし、このゼラを見ていると、どうしても「こうしてあげられていたら」という〝たられば〟の話をしたくなっちゃいますね。

岐洲　孤独な人ですよね。子どもの頃から一人だけ頭が良すぎて、生きづらさを感じていたのかなと。誰かに見てもらいたい欲求みたいなものを、実は誰よりも強く持っていたのかもしれない。「感情がないから美しい」と言いながら、すごく感情的だし、自分を押し殺しているような印象を受けました。

――稽古の真っ最中ですが、稽古の調子はいかがですか？

原嶋　ドイツ語が難しすぎる（苦笑）。

岐洲　ヤバいよね（苦笑）。

原嶋　きちんと意味を調べて、なるべく結びつけようとしているんですけれど、いかんせん頭に入ってこなくて。宿題みたいに、毎晩10回読んでから寝るようにして、まずは頭に叩き込もうとしています。

岐洲　僕は朝起きてから言ってる。これはタミヤたちの体に染み込んでいるもので、何も考えずに口から出ている状態にしないといけないんです。

――公演を楽しみにしているファンへメッセージをお願いします。

原嶋　多くの人にとって新年一発目の舞台になると思います。みんなでぶつかり合って、意見を出し合って、より良いものを選択した結果が、明日1月10日から始まります。

岐洲　結果発表ということですか？

原嶋　そう、結果発表です。高い志を持って積み上げてきたものを皆さんにお届けできることを楽しみにしています。今までにない新しい『ライチ☆光クラブ』を観劇……いや、目撃してください。

岐洲　いいね。ヴァンダバー!!（すばらしい）

原嶋　ヴァンダバー!!

岐洲　それと、絶対に言わないといけないことが一つあって。水が！皆さんにかかる可能性があります！（※演出により前方席は水などがかかる可能性あり）

原嶋　そうなんです。

岐洲　きっと外はすごく寒いと思うので、風邪を引かないように気をつけてください。お客様も僕たちに負けないくらいの本気で！『ライチ☆光クラブ』を観に来てください！

Q 美しさにこだわるゼラたちにちなんで、お二人が最近「美しい」と感じたものは？

原嶋　気づいたんだけど、「美しい」って「きれい」よりも一段階、上な気がするんだよね。きれいなものは世の中にあふれているけど、美しいものって滅多にないと思って。

岐洲　え、ないんですか？

原嶋　これまで生きてきた中で、「美しい」と言ったこと、たぶん一回もない。

岐洲　えええー!?　「美しい」に対してもストイックだ！（笑）　僕は、この前BIGBANGがサプライズでお客さんの前に戻ってきた時に、ステージでのパフォーマンスやエモさ、全部掛け合わせてすごく美しいなと思いました。



撮影＝江藤はんな（SHERPA＋）
ヘアメイク＝横山雷志郎（岐洲）、村田 樹（原嶋）
スタイリング＝北村 梓（岐洲）、MASAYA（原嶋）

Q. 好きなアニメは？

長谷川　僕はあまりアニメや漫画は通ってこなかったんですが、『約束のネバーランド』は好きですね。

木村　僕はめっちゃ観ますよ。今、放送しているものだと『ダンダダン』かな。それと『メジャー』『ONE PIECE』『FAIRY TAIL』『マッシュル』も好きです。『ONE PIECE』はもう3周くらい観てますね。僕はジャンプっ子なので、少年漫画の王道的なストーリーが好きなんです。

長谷川　あ～、『マッシュル』は知ってる！　今度観てみようかな。



木村慧人
Keito Kimura
1999年8月16日生まれ／東京都出身／LDH JAPAN所属／FANTASTICSのパフォーマー、俳優。主な出演作は『さっちゃん、僕は。』（片桐京介）、『顔に泥を塗る』（高倉イヴ）ほか







長谷川 慎

Makoto Hasegawa

1998年7月29日生まれ／神奈川県出身／LDH JAPAN所属／THE RAMPAGEのパフォーマー、俳優。主な出演作は『恋をするなら二度目が上等』（宮田晃啓）、『離婚後夜』（金織真也）ほか

ニングするとか。あと、画面に映るのは圧倒的に上半身なので、下半身より胸や肩、腕、背中、腹筋をしっかり鍛えて。筋トレはだいたい二日おき、ジムには週4くらい通いました。

木村　僕は去年の10月くらいから筋トレを始めたんです。僕も慎さんと同じで、肩でも前・後ろ・真ん中とパーツごとにトレーニングしました。「この日は胸」「この日は肩」とか部位を変えながら、それをルーティーン化してほぼ毎日通いましたね。

長谷川　あ〜、それ大事だよね。

木村　トレーナーさんにいろいろ教えてもらいながら頑張りました。食事制限は特にしていなくて、僕の場合、ご飯をいっぱい食べないとどんどん痩せていってしまうんです。だから、まずはきちんと食べること。それと、筋トレ前にはお団子で糖質を補給しました。脂質がなく、糖分だけを効率的に摂れるのでお団子がいいそうです。

長谷川　僕の場合、炭水化物は一日150〜200gくらいに抑えて、たんぱく質は自分の体重に合わせて量を調節しています。今60kgちょっとなので、60×3で180gを目安にしました。それとビタミンもしっかり補給して、プロテインも忘れずに飲むようにしていました。

——筋トレ後のプロテインが楽しみという方もいますが、好きなプロテインの味は？

長谷川　僕も楽しみでした(笑)。好きなのはリッチショコラ味です。

木村　me tooです！(笑)　あれ、おいしいですよね。ストイックに攻めるなら、「クリア」という甘みがないプロテインもアリです。クリアにいろいろなサプリを入れて飲んだりもしました。

MMAを通して描かれる人間ドラマに注目！

——青葉と岩瀬は友達になりたてですが、木村さんと長谷川さんは長いお付き合いだとか。

木村　僕と慎さんは、小学生からEXPG STUDIOというダンススクールに通っていたので、ほんと子どものころからのお付き合いですね。立ち位置的には僕が後輩で、慎さんは優しい先輩。

長谷川　でも、スクールに入ったのはほぼ同じ時期だったよね。今でこそダンスが普及して、男女問わずみんなやっているイメージですが、当時……15年くらい前はもう女の子ばかりでした。男子は僕と慧人と、ほかに何人かいたくらいだったから、メンズ組は仲が良かったんです。キッズダンサーのときに知り合って、中学生になると成人クラスになるんですが、慧人とはそのときもずっと一緒でした。今は所属グループは違いますが、当時から仲良くしています。

——木村さんは、長谷川さんに敬語を使われているのですね。

木村　小学生のころは違っていたと思うんですけど、事務所が同じだし、そこは先輩・後輩ということで。

長谷川　EXPG時代のことを知っている方とか、LDHのファンの方は、僕らの関係性をわかった上で『レッドブルー』を観ると、FANTASTICSの慧人と、THE RAMPAGEの慎が違う世界で交差しているようで、よりエモくて面白いかもしれないです。

木村　同じスクールからお互いデビューして、こうしてドラマで共演できるって、すごいことですよね。撮影に入るときって、共演者の方とはだいたい初対面から始まることが多いんですが、こうして心を許せる先輩・後輩同士ですごくやりやすかった。『HiGH&LOW』のときは同じシーンがなくて会えなかったんですが、今回の『レッドブルー』でがっつり組むことができて本当に嬉しかったです。

長谷川　そうだね。グループの垣根を越えての共演って、これまであまり機会がなかったよね。『レッドブルー』を通じてお互いのファンの方々とみんなで一緒に盛り上がれたら嬉しいし、何より視聴者の方に喜んでほしいです。そのためにも、ちゃんと芝居ができるんだということを、ここでバシッと見せておかないとね。

——今後の見どころを教えてください。

木村　MMAを題材としたドラマは、僕が知る限りほとんど初めてに等しいと思うんですが、ルールがわからなくても、作品の中でちゃんと解説されているので大丈夫です。たくさんの方にぜひ観ていただきたいです。

長谷川　原作漫画を読んだときも思ったんですが、やっぱり青葉の変わり者ぶりはポイントですね。漫画で感じた青葉への違和感みたいなものが、ドラマでもちゃんと表現できていて、これはすごいなと思いました。漫画と実写ではテイストとか、受ける印象が変わってくるのが普通だと思いますが、『レッドブルー』はその純度が高いまま、いい意味で青葉の変さが伝わってくるので、そこは見どころだと思います。

木村　原作でもひとりひとりのキャラクターにフォーカスして、それぞれのバックボーンが描かれていて、ドラマ版でもそこは同じです。僕が注目してほしいのは、そういう人たち同士のつながり。青葉に負けた選手が、次の試合を見に来てくれたりとか、MMAを通じての人間ドラマにも注目してもらえると、また違った視点から物語を楽しめると思います。ぜひご覧ください。



岩瀬三之助役

長谷川慎







鈴木青葉役
木村慧人

戦う男たち

それでも友達!?
青葉と岩瀬の奇妙な関係

――ご自身が演じる人物について、どのような印象を持っていますか?

木村　青葉はいつも教室の隅っこにいるようなキャラクターなんですが、岩瀬くんや、所属ジムの時和さんにはちゃんと心を開いて、気を許していくんです。周りの人たちとのやり取りを通じて、青葉の人間らしい部分が見えてくるというか……。確かに周りとはだいぶ違う発想をするけれど、単に不器用なだけなのかなという気もしています。

あと、彼はひとつのことにめり込んだら、とことん突き詰めていくタイプ。自分が勝つためには何をどうするべきか、そこを常に考えているので、頑張り屋でストイックという印象もあります。

長谷川　僕の岩瀬に対する第一印象は最悪でした(笑)。第1話で登場したときは、自分のフラストレーションを青葉にぶつけて、ボコボコにして、弱い者いじめをするイヤな奴だなと思っていました。でも、青葉との距離が近づいていくにつれ、岩瀬の素の部分がだんだん見えてくるんです。

――岩瀬は、根は情に厚いですよね。

長谷川　最初の印象があまりよくない人がいいことをすると、周りからの評価がすごく上がる現象ってありますよね。漫画やアニメでもあるけれど、実際にも起こり得ることで、岩瀬はそれを体現している人物ですね(笑)。

――青葉は怖いほど勝利に執着する性格で、岩瀬は視聴者の印象がもっとも変わる人物です。それぞれの人となりをどのように表現しようと思いましたか?

長谷川　『レッドブルー』については、だいたい台本通りの順番で撮影しています。ドラマの撮影って極端なケースだと、いきなり最終話から撮るとか、順番通りにいかないことが多いのですが、本作ではクランクイン後、第1話の岩瀬が青葉をいじめるシーンからスタートしました。なので、新鮮な気持ちのまま作品の世界に入って、岩瀬の感情の流れのままに演じていくことができ、気持ちとしてはすごく演じやすかったです。ただ、監督からは「青葉と友達になる瞬間」がちゃんとあるので、その前後の変化をしっかりと意識してほしいとアドバイスをいただきました。このあたりは撮影の順番がちょっと前後していて、二人が仲良くなったシーンのあとに、最初のいじめ直後のシーンを撮ったんです。慧人とは「いじめられていた日のことを思い出そう」と事前に話を合わせて、何度かテイクも重ねました。

木村　僕の場合、青葉の性格的なところでは「とにかく暗く」ということ以外、特に意識したことはなくて……。一番難しかったのは、青葉の上達をどう見せていくかでした。格闘技はまったくの未経験からスタート。パンチひとつとってもやり方を知らないけれど、稽古ではめちゃくちゃ練習するので、そこの切り替えは意識しました。あと、MMA甲子園の予選は3試合あって……。

長谷川　このあたりも撮り順はバラバラだったよね。

木村　そうなんです。試合が進むにつれめっちゃ疲弊度も増してくるんだけど、撮影順が前後しているから、この試合ではどれくらい疲れているんだろう……とか。青葉の性格面より、アクション面のほうが難しいことが多かったですね。

――青葉と岩瀬の関係を、お二人はどのように捉えていますか?

木村　青葉的には、岩瀬とは最初から友達同士だったんじゃないかなと。

長谷川　殴られてるのに友達だと思ってた?

木村　青葉自身は特にいじめられたとは思ってなくて、はじめから「友達」という認識だったんじゃないかと思います。だから岩瀬に対して、「"たたかいごっこ"はしないの?」というセリフが出てくる。青葉にとってはそれも交流で、文字通り「ごっこ」だったのかなと。

長谷川　岩瀬のいじめが、青葉をMMAの世界に引き込むひとつのきっかけにもなったんだよね。MMAとの出会いで青葉は変わっていくし、その青葉の変化に引っ張られるように、岩瀬も大切なものに気づかされながら成長していくので、最初はともかくとして、最終的には友達ですね。

――二人の友情には時間差がありますね。「友達になる瞬間がある」とのことでしたが、それはどのあたりでしょうか。

長谷川　交流戦で岩瀬が青葉にハーフパンツをあげたあたりですね。初めての試合に臨む青葉に自分のお古をあげるなんて、友達感があります。

――格闘家を演じるにあたっては、身体づくりも重要なポイントですね。

長谷川　これまでもずっと鍛えてはきたんですけど、僕の経験上、1ヵ月くらいかければ身体は仕上がるなと思っていました。ただ、以前、雑誌や写真集のために身体づくりをしたとき、「もっとこうすればよかったな」という反省点もあったんです。今回は格闘技ものということもあって、より身体が大きく見えるように心がけました。たとえば、胸筋も1ヵ所だけじゃなくて、3つの部位に分けてトレー









青葉のメモ

ネチっこい性格の青葉は岩瀬の動きを詳細にメモし、いつしか打撃を回避できるように。書くことでイメージを強化し、その通りに動ける青葉に、岩瀬は可能性めいたものを感じ取る。



元いじめっ子の戸惑い

優しくしてくれた拳心に反発を覚える一方で、青葉は岩瀬を勝手に友達認定。超絶ひねくれ者・青葉の理解不能な思考回路にひたすら首をひねる、岩瀬の困惑ぶりが楽しい。



格闘技人生の始まり

岩瀬に頼み込み、シャークジムを紹介してもらった青葉。だが、ジムは今にも潰れそうな寂れぶりで、おまけに代表の時和金成は酔っ払いおじさん。青葉の競技人生は前途多難!?



ぐちゃぐちゃにしてやる

入会したばかりの青葉に時和の無茶ぶりが炸裂！　晴天道場との交流試合で初リングを踏むことになるが、青葉は臆さない。拳心の顔を悔しさで歪ませたいと、暗い情熱にさらなる火がつく。



鈴木青葉

Aoba Suzuki

大嫌いな拳心を倒すため、初心者ながらMMA甲子園出場を決意。かろうじて予選を勝ち上がり、自分より格上の選手と次々と対戦することに



岩瀬三之助

Sannosuke Iwase

拳心への劣等感から青葉をいじめていたクラスメイト。勝ちにこだわる青葉の異様な執念に戸惑いつつも惹かれ、親身に相談に乗るようになる



玉松のコンプレックス

金で周囲の関心を買っていた玉松光太は、高校入学を機に自分の力で何かを成し遂げたいとMMAを始めた。そんな自己評価の低い玉松の心を、青葉の超絶ひねくれ思考が救う!?



雨地のスーパー勘違い

リーマン格闘家で寝業師の雨地渉は青葉を超える根暗。青葉を「大きな夢をもつ若者」と激しく誤解し、毛嫌いしている。青葉は彼の心を開き、師匠になってもらうことができるのか？



予選決勝へ進出！

MMA甲子園予選、最終戦の相手は拳心の道場の先輩である羽鶴結雅。キャリア、実力とも圧倒的に上回る羽鶴に、MMAを始めて間もない青葉はどう立ち向かっていくのか!?



青葉を支える二人

なんだかんだと青葉を構う世話好きな岩瀬。そして、どんなに打たれても勝機を探し続ける青葉を買っている時和。ジムの師弟コンビが、青葉の前進を強力にバックアップしていく！



日陰者の反撃！

史上最も“暗い”主人公がMMAに挑戦!?　格闘技の神童・赤沢拳心を“一発”殴るため、譲れない想いを貫くため、鈴木青葉が立ち上がる！　戦いの熱いゴングが、今高らかに鳴る！

病弱で夢もないけれど、自分なりに満たされた毎日を送る高校生・鈴木青葉。クラスメイトの岩瀬三之助にいじめられていた青葉は、格闘技界の神童・赤沢拳心に助けられる。拳心と会話するうちに、「お前……いつまでも空っぽじゃん」と言われてしまった青葉は、そのひと言に衝撃を受ける。そして「拳心を一発殴りたい」という一心から、総合格闘技の世界に足を踏み入れることに——！

クセ強な選手が多く集まるともいわれるMMAの世界は、青葉を含め、はぐれ者やひねくれ者が大集合！　予想のナナメ上をいく彼らのリアクションを、木村慧人ら注目の若手俳優がユーモアたっぷりに演じる。

さらなる見どころは、格闘技未経験の青葉が痛みや恐れをものともせず勝利を求め続ける姿だ。常に日向を歩いてきた拳心には、言葉を尽くしても日陰者である青葉の思いは伝わらない。自分が空っぽではないことを伝えるため、そして自分という存在を刻みつけるため、青葉はリングに立つ。そう、彼にとって今やMMAはなくてはならないコミュニケーション手段なのだ。その強烈な情念と憎めなさで、三之助をはじめ周囲を巻き込んでいく青葉。彼の根暗パワーが生み出す渦にいつの間に呑まれ、目が離せなくなっていくはずだ。



「たたかいごっこ」の日々

岩瀬はシャークジム所属のアマ格闘家。「たたかいごっこ」と称してクラスメイトの青葉を殴っていたが、ヒーロー気質で弱い者いじめを見逃せない拳心に叩きのめされてしまう。



強すぎる光

明るくまっすぐな拳心は、誰からも好かれるタイプ。虚弱な青葉を心配し格闘技を勧めるが、マイペースな青葉にとって拳心のポジティブさや親切は押しつけがましいものに映る。



伝わらない意志

「夢や目標を持つべき」という考えの拳心には、青葉のような日陰者なりの生き方が理解できない。「拳心を殴ってやる」と決意した青葉が相談したのは、自分をいじめていた岩瀬!?

自分の意志を押し通せ！

photo by Junichiro Noumi

**プロ選手にも愛読者が多い、波切敦原作の格闘技漫画が待望の実写ドラマ化！
強者だけが自身の意志を押し通すことができる孤独で残酷な世界——総合格闘技に、ひ弱な少年・青葉が挑む！**

レッドブルー

✱毎週火曜日✱深夜０時59分✱MBS
✱毎週火曜日✱深夜１時28分✱TBS
HP✱mbs.jp/redblue/



アニメージュ
Animage

劇場アニメ『ベルサイユのばら』
2025年1月31日(金) 全国ロードショー

2025 Animage 2月号ふろく
Illustrated by Yuko Yasaki
Supervised by Mariko Oka








魔法使いの約束


アニメージュ
Animage
2
2025 FEB.
レッドブルー
木村慧人×長谷川慎